# 令和２年度中標津町行政評価結果

令和２年度の行政評価は、令和元年度に中標津町が実施した施策や事務事業に対して、担当職員による一次評価、中標津町行政改革推進本部による二次評価の実施後、中標津町外部評価委員会が外部評価を行い、施策に係る今後の更なる推進に向けての意見書が提出されました。そして、その結果を踏まえて、中標津町行政改革推進本部が、総合評価を実施しました。

令和２年度の行政評価の結果は、次のとおりです。

## １．内部評価の状況

| 評 価 内 容 | 評価調書 | 件 数 | 備　　考 |
|---|---|---|---|
| 一次評価<br>（担当職員評価） | 事務事業評価 | ３６８ | |
| | 施 策 評 価 | １８７ | |
| 二次評価<br>（行政改革推進本部） | 施 策 評 価 | １７６ | 議会事務局・農業委員会事務局・一部事務組合（消防）を除く |

## ２．外部評価の状況

中標津町外部評価委員会において、評価対象とした施策評価９７件に対し実施。
（外部評価委員会意見書別紙）

| 部 局 名 | 件 数 | 備　　考 |
|---|---|---|
| 総　　務　　部 | １４ | |
| 町 民 生 活 部 | ３３ | 付帯意見 ３件 |
| 経　　済　　部 | ２６ | |
| 建 設 水 道 部 | １９ | |
| 町立中標津病院 | ５ | 付帯意見 １件 |
| （合計） | ９７ | |

## ３．総合評価

中標津町行政改革推進本部は、二次評価及び外部評価の結果から、次年度以降において取り組むべき方向性を、次のとおりとしました。

### ○ 次年度以降における取組

人口減少や少子高齢化が加速して行く中で、持続可能な財政構造の確立に向け、費用対効果など現状を把握したうえで職員が一丸となり、常に改革の意識をもって限られた財源・人員の中で最大限の効果・成果につながるよう取り組みを行い、行政サービスの質の維持向上を図る。特に、町有財産の有効的な活用を図るため、「中標津町未利用財産利活用基本方針」に基づき、未利用財産の適切な管理と効果的な利活用を図るとともに、町有施設についても、利用実態を把握し、利用人数の増加と適切な利用者負担割合の設定に努める。

また、ウィズコロナ、アフターコロナを見据え、中小企業等の経営の持続化に向けた支援を行うなど、地域経済全体の発展に努めるとともに、国が示した「新しい生活様式」と北海道が進める「新北海道スタイル」に取り組み、感染拡大防止対策を講じながら、テレワークなど新たな手法による交流人口・関係人口増加に向け、情報収集や調査研究、議論を重ねより効果的な施策展開・事業展開を進める。

# 令和２年度
# 中標津町外部評価委員会
# 外部評価意見書

令和 ３ 年 ２ 月

中標津町外部評価委員会

# 中標津町外部評価委員会による令和２年度外部評価意見書

中標津町が実施した行政評価内部評価に対し、客観性や透明性を確保するため、中標津町外部評価委員会において外部評価を実施しましたので、意見を添えて報告します。

令和３年２月１２日

中標津町長　西　村　　穣　　様

中標津町外部評価委員会

委 員 長　酒　井　多加志

副委員長　富　田　光　夫

委　　員　梅　本　英　広

委　　員　駒　沢　留美子

委　　員　武　藤　健　司

総　　評

中標津町の行政評価は、平成２４年４月に施行された「中標津町自治基本条例」第３３条の規定に基づき、行政内部が点検・確認した内部評価に対し、客観性や透明性を確保するため有識者等で組織された中標津町外部評価委員会により外部評価を実施しています。

今年度の外部評価は、「第６期中標津町総合発展計画後期基本計画」に基づき、令和元年度に取り組まれた主要施策について、担当部長職・課長職が実施した一次評価及び中標津町行政改革推進本部による二次評価を実施した内部評価のうち、成果指標が設定されている９７施策を対象として、外部評価委員５名により４回の協議を行いました。

各委員からは、外部評価対象の施策や事務事業に対して、専門分野からの視点、他の地域との比較や中標津町に暮らす生活者としての視点より意見等が提出され、施策や事務事業の内容、今後の方向性・進め方について担当職員との討議も行いました。

中標津町外部評価委員会において協議を行った結果から、令和２年度外部評価について、次のとおり報告します。

記

○ 全体意見

町の財政や病院経営が厳しい状況の中で、効率的・効果的に事業を推進していくためには、自己評価を行う過程で事業に対する費用対効果をしっかりと検証し、その検証結果を基に、今後の計画を立てていくことが重要になると考えます。

評価調書は、外部評価を行う際の基礎資料となっていますが、行政評価結果として公表することともなりますので、行政改革推進本部による二次評価では、町民に対して将来の方向性が強い決意表明として現れるよう、厳正な評価を行うことが望ましいと考えます。

○ 次年度以降における施策の更なる推進に向け意見を付帯する評価（別紙）４　施策

付帯意見（ ４施策 ）

①

| | | |
|---|---|---|
| 基本項目 | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| 大 項 目 | 1 | 子育て支援の充実 |
| 主要施策 | 1 | 子育て家庭を応援・支援する地域づくり |
| 担 当 課 | | 町民生活部　子育て支援室 |
| 評価に伴う意見等 | | 安心して子育てができる環境を整備するためには、子育て援助活動支援事業であるファミリーサポート制度が重要な役割を果たすと考えます。ファミリーサポート制度の利用会員・提供会員の増加には、町民が制度を正しく理解することや、利用会員・提供会員相互の信頼関係の構築が非常に重要になると考えますので、引き続き制度の情報発信や会員の発掘に向けた取り組みをお願いします。<br>また、子育て家庭を応援・支援する地域づくりを推進するためには行政だけではなく、関係機関が連携し、子どもを安心して預けることができる信頼関係を築いていくことが重要と考えます。 |

②

| | | |
|---|---|---|
| 基本項目 | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| 大 項 目 | 3 | 障がい者施策の充実 |
| 主要施策 | 2 | 自立と社会参加の促進 |
| 担 当 課 | | 町民生活部 児童デイサービスセンター |
| 評価に伴う意見等 | | 子どもの発達の遅れは、家庭内ではなかなか気づくことができない事例が多いため、町内の保育園や幼稚園と児童デイサービスセンターや関係機関が密な連携や協力体制を構築することが必要と考えますので、引き続き関係機関と連携を図り、保護者への発達相談や助言を通じて、早期の発達支援につなげていくようお願いします。 |

③

| | | |
|---|---|---|
| 基本項目 | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| 大　項　目 | 4 | 地域福祉の充実 |
| 主要施策 | 6 | 総合福祉センターの拡充及び利用の促進 |
| 担　　当　　課 | | 町民生活部 福祉課 |
| 評価に伴う意見等 | | 総合福祉センターについては、利用人数が減少傾向にあるため地域福祉の発信拠点としてだけではなく、今後の施設のあり方も含めて検討する必要があると考えます。 |

④

| | | |
|---|---|---|
| 基本項目 | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| 大　項　目 | 7 | 医療体制の充実 |
| 主要施策 | 2 | 地域医療振興財団などからの情報収集 |
| 担　　当　　課 | | 町立中標津病院　管理課 |
| 評価に伴う意見等 | | 地域住民が安全・安心な医療を受けるためには、常勤医や看護師の確保が非常に重要な課題であると考えます。このことは、時間と経費を要する部分でもあるため、病院経営改革と一体となった取り組みをお願いします。<br>また、病院経営改革については町民の関心が高いことから、経過報告を行い、町民の声を聞き取る場を設け取り組みに反映し、最終報告をすることで、町立病院に対する町民からの信頼を培うことができると考えます。 |

# 施策評価調書

## 施策順

令和２年度

（令和元年度事業）

中標津町

# 【 評価指標について 】

※各評価調書における評価指標は、以下の内容となります。

## Ⅱ 施策の実施結果

３．施策に係る事務事業一覧

**今後の方向性 についての評価（※複数選択可）**

Ａ：現状の事業運営で問題ない
Ｂ：時代・町民ニーズと調整すべき
Ｃ：事業規模等を縮小すべき
Ｄ：事業規模等を拡充すべき
Ｅ：事業コストを削減すべき
Ｆ：実施方法を改善すべき
Ｇ：他事業と統合すべき
Ｈ：廃止の方向で検討すべき
Ｉ：事業終了

## Ⅲ 一次評価

１．達成状況

**施策の進行（達成状況） についての評価**

Ａ：目標に向かって順調に進んでいる
Ｂ：目標に向かって概ね順調に進んでいる
Ｃ：目標に向かってあまり進んでいない
Ｄ：目標に向かって進んでいない

## Ⅲ 一次評価

４．施策の進め方

**施策の進め方 についての評価**

Ａ：このまま進めてよい
Ｂ：若干の見直し・修正が必要
Ｃ：大幅な見直し・修正が必要

| 基本目標 | 大項目 | 主要施策 | 評価担当部局 | 頁 |
|---|---|---|---|---|
| 第1章　参画と協働で未来を築くまちづくり | 1-1　協働のまちづくりの推進 | (1)中標津町自治基本条例の推進 | 総務部企画課 | 1 |
| | | (2)政策形成過程における町民の参画の推進 | 総務部企画課 | 3 |
| | | (3)人材や組織の育成支援と多様な団体との連携の推進 | 総務部企画課 | 5 |
| | | (3)人材や組織の育成支援と多様な団体との連携の推進 | 経済部経済振興課 | 7 |
| | | (4)協働のまちづくりに向けた情報発信の推進 | 総務部総務課 | 9 |
| | | (4)協働のまちづくりに向けた情報発信の推進 | 総務部企画課 | 11 |
| | | (4)協働のまちづくりに向けた情報発信の推進 | 農業委員会 | 13 |
| | | (4)協働のまちづくりに向けた情報発信の推進 | 議会事務局 | 15 |
| | | (6)町内会や企業、団体の社会貢献活動等の推進 | 総務部企画課 | 17 |
| | 1-2　コミュニティの育成 | (1)住民自治意識の啓発と組織拡充強化 | 町民生活部生活課 | 19 |
| | | (2)コミュニティ活動の育成 | 総務部企画課 | 21 |
| | | (2)コミュニティ活動の育成 | 経済部経済振興課 | 23 |
| | | (3)コミュニティ活動施設の整備 | 総務部企画課 | 25 |
| | | (3)コミュニティ活動施設の整備 | 町民生活部生活課 | 27 |
| | | (4)多様な交流の推進によるネットワークづくり | 町民生活部生活課 | 29 |
| | | (4)多様な交流の推進によるネットワークづくり | 経済部経済振興課 | 31 |
| | 1-3　国際化、地域間交流の促進 | (2)多様な地域間交流による住民生活及び地域活性化 | 総務部企画課 | 33 |
| | | (2)多様な地域間交流による住民生活及び地域活性化 | 経済部経済振興課 | 35 |
| | | (2)多様な地域間交流による住民生活及び地域活性化 | 経済部農林課 | 37 |
| | 1-4　北方領土対策の推進 | (1)北方領土問題の啓発と意識の喚起 | 総務部企画課 | 39 |
| | | (2)北方領土返還運動の推進 | 総務部企画課 | 41 |
| | | (3)交流事業の推進 | 総務部企画課 | 43 |
| | 1-5　人権の尊重と男女共同参画社会の形成 | (1)人権教育、人権啓発の推進 | 町民生活部生活課 | 45 |
| | | (2)男女共同参画に関する啓発などの推進 | 総務部企画課 | 47 |
| | 1-6　計画的な行政経営の推進 | (1)効率的・効果的な行政経営（行政改革の推進） | 総務部総務課 | 51 |

| 基本目標 | 大項目 | 主要施策 | 評価担当部局 | 頁 |
|---|---|---|---|---|
| 第1章　参画と協働で未来を築くまちづくり | 1-6　計画的な行政経営の推進 | (1)効率的・効果的な行政経営(行政改革の推進) | 総務部企画課 | 53 |
| | | (2)健全な財政運営の推進 | 総務部財政課 | 55 |
| | | (2)健全な財政運営の推進 | 総務部納税課 | 57 |
| | | (2)健全な財政運営の推進 | 建設水道部上下水道課 | 59 |
| | | (3)職員の意識改革と能力向上 | 総務部総務課 | 61 |
| | | (3)職員の意識改革と能力向上 | 総務部企画課 | 63 |
| | | (4)広域行政の推進 | 総務部企画課 | 65 |
| | | (4)広域行政の推進 | 経済部農林課 | 67 |
| 第2章　健やかでやさしいまちづくり | 2-1　子育て支援の充実 | (1)子育て家庭を応援・支援する地域づくり | 町民生活部子育て支援室 | 69 |
| | | (1)子育て家庭を応援・支援する地域づくり | 町民生活部町立保育園 | 73 |
| | | (1)子育て家庭を応援・支援する地域づくり | 町民生活部へき地保育所 | 75 |
| | | (2)児童の健全育成 | 町民生活部子育て支援室 | 77 |
| | | (3)子どもを健やかに生み育てる環境づくり | 町民生活部子育て支援室 | 79 |
| | | (4)児童虐待防止 | 町民生活部子育て支援室 | 81 |
| | | (5)ひとり親家庭福祉の充実 | 町民生活部子育て支援室 | 83 |
| | 2-2　高齢者施策の充実 | (1)地域支え合いの推進 | 町民生活部福祉課 | 85 |
| | | (2)安心して暮らせる環境づくり | 町民生活部福祉課 | 87 |
| | | (3)生きがいと健康づくり | 町民生活部福祉課 | 89 |
| | | (4)介護保険サービスの充実 | 町民生活部福祉課 | 91 |
| | | (4)介護保険サービスの充実 | 町民生活部介護保険課 | 93 |
| | | (5)介護予防の推進 | 町民生活部介護保険課 | 95 |
| | 2-3　障がい者施策の充実 | (1)地域における生活支援 | 町民生活部福祉課 | 97 |
| | | (2)自立と社会参加の促進 | 町民生活部福祉課 | 99 |
| | | (2)自立と社会参加の促進 | 町民生活部児童ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ | 101 |
| | | (3)ともに支え合う福祉のまちづくり | 町民生活部福祉課 | 103 |
| | 2-4　地域福祉の充実 | (2)地域資源の充実 | 町民生活部福祉課 | 105 |

| 基本目標 | 大項目 | 主要施策 | 評価担当部局 | 頁 |
|---|---|---|---|---|
| 第2章　健やかでやさしいまちづくり | 2-4　地域福祉の充実 | (3)支え合いの地域づくり | 町民生活部福祉課 | 107 |
| | | (6)総合福祉センターの拡充及び利用の促進 | 町民生活部福祉課 | 109 |
| | 2-5　健康づくりの推進 | (1)健康づくりの推進 | 町民生活部健康推進課 | 111 |
| | | (2)母子保健事業の充実 | 町民生活部健康推進課 | 113 |
| | | (3)成人保健事業の拡充 | 町民生活部健康推進課 | 115 |
| | | (4)心の健康づくり推進 | 町民生活部健康推進課 | 117 |
| | | (5)健康危機管理の充実 | 町民生活部健康推進課 | 119 |
| | 2-6　地域医療の充実 | (1)地域医療体制の確立 | 町立病院医事課 | 121 |
| | | (2)町立病院の機能充実 | 町立病院管理課 | 123 |
| | | (3)救急医療・災害時医療体制の確立 | 町立病院医事課 | 125 |
| | | (4)安定経営の取組 | 町立病院管理課 | 127 |
| | 2-7　医療体制の充実 | (1)医育大学医局への派遣要請 | 町立病院管理課 | 129 |
| | | (2)地域医療振興財団等からの情報収集 | 町立病院管理課 | 131 |
| | | (3)医療技術職員養成修学資金の活用啓発 | 町立病院管理課 | 133 |
| | 2-8　社会保障の充実 | (1)国民健康保険の安定的な運営 | 町民生活部住民保険課 | 135 |
| | | (2)後期高齢者医療制度の円滑な運用 | 町民生活部住民保険課 | 137 |
| | | (3)国民年金制度の周知・啓発 | 町民生活部住民保険課 | 139 |
| 第3章　力みなぎる産業のまちづくり | 3-1　農業の振興 | (1)農業生産基盤の整備 | 経済部農林課 | 141 |
| | | (2)担い手の育成・確保と支援体制の強化 | 経済部農林課 | 143 |
| | | (2)担い手の育成・確保と支援体制の強化 | 農業委員会 | 145 |
| | | (2)担い手の育成・確保と支援体制の強化 | 農業委員会 | 147 |
| | | (2)担い手の育成・確保と支援体制の強化 | 農業委員会 | 149 |
| | | (3)農地の有効活用 | 経済部農林課 | 151 |
| | | (3)農地の有効活用 | 農業委員会 | 153 |
| | | (3)農地の有効活用 | 農業委員会 | 155 |
| | | (3)農地の有効活用 | 農業委員会 | 157 |

| 基本目標 | 大項目 | 主要施策 | 評価担当部局 | 頁 |
|---|---|---|---|---|
| 第3章　力みなぎる産業のまちづくり | 3-1　農業の振興 | (4)安全・安心・良質な農畜産物の付加価値向上 | 経済部農林課 | 159 |
| | | (5)環境と調和した農業生産の推進 | 経済部農林課 | 161 |
| | | (6)多様でゆとりある農業経営の促進 | 経済部農林課 | 163 |
| | | (7)畜産食品加工研修センターの充実 | 経済部畜産食品加工研修センター | 165 |
| | 3-2　林業の振興 | (1)森林資源の育成・保全 | 経済部農林課 | 167 |
| | | (1)森林資源の育成・保全 | 教育委員会生涯学習課 | 169 |
| | | (2)林業・林産業の活性化 | 経済部農林課 | 171 |
| | | (3)森林環境の保全と活用 | 経済部農林課 | 173 |
| | 3-3　商工業の振興 | (1)中小企業支援策の検討推進 | 経済部経済振興課 | 175 |
| | | (2)融資制度の充実 | 経済部経済振興課 | 177 |
| | | (3)既存企業の体質強化 | 経済部経済振興課 | 179 |
| | | (3)既存企業の体質強化 | 建設水道部都市住宅課 | 181 |
| | | (4)まちなか賑わいの創出 | 経済部経済振興課 | 183 |
| | | (5)空店舗対策及び創業者への支援 | 経済部経済振興課 | 185 |
| | | (6)特産品の開発・PR活動の展開 | 総務部企画課 | 187 |
| | | (6)特産品の開発・PR活動の展開 | 経済部経済振興課 | 189 |
| | 3-4　観光の振興 | (1)広域観光・交流機能の充実 | 経済部経済振興課 | 191 |
| | | (2)観光客の誘致 | 経済部経済振興課 | 193 |
| | | (3)観光推進体制の充実 | 経済部経済振興課 | 195 |
| | 3-5　6次産業化の推進 | (3)優良カラマツ材のブランド化を図るための利用促進 | 経済部農林課 | 197 |
| | 3-6　雇用対策の推進 | (1)通年雇用化対策の推進 | 経済部経済振興課 | 199 |
| | | (2)季節労働者への就労対策の推進 | 経済部経済振興課 | 201 |
| | | (3)雇用の確保に向けた取り組み | 経済部経済振興課 | 203 |
| | | (3)雇用の確保に向けた取り組み | 経済部経済振興課 | 205 |
| 第4章　利便性のある調和のとれたまちづくり | 4-1　計画的な土地利用と市街地整備の推進 | (1)計画的な土地利用の推進 | 建設水道部都市住宅課 | 207 |
| | | (2)都市計画マスタープランの推進 | 建設水道部都市住宅課 | 209 |

| 基本目標 | 大項目 | 主要施策 | 評価担当部局 | 頁 |
|---|---|---|---|---|
| 第4章　利便性のある調和のとれたまちづくり | 4-1　計画的な土地利用と市街地整備の推進 | (3)市街地整備の推進 | 建設水道部都市住宅課 | 211 |
| | | (4)町有未利用地の有効活用 | 建設水道部建設管理課 | 213 |
| | 4-2　景観形成の推進 | (1)景観法に基づく景観計画の策定 | 建設水道部都市住宅課 | 215 |
| | | (2)景観の質の向上、保全、活用の推進 | 経済部農林課 | 217 |
| | | (2)景観の質の向上、保全、活用の推進 | 建設水道部都市住宅課 | 219 |
| | | (3)景観形成の普及・啓発などの推進 | 建設水道部都市住宅課 | 221 |
| | 4-3　道路・交通網の充実 | (1)高規格道路等の整備促進 | 総務部企画課 | 223 |
| | | (1)高規格道路等の整備促進 | 建設水道部建設管理課 | 225 |
| | | (2)町道等の生活道路の整備 | 建設水道部建設管理課 | 227 |
| | | (3)安全な道路環境の維持 | 建設水道部建設管理課 | 229 |
| | | (4)公共交通機能の強化 | 町民生活部生活課 | 231 |
| | | (5)安定した航空路線の維持・活用 | 経済部空港対策室 | 235 |
| | 4-4　情報化の推進 | (2)自治体の情報化の推進 | 総務部総務課 | 237 |
| | | (2)自治体の情報化の推進 | 町民生活部住民保険課 | 239 |
| | | (3)情報化の環境づくりの推進 | 総務部総務課 | 241 |
| | 4-5　住宅施策の推進 | (1)公営住宅の整備・維持管理の推進 | 建設水道部都市住宅課 | 243 |
| | | (3)良好な住宅地の形成 | 建設水道部都市住宅課 | 245 |
| | 4-6　公園・緑地の充実 | (1)安全・安心な公園施設整備 | 建設水道部建設管理課 | 247 |
| | | (2)緑地の適切な維持管理 | 建設水道部建設管理課 | 249 |
| 第5章　安全・安心で快適なまちづくり | 5-1　消防・防災の充実 | (1)消防・救急体制の充実 | 消防署管理課 | 251 |
| | | (1)消防・救急体制の充実 | 消防署警防課 | 253 |
| | | (2)防火体制の強化 | 消防署予防課 | 255 |
| | | (3)防災体制の強化 | 総務部総務課 | 257 |
| | | (4)地域防災力の向上 | 総務部総務課 | 259 |
| | | (5)建築物の耐震化 | 総務部総務課 | 261 |

| 基本目標 | 大項目 | 主要施策 | 評価担当部局 | 頁 |
|---|---|---|---|---|
| 第5章　安全・安心で快適なまちづくり | 5-1　消防・防災の充実 | (6)治水対策の促進 | 建設水道部建設管理課 | 263 |
| | 5-2　防犯・交通安全の充実 | (1)防犯活動の促進及び意識高揚 | 町民生活部生活課 | 265 |
| | | (2)防犯施設の整備拡充 | 町民生活部生活課 | 267 |
| | | (3)交通安全施設の設置要請強化 | 町民生活部生活課 | 269 |
| | | (4)交通安全意識の高揚 | 町民生活部生活課 | 271 |
| | 5-3　消費者対策の推進 | (1)町消費生活センターの充実 | 町民生活部生活課 | 273 |
| | | (2)町消費者協会の活動強化 | 町民生活部生活課 | 275 |
| | 5-4　環境保全の推進 | (1)環境保全推進体制の確立 | 町民生活部生活課 | 277 |
| | | (3)河川と水の保全 | 町民生活部生活課 | 279 |
| | | (3)河川と水の保全 | 町民生活部生活課 | 281 |
| | | (4)森林と緑の保全 | 経済部農林課 | 283 |
| | | (5)野生動植物の保全 | 町民生活部生活課 | 285 |
| | | (5)野生動植物の保全 | 経済部農林課 | 287 |
| | | (5)野生動植物の保全 | 教育委員会生涯学習課 | 289 |
| | | (6)地球温暖化防止対策の推進 | 町民生活部生活課 | 291 |
| | | (7)省エネルギー対策の推進 | 総務部総務課 | 293 |
| | | (8)公害防止対策の推進 | 町民生活部生活課 | 295 |
| | | (8)公害防止対策の推進 | 町民生活部生活課 | 297 |
| | 5-5　循環型社会の形成 | (1)ごみ処理・リサイクル体制の充実 | 町民生活部生活課 | 299 |
| | | (2)不法投棄対策の推進 | 町民生活部生活課 | 301 |
| | 5-6　上・下水道の再整備 | (1)安全・安心な水道水の供給 | 建設水道部上下水道課 | 303 |
| | | (2)サービスの向上 | 建設水道部上下水道課 | 305 |
| | | (3)水道施設などの維持管理・更新・再整備 | 建設水道部上下水道課 | 307 |
| | | (4)水洗化率向上に向けた啓発活動の推進 | 建設水道部上下水道課 | 309 |
| | | (5)下水道施設の維持管理・更新・再整備 | 建設水道部上下水道課 | 311 |
| | | (6)雨水対策の向上 | 建設水道部上下水道課 | 313 |

| 基本目標 | 大項目 | 主要施策 | 評価担当部局 | 頁 |
|---|---|---|---|---|
| 第5章　安全・安心で快適なまちづくり | 5-6　上・下水道の再整備 | (7)水道・下水道の災害対応 | 建設水道部上下水道課 | 315 |
| | | (8)事業経営における効率化の推進 | 建設水道部上下水道課 | 317 |
| | 5-7　衛生施設の充実 | (1)白樺斎場(火葬場)の管理運営 | 町民生活部生活課 | 319 |
| | | (2)中標津第2墓地の整備 | 町民生活部生活課 | 321 |
| 第6章　人が輝き歴史と文化を育むまちづくり | 6-1　学校教育の充実 | (1)幼児教育の充実 | 教育委員会学校教育課 | 323 |
| | | (2)社会で活きる確かな学力の育成 | 教育委員会学校教育課 | 325 |
| | | (3)豊かな心と健やかな体の育成 | 教育委員会学校教育課 | 327 |
| | | (4)信頼される学校づくりの推進 | 教育委員会学校教育課 | 329 |
| | | (4)信頼される学校づくりの推進 | 教育委員会生涯学習課 | 331 |
| | | (5)学校施設の整備・充実 | 教育委員会管理課 | 333 |
| | | (5)学校施設の整備・充実 | 教育委員会学校教育課 | 335 |
| | | (5)学校施設の整備・充実 | 教育委員会中標津農業高等学校 | 337 |
| | | (6)学校給食の充実 | 教育委員会学校給食センター | 339 |
| | | (8)教育関係団体への補助 | 教育委員会管理課 | 341 |
| | | (9)経済的負担の軽減、奨学金制度の充実 | 教育委員会管理課 | 343 |
| | | (9)経済的負担の軽減、奨学金制度の充実 | 教育委員会学校教育課 | 345 |
| | | (10)町立中標津農業高校の充実 | 教育委員会農業高校 | 347 |
| | 6-2　青少年の健全育成 | (1)青少年健全育成体制・環境の整備 | 教育委員会学校教育課 | 351 |
| | | (2)青少年の体験・交流活動の促進 | 教育委員会学校教育課 | 353 |
| | | (2)青少年の体験・交流活動の促進 | 教育委員会生涯学習課 | 355 |
| | 6-3　生涯学習の推進 | (1)生涯学習講座の充実 | 教育委員会生涯学習課 | 357 |
| | | (2)生涯学習情報の提供 | 教育委員会生涯学習課 | 359 |
| | | (3)生涯学習団体への支援 | 教育委員会生涯学習課 | 361 |
| | | (4)生涯学習関連施設の充実 | 教育委員会生涯学習課 | 363 |
| | | (5)郷土館の充実 | 教育委員会生涯学習課 | 365 |
| | | (6)家庭教育支援の充実 | 教育委員会生涯学習課 | 367 |

| 基本目標 | 大項目 | 主要施策 | 評価担当部局 | 頁 |
|---|---|---|---|---|
| 第6章　人が輝き歴史と文化を育むまちづくり | 6-4　スポーツの振興 | (1)スポーツ施設の整備充実・有効活用 | 教育委員会管理課 | 369 |
| | | (2)スポーツ団体の運営支援 | 教育委員会生涯学習課 | 371 |
| | 6-4　スポーツの振興 | (3)スポーツ指導者の養成・確保 | 教育委員会生涯学習課 | 373 |
| | | (4)スポーツ活動の普及振興 | 教育委員会生涯学習課 | 375 |
| | 6-5　文化芸術の振興 | (1)文化・芸術団体、指導者の育成 | 教育委員会生涯学習課 | 377 |
| | | (2)文化・芸術の鑑賞機会と発表機会の充実 | 教育委員会生涯学習課 | 379 |
| | | (3)文化財の保護と活用 | 教育委員会生涯学習課 | 381 |

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部企画課 | 担当課長氏名 | 七條　隆志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 協働のまちづくりの推進 |
| | 主要施策 | 1 | 中標津町自治基本条例の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 町民が主体の自治を実現することを基本理念とし、まちづくりを進める上での共通のルールとなる重要な事項を定めた「自治基本条例」が、広く町民に浸透し、まちづくりが進行していくことを目的とする。 | 自治推進会議を開催し、自治基本条例の基本原則である「情報共有」、「町民参加」、「協働」の実施状況を検証し、条例の進行管理を行う。また、定期的に自治基本条例の見直し検討を行い、社会情勢の変化に対応した条例であることを目指す。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 自治基本条例（仮称）の制定 | 制度化 単年 | 制定済 | 実績値 | 未 | 制定済 | 制定済 | 制定済 | 制定済 | 制定済 | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 323 千円 | 356 千円 | 184 千円 | 174 千円 | 161 千円 | 191 千円 |
| 事業費 | 323 千円 | 356 千円 | 184 千円 | 174 千円 | 161 千円 | 191 千円 |
| 対前年度比 | | 110.22 % | 51.69 % | 94.57 % | 92.53 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1111・1112 | 自治基本条例の推進 | 161 | 97.5% | ○ | | | | | | | | | 行政改革・協働推進係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 161 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 協働のまちづくりの推進 |
| | 主要施策 | 1 | 中標津町自治基本条例の推進 |

| 担当部・課 | 総務部企画課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・自治推進会議を2回開催（3回予定していたが、新型コロナウイルスの影響で1回中止となった。）し、その結果を町ホームページに掲載したほか、窓口・町民コーナー等に会議録を配架し広く町民が確認できるよう努めた。<br>・町広報紙にて条例の解説記事を掲載し、タイトルを親しみやすいものに見直しを図る（R1.11月号で周知）など広く町民に浸透するよう努めた。（R1＝5・9・11・12・1・3月の計6回掲載）<br>・毎年行っている町民アンケートを実施し、町民からの意見や要望を受ける機会を確保し、町民ニーズの把握を行うことができた。 |

### 2 課題

この条例がより多くの町民に浸透するよう、町広報紙にて条例の解説記事掲載をスタートしているが、委員からも町民の反響はどうなのか気になるところであり、活字だけだと中々見て頂けないことからタイトルを柔らかい表現に改めてはとの指摘を受けている。

本年度の会議の中で検討を行いタイトルの見直しを図ったところではあるが、インターネットを活用した新たな周知啓発などについても引き続き検討を行い、まずは条例を知っている町民の数を増やす工夫が必要である。

### 3 今後の方向性

条例の基本原則としての「情報共有」「町民参加」「協働」の実施状況について、条例の進行管理を行う自治推進会議とともに検証を行い、条例をより多くの町民に浸透させるための周知啓発活動について、自治推進会議の中で経費をかけずにより効果的な手法等の検討を行うとともに、ホームページの活用や広報紙の活用は、継続的な取組として実施する。

令和3年度に予定されている条例の見直し検討を見据えて会議を運営し、対話の必要性について委員内部で協議されていることから、自治推進会議と行政、議会との対話の機会についても委員と協力して具体的な検討を進めていく。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 本年度においては、条例をより身近に感じてもらうことを目的として、町広報紙への掲載タイトルの見直しや自治推進会議の委員によるSNSを活用したアンケートの実施など、「情報の共有」に向けて取り組んでいる。<br>また、自治推進会議の独自活動として「あり方会議」を別途開催する中で、原点に返った議論、勉強などに取り組み、次期条例の見直し検討に向けて一歩一歩ではあるが進んでいる。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部企画課 | 担当課長氏名 | 七條　隆志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 協働のまちづくりの推進 |
| | 主要施策 | 2 | 政策形成過程における町民の参画の推進 |
| その他関連計画等 | | 中標津町自治基本条例第7条、第9条 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 中標津町自治基本条例の基本原則の1つである「町民参加」を促し、町民との協働によるまちづくりを進めることを目的とする。 | 町内会など町民活動団体が、町民と連携して地域の中で自主的活動を進めることができる。まちづくりを目的とする政策形成過程に町民参加の機会が確保される。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 全審議会などに対する公募委員がいる審議会などの割合 | % | 単年 | 10 | 実績値 | 未 | 8.3 | 7.8 | 7.8 | 11.8 | 13.2 | |
| | ○ | 累計 | | 達成率 | | | 78.0% | 78.0% | 118.0% | 132.0% | 0.0% |
| 指標2 共催・後援事業の件数 | 件／年 | ○ 単年 | 150 | 実績値 | 103 | 116 | 104 | 109 | 99 | 集計中 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 69.3% | 72.7% | 66.0% | | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 560 千円 | 499 千円 | 499 千円 | 473 千円 | 398 千円 | 400 千円 |
| 事業費 | 560 千円 | 499 千円 | 499 千円 | 473 千円 | 398 千円 | 400 千円 |
| 対前年度比 | | 89.11 % | 100.00 % | 94.79 % | 84.14 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1121・1142・1161 | 協働推進事業 | 398 | 95% | ○ | | | | | ○ | | | | 行政改革・協働推進係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 398 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 協働のまちづくりの推進 |
| | 主要施策 | 2 | 政策形成過程における町民の参画の推進 |

| 担当部・課 | 総務部企画課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・町民意見募集制度（パブリックコメント）による令和元年度の案件3件に対して、提出意見は4件であった。<br>・各所管の協働推進事業の状況調査を行い、ホームページを活用し町民への公表を行っている。 |

### 2 課題

町民意見募集制度（パブリックコメント）や各種行政アンケート調査など、町民の意見が反映しやすいように時間的余裕やその目的をはっきり分かりやすいようにするなど、工夫が必要である。
また、各種審議会や各運営委員会などの委員構成については、町民の意見を聞き政策に反映できるよう、町民からの公募を積極的に取り入れ、公募委員のいる審議会の割合を上げていく必要がある。

### 3 今後の方向性

町民意見募集制度（パブリックコメント）については、提出意見数が少ない状況であることから、様々な媒体を活用した告知の工夫や、十分な実施期間での実施となるよう担当係との事前の連絡調整を行い、意見提出が容易に行うことができる仕組みづくりに向けて調査研究を行う。
協働推進事業状況の調査の実施及び町民への公表は、引き続き継続していく。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 「協働推進」の柱となる、より多くの町民意見の反映については、成果指標でも示されるとおり、各種審議会、運営委員会等における公募委員の導入割合が着実に増えており、町民意見募集制度（パブリックコメント）を加えた取り組みとして概ね順調に進んでいる。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部企画課 | 担当課長氏名 | 七條　隆志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 協働のまちづくりの推進 |
| | 主要施策 | 3 | 人材や組織の育成支援と多様な団体との連携の推進 |
| その他関連計画等 | | 中標津町自治基本条例第19条 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 高度化・多様化する行政ニーズに対応するための自立したまちづくりを進めていくため、より積極的な町民参画を進め、協働のまちづくりを推進する。 | 町民活動団体にNPO・NPO法人に関しての認証申請手続き等の情報の提供や必要な支援ができる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1132 | NPO・NPO法人への支援 | 0 | 75% | ○ | | | | | ○ | | | | 行政改革・協働推進係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 0 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 協働のまちづくりの推進 |
| | 主要施策 | 3 | 人材や組織の育成支援と多様な団体との連携の推進 |

| 担当部・課 | 総務部企画課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| C<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 令和元年度は具体的相談等案件は無かったが、NPO・NPO法人認証に係る事務の申請手続きに関する情報など、企画課窓口に手引きを設置し閲覧可能としているほか、町ホームページによりNPO法人に関する事項について継続して情報提供を行った。 |

### 2 課題

NPO・NPO法人認証申請手続きに関する情報提供を行っているが、具体的な相談までには至っていない。

### 3 今後の方向性

引き続き、NPO・NPO法人に関する必要な情報提供を継続していき、道からのNPO・NPO法人認証に係る事務の権限移譲に関しては、要件等再検討を行う。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 権限移譲については、現状では具体的な相談件数がないことから、今後の状況を見ながら必要性、要件等を整理のうえ検討していくしかない。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 | 担当課長氏名 | 太田　淳也 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 協働のまちづくりの推進 |
| | 主要施策 | 3 | 人材や組織の育成支援と多様な団体との連携の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 住民参加のまちづくりの推進や人材育成に関連する事業の円滑な推進を図ることを目的とする。 | 各分野における人材の育成及び町民が新たに取り組む事業など、自主的な活動を積極的に支援することによって、地域のリーダーを養成し、地域おこし活動やコミュニティ活動が活性化することを期待する。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値(R2) | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 100 千円 | 千円 | 400 千円 | 110 千円 | 280 千円 | 500 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 事業費 | 100 千円 | 0 千円 | 400 千円 | 110 千円 | 280 千円 | 500 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | 27.50 % | 254.55 % | |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1131 | フロンティア事業推進事業 | 280 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 地域振興係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　１　事業 | | 280 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 協働のまちづくりの推進 |
| | 主要施策 | 3 | 人材や組織の育成支援と多様な団体との連携の推進 |

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 本補助金の活用に対する問い合わせや相談に対して、道や他団体の類似する補助制度などと比較しながら丁寧に制度説明を行うなど、利用者の希望にあわせた補助金活用を指導するとともに、担当係員が申請者の目線で対応することで、スムーズな事務執行が行われた。令和元年度は3件で280千円の実績であった。<br>【実績】<br>・町の魅力を世界に発信する動画の作成（世界へ、の会）80千円<br>・町内外のアーティストによる音楽ライブの開催（中標津エンタメ誘致実行委員会）100千円<br>・沖縄県うるま市と町内の児童生徒の交流（中標津青年会議所）100千円 |

### 2　課題

住民参加型のまちづくりの推進や人材育成に有益な補助制度であり、モデル事業の例示や優良事例の紹介など、わかりやすく制度の周知を図り、予算の有効な活用を促す必要がある。

### 3　今後の方向性

他補助・助成事業の要件を満たさない事業の受け皿となっているため、事業の継続が必要。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | これからのまちづくりにおいては、行政と並走する民間の自主・主体的な活動が欠かせない。一方、民間個人・団体には「知恵はあるが資金がない」といった場合も多く、人材育成の観点からも資金援助としてのフロンティア補助金は有効な施策である。今後も広く周知の上積極的な活用を促すとともに、優良事例については広く周知を図る工夫も必要である。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部総務課 | 担当課長氏名 | 下村　浩次 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 協働のまちづくりの推進 |
| | 主要施策 | 4 | 協働のまちづくりに向けた情報発信の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 行政情報を分かりやすく町民に周知し、町民と行政が共通の認識を持つことで協働を進める。 | ・町民自らが行政情報を取得することで、現状や町政に対する理解が深まる。<br>・全ての町民が町の情報を取得できる手段を確立させる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 628 千円 | 470 千円 | 515 千円 | 495 千円 | 490 千円 | 470 千円 |
| 一般財源 | 18,926 千円 | 12,706 千円 | 12,937 千円 | 12,682 千円 | 12,831 千円 | 13,823 千円 |
| 事業費 | 19,554 千円 | 13,176 千円 | 13,452 千円 | 13,177 千円 | 13,321 千円 | 14,293 千円 |
| 対前年度比 | | 67.38 % | 102.09 % | 97.96 % | 101.09 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1141 | 広報中標津の発行 | 6,338 | 97.5% | ○ | | | | | | | | | 情報化推進・広報調査係 |
| 1141・4421 | ホームページの充実 | 1,897 | 90% | ○ | | | | | | | | | 情報化推進・広報調査係 |
| 1141 | 広報・広聴の充実 | 5,086 | 87.5% | ○ | | | | | | | | | 情報化推進・広報調査係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　3　事業 | | 13,321 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 協働のまちづくりの推進 |
| | 主要施策 | 4 | 協働のまちづくりに向けた情報発信の推進 |

| 担当部・課 | 総務部総務課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 広報紙においては、新聞折込の他、新聞未購読の世帯には宅配し、郡部地区には地区会長を通じて配布しており、町内全域を網羅することができている。また、広報紙のほかに、公式ホームページの開設、FMコミュニティ放送、フェイスブック、ツイッターにより情報を取得しやすい環境を整備し、町内のみならず全国各地に発信している。 |

### 2 課題

色々な情報伝達手段を用いているが、最新の情報に更新することが大切であり、情報の受け手側である町民の方々が見る、聞く、参加しなければ行政の一方的な情報発信になってしまい、情報の共有化につながらない。

### 3 今後の方向性

町民の方々と情報共有を図るため、さまざまな情報媒体を積極的に活用し、町民の方々が必要とする情報を迅速で的確に分かりやすく発信していく。また、発信手段が多種多様となっている中で、必要のある町民の方々や団体などに対し、タイムリーで必要な情報を各部署ごとに細かく発信できないか工夫する。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | ・情報発信手段については、現在までも様々な手段を取り入れているが、情報化社会が日々進展する中で、今後においても新たな情報発信手段の導入を進めていく。<br>・常に新しい情報への更新に努めるとともに、町民と相互に情報の共有ができるよう検討を進めていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部企画課 | 担当課長氏名 | 七條　隆志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 協働のまちづくりの推進 |
| | 主要施策 | 4 | 協働のまちづくりに向けた情報発信の推進 |
| その他関連計画等 | | 中標津町自治基本条例第5条、第25条 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| ・（まちづくり出前講座）町民に町政に対する理解や関心を深めてもらい、町民と行政の協働によるまちづくりを推進する。<br>・町の予算の使い道（主要施策）を説明した冊子「よくわかることしの中標津づくり」を作成し、町民に対して予算の内容を具体的に周知する。 | ・（まちづくり出前講座）より多くの町民に活用してもらい、町政に対する理解や関心を深めていただく。<br>・より分かりやすい内容でより多くの町民に情報提供し、町政についての理解・関心を深めていただく。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 518 千円 | 437 千円 | 505 千円 | 512 千円 | 525 千円 | 0 千円 |
| 事業費 | 518 千円 | 437 千円 | 505 千円 | 512 千円 | 525 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | 84.36 % | 115.56 % | 101.39 % | 102.54 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1142 | まちづくり出前講座 | 0 | 87.5% | ○ | | | | | | | | | 企画調整係 |
| 1142 | 「よくわかることしの中標津づくり」発行 | 525 | 87.5% | | | | | | ○ | | | | 企画調整係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　2　事業 | | 525 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 協働のまちづくりの推進 |
| | 主要施策 | 4 | 協働のまちづくりに向けた情報発信の推進 |

| 担当部・課 | 総務部企画課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・（まちづくり出前講座）令和元年度開催実績は63件、参加人数2,002名（前年実績は81件、2,891名）となり、前年を下回る実施回数となったが、年度末にかけての新型コロナウイルスの影響があったものである。<br>・「よくわかることしの中標津づくり」については、全戸配布を実施し、さらに公共施設窓口への配架のほか、町ホームページや公式フェイスブック・ツイッターによる周知を行い、多くの町民はもとより域外にも発信したことにより、町政についての理解・関心を深められた。〈作成部数10,700部（A4両面刷り、表紙・裏表紙のみカラー、12ページ）、配布方法、市街地（計根別市街地含む。）は新聞折込及び未購読世帯には戸別配達、郊外地は広報紙発送時に同封し全戸配布とした。〉 |

### 2 課題

・まちづくり出前講座は、概ね現状の運営方法で問題はない。ただし、新型コロナウイルスの影響により、講座の中止や開催見送りが増加するものと予想される。
・毎年配布している「よくわかることしの中標津づくり」については、掲載事業を重点的な事業に絞るなどの精査、掲載事業数の減や説明の簡略化により、冊子の読みやすさ、分かりやすさ、魅力度が落ちないよう努める必要がある。

### 3 今後の方向性

・職員による「まちづくり出前講座」については、これまでどおり町民の聞きたい、知りたい内容に対応できるよう、また魅力あるものについて検討をしていく。
・行政の情報提供として「よくわかることしの中標津づくり」は、今後とも冊子の読みやすさ、分かりやすさ、魅力度が落ちないよう工夫をしながら継続して作成していくこととするが、配布方法については全戸配布の方法など費用の面を含め再考し、効率化を図る方向で検討を進めていくこととする。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | ・「まちづくり出前講座」については、毎年、住民ニーズをはじめ、制度改正等に合わせたメニューとしており、今後においても随時検討を行いながら進めていく。<br>・「よくわかることしの中標津づくり」については、毎年、掲載内容や方法について工夫を凝らしてきているが、作成及び配布費用の面から、効率化を図る必要がある。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 農業委員会 | 担当課長氏名 | 坂井　一文 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 協働のまちづくりの推進 |
| | 主要施策 | 4 | 協働のまちづくりに向けた情報発信の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 農地法の適正な執行並びに農業委員会の諸活動等について町内農業者の理解を得ること及び周知を目的として、年2回「農業委員会だより」を発行する。 | 農地法の適正な執行及び農業委員会活動について、住民の理解が得られる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 76 千円 | 76 千円 | 76 千円 | 76 千円 | 291 千円 | 74 千円 |
| 一般財源 | 225 千円 | 225 千円 | 225 千円 | 225 千円 | 0 千円 | 222 千円 |
| 事業費 | 301 千円 | 301 千円 | 301 千円 | 301 千円 | 291 千円 | 296 千円 |
| 対前年度比 | | 100.00 % | 100.00 % | 100.00 % | 96.68 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1141 | 農業委員会だよりの発行 | 291 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 庶務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 291 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 協働のまちづくりの推進 |
| | 主要施策 | 4 | 協働のまちづくりに向けた情報発信の推進 |

| 担当部・課 | 農業委員会 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 農地法の適正な執行並びに農業委員会の諸活動等について町内農業者の理解を得ること及び周知を目的として、年2回「農業委員会だより」を発行し、本町における農業委員会活動や農業者が必要とする情報を概ね提供することができた。 |

### 2 課題

年2回の発行であるため、発行が半年に1回となり間隔が開くことから最新情報の掲載が難しく、また、8ページの中での情報量にも限りがある。

### 3 今後の方向性

年2回の発行であること及び8ページのため情報の鮮度と内容に限りがあることから、内容の更なる充実を図るとともに、ホームページ等も併用しながら定期発行により、できる限り必要な情報提供を行っていく。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**二次評価対象外**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 議会事務局 | 担当課長氏名 | ― | 調書作成日 | 令和２年 8 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ 施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 協働のまちづくりの推進 |
| | 主要施策 | 4 | 協働のまちづくりに向けた情報発信の推進 |
| その他関連計画等 | | 中標津町自治基本条例 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担 当 課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 協働のまちづくりにおける議会の役割を周知する。 | ・町民に議会を知ってもらう。<br>・議会の運営等に町民の要望、意見を取り入れる。<br>・議会報告会の出席者が増える。<br>・議会傍聴者が増える。 |

## Ⅱ 施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 2,329 千円 | 2,297 千円 | 2,337 千円 | 2,382 千円 | 2,475 千円 | 2,788 千円 |
| 事業費 | 2,329 千円 | 2,297 千円 | 2,337 千円 | 2,382 千円 | 2,475 千円 | 2,788 千円 |
| 対前年度比 | | 98.63 % | 101.74 % | 101.93 % | 103.90 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1141 | 議会の広報活動等による協働推進事業 | 2,475 | 92.5% | | | | ○ | | | | | | 総務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 2,475 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 協働のまちづくりの推進 |
| | 主要施策 | 4 | 協働のまちづくりに向けた情報発信の推進 |

| 担当部・課 | 議会事務局 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ① 議会だよりを年4回発行し、全戸配付を行った。また、ホームページにバックナンバーも含めて掲載し、議会活動の周知が図られている。 ② 議会報告会を中標津・計根別の2会場で行い、議会活動や町政に対する町民の意見や要望を汲み上げ、町民のニーズに合った課題解決や議会運営に努めた。 ③ 青年会議所と協働で高校生との意見交換会を開催し、議会活動についての理解を深めた。 ④ 29年6月から議会モニター制度を実施し、本会議や委員会の傍聴をしてもらいながら、議会運営等に提言、意見等をもらっている。本年から2期目（R1.6～R3.6）となり前回は団体推薦が半数であったが、今期は11名全員が自ら応募され、活動の活発化が期待される。 ⑤ 少人数による議員懇談会を制度化し、本年度は2回開催し、顔見知りの少人数による気安さから活発な意見交換の場となり有意義であった。 |

### 2 課題

1の達成状況のとおり毎年新しい取り組みを行い発展させてきているが、これらは議長のリーダーシップによる議会としての取り組みであるので、議会事務局が主体となることはない。このため事務事業評価は費用との比較もあり必要かと考えるが、この施策評価は馴染まないと考える。課題を上げたとしても事務局で改善できるものではない。

### 3 今後の方向性

令和2年が町議会議員の改選期であり、議長、副議長、各委員長構成等により考え方は変わることはあり得るが、現在の状況では積み上げてきた議会報告会やモニター、少人数による議員懇談会などは更に発展した形で実施されていくと考えられる。しかしながら3月定例会において新型コロナウイルス感染拡大を受けて議会モニターの傍聴（町民に傍聴の自粛要請を行った。）がなされていないので、新型コロナウイルス感染症の影響で広報広聴活動に停滞が起きる可能性がある。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 山口　修 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 2. 課題にも記載のとおり事務局が、このまま進めるとか、見直しや修正が必要だとかの評価をしたとしても、なんの効力もないことなので、この評価自体は廃止するべきで、今回から外すべきである。<br>Aとしたのは現在の議会の取り組みを継続していただきたいとの思いで記載した。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**二次評価対象外**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部企画課 | 担当課長氏名 | 七條　隆志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 協働のまちづくりの推進 |
| | 主要施策 | 6 | 町内会や企業、団体の社会貢献活動などの推進 |
| その他関連計画等 | | 中標津町自治基本条例第19条 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 中標津町自治基本条例の基本原則の1つである「町民参加」を促し、町民との協働によるまちづくりを進めることを目的とする。 | 町内会など町民活動団体が、町民と連携して地域の中で自主的活動を進めることができる。まちづくりを目的とする政策形成過程に町民参加の機会が確保される。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 社会貢献活動原材料支給制度を活用する団体数 | 団体 | ○ 単年 | 10以上 | 実績値 | 3 | 10 | 11 | 11 | 10 | 9 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 110.0% | 110.0% | 100.0% | 90.0% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 560 千円 | 499 千円 | 499 千円 | 473 千円 | 398 千円 | 400 千円 |
| 事業費 | 560 千円 | 499 千円 | 499 千円 | 473 千円 | 398 千円 | 400 千円 |
| 対前年度比 | | 89.11 % | 100.00 % | 94.79 % | 84.14 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1121・1142・1161 | 協働推進事業 | 398 | 95% | ○ | | | | | ○ | | | | 行政改革・協働推進係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 398 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 協働のまちづくりの推進 |
| | 主要施策 | 6 | 町内会や企業、団体の社会貢献活動などの推進 |

| 担当部・課 | 総務部企画課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 社会貢献活動原材料支給制度は、制度が始まった平成21年度以降、年々制度を活用する団体が増加しており、平成21年度の3団体に比べ、令和元年度は9団体が活用し、成果指標の目標値（10団体以上）には到達していないが、概ね地域の中での自主的活動の支援につながっているものと考えられ、団体の取組事例を町ホームページで公表した。 |

### 2 課題

平成21年度の制度創設以降、多くの団体が活用しており、良好な状況ではあるが、その主な活動内容として環境美化が中心となってきていることから、制度の趣旨に則り「町民生活の向上が図られる活動」、「地域における課題解決を目指す活動」、「これまでにない新たな取り組みで地域の活性化が図られる活動」、「企業、団体と町民が協働することにより事業効果が高まる活動」に取り組む企業や団体等の新たな活動の広がりに向けた検討が必要である。

### 3 今後の方向性

社会貢献活動が高まってきたことは、現在の原材料等の支給制度によるものと考えられ、一定の成果があったことは明らかであるが、町の財政状況が悪化していることなどから、支給制度に頼らない社会貢献活動推進に向けた調査研究、他の事業や制度への統合の可能性の情報収集を行い、制度廃止を含め第6期総合発展計画期間終了（令和2年度）までに今後の方向性を検討する。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 社会貢献活動原材料支給制度については、地域等における環境美化活動など一定の成果があったが、行財政健全化緊急対策方針及び令和3年度から始まる第7期総合計画に合わせた見直し・検討を進めていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | コミュニティの育成 |
| | 主要施策 | 1 | 住民自治意識の啓発と組織拡充強化 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 町民のコミュニティ活動の推進のため。 | 地域コミュニティの活性化を図る。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 まちづくり活動に参加したことがある町民の割合（町民アンケート） | % | ○ 単年 | 30 | 実績値 | | 23.6 | 32.1 | 33.8 | 28.9 | 22.3 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 107.0% | 112.7% | 96.3% | 74.3% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 6,489 千円 | 6,489 千円 | 6,489 千円 | 6,889 千円 | 6,889 千円 | 6,889 千円 |
| 事業費 | 6,489 千円 | 6,489 千円 | 6,489 千円 | 6,889 千円 | 6,889 千円 | 6,889 千円 |
| 対前年度比 | | 100.00 % | 100.00 % | 106.16 % | 100.00 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1212 | 全町内会連合会補助金 | 6,889 | 80% | ○ | | | | | | | | | 交通町民相談係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 6,889 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | コミュニティの育成 |
| | 主要施策 | 1 | 住民自治意識の啓発と組織拡充強化 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 全町内会連合会との連携により、町ホームページを活用して、機関紙の掲載や加入促進のパンフレットの掲載を行い、それにより町民に各町内会の活動内容を知らせることができた。<br>また、全町連に対する補助により、事務局運営や事業の円滑な実施を支援できた。 |

### 2 課題

高齢化が進み、町内会組織の弱体化に加え、加入率の低下は近い将来組織の維持ができなくなるとの危機感がある。
また、町内会活動の衰退は地域コミュニティの弱体化や災害、環境保全などへの対応力の低下に繋がることが懸念される。
町内会は任意団体であることから強制加入することはできないが、各町内会が考え、それぞれ魅力ある活動を展開していく必要がある。

### 3 今後の方向性

各町内会は全町内会連合会と連携して各種問題に積極的に取り組んでいく必要がある。行政も町内会活動に、災害時の対応や見守り活動などに大きな役割を期待しており、任意団体であるため加入促進については制限があるものの、地域活性化のため可能な範囲で協力をしていく。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 町内会組織の維持・活動は、最小単位の自治組織として、行政としても災害時の対応や高齢者の見守り、環境美化等に期待をしているところである。 また、地域のコミュニティ形成に重要な役割を果たしている。<br>今後も全町内会連合会との連携を強化し、魅力ある町内会の構築のために支援し、町内会加入率の向上、組織強化を目指していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部企画課 | 担当課長氏名 | 七條　隆志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | コミュニティの育成 |
| | 主要施策 | 2 | コミュニティ活動の推進 |
| その他関連計画等 | | 中標津町自治基本条例第19条 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 農村集落の中で重要な役割を担っていた小中学校の閉校に伴う記念事業や農村集落の活動100周年記念事業に対し、費用の一部を補助し、農村集落コミュニティの振興を図ることを目的とする。 | 地域コミュニティの中で町民により自主的に取り組まれる閉校記念事業や活動100周年記念事業が、円滑に実施できる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 まちづくり活動に参加したことがある町民の割合（町民アンケート） | % | ○ 単年 | 30以上 | 実績値 | － | 23.6 | 32.1 | 33.8 | 28.9 | 22.3 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 107.0% | 112.7% | 96.3% | 74.3% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 1,000 千円 | 700 千円 | 1,000 千円 | 0 千円 | 700 千円 | 0 千円 |
| 事業費 | 1,000 千円 | 700 千円 | 1,000 千円 | 0 千円 | 700 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | 70.00 % | 142.86 % | % | % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1221 | 農村集落コミュニティ振興事業 | 700 | 95% | | ○ | | | | | | | | 行政改革・協働推進係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 700 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | コミュニティの育成 |
| | 主要施策 | 2 | コミュニティ活動の推進 |

| 担当部・課 | 総務部企画課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・農村集落コミュニティ補助金交付制度により、俵橋小学校閉校記念事業に対し700,000円を交付。<br>・町民が自主的に計画立案から実施まで取り組む記念事業に対し、その費用の一部を補助するものであり、町民活動に対する支援としては効果が得られたと考える。<br>【H25開陽小学校閉校記念事業（700,000円）、H26西竹小学校閉校記念事業（700,000円）、H27開陽地区100周年記念事業（1,000,000円）、H28武佐小学校閉校記念事業（700,000円）、H29俣落地区100周年記念事業（1,000,000円）】 |

### 2 課題

学校の閉校記念については、本年度で町内の郡部小中学校全ての統廃合が完了したところであり、対象要件の一つである閉校記念事業の開催見込が無くなったため、要綱等の見直しを行い制度内容の整理を行う必要がある。また、地域の活動100周年記念についても、今後対象となる地域は限定されていると思われることから、予め記念事業を実施する時期の把握を行っておく必要がある。

### 3 今後の方向性

農村集落地区限定での事業実施であるため、事業対象地域の記念年が到達し記念事業が終了するまでは当該事業を継続し、その後は事業終了とする。
・今後、記念事業の開催が予想される地区の状況を把握し、次年度以降の実施計画を立てる。
・小中学校の統廃合が進行し、対象要件の一つである閉校記念事業の開催見込が無くなったため、要綱等の見直しを行い制度内容の整理を行う。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 事業目的である、地域が行う閉校記念事業に対する補助については、小中学校の統廃合が終了したことから要綱の見直しを行い、今後はもう一つの事業目的である地域の百周年記念事業に対応していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 | 担当課長氏名 | 太田　淳也 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | コミュニティの育成 |
| | 主要施策 | 2 | コミュニティ活動の育成 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 町民自らによる地域課題の解決や魅力ある地域づくり、ともに助け合う地域づくりを推進するとともに、町内会、ボランティア組織、NPOなど、多様な町民活動団体を支援し、自治機能の向上を図る。 | 町民自らが取り組むまちづくり活動の機会が増える。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値(R2) | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 まちづくり活動に参加したことがある町民の割合 | % | ○ 単年 | 30 | 実績値 | | 19 | 21 | 25 | 25 | 20 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 69.7% | 82.7% | 82.7% | 66.0% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 623 千円 | 623 千円 | 598 千円 | 585 千円 | 623 千円 | 623 千円 |
| 事業費 | 623 千円 | 623 千円 | 598 千円 | 585 千円 | 623 千円 | 623 千円 |
| 対前年度比 | | 100.00 % | 95.99 % | 97.83 % | 106.50 % | |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1221 | 計根別地域振興補助事業 | 623 | 80% | | ○ | | | | ○ | | | | 地域振興係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　１　事業 | | 623 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | コミュニティの育成 |
| | 主要施策 | 2 | コミュニティ活動の育成 |

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 計根別地域におけるコミュニティの活性化等を図るため、計根別同志会、計根別地域総合振興対策協議会の行う地域振興事業に補助し、地域の有志（リーダー）による積極的な活動を支援することができた。令和元年度については、当初の計画に基づき補助金の全額が執行されている。 |

### 2　課題

計根別同志会、計根別地域総合振興対策協議会が継続的に実施している事業であり、計根別地域の活性化に繋がる有益な取り組みであることから継続的な支援が必要。団体の事務担当者が多忙で、申請手続きや実績報告に遅れが見られる場面もあることから、町担当においても必要な指導や助言を行い、スムーズな事務の執行に努めたい。

### 3　今後の方向性

計根別地域におけるコミュニティの活性化に繋がる有益な事業であり継続的な支援が必要。団体と事業内容の検証を行い、より効果の高い事業について協議していきたい。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | これからのまちづくりにおいては、行政と並走する町内会を始めとした地域コミュニティによる自主・主体的な活動が欠かせない。特に計根別については独自の地域コミュニティが根付いており、育成・支援の一環として本事業は必要な施策と考えるが、補助金交付のみならず計根別地域全体の振興を担う窓口が支所機能なのか庁舎内部局なのか整理が必要と考える。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部企画課 | 担当課長氏名 | 七條　隆志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | コミュニティの育成 |
| | 主要施策 | 3 | コミュニティ活動施設の整備 |
| その他関連計画等 | | 中標津町公共施設等総合管理計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 郷土館の老朽化・狭隘化による機能強化を含めた施設の整備と、他の施設機能の併設による公共施設の集約化を図る。<br>観光・産業・防災・地域コミュニティ活動拠点・北方領土啓発などからなる多機能交流拠点施設の整備。 | 郷土館の充実による生涯学習教育の推進と、施設の集約化による公共施設等の最適な配置と効率化が図られる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 191 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 事業費 | 191 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1231 | 多機能交流拠点施設の検討 | 0 | 55% | | | | | | ○ | | | | 企画調整係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 0 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | コミュニティの育成 |
| | 主要施策 | 3 | コミュニティ活動施設の整備 |

| 担当部・課 | 総務部企画課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| C<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 具体的な検討の実施には至らず進捗していない状況であるが、教育委員会において郷土館単独整備を視野に整備手法、財源、整備場所等の検討に着手している。 |

### 2 課題

過去に建設された多くの公共施設等が、更新時期を迎えようとしている。人口動態等による公共施設等の利用需要の変化や効率的な財政運営の観点から、公共施設等の全体を把握し、長期的な視点に立って更新、統廃合、長寿命化などを計画的に行うことが必要である。

郷土館の老朽化・狭隘化や観光、まちづくり、北方領土返還運動拠点など、各分野において拠点となる施設の整備が求められている中、中標津町公共施設等総合管理計画に基づき、さらに町の自然、歴史、産業、交流をテーマに、それぞれの機能を集約した構想のとりまとめが必要であり、郷土館機能を含め集約する機能（施設）の選定や既存施設の活用などを改めて検討する必要があるが、現在の財政状況では多額の資金を投じて新たに整備することは現実的ではなく、町の施策として本当に優先度が高いものなのか方向性を見極める時期にある。

### 3 今後の方向性

教育委員会において郷土館単独整備の検討に着手していることから、多機能交流拠点施設としての整備については、次期総合計画策定に向けた検討の中で、一旦凍結することを含め庁内関係部局と調整する。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 多機能交流拠点施設については、第7期総合計画の中で再検討していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | コミュニティの育成 |
| | 主要施策 | 3 | コミュニティ活動施設の整備 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 町民のコミュニティ活動の推進のため。 | 町有会館がコミュニティ活動の拠点として適切に管理運営が行われる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 コミュニテイ施設整備数 | 箇所 | 単年 | 40 | 実績値 | 38 | 39 | 40 | 40 | 40 | 40 | |
| | | ○ 累計 | | 達成率 | | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 1,313 千円 | 1,356 千円 | 1,356 千円 | 7,683 千円 | 6,360 千円 | 1,501 千円 |
| 事業費 | 1,313 千円 | 1,356 千円 | 1,356 千円 | 7,683 千円 | 6,360 千円 | 1,501 千円 |
| 対前年度比 | | 103.27 % | 100.00 % | 566.59 % | 82.78 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1231 | 町有会館管理運営委託 | 1,487 | 80% | ○ | | | | | | | | | 交通町民相談係 |
| 1232 | 町内会館・地区会館建設工事補助金 | 4,873 | 80% | ○ | | | | | | | | | 交通町民相談係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　2　事業 | | 6,360 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | コミュニティの育成 |
| | 主要施策 | 3 | コミュニティ活動施設の整備 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 町有会館は指定管理者として、町内会所有の地域会館は運営助成金などの支出によって財政支援を行っており、地域のコミュニティ活動の場として有効活用されている。<br>平成30年度においてはまこと町内会館の新築工事に対して補助を実施し、令和元年度においては若竹へき地保健福祉館（会館台帳から既に除外済。使用していなかった）の老朽化による解体を実施した。（会館数の変動なし） |

### 2 課題

町が整備した地域会館は老朽化が進んでおり、特に郡部における地域会館は耐用年数をすでに超えており、その対策が必要である。

### 3 今後の方向性

町の施設である町有会館は、指定管理者として管理を行っている。
また、町内会の所有する地域会館は、町内会館運営助成金などの支出によって財政支援を行っている。
町内会によっては、独自の町内会館を確保していないところがあるが、今後も町内会での町内会館建設に対し建設費の一部を補助する制度を活用しコミュニティ活動の拠点として充実を図る。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 町有会館は指定管理者として、町内会所有の地域会館は運営助成金などの支出によって財政支援を行っており、地域のコミュニティ活動の場として有効活用されている。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | コミュニティの育成 |
| | 主要施策 | 4 | 多様な交流の推進によるネットワークづくり |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 町民の余暇の充実を図り、自然とふれあいの場を提供する。 | 家庭菜園を通じて、農業への関心を高め収穫の喜びを知り楽しむ等、明るい地域づくりの活動の一つとする。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

１ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 180 千円 | 170 千円 | 162 千円 | 164 千円 | 176 千円 | 300 千円 |
| 一般財源 | 262 千円 | 276 千円 | 284 千円 | 281 千円 | 267 千円 | 142 千円 |
| 事業費 | 442 千円 | 446 千円 | 446 千円 | 445 千円 | 443 千円 | 442 千円 |
| 対前年度比 | | 100.90 % | 100.00 % | 99.78 % | 99.55 % | |

３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1242 | 家庭菜園造成 | 443 | 75% | | ○ | | | | | | | | 交通町民相談係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 443 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | コミュニティの育成 |
| | 主要施策 | 4 | 多様な交流の推進によるネットワークづくり |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 町民の交流の場として家庭菜園を貸し出しているが、平成30年度については164区画のうち全体の50%にあたる82区間が利用され、令和元年度については、150区画のうち全体の58%にあたる88区画が利用されていることから、交流の場としての家庭菜園の目的は概ね達成されている。 |

### 2 課題

家庭菜園の利用者数は、近年は微増傾向ではあるが貸し出し収入だけでは造成費用を賄えない状況にある。

### 3 今後の方向性

家庭菜園について広く住民に周知し、より使いやすいよう改善し利用者の拡大を図っていく。
平成28年度から空き区画の有効利用のため複数区画の貸し出しを実施したが今後も継続する。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 都市では市民農園等の需要が増えていることもあり、家庭菜園の利用について広報を行い利用者の拡大を図り、需要に応じた施設整備を検討していく。<br>利用者の拡大を図るためには、新たに菜園に取り組みたい方へのアプローチも必要であり、1年目は無料のチャレンジ枠の設定やアドバイザーを発掘し指導する仕組みづくり等も検討する。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**利用者増に向けて積極的な展開を望む**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 | 担当課長氏名 | 太田　淳也 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | コミュニティの育成 |
| | 主要施策 | 4 | 多様な交流の推進によるネットワークづくり |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 人口減少時代の到来に備え地域活性化対策の一環として、北海道への移住を検討されている方へ、中標津町の魅力を発信するとともに、移住体験の場を提供し、定住人口及び交流人口の拡大に努める。 | 事業を通じて本町の住み易さや就業環境などについて理解を促し、都市部からの移住による定住人口の拡大や、二地域居住などを含めた交流人口の拡大を図る。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値(R2) | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 移住促進事業による移住世帯 | 世帯 | 単年 | 6 | 実績値 | 2 | 4 | 4 | 4 | 6 | 11 | |
| | | ○ 累計 | | 達成率 | | | 66.7% | 66.7% | 100.0% | 183.3% | 0.0% |
| 指標2 お試し暮らし実績 | 人 | ○ 単年 | 79 | 実績値 | 57 | 75 | 84 | 86 | 49 | 29 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 106.3% | 108.9% | 62.0% | 36.7% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 2,609 千円 | 2,670 千円 | 2,303 千円 | 1,516 千円 | 1,719 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 410 千円 | 220 千円 | 301 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 54 千円 | 137 千円 | 2,493 千円 | 2,576 千円 | 1,651 千円 | 1,380 千円 |
| 事業費 | 3,073 千円 | 3,027 千円 | 5,097 千円 | 4,092 千円 | 3,370 千円 | 1,380 千円 |
| 対前年度比 | | 98.50 % | 168.38 % | 80.28 % | 82.36 % | |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1241 | 移住促進事業対策経費 | 3,370 | 87.5% | | | | | | ○ | ○ | | | 地域振興係 |
| 4142 | | | | | | | | | | | | | |
| 4151 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　１　事業 | | 3,370 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | コミュニティの育成 |
| | 主要施策 | 4 | 多様な交流の推進によるネットワークづくり |

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 北海道移住促進協議会へ参加をし、全国に「お試し暮らし」を主体とした事業PRを実施した。<br>また、（一社）なかしべつ観光協会のネットワークを最大限活用するため、「移住・長期滞在サポート業務」を委託し「お試し暮らし」を展開している。<br>前年に引き続き、就業付き体験移住モニター事業を実施、若年者の移住に注力している。 |

### 2　課題

移住体験「お試し暮らし」は、リピーターが多く評判も良いが実移住への繋がりが難しい。就業付き体験移住モニター事業については、根室管内4町連携事業に位置付け平成29年度から実施してきたが令和元年度を以って事業期間が終了したが継続的な取り組みを行う必要がある。

### 3　今後の方向性

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴ってテレワークやワーケーションといった新たな生活様式による働き方など、移住や二地域居住などへの関心が高まっている。引き続き道や（一社）なかしべつ観光協会などと連携しながら、若年者の実移住の実現に向けた取り組みを推進するとともに、令和元年度に設立した南知床4町地域雇用創造協議会が行うUIJターンや就業体験事業などと連携を図っていく。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 移住政策は、H18年の取組開始以降、実際の移住につながったケースを含めて一定の成果を上げてきていると評価するものの、現在は一線を退いた年代世代の避暑を目的とした夏季滞在としてのリピート利用がメインとなっており、定住人口増加の政策目標に必ずしもマッチしていない。施策の主眼は働く世代の定住人口の増加であるが、そのためには雇用の場の確保と合わせた施策が必要であり、昨年度までの3か年で管内的に取り組んだ就業付き体験移住モニター事業は事業所との調整に労力を要するものの成果を予想しやすい取り組みである。さらには、上述のとおり新型コロナを契機とした地方帰住、リモートワーク、サテライトオフィスの流れを汲んだ政策との融合と、雇用創造・農業従事者確保対策等の施策との連携が必要と考える。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**実移住の施策に加え、交流人口・関係人口増加に向けた検討も必要**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部企画課 | 担当課長氏名 | 七條　隆志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 国際化、地域間交流の促進 |
| | 主要施策 | 2 | 多様な地域間交流による住民生活及び地域活性化 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 大学のゼミやサークル等の学生を積極的に本町に招き、地域課題等を学びながら住民との交流活動を通じて、次世代を担う地域の人材育成を図る。<br>平成30年11月16日に㈱北海道日本ハムファイターズと締結したパートナー協定に基づき、「スポーツ・観光・食と健康」を柱として、互いが有する特徴ある資源や取組をもって連携し、課題の解決や地域活性化につなげ、互いの発展を図ることを目的とする。（協定の有効期限：令和3年12月31日まで。） | 交流人口の増加、地域の人材育成、地域経済の活性化及び地域振興・発展、さらにはスポーツの振興、観光振興、健康増進を目指す。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 300 千円 | 500 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 389 千円 | 593 千円 |
| 一般財源 | 375 千円 | 605 千円 | 211 千円 | 166 千円 | 428 千円 | 500 千円 |
| 事業費 | 375 千円 | 605 千円 | 211 千円 | 166 千円 | 1,117 千円 | 1,593 千円 |
| 対前年度比 | | 161.33 % | 34.88 % | 78.67 % | 672.89 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1322 | 大学交流推進事業<br>※令和元年度より「魅力発信交流事業」から名称変更 | 428 | 77.5% | ○ | | | | | | | | | 企画調整係 |
| 1322 | 北海道日本ハムファイターズ連携協定事業 | 689 | 85% | | | | | | ○ | | | | 企画調整係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　2　事業 | | 1,117 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 国際化、地域間交流の促進 |
| | 主要施策 | 2 | 多様な地域間交流による住民生活及び地域活性化 |

| 担当部・課 | 総務部企画課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 本年度より「魅力発信交流事業」から「大学交流推進事業」に名称変更し、事業内容が名称から想像しやすいよう表現を改めたところである。本年度は4団体、参加学生数14人、住民交流参加数319人、北海道教育大学釧路校～キャンプを通じた障がい者福祉の発信事業、北海道大学～地域マネジメント論演習におけるフィールドワークに係る追加調査事業、旭川大学～現役看護学生との交流事業、明治大学～落語研究会による落語公演事業を実施し、活動費として交通費・宿泊費の一部を助成した。<br>パートナー協定連携事業については、ファイターズガールによるトークショー＆ダンス教室の開催、少年野球教室、球団トレーナーによる運動教室など、多くの町民の方の参加をいただいたところであり、町主催事業（330°開陽台マラソンやなかなか健康なかしべつ体力測定会など）に対し球団からのノベルティの提供を受けるなど、連携した取り組みを実施した。 |

### 2 課題

大学へのアプローチについては、職員と大学のつながりに依存している部分が大きいことから、アプローチの仕方や事業PRの手法について検討が必要である。
また、これまで参加した大学と継続した地域交流の可能性について検討するなど、より一層の交流事業の新規開拓を図る必要がある。
パートナー協定連携事業については、球団及び町内関係団体との連携体制をより深め、町民ニーズに合った事業展開を行う必要がある。

### 3 今後の方向性

事業全体の見直しを行い、根室管内で取組んでいる類似事業「インカレねむろ」事業との差別化を図り、より交流人口・関係人口の拡大に向けた取組みとなるよう、時代や町民ニーズに合致しているかなどを考慮した上で制度を構築し事業を推進していく。
パートナー協定連携事業については、町、球団及び関係団体との連携により、町内が盛り上がるような取組みを展開し、協定の有効期限到来後においても、この機会を契機に何かしらの形で継続して連携できる体制の整備ができないか検討を進める。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | ・「魅力発信交流事業」については、大学のゼミやサークルの学生を招き、地域課題等について住民との交流を通じて、次世代を担う人材育成を目的として行ってきたが、本年度より、交流人口・関係人口の拡大を主目的とした「大学交流推進事業」へと変更したところであり、引き続き大学生の誘致を進めていく。<br>・日本ハムファイターズとのパートナー協定連携事業については、コロナ禍での連携事業実施が難しい状況となっているが、この期間の協定期間延長を含めて、その後の連携体制についても継続できるよう進めていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 | 担当課長氏名 | 太田　淳也 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり | |
| 大　項　目 | 3 | 国際化、地域間交流の促進 | |
| 主要施策 | 2 | 多様な地域間交流による住民生活及び地域活性化 | |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり | 1 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 3 | 国際化、地域間交流の促進 | 3 国際化、地域間交流の促進 |
| | 1 | 国際交流体験による人材育成 | 3 東京中標津会、札幌中標津会との交流の推進 |
| 担　当　課 | 経済振興課 | | 経済振興課 |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 友好都市である川崎市とは、それぞれの地域の特性を生かした、個性的で魅力的なまちづくりと住民福祉の向上を図るため、文化・教育・産業・経済・労働・スポーツなど様々な分野での交流を通じて、住民相互の理解と親睦を深めることにより、両自治体の信頼と友好の絆が固く結ばれる。 | 首都圏で展開している産業・企業の誘致や人的交流を図るための情報交換がしやすくなる環境。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値(R2) | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 川崎市との交流事業 | 年／人 | ○ 単年 | 112 | 実績値 | | 106 | 104 | 74 | 65 | 調査中 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 92.9% | 66.1% | 58.0% | | 0.0% |
| 指標2 東京中標津会の会員数 | 人 | ○ 単年 | 300 | 実績値 | 257 | 260 | 262 | 260 | 292 | 309 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 87.3% | 86.7% | 97.3% | 103.0% | 0.0% |
| 指標3 札幌中標津会の会員数 | 人 | ○ 単年 | 450 | 実績値 | 480 | 406 | 404 | 410 | 405 | 350 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 89.8% | 91.1% | 90.0% | 77.8% | 0.0% |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 1,794 千円 | 1,439 千円 | 2,103 千円 | 1,632 千円 | 1,651 千円 | 1,621 千円 |
| 事業費 | 1,794 千円 | 1,439 千円 | 2,103 千円 | 1,632 千円 | 1,651 千円 | 1,621 千円 |
| 対前年度比 | | 80.21 % | 146.14 % | 77.60 % | 101.16 % | |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1321 | 地域間交流事業 | 1,651 | 85% | | ○ | | | | ○ | | | | 地域振興係 |
| 1322 | | | | | | | | | | | | | |
| 1331 | | | | | | | | | | | | | |
| 3362 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　１　事業 | | 1,651 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 国際化、地域間交流の促進 |
| | 主要施策 | 2 | 多様な地域間交流による住民生活及び地域活性化 |

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br><br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 【友好都市交流】<br>・川崎ジュニア文化賞中標津訪問団の受入<br>・かわさき市民まつり参加<br><br>【東京・札幌中標津会】<br>・総会、交流会への参加、北海道産直フェアや北方領土返還要求関連事業、会報の発行など活動支援 |

### 2　課題

友好都市との交流を推進したいところではあるが、川崎市側が予算の削減を理由に交流事業については縮小傾向にある（令和2年度：教育委員会生涯学習事業終了）

ふるさと会会員の減少や高齢化については、事務局と相談しながら改善方法を模索しているが解決策が見出せていない。現状の活動を維持していくことを優先している。

### 3　今後の方向性

地域間交流を行う上で、友好都市・川崎市と東京・札幌中標津会と良好な関係を構築することは重要であり、また、町をPRする良い機会となっているが、マンネリ化も進んでおり、内容や実施方法については相手方とも相談しながら検討しなければならない。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br><br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 人口減少が進む中、空港を生かした人・物・サービスの幅広い地域間交流は、本町の魅力・情報の発信と交流人口の増加につながる重要な施策であるが、財政の縮小と交流事業の形骸化を要因に規模が縮小傾向にある。友好都市川崎市との交流も同様であるが、将来の交流につながる児童生徒の受入れは引き続き取り組むべき施策と考える。札幌・東京のふるさと会については、それぞれの会員の高齢化もあって活動の維持も苦労されているようであるが、故郷を想い本町の応援大使的な役割を果たしてくれている両会への関りはもっと意識しなければならないと考える。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**友好都市川崎市との関係は、事業やイベントの関わりだけではなく、行政間で業務のノウハウを学ぶことも模索してはどうか**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部農林課 | 担当課長氏名 | 中野　康志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 国際化、地域間交流の促進 |
| | 主要施策 | 2 | 多様な地域間交流による住民生活及び地域活性化 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 北方領土の返還協議が進展しない現状において、漁民の安全と権益を確保するため、四島周辺海域における安全操業にかかる具体的対応を協議し、円滑な操業の実現を目指す。 | 北方領土周辺海域における安全操業。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 137 千円 | 137 千円 | 137 千円 | 137 千円 | 137 千円 | 137 千円 |
| 事業費 | 137 千円 | 137 千円 | 137 千円 | 137 千円 | 137 千円 | 137 千円 |
| 対前年度比 | | 100.00 % | 100.00 % | 100.00 % | 100.00 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1641･1322 | 北方四島周辺海域操業対策協議会負担金 | 137 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 137 | | | | | | | | | | | |

令和２年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大項目 | 3 | 国際化、地域間交流の促進 |
| | 主要施策 | 2 | 多様な地域間交流による住民生活及び地域活性化 |

| 担当部・課 | 経済部農林課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### １ 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 負担金であり、協議会としての事業計画は概ね推進されている。 |

### ２ 課題

### ３ 今後の方向性

### ４ 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 本町は、空港や商業を始め根室管内市町との経済的な関係も大きく、地域間交流による地域活性化は重要な施策である。北方領土返還交渉や管内の漁業環境が厳しい中、引き続き関係機関・団体との連携のもと本事業を進める必要がある。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### １ 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### ２ 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部企画課 | 担当課長氏名 | 七條　隆志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 北方領土対策の推進 |
| | 主要施策 | 1 | 北方領土問題の啓発と意識の喚起 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 北方領土問題に対する町民の理解と関心を高める。 | 町民一人ひとりが北方領土問題に関心を持ち、身近な問題として認識すること。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 返還に向けての喚起運動参加者 | 人／年 | ○ 単年 | 160 | 実績値 | 147 | 158 | 147 | 145 | 128 | 137 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 91.9% | 90.6% | 80.0% | 85.6% | 0.0% |
| 指標2 返還署名人数 | 人／年 | ○ 単年 | 2,900 | 実績値 | 1,864 | 2,865 | 3,224 | 2,966 | 2,433 | 2,289 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 111.2% | 102.3% | 83.9% | 78.9% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 800 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 412 千円 | 344 千円 | 千円 | 362 千円 | 873 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 529 千円 | 589 千円 | 610 千円 | 716 千円 | 484 千円 | 452 千円 |
| 事業費 | 941 千円 | 933 千円 | 610 千円 | 1,078 千円 | 2,157 千円 | 452 千円 |
| 対前年度比 | | 99.15 % | 65.38 % | 176.72 % | 200.09 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1411・1412・1421・1423 | 北方領土返還運動啓発事業（返還運動団体等への参加及び協力） | 2,157 | 77.5% | ○ | ○ | | | | ○ | | | | 北方領土対策係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 2,157 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 北方領土対策の推進 |
| | 主要施策 | 1 | 北方領土問題の啓発と意識の喚起 |

| 担当部・課 | 総務部企画課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 国・道・返還運動関係団体との連携のもと、根室管内1市4町で組織する「北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会（北隣協）」を中心として、啓発運動、返還要求署名活動など、北方領土に隣接した市町が一体で返還運動に向けて取り組んでいる。具体的には、北隣協事業（歩こう会、中央アピール行動等）への参加や北方領土問題対策協会事業（全国都道府県・政令指定都市北方対策主管課長会議）への参加協力、千島歯舞諸島居住者連盟中標津支部との協働による返還要求署名活動やパネル展に取り組み、冬まつりで独自事業を実施したことにより事業参加者数は微増となったものの、平成28年度より中標津空港観光案内所へ署名簿を設置するなどの対策を行っているが、返還要求署名数は3年連続下回る結果となった。<br>本年度においては、さらなる啓発活動の推進のため、根室中標津空港ビル株式会社と連携し、空港ビル内に中標津空港周辺や国後島への飛行・着陸を体験できるフライトシミュレーターを導入し、北方領土や郷土への関心を高めるための体験施設整備を行った。 |

### 2 課題

国において進めている平和条約締結に向けた交渉、共同経済活動の先行きが不透明の中、元島民の方々の高齢化が一層進み、これからの返還運動を担っていく後継者の育成が急務となっている。

### 3 今後の方向性

元島民の方々の高齢化に伴い、次世代の子どもたちに対して北方領土問題を理解してもらうため、啓発資材等を活用し啓発活動に取り組んでいくこととし、本年度空港ビル内に整備したフライトシミュレーターの活用や、初めて実施した冬まつりでの独自イベントなど新たな試みを模索しつつ、これまで同様の取り組みも根強く継続し返還運動の気運を高めていく。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 元島民の方々の高齢化に伴い、成果指標である返還運動参加者及び署名人数も伸び悩んでいる状況にあり、これからの返還運動を担っていく後継者の育成ため、空港に設置したフライトシミュレーターの活用や独自イベント等により、返還運動の気運を高めていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部企画課 | 担当課長氏名 | 七條　隆志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 北方領土対策の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 北方領土返還運動の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 官民一体となった北方領土問題啓発活動を展開し、住民意識の高揚を図る。 | 町補助金を有効活用した返還要求運動の推進と啓発活動の実施。その結果として、北方領土問題に対する住民意識が高揚すること。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 270 千円 | 270 千円 | 270 千円 | 270 千円 | 270 千円 | 270 千円 |
| 事業費 | 270 千円 | 270 千円 | 270 千円 | 270 千円 | 270 千円 | 270 千円 |
| 対前年度比 | | 100.00 % | 100.00 % | 100.00 % | 100.00 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1422 | 北方領土返還運動団体補助金 | 270 | 90% | ○ | | | | | | | | | 北方領土対策係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 270 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 北方領土対策の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 北方領土返還運動の推進 |

| 担当部・課 | 総務部企画課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 北方領土返還要求運動の推進と北方四島との交流事業を行っている団体に対し、補助金を交付することにより、地域における幅広い返還運動の推進を図った。<br>返還要求運動事業として、署名活動やなかしべつ夏祭りの際に住民大会を実施し、住民意識の高揚が図られている。 |

### 2 課題

会員の方々の高齢化が一層進んでおり、会員数の減少に対する対策やさらなる後継者の育成が急務となっている。

### 3 今後の方向性

今後とも、千島歯舞諸島居住者連盟（中標津支部）と連携し、国が取り組んでいる平和条約締結に向けた交渉、共同経済活動など、返還交渉について協力をしていく。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 返還運動の推進や啓発活動をはじめ共同経済活動の推進等においては、千島歯舞諸島居住者連盟中標津支部との連携、協力は不可避であり、今後とも一定の支援、協力が必要である。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部企画課 | 担当課長氏名 | 七條　隆志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 北方領土対策の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 交流事業の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| ・北方領土問題の解決に向けた環境整備。<br>・ロシアとの平和条約締結交渉の促進に向けた環境整備。 | ・北方四島在住ロシア人との交流を通じ、相互理解と友好を深め、北方領土問題解決に向けた環境整備に寄与する。<br>・外務省、町立中標津病院等の関係機関と連携し、適切な検査や治療を受ける環境を整える。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 北方四島ロシア人との交流事業参加者 | 人／年 | ○ 単年 | 65 | 実績値 | 94 | 83 | 97 | 100 | 94 | 118 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 149.2% | 153.8% | 144.6% | 181.5% | 0.0% |
| 指標2 北方領土問題を身近な問題として感じている町民の割合（町民アンケート） | % | ○ 単年 | 80.0 | 実績値 | － | 55.4 | 59.6 | 53.8 | 62.1 | 55.0 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 74.5% | 67.3% | 77.6% | 68.8% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 3,884 千円 | 7,138 千円 | 6,794 千円 | 4,581 千円 | 8,793 千円 | 13,151 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 84 千円 | 114 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 48 千円 | 107 千円 | 86 千円 | 76 千円 | 87 千円 | 112 千円 |
| 事業費 | 4,016 千円 | 7,359 千円 | 6,880 千円 | 4,657 千円 | 8,880 千円 | 13,263 千円 |
| 対前年度比 | | 183.24 % | 93.49 % | 67.69 % | 190.68 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1431 | 北方四島ビザなし交流事業 | 87 | 85% | ○ | | | | ○ | | | | | 北方領土対策係 |
| 1433 | 北方四島医療支援事業 | 8,793 | 97.5% | ○ | | | | | | | | | 北方領土対策係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　2　事業 | | 8,880 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 北方領土対策の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 交流事業の推進 |

| 担当部・課 | 総務部企画課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 国や道・関係団体との連携のもと「北方四島ビザなし交流事業」の推進と人道的支援として「北方四島医療支援事業」などにより、交流事業を通してお互いのことを理解しあえるように努めた。<br>（北方四島交流北海道推進委員会等が主催する訪問事業及び受入事業の実施）<br>・訪問事業：元島民や返還要求運動関係者、青少年の北方四島訪問（17名）<br>・受入事業：北方四島在住ロシア人を受入し、ホームビジットや住民交流会などを実施（18名受入）<br>町立中標津病院にて受け入れた北方四島在住ロシア人患者に対し、根室港までの送迎や入院期間中の通訳確保など、支援業務を実施。中標津町～4回、計6名の受入 |

### 2 課題

北方領土（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）との訪問交流については、国・道が行う事業に参加しているため、決められた訪問枠人数や日程の範囲内のため限定されている。
医療支援については、受入医療機関の体制もあるので、受入患者の選定通知の迅速化を国に要望している。

### 3 今後の方向性

友好交流事業については、今後とも積極的に参加していく。
政府方針に基づき、北方四島交流北海道推進委員会及び北方領土問題対策協会が主催する四島交流事業に対し、北方領土隣接地域の自治体として主体的に取り組むとともに、四島住民と町民が直接交流する四島交流事業については、町民が事業協力し易いプログラムの検討を行い、効果的な事業展開を目指す。（道の墓参団訪問、北方四島交流北海道推進委員会のビザなし交流、千島歯舞諸島居住者連盟が委託され行っている自由訪問など、各団体と連携し、交流事業による相互理解と友好を深めていく。）
医療支援については、平和条約締結交渉促進に向け、外務省、受入医療機関等と連携し適切な検査や治療を受けられる環境を維持し、改善点等について検討協議会において協議し、その結果の沿った見直し等に取り組む。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | ・友好交流事業については、隣接地域として主体的、積極的に取り組んでいく。<br>・医療支援事業については、平和条約締結に向けた人道支援の観点から維持、継続して受け入れていくが、現行の改善点等について見直しを進めていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 5 | 人権尊重と男女共同参画社会の形成 |
| | 主要施策 | 1 | 人権教育、人権啓発の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 人権尊重思想の普及高揚を図る。 | 地域住民に人権問題に対する正しい認識を広める。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 682 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 87 千円 | 95 千円 | 95 千円 | 40 千円 | 90 千円 | 60 千円 |
| 事業費 | 87 千円 | 95 千円 | 95 千円 | 722 千円 | 90 千円 | 60 千円 |
| 対前年度比 | | 109.20 % | 100.00 % | 760.00 % | 12.47 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1511 | 地域人権啓発活性化事業 | 90 | 80% | ○ | | | | | | | | | 交通町民相談係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 90 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 5 | 人権尊重と男女共同参画社会の形成 |
| | 主要施策 | 1 | 人権教育、人権啓発の推進 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 本町の6名の人権擁護委員を中心に、人権教室の開催、人権の花運動、人権啓発活動や人権相談などを実施した。 |

### 2 課題

人権擁護委員は、人権啓発活動や人権相談を中心にその役割を果たしてきたが、人権問題が複雑化し、また、新たな人権課題が生起する中で、特定の人権課題や法律、心理等特定の領域に専門性を有する人権擁護委員の充実強化も必要である。
人権擁護委員には、人権救済等に必要な専門性や経験が求められているため、人権擁護委員の使命・職務に関する規律、各種人権課題の状況、関係機関に関する基礎的知識や、啓発、相談、人権侵害事案の把握に関する知識を修得する必要があり、現状では活動の実効性にも限界がある。
また、人権擁護委員の存在が町民の間に周知されておらず、人権相談等が十分利用されていない。

### 3 今後の方向性

人権擁護活動の主体となっている人権擁護委員をはじめ関係機関や民間団体などと連携し、早期に子どもや高齢者への虐待、配偶者等への暴力などの被害の発見や助言に取り組むことが必要であり、継続して推進していくことが重要である。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | いじめ、子どもや高齢者、障がい者に対する虐待、配偶者等への暴力、LGBTへの偏見といった問題を解決するため、人権教育、人権啓発の推進は大変重要である。<br>今後も人権擁護委員をはじめ関係機関や民間団体などと連携して推進していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部企画課 | 担当課長氏名 | 七條　隆志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 5 | 人権の尊重と男女共同参画社会の形成 |
| | 主要施策 | 2 | 男女共同参画に関する啓発などの推進 |
| その他関連計画等 | | 中標津町自治基本条例第7条 | |
| その他関連施策 | | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | | 5 | 人権の尊重と男女共同参画社会の形成 |
| | | 3 | 女性の社会参加の促進 |
| 担　当　課 | | 企画課 | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 男女雇用機会均等法や女性の職業生活における活躍の推進に関する法律等の施行を契機に、今後、男性・女性といった性別に関係なく、個々人の感性や能力を最大限に活用し、多様な場面に参画していくための条件整備が進むことを目的とする。 | 男女共同参画についての理解が進み、個人、家庭、職場、地域のそれぞれの社会の中で意識が高まる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 審議会などに占める女性の割合 | % | ○ 単年 | 30 | 実績値 | 14.7 | 16.2 | 13.8 | 13.4 | 15.2 | 15.3 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 46.0% | 44.7% | 50.7% | 51.0% | 0.0% |
| 指標2 町職員における女性管理職登用の割合 | % | ○ 単年 | 20 | 実績値 | 15.7 | 14.3 | 15.7 | 16.7 | 17.9 | 17.9 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 78.5% | 83.5% | 89.5% | 89.5% | 0.0% |
| 指標3 男女が平等に参加できる社会の仕組みになってきていると感じる割合（町民アンケート） | % | ○ 単年 | 60 | 実績値 | － | 52.7 | 51.2 | 50.3 | 52.3 | 48.8 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 85.3% | 83.8% | 87.2% | 81.3% | 0.0% |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1521・1531・1532 | 男女共同参画に関する住民意識の啓発 | 0 | 77.5% | | | | | | ○ | | | | 行政改革・協働推進係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 0 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 5 | 人権の尊重と男女共同参画社会の形成 |
| | 主要施策 | 2 | 男女共同参画に関する啓発などの推進 |

| 担当部・課 | 総務部企画課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| C<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 男女共同参画及び女性の社会参加に関するパンフレット、ポスター等の掲示や男女共同参画ネットワーク登録団体への情報発信を行っている。 |

2 課題

国や道が進める条例の制定や個別計画の策定までには至っていない。

3 今後の方向性

現段階では男女共同参画基本法について、町民、企業、団体の理解が浸透するよう、また、町民の意識の高揚に向けて啓発活動をさらに進め、条例の制定や個別計画の策定を目指すことは重要と考えるも、次期総合計画において男女共同参画の施策の位置づけをどのようにするかを含め検討を行う。

4 施策の進め方の評価　　**※部長職による評価欄**

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 第7期総合計画の中で、男女共同参画に関する方針及び実施方法等を明確にしていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

**女性の働き方、各団体への参画状況等について調査を行い、傾向を把握する必要がある**

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部企画課 | 担当課長氏名 | 七條　隆志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 5 | 人権の尊重と男女共同参画社会の形成 |
| | 主要施策 | 2 | 男女共同参画に関する啓発などの推進 |
| その他関連計画等 | | 中標津町自治基本条例第7条 | |
| その他関連施策 | | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | | 5 | 人権の尊重と男女共同参画社会の形成 |
| | | 3 | 女性の社会参加の促進 |
| 担　当　課 | | 企画課 | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| | |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標4 女性の相談窓口があることを知らない町民の割合（町民アンケート） | % | ○ 単年 | 50 | 実績値 | － | 未調査 | 82.1 | 74.5 | 82.4 | 80.2 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 164.2% | 149.0% | 164.8% | 160.4% | |
| | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事　務　事　業　名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A B C D E F G H I | 担　当　係 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 合計　事業 | | 0 | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 5 | 人権の尊重と男女共同参画社会の形成 |
| | 主要施策 | 2 | 男女共同参画に関する啓発などの推進 |

| 担当部・課 | 総務部企画課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | |

2 課題

3 今後の方向性

4 施策の進め方の評価　　**※部長職による評価欄**

| 担当部長氏名 | |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部総務課 | 担当課長氏名 | 下村　浩次 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 計画的な行政経営の推進 |
| | 主要施策 | 1 | 効率的・効果的な行政経営（行政改革の推進） |
| その他関連計画等 | | 中標津町第5次定員管理計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 少子高齢化による働き手の不足が目立つ現状の中で地方分権時代にふさわしい自治体運営が求められており、限られた経営資源を最大限に有効活用した効率的・効果的な行政運営を実行するための組織機構や経営の仕組を構築し、電算システムの導入により最小の経費で最大の効果を上げる。 | ・成果指標の目標である人口1,000人当たり職員数10人以下の中で効果的・効率的な職員体制を構築する。<br>・行政システムの強化と効率的な運用を図り、経費節減を図る。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 職員数（人口1，000人当り） | 人 | ○ 単年 | 10.00 | 実績値 | 10.58 | 9.60 | 10.41 | 10.98 | 10.14 | 10.05 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 104.1% | 109.8% | 101.4% | 100.5% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 41,626 千円 | 40,164 千円 | 40,562 千円 | 43,195 千円 | 44,343 千円 | 43,178 千円 |
| 事業費 | 41,626 千円 | 40,164 千円 | 40,562 千円 | 43,195 千円 | 44,343 千円 | 43,178 千円 |
| 対前年度比 | | 96.49 % | 100.99 % | 106.49 % | 102.66 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1612・1614 | 定員管理と組織機構の見直し | | 80% | | ○ | | | | ○ | | | | 職員係 |
| 1616 | 自治体情報システム協議会負担金 | 29,177 | 85% | ○ | | | | | | | | | 情報化推進・広報調査係 |
| 1616 | IDC運用経費 | 9,215 | 87.5% | ○ | | | | | | | | | 情報化推進・広報調査係 |
| 1616 | 中標津町情報ネットワーク運営 | 5,817 | 85% | ○ | | | | | | | | | 情報化推進・広報調査係 |
| 1616 | 総合行政ネットワーク（LGWAN）運営 | 134 | 90% | ○ | | | | | | | | | 情報化推進・広報調査係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　5　事業 | | 44,343 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 計画的な行政経営の推進 |
| | 主要施策 | 1 | 効率的・効果的な行政経営（行政改革の推進） |

| 担当部・課 | 総務部総務課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 東日本大震災で問題となった情報の喪失や情報漏えいなど、適正なデータ処理、管理、操作の容易性、耐久性などの面からIDC方式への移行を行い、運用管理の適正化が図られている。<br>マイナンバー制度の導入に伴い、セキュリティの強化を図ったことにより、さらに強靭なシステム環境が構築されている。<br>定員管理については、町民ニーズの多様化や地方分権の進展による自己決定、自己責任が求められる中で目標値の達成は難しい状況にあるが、「第5次中標津町定員管理計画」に基づく適正な職員数確保及び職員配置に努め、行政サービスの維持向上を図っている。 |

### 2 課題

地方分権による事務の権限移譲や自己決定・自己責任による主体的な行政運営への移行などにより、目標値（人口1,000人当りの職員数10人）の達成は限界にきている。
公務員志望者の減少、特に技術職の人材確保が喫緊の課題である。
業務基幹システム及び関連システムに係る保守・サポート・システム改修など、共同利用につき経費の削減が図られているが、共同開発のため、独自のカスタマイズ等が不可能であり、業務体系の改善が必要となる場合がある。

### 3 今後の方向性

職員数の適正管理においては、「第5次定員管理計画」が令和2年度で終了するため、更なる地方分権の進展や事務の権限委譲などを見据えて組織機構の見直しを含めて、新たな定員管理計画を策定し、適正な職員配置を進めていく。
職員採用試験の実施方法や募集案内を見直し、より多くの受験者を確保する。
行政システムの運用管理は、日々進歩し続けるICT技術への適正な対応を図るとともに、行政サービスのデジタル化に向けた研究・開発を進めていく。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | ・成果指標である人口千人当たり10人の職員数については、概ね達成できてはいるが、現在の業務体制の中では限界にきており、今後事務事業の内容等を含めて組織機構の見直しに取り組んでいく。<br>・今回の新型コロナウイルス感染症の拡大等により、より一層の行政のICT化、さらにはAI化に向けた検討を進めていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部企画課 | 担当課長氏名 | 七條　隆志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 計画的な行政経営の推進 |
| | 主要施策 | 1 | 効率的・効果的な行政経営（行政改革の推進） |
| その他関連計画等 | | 中標津町自治基本条例第33条 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| ・事務権限移譲は、町民サービスの向上の視点から、本町での移譲の可能性について検討し、権限・事務の精査も併せて行う。<br>・依然として厳しい財政状況の中、平成30年度から3年間を新たな推進期間として「中標津町行財政健全化緊急対策方針」を策定し、効果的効率的な自立性の高い行政経営の確立を目指す。<br>・総合発展計画の実施計画に示された事務事業・施策について、必要性、有効性、効率性その他必要な観点からの評価を行い、検証された課題や今後の方向性を次年度以降の事務事業や施策に反映させる。 | ・効率的な行政事務の実施が可能となり、町民サービスの向上につながる。<br>・総合発展計画の実施計画に示された事務事業・施策について、内部評価及び外部評価を行い、そこから検証された課題や今後の方向性を次年度以降の事務事業や施策に反映させる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 行政改革の効果額 | 千円 | ○ 単年 | 100,000 | 実績値 | 313,977 | 61,847 | 103,752 | 67,691 | 38,903 | 集計中 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 103.8% | 67.7% | 38.9% | | 0.0% |
| 指標2 役場の窓口はわかりやすく、利用しやすいと感じる町民の割合（町民アンケート） | % | ○ 単年 | 70 | 実績値 | － | 54.8 | 54.5 | 53.8 | 59.4 | 61.7 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 77.9% | 76.9% | 84.9% | 88.1% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 647 千円 | 203 千円 | 197 千円 | 189 千円 | 3,635 千円 | 5,849 千円 |
| 事業費 | 647 千円 | 203 千円 | 197 千円 | 189 千円 | 3,635 千円 | 5,849 千円 |
| 対前年度比 | | 31.38 % | 97.04 % | 95.94 % | 1923.28 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1613 | 事務・権限移譲推進事業 | 0 | 87.5% | ○ | | | | | ○ | | | | 行政改革・協働推進係 |
| 1611・1612 | 中標津町行政改革 | 0 | 87.5% | | | | | | ○ | | | | 行政改革・協働推進係 |
| 1615 | 総合発展計画行政評価（内部評価） | 0 | 92.5% | ○ | | | | | ○ | | | | 行政改革・協働推進係 |
| 1615 | 総合発展計画行政評価（外部評価） | 611 | 92.5% | ○ | | | | | ○ | | | | 行政改革・協働推進係 |
| 1615 | 中標津町総合発展計画・実施計画策定事務 | 3,024 | 72.5% | | | | | | ○ | | | | 企画調整係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　5　事業 | | 3,635 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 計画的な行政経営の推進 |
| | 主要施策 | 1 | 効率的・効果的な行政経営（行政改革の推進） |

| 担当部・課 | 総務部企画課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| C<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・行財政健全化緊急対策方針に基づく具体的な事業見直しのため、「予算主要施策事業（経費）の次年度事業区分の取りまとめ」により事務事業の見直しに取り組み、事業の廃止・縮減等を図ったが、目標とする「収支均衡による財政運営」には至らなかった。<br>・令和2年度を以て終了となる現行の「第6期総合発展計画」の次期計画となる「（仮称）第7期総合計画」の策定に着手したところであったが、新型コロナウイルスの影響により各種会議が開催できないなど、策定作業がストップしてしまい、予定どおり計画策定が進められるか見通しが立たない状況である。 |

### 2 課題

これまでの担当課による事務事業の見直しは、課題の検討を先送りする傾向にあり、事業の統合･廃止に向けた実効性が低かった。また、健全化に取り組む姿勢に各部（各課・担当者）でバラつきが見られることから、今後はトップダウンによる実効性のある事業の見直しが必要である。

また、次期総合計画の始期となる令和3年度予算編成に向けて、全庁的な補助金の見直しが必要であるとともに、新たな経営戦略プランの検討を進める必要がある。

### 3 今後の方向性

行財政健全化緊急対策方針が次年度で終了となることから、財政健全化に向けた事業見直しの具体的方策、全庁的な補助金見直し方針、機構改革を含めた新たな経営戦略プランなどの検討を進め、第8次行政改革大綱の策定を行う。

また、新型コロナウイルスの影響を受け策定作業が遅延している「（仮称）第7期総合計画」については、策定作業が再開できる見込みが立たないものの、再開できるタイミングを見極め、その時点で考えられる最善のスケジュールに組み直し作業に当たることとする。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | ・行政評価については、内部評価、外部評価とも定着化が図られており、最終的な総合評価の次年度予算等への反映に向けて進めていく。<br>・危機的な財政状況からの脱却に向けて、行財政改革を断行していく。<br>・第7期総合計画の策定については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大幅なスケジュールの遅れとなっているが、まちづくり町民会議をはじめ審議会、議会などとの調整を行い、今後のまちづくりの基本方針として早期の策定を進めていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**費用対効果など現状を把握したうえで、常に改革の意識をもって継続して取り組みを強化する必要がある**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部　財政課 | 担当課長氏名 | 続　　隆 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　１　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 計画的な行政経営の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 健全な財政運営の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 財政状況が厳しさを増すなか、適正かつ効率的な財政運営を行うため、町の財政状況を町民に正しく理解してもらう。 | わかりやすい情報を町民へ提供し、現状を理解していただくことで、町税等の使い道を知るなど行政の仕組みを理解し、納税の意義を理解していただくとともに、今後のまちづくりのための意見をいただくなど、施策実行の一助とする。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標１ 将来負担比率（町の借入金等の残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示す。） | % | ○ 単年 | 62.8 | 実績値 | 65.7 | 49.5 | 74.6 | 83.7 | 87.5 | 95.6 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 118.8% | 133.3% | 139.3% | 152.2% | 0.0% |
| 指標２ 実質公債費比率（町の借入金等の返済額を指標化し、資金繰りの程度を示す。） | % | ○ 単年 | 10.9 | 実績値 | 14.6 | 8.6 | 8.9 | 10.5 | 11.9 | 13.2 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 81.7% | 96.3% | 109.2% | 121.1% | 0.0% |
| 指標３ 自主財源比率（歳入に占める町税等自主財源の割合を指標化し、財政の安定性の程度を示す。） | % | ○ 単年 | 33.4 | 実績値 | 28.9 | 28.7 | 28.9 | 31.7 | 32.3 | 32.4 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 86.5% | 94.9% | 96.7% | 97.0% | 0.0% |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 153 千円 | 2,094 千円 | 1,377 千円 | 1,480 千円 | 1,315 千円 | 1,184 千円 |
| 事業費 | 153 千円 | 2,094 千円 | 1,377 千円 | 1,480 千円 | 1,315 千円 | 1,184 千円 |
| 対前年度比 | | 1368.63 % | 65.76 % | 107.48 % | 88.85 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1623 | 住民にわかりやすい財政状況の公表 | 1,315 | 90% | | ○ | | | | ○ | | | | 財政係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 1,315 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 計画的な行政経営の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 健全な財政運営の推進 |

| 担当部・課 | 総務部　財政課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 「広報紙」、「ホームページ」を活用した財政状況の公表や、「よくわかることしの中標津づくり」の全戸配布などにより、町民や議会に対し、本町の財政状況に係る情報を積極的にわかりやすく発信し公表することで、財政の透明性が高められている。<br>また、健全化判断比率等の指標の公表により、現在の財政状況を的確に把握することができ、現状の課題を認識したうえで、今後に向けた対策をすることができる。 |

### 2 課題

健全財政の判断基準となる3つの指標中、実質公債費比率及び将来負担比率は、過去に実施した大型建設事業に係る借入れに伴い、償還額や借入金残高が年々増加傾向にあり、目標値（上限額）を超えていることから、将来の公債費償還計画には十分な注意が必要である。
また、指標中の自主財源比率は、当該年度の補助事業の規模等により歳入総額及び依存財源が増減し、必ずしも単年度のみで評価はできないが、引き続き財政運営の根幹である町税をはじめとした自主財源の確保は重要な課題である。

### 3 今後の方向性

地方財政の状況が厳しさを増す中、健全な財政運営はもとより、財政の透明性を高め住民や議会等に対する説明責任をより適切に果たすことの重要性が一層高まっている。引き続き、健全財政の判断基準となる指標の公表を行うとともにバランスシートなどの財務諸表を公表し、住民福祉の向上と町政の維持・発展のため、健全で安定した財政運営を行うため財政指標を用いた分析を行いながら、限られた財源の中、より効果的でかつ効率的な財政運営に努めていく。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 町の財政状況をわかりやすく提供することにより、現状の逼迫した財政状況について理解をしていただいているが、今後、行政サービスの維持・継続を図っていくうえで行財政改革を断行し、効果的かつ効率的な財政運営に努め、持続可能な財政基盤の確立を進めていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部納税課 | 担当課長氏名 | 松田　敦 | 調書作成日 | 令和２年 ７ 月 ３ 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 計画的な行政経営の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 健全な行政運営の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 町歳入及び国民健康保険制度において重要な財源である、町税・国保税の収納向上に向け、納期内納付の推進や職員の滞納整理技術の向上と税の公平性の確保の点から、高額滞納者及び悪質滞納者の解消を目指す。 | 納期内納付の向上による現年度収納率向上と滞納整理機構との連携による滞納繰越分の圧縮。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 4,381 千円 | 3,600 千円 | 3,878 千円 | 4,335 千円 | 4,251 千円 | 4,504 千円 |
| 事業費 | 4,381 千円 | 3,600 千円 | 3,878 千円 | 4,335 千円 | 4,251 千円 | 4,504 千円 |
| 対前年度比 | | 82.17 % | 107.72 % | 111.78 % | 98.06 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1621 | 収納向上啓発推進事業 | 24 | 77.5% | ○ | | | | | | | | | 収納係 |
| 1621 | 釧路・根室広域地方税滞納整理機構参加事業（町税） | 1,726 | 80% | ○ | | | | | | | | | 徴収対策係 |
| 1621 | 釧路・根室広域地方税滞納整理機構参加事業（国保） | 2,501 | 80% | ○ | | | | | | | | | 徴収対策係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 3 事業 | | 4,251 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 計画的な行政経営の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 健全な行政運営の推進 |

| 担当部・課 | 総務部納税課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br><br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・納期ｶﾚﾝﾀﾞｰの配布の他、広報紙、町HP、コミュニティFMを活用して、口座振替加入の督励を実施。<br>・新たな納付方法導入(Pay Pay・LINE PAY)<br>・高額、悪質、困難案件を30件抽出し、滞納整理機構へ徴収事務を引継し滞納処分を推進。<br>・成果としては、収納率の向上と滞納繰越額の圧縮が図られた。<br><br>現年度収納率　町税　99.109（対前年＋0.09%）　国保　95.17%(対前年+0.39%)<br>現年滞繰合計収納率　町税　97.04%（対前年＋0.18%）　国保　80.49%(対前年+1.41%)<br>未納額の圧縮　町税　対前年　▲2,183千円　国保　対前年　▲16,996千円 |

### 2 課題

コンビニ納付の普及や口座振替加入の促進活動で、納期内納付比率も高まっているが、未だに旧態依然の年末(度)一括納付等の納税者もおり、納期内納付者との公平性の確保の点から、各納期到来後における早期催告・延滞金の徴収強化に取り組む。又、悪質滞納者等への滞納処分を推進するうえで複雑な滞納処分を要する案件等を抽出し、滞納整理機構へ引き渡しているが、それ以外の滞納事案に対応するためにも職員の高度な徴収技術の取得とモチベーションの維持が重要である。

### 3 今後の方向性

納期内納付の推進が、納税者間の公平性の確保と滞納額の圧縮につながるため、今後も手法を検討し進めていく。
滞納者個々の納付履行管理を的確に把握することが、収納率向上に非常に効果的であることから、催告漏れや滞納処分時期を逃すことのないように、より一層進行管理を徹底する。
新たな滞納を生まないために、早いうちからの納税相談の呼びかけと各納期到来後における早期催告を行うことが必要であり、収納率の低下を防ぐ手段であることから、今後とも重点を置いて行う。
また、悪質化する滞納者については滞納整理機構と連携し、早い段階から預貯金・生命保険や給料差押など行い、税負担の公正に組織全体で取組んで行く。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br><br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 町財政の根幹となる町税収入の確保はもとより、税負担の公平性確保を図るため、多様な納付環境の導入検討と滞納整理の強化を進めていく。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部上下水道課 | 担当課長氏名 | 山根　秀徳 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　10　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 計画的な行政経営の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 健全な財政運営の推進 |
| その他関連計画等 | | 中標津町水道ビジョン | |
| | | 中標津町下水道ビジョン | |
| その他関連施策 | | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | | 6 | 上・下水道の再整備 |
| | | 8 | 事業経営における効率化の推進 |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 自主性を高め、効率的・効果的に健全な行政経営を行うため、行財政改革を推進し、自主財源の安定的確保及び将来世代に過度の負担を残さない健全な財政運営を行う。<br>多様化、広域化する行政ニーズに対応していくため、周辺自治体との連携により効率的・効果的な施策の推進を図る。<br>自主財源である料金・使用料確保により柔軟に対応できる経営体制づくりを図る。<br>下水道事業・簡易水道事業の公営企業会計適用を図り、経営の透明性、適正な料金の設定など、会計の健全財政の推進を図る。 | 応益の原則に基づいた受益者負担の公平性の観点から、使用料などの徴収率の向上と負担額の見直しを行い、自主財源の安定的確保を図る。経済性・企業性を発揮し、使用料などの改正を含めた収入の確保に努め、独立採算の原則に基づき、公営企業の健全経営を図る。<br>下水道事業、簡易水道事業の公営企業会計適用拡大の検討を行い、経営の透明性、適正な料金設定など会計の健全財政の推進を図る。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 39,400 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 468 千円 | 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 468 千円 | 39,400 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1624・5681 | 水道料金改定 | 343 | 100% | | ○ | | | | | | | | 業務係 |
| 1625・5682 | 地方公営企業法の適用化 | 125 | 97.5% | ○ | | | | | | | | | 業務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　2　事業 | | 468 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 計画的な行政経営の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 健全な財政運営の推進 |

| 担当部・課 | 建設水道部上下水道課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 上下水道運営委員会及び簡易水道運営委員会を開催し、料金の改定について審議いただいた。<br>答申に基づき、水道料金、営農用区分の超過料金について、令和2年7月と令和3年4月の2段階で料金を改定を行った。これにより、令和2年度での収入は水道事業会計では、3,286千円、簡易水道会計では27,389千円の増収が図られる見込みとなった。<br>公営企業会計適用拡大に向け調査研究を行い、令和2年度からの移行作業に向け予算計上を行った。 |

### 2 課題

下水道事業及び簡易水道事業については、令和4年度末までに公営企業会計への移行が求められており、移行作業として、固定資産台帳の整備の業務量が莫大であるが、令和5年度の公営企業会計移行に向け、着実に事務を進める必要がある。
下水道事業、簡易水道事業の公営企業会計移行については、令和2年度より委託業務により実施するが、移行作業が終了するまで、それぞれの会計において一貫して業務を担当する職員が必要となる。
施設の老朽化等に伴う維持費等の増加、受益人口の減少や需要量の減少に伴う、費用負担（料金）の見直しと財源確保。
料金等の債権管理についても、水道料金（使用料）と下水道使用料では対応する法令が異なる。また、今般の民法改正により管理が複雑となることから、適切に管理するとともに、納期限内納付を推奨し、滞納額の縮減に向け対応する必要がある。
料金の滞納管理について、民法の改正により個別管理の対応が求められる。

### 3 今後の方向性

令和5年度から下水道事業、簡易水道事業の公営企業会計適用に向け、令和2年度より着手する。
上下水道料金について、今後人口の減少、老朽化に伴う施設の更新・維持管理費の増加が想定されており、安定的な経営に向け、今後概ね5年毎に料金改定を検討する。
滞納整理についても、債権管理のルールに基づき、粛々と行う必要がある。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 令和元年度に上水道・簡易水道運営委員会で議論を重ね、営農用区分の水道料金について、令和2年7月に料金改定することができた。 上下水道料金について、今後の方向性のとおり、概ね5年毎に料金改定を検討する。<br>法適用については、令和5年度から下水道事業、簡易水道事業の公営企業会計適用に向け、令和2年度より着手している。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部総務課 | 担当課長氏名 | 下村　浩次 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 計画的な行政経営の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 職員の意識改革と能力向上 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 時代の流れや行政需要の変化を先取りし、柔軟に対応できる創造性豊かな人材の育成を図り、公務能率の向上を図る。 | ・職務に必要な知識、実務能力を身につけるとともに、組織目標の達成に向けて自律、主体的に行動できる組織体制を構築<br>・的確な判断と具体的な方策などを講じることができる資質と能力を備えた職員の育成 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 480 千円 | 848 千円 | 627 千円 | 940 千円 | 799 千円 | 847 千円 |
| 一般財源 | 3,702 千円 | 1,948 千円 | 2,385 千円 | 1,768 千円 | 942 千円 | 1,995 千円 |
| 事業費 | 4,182 千円 | 2,796 千円 | 3,012 千円 | 2,708 千円 | 1,741 千円 | 2,842 千円 |
| 対前年度比 | | 66.86 % | 107.73 % | 89.91 % | 64.29 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1632・1633・1634・1635・1636 | 人材育成の推進 | 1,466 | 80% | | ○ | | | | | | | | 職員係 |
| 1637 | 人材育成の推進（人事評価） | 275 | 72.5% | | | | | | ○ | | | | 職員係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　2　事業 | | 1,741 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 計画的な行政経営の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 職員の意識改革と能力向上 |

| 担当部・課 | 総務部総務課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 北海道市町村職員研修センター研修をはじめ町村会が主催する研修など、多くの職員が研修の機会を得て、職員のスキルアップにつながっている。<br>人事評価制度に関しては、評価者及び被評価者研修により、評価基準の考え方や目標設定の意義を理解することで、評価制度に対する理解度は深められた。 |

### 2 課題

職員一人当たりの仕事量が増加していることから、職員自らの自発的研修参加意欲が減少している。
人事評価制度については、被評価者及び評価者の負担軽減も考慮し、評価手法を検討、見直ししていく必要がある。また、地方公務員法により、より厳密な制度運用と評価結果の活用が求められていることから、人事管理へ反映させるための制度設計が必要である。

### 3 今後の方向性

北海道市町村職員研修センター、アカデミー研修の活用や講師招聘による研修実施により、引き続き職員の育成及びスキルアップを図り、行政サービスの質の向上につなげる。
人事評価制度のこれまでの実施内容を検証した上で、評価結果の人事管理への反映も含めた制度の見直しを検討する。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | ・限られた職員数の中で、行政サービスに対する住民ニーズへの対応をはじめ業務の専門性等、職員のスキルアップが重要となることから、引き続き職員研修については積極的に取り組んでいく。<br>・人事評価制度については、人事管理や給与等への反映を見据え、制度の改善・充実に取り組んでいく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部企画課 | 担当課長氏名 | 七條　隆志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 計画的な行政経営の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 職員の意識改革と能力向上 |
| その他関連計画等 | | 中標津町自治基本条例第26条 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 町民サービス、行政施策、事務改善に関する職員からの提案を奨励し、行政運営の改善や効率化、行政に対する職員の参加意識の高揚を図るとともに、町民サービスの向上へつなげることを目的とする。 | 職員からの提案が増えて、業務改善や町民サービスの向上へつなげることができる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 職員提案数 | 件 | ○ 単年 | 14 | 実績値 | 1 | 1 | 5 | 0 | 15 | 2 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 35.7% | 0.0% | 107.1% | 14.3% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1631 | 職員提案 | 0 | 90% | ○ | | | | | ○ | | | | 行政改革・協働推進係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 0 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 計画的な行政経営の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 職員の意識改革と能力向上 |

| 担当部・課 | 総務部企画課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 提案提出件数は、平成26年度4件、平成27年度1件、平成28年度5件、平成29年度0件、平成30年度15件、令和元年度2件となっている。提案受付は随時受付を行い、令和元年度は9月を強調月間として設定したが、過去最高の提案件数であった前年度15件から例年並みの2件の提案となってしまったところである。 |

### 2 課題

提案件数も重要であるが、提案内容の充実も図る必要があり、引き続き周知方法の工夫などを行いより多くの実効性ある提案の増加につながる検討を行うことが重要な課題である。
「改善すべき」、「改善したい」等の思いを持ちつつ日々業務を行っている職員が、様々な内容について容易に提案可能となるきっかけを提供していく必要がある。

### 3 今後の方向性

応募の仕方、提案審査の方法について見直しをを図りながら、「テーマを決める」「1部局1提案」などの職員提案の意義を理解させ応募しやすく効果的な方法を検討し、強調月間にこだわらず通年募集を定着させる方向で調整する。また、引き続き他の自治体の取組方法について情報収集し、取り入れることや対応可能なことから実施し提案件数の増加を図る。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | ・職員提案に係る職員の意識を高めるため、通年募集を基本として定期的な周知を継続していく。<br>・他の自治体の取り組み方法等について情報取集を行い、職員への情報提供により提案のヒントとなるよう進めていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部企画課 | 担当課長氏名 | 七條　隆志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 計画的な行政経営の推進 |
| | 主要施策 | 4 | 広域行政の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 管内市町・議会・関係産業経済団体（38団体）で組織する根室地方総合開発期成会を組織し、管内市町の開発行政の促進を図る。 | 要望・提言活動により地域の要望を関係省庁に伝え、各種整備や財政措置などの拡充を図る。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 638 千円 | 637 千円 | 666 千円 | 695 千円 | 1,057 千円 | 1,040 千円 |
| 事業費 | 638 千円 | 637 千円 | 666 千円 | 695 千円 | 1,057 千円 | 1,040 千円 |
| 対前年度比 | | 99.84 % | 104.55 % | 104.35 % | 152.09 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1641 | 根室地方総合開発期成会 | 1,057 | 90% | ○ | | | | | | | | | 企画調整係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 1,057 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 計画的な行政経営の推進 |
| | 主要施策 | 4 | 広域行政の推進 |

| 担当部・課 | 総務部企画課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 管内の市町・市町議会・関係産業経済団体（38団体）<br>〇要望・提言活動等に関する調査・研究、連絡調整、資料収集など。<br>〇釧路、札幌、東京への要請活動（毎年）、各種機会を通じて要請活動を実施。 |

### 2 課題

事業実施主体である国、道、その他関係機関に対する要望活動が主な活動であり、要望なしでは事業推進を図れない状況である。

### 3 今後の方向性

一自治体での取組から管内連携として取り組む施策に対しては、期成会組織により強固に要望活動をしてきており、特に北方領土隣接地域としての特殊性においても管内連携により取り組んでいくことになる。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 人口減少が進む中、広域連携による取り組みが重要となっており、また、北方領土隣接地域としての特殊性からも管内連携が重要であることから、今後においても本期成会を中心とした調査・検討・要望を継続していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部農林課 | 担当課長氏名 | 中野　康志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 計画的な行政経営の推進 |
| | 主要施策 | 4 | 広域行政の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 北方領土の返還協議が進展しない現状において、漁民の安全と権益を確保するため、四島周辺海域における安全操業にかかる具体的対応を協議し、円滑な操業の実現を目指す。 | 北方領土周辺海域における安全操業。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 137 千円 | 137 千円 | 137 千円 | 137 千円 | 137 千円 | 137 千円 |
| 事業費 | 137 千円 | 137 千円 | 137 千円 | 137 千円 | 137 千円 | 137 千円 |
| 対前年度比 | | 100.00 % | 100.00 % | 100.00 % | 100.00 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1641･1322 | 北方四島周辺海域操業対策協議会負担金 | 137 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 137 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 計画的な行政経営の推進 |
| | 主要施策 | 4 | 広域行政の推進 |

| 担当部・課 | 経済部農林課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 負担金であり、協議会としての事業計画は概ね推進されている。 |

2 課題

3 今後の方向性

4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 本町は根室管内市町とは経済的交流のみならず、医療・教育・産業・空港対策等広域的な課題に対し連携し取り組んでいるところである。北方領土返還交渉や管内の漁業環境が厳しい中、引き続き関係機関・団体との連携のもと本事業を進める必要がある。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部子育て支援室 | 担当課長氏名 | 榊田　真一 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　13　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 子育て支援の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 子育て家庭を応援・支援する地域づくり（１－１） |
| その他関連計画等 | | 中標津町子ども・子育て支援事業計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 本町で安心して子どもを生み、育てることができるよう子育て環境整備並びに福祉の向上を図る。 | 官民一体となった子育て家庭を見守る事業の実施により、多様な就労形態など、子どもを取り巻く環境の変化による育児に対する不安感等の軽減を図り、安心して子育てができる環境を地域全体で推進する。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 子育て支援センター利用者数 | ○ 単年 | 15,000 | 実績値 | 10,090 | 10,993 | 12,852 | 12,175 | 12,224 | 9,037 | |
| | 累計 | | 達成率 | | | 85.7% | 81.2% | 81.5% | 60.2% | 0.0% |
| 指標2 ファミリー・サポート・センター登録者数 | ○ 単年 | 500 | 実績値 | | 326 | 398 | 468 | 523 | 545 | |
| | 累計 | | 達成率 | | | 79.6% | 93.6% | 104.6% | 109.0% | 0.0% |
| 指標3 ファミリー・サポート・センター利用者数 | ○ 単年 | 700 | 実績値 | | 150 | 328 | 561 | 459 | 523 | |
| | 累計 | | 達成率 | | | 46.9% | 80.1% | 65.6% | 74.7% | 0.0% |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 413,283 千円 | 404,337 千円 | 402,486 千円 | 385,040 千円 | 562,338 千円 | 643,444 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 24,724 千円 | 24,708 千円 | 22,665 千円 | 22,803 千円 | 15,911 千円 | 9,840 千円 |
| 一般財源 | 92,333 千円 | 89,501 千円 | 88,541 千円 | 87,036 千円 | 172,153 千円 | 196,555 千円 |
| 事業費 | 530,340 千円 | 518,546 千円 | 513,692 千円 | 494,879 千円 | 750,402 千円 | 849,839 千円 |
| 対前年度比 | | 97.78 % | 99.06 % | 96.34 % | 151.63 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2111 | 児童会館費運営管理費（子育て支援事業） | 【2121に含む】 | 92.5% | | | | ○ | | | | | | 子育て支援事業係 |
| 2111～2115 | 中標津町子ども・子育て支援事業（事業推進） | 17,158 | 87.5% | | | | | | ○ | | | | 子育て支援事業係 |
| 2114 | 泉保育園支給認定保育委託料（子ども・子育て支援制度） | 83,425 | 85% | | | | ○ | | | | | | 子育て支援管理係 |
| 2114 | 認可外保育所児童健康管理費補助 | 613 | 80% | | | | | | ○ | | | | 子育て支援管理係 |
| 2114 | 施設等利用給付経費 | 5,903 | 90% | ○ | | | | | | | | | 子育て支援管理係 |
| 2114 | 施設型給付経費 | 262,793 | 90% | ○ | | | | | | | | | 子育て支援管理係 |
| 2116 | 児童手当扶助費 | 358,445 | 90% | ○ | | | | | | | | | 子育て支援管理係 |
| 2116 | 乳幼児医療扶助費 | 19,992 | 85% | ○ | | | | | | | | | 子育て支援管理係 |
| 2116 | 未熟児養育医療扶助費 | 2,073 | 87.5% | ○ | | | | | | | | | 子育て支援管理係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　9　事業 | | 750,402 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 子育て支援の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 子育て家庭を応援・支援する地域づくり（1－1） |

| 担当部・課 | 町民生活部子育て支援室 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 指標1　みらいるに昼食時も通して1日中利用できる、赤ちゃん専用スペースを設置したことにより、居場所として定着してきた。また、子育て研修会等を開催し、子育てサポーターの育成につながった。<br><br>指標2・3　基本的には提供会員の自宅で育児サポートを行うファミリー・サポートではあるが、一時預かり事業と一体的に事業を展開したことで、一時預かりスペースを活用しての保育が増えている。また、平成28年度から実施した送迎サポートの利用は年々増加しており、住民ニーズに応えられている。 |

### 2 課題

指標1　　子育て支援を必要としながら来る事のできない家庭へのアプローチや利用の周知。

指標2・3　実施から5年が経過し、ファミリーサポート制度に対して理解は浸透しつつあるが、手伝いを希望する方（利用会員）に対して、子育てをお手伝いする会員（提供会員）の実働会員が少ない。いざというときに安心して子育てが出来るサポート体制を構築するためには、会員募集も含めて周知する必要がある。また、市街地から離れた地域でのニーズもあり、ファミリーサポート等を利用できない地域におけるサポート会員の育成など保育サービス提供の検討が必要である。

### 3 今後の方向性

ひろばや預かり保育サービスについては、提供できる体制を整え、直営・又は委託において、官民一体となった子育て支援の充実を図ってきた。平成31年4月には計根別地域における一時預かり保育所をJA計根別との協働により開設した。市街地から離れた地域における保護者の保育のニーズを充分に踏まえながら、地域と協働する形での体制整備も必要。

保育については、一部の企業において事業所内保育所を開設、また実施を検討されているなど、保育の必要性が浸透してきている。待機児童の多い3歳未満児の枠を拡充するため、平成30年度から町立保育園で定員枠6名拡大した。また、令和元年には泉保育園の保育枠を90名から120名に拡大すべく新園舎の建設に取り組んでおり、令和2年4月から供用開始する。

平成31年4月から全私立幼稚園が3歳以上の保育を伴う認定子ども園に移行、また令和元年10月からは3歳以上児の保育料無償化も始まり、保育ニーズも変わってくることも想定される。令和2年度から6年度までの第2期中標津町子ども・子育て支援事業計画に基づき、必要な幼稚園枠・保育枠を整理し、町全体の保育整備とともに子育て支援の推進を図る。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 制度改正が頻繁に行われているため誤りのない事務執行が求められている。確実に進めていくことが必要となっている。<br>3歳未満児保育の待機児童については令和2年度に供用開始した泉保育園新園舎での受け入れによる解消を図るとともに、令和元年度に策定された「中標津町子育て支援事業計画」に基づき、ニーズを踏まえた保育枠の整備並びに子育て支援策を推進する。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部子育て支援室 | 担当課長氏名 | 榊田　真一 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 13 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 子育て支援の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 子育て家庭を応援・支援する地域づくり（1－1） |
| その他関連計画等 | | 中標津町子ども・子育て支援事業計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| | |

## Ⅱ　施策の実施結果

1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標4 病児保育施設利用者数 | ○ 単年 | 200 | 実績値 | | 98 | 105 | 248 | 173 | 203 | |
| | 累計 | | 達成率 | | | 52.5% | 124.0% | 86.5% | 101.5% | 0.0% |
| 指標5 一時預かり施設利用者数 | ○ 単年 | 900 | 実績値 | | 657 | 702 | 821 | 805 | 1,800 | |
| | 累計 | | 達成率 | | | 78.0% | 91.2% | 89.4% | 200.0% | 0.0% |
| 指標6 子ども・子育て支援法に基づく保育所施設の3歳未満児枠の拡大 | ○ 単年 | 87 | 実績値 | | 66 | 66 | 66 | 72 | 72 | |
| | 累計 | | 達成率 | | | 75.9% | 75.9% | 82.8% | 82.8% | 0.0% |

2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事　務　事　業　名 | 事業費（千円） | 事務事業評価 | 今後の方向性 A B C D E F G H I | 担　当　係 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 合計 | 事業 | 0 | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 子育て支援の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 子育て家庭を応援・支援する地域づくり（1－1） |

| 担当部・課 | 町民生活部子育て支援室 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 指標4　平成29年度から利用料金の軽減を図ったこともあり、病児保育は定期的利用も多く、就労支援という観点からもいざというときの安心につながり効果的に活用されている。<br><br>指標5　一時預かりの利用時間外は、ファミリーサポートによる保育サービスに切り替えるなど、利用者がサービスを使い分けており、ひとつの事業所でできる効果は大きい。<br><br>指標6　町立保育園において3歳未満児枠拡大、また、民間企業における保育所の設置を推進し平成30年度に企業型保育所が設置された。平成30年度に泉保育園建設を推進し、令和元年度に建設工事、令和2年度から供用開始し、保育枠の拡大を図った。 |

### 2 課題

指標4　制度の周知。

指標5　制度の周知。

指標6　3歳未満児の保育利用希望は増加傾向にあり、認可保育所の施設整備による受け入れだけではなく、小規模保育事業並びに事業所内の保育の促進を図る必要もあり、受け入れ枠の整備は緊急の課題となっている。

### 3 今後の方向性

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**安心して子育てができる環境を整備するためには、子育て援助活動支援事業であるファミリーサポート制度が重要な役割を果たすと考えます。ファミリーサポート制度の利用会員・提供会員の増加には、町民が制度を正しく理解することや、利用会員・提供会員相互の信頼関係の構築が非常に重要になると考えますので、引き続き制度の情報発信や会員の発掘に向けた取り組みをお願いします。**

**また、子育て家庭を応援・支援する地域づくりを推進するためには行政だけではなく、関係機関が連携し、子どもを安心して預けることができる信頼関係を築いていくことが重要と考えます。**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部町立中標津保育園 | 担当課長氏名 | 奥山　正行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 子育て支援の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 子育て家庭を応援・支援する地域づくり |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 子育て家庭を支援する。 | 安全、安心な保育サービスの提供。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 630 千円 | 2,973 千円 | 2,708 千円 | 1,897 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 4,427 千円 | 20,427 千円 | 19,554 千円 | 4,740 千円 | 3,237 千円 | 11,656 千円 |
| 一般財源 | 25,148 千円 | 10,309 千円 | 15,104 千円 | 27,571 千円 | 28,110 千円 | 21,502 千円 |
| 事業費 | 29,575 千円 | 30,736 千円 | 35,288 千円 | 35,284 千円 | 34,055 千円 | 35,055 千円 |
| 対前年度比 | | 103.93 % | 114.81 % | 99.99 % | 96.52 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2114 | 町立中標津保育園管理運営費 | 23,449 | 75.0% | | | | ○ | | | | | | 町立保育園 |
| 2114 | 低年齢児・障がい児保育充実のための臨時保育士配置 | 10,606 | 82.5% | | | | ○ | | | | | | 町立保育園 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　2　事業 | | 34,055 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 子育て支援の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 子育て家庭を応援・支援する地域づくり |

| 担当部・課 | 町民生活部町立中標津保育園 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 安全・安心な保育サービスの提供について、概ね実施することができた。 |

### 2 課題

0～2歳児の入所希望者が増えている。 また、発達支援を必要とする幼児も増えてきている。
現園舎は平成2年に建築され30年を経過しており、施設・設備の経年老朽化に伴う修繕並びに備品の更新等の計画を策定し、計画に沿った環境整備を要する。

### 3 今後の方向性

低年齢児及び障がい児保育に対応するため、臨時保育士の配置を継続する。
施設・設備について計画的な改修・更新を実施する。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 安全安心な保育サービスを継続して提供する。<br>保育士の確保は全国的にも厳しい状況であり、潜在保育士も含めその確保に努めていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部へき地保育所 | 担当課長氏名 | 奥山　正行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 子育て支援の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 子育て家庭を応援・支援する地域づくり |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 地域の子どもを保育するため。 | 安全、安心な保育サービスの提供。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 6,212 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 1,600 千円 | 2,100 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 445 千円 | 千円 | 316 千円 | 267 千円 | 1,397 千円 | 6 千円 |
| 一般財源 | 5,953 千円 | 7,287 千円 | 6,131 千円 | 4,322 千円 | 3,731 千円 | 39 千円 |
| 事業費 | 6,398 千円 | 7,287 千円 | 8,047 千円 | 6,689 千円 | 5,128 千円 | 6,257 千円 |
| 対前年度比 | | 113.89 % | 110.43 % | 83.12 % | 76.66 % | |

3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2114 | へき地保育所管理運営費 | 5,128 | 75.0% | | | | | | ○ | | ○ | | へき地保育所 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 5,128 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 子育て支援の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 子育て家庭を応援・支援する地域づくり |

| 担当部・課 | 町民生活部へき地保育所 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 安心・安全な保育サービスの提供について、概ね実施することができた。<br>令和元年10月から開始された3歳以上児の保育料無償化制度を受け、へき地保育所についても新子ども・子育て支援制度の給付を受ける施設に移行し、無償化を図った。<br>子どもの減少が進み、地域とは継続して、へき地保育所の今後について、協議の場を持ち検討している。 |

2 課題

地域の子どもの減少、施設の老朽化が進んでいる保育所もあり、集団保育を継続することが難しくなってきている。

3 今後の方向性

地域の子どもの減少や施設の老朽化も進んでおり、統廃合を含めて今後の方向性を検討する必要がある。
へき地保育所については地域の意向、意見等踏まえ統廃合が支障なく移行できるような手法を検討する。
俣落へき地保育所については令和2年度をもって閉所する。

4 施策の進め方の評価　　**※部長職による評価欄**

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 今後の方向性のとおり推進する。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部子育て支援室 | 担当課長氏名 | 榊田　真一 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　13　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 子育て支援の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 児童の健全育成 |
| その他関連計画等 | | 中標津町子ども・子育て支援事業計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 乳幼児・児童の健全な育成環境の確保を図る。 | ・児童に健全な遊びを提供し、健康増進を図るとともに、一人ひとりの個性を伸ばし情操を豊かに養い育てる。<br>・共働き世帯の親子がともに安心できる居場所を整備。<br>・中高校生の活動場所を提供し、次世代の担い手の育成を図る。<br>・養育環境等の把握や助言を行い、子育て家庭の孤立・虐待等を防ぐ。<br>・地域住民と連携し、地域全体で子どもを見守り、子育て家庭を応援する体制整備を図る。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 児童センター・児童館利用者数 | ○ 単年 | 100,000 | 実績値 | 70,000 | 99,098 | 102,125 | 93,983 | 81,837 | 78,466 | |
| | 累計 | | 達成率 | | | 102.1% | 94.0% | 81.8% | 78.5% | 0.0% |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 36,306 千円 | 36,323 千円 | 35,343 千円 | 62,608 千円 | 31,292 千円 | 46,798 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 24,700 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 1,223 千円 | 673 千円 | 635 千円 | 8,916 千円 | 1,423 千円 | 2,805 千円 |
| 一般財源 | 27,425 千円 | 24,003 千円 | 20,347 千円 | 20,942 千円 | 24,748 千円 | 12,548 千円 |
| 事業費 | 64,954 千円 | 60,999 千円 | 56,325 千円 | 117,166 千円 | 57,463 千円 | 62,151 千円 |
| 対前年度比 | | 93.91 % | 92.34 % | 208.02 % | 49.04 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2111～2124 | 児童会館費運営管理費（子育て支援事業） | 57,463 | 92.5% | | | | ○ | | | | | | 子育て支援事業係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 57,463 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 子育て支援の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 児童の健全育成 |

| 担当部・課 | 町民生活部子育て支援室 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br><br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・児童館を子育ての拠点施設として位置づけ、児童館祭り、児童館菜園や寺子屋など地域と連携した事業を実施した。平成29年度からはみらいるで調理実習やゲーム・教室など、中高校生も含む「子どもの居場所づくり」に取り組んだ。中高校生の新規登録者も増えるとともに児童館事業の協力、企画・運営に携わる児童も増加、小学生のみならず時代を担う子どもの健全な育成に寄与している。<br>・児童館に求められる役割の拡大により、平成30年度から嘱託職員報酬の増額改正を実施。<br>・築45年経過していた計根別児童館については、平成30年度、国交省補助を活用し、児童館機能並びに一時預かり保育機能を統合した子育て拠点として改修整備し、平成31年4月に供用開始した。 |

### 2 課題

・西・なかよし児童館も老朽化や狭隘などにより、児童館全体の施設整備は急を要する課題となっている。
・増加傾向にある発達障がいを持つ児童や、虐待等による家庭・児童の支援・対応など児童館指導員の専門性の確保が必要。
・子ども・子育て支援法の普及により全国・全道で保育士不足は大きな問題となっている。根室管内においても、保育士確保は深刻な問題であり、児童館の保育士が子ども園に転職するなど、嘱託職員や臨時職員が配置される児童館の指導員のなり手が少ない現実がある。

### 3 今後の方向性

・放課後児童クラブをはじめ、相談・支援業務等、児童福祉法に掲げられる児童館の果たす役割を踏まえ、今後も地域と連携した事業やひろばの実施を図り、児童の健全育成に努める。
・財政的に建替えの難しい西・なかよし児童館については、他施設の活用や修繕工事を実施し維持するとともに、建設については今後、学校整備計画と合わせた新児童館の建設を目指し、長期的視野のもと統廃合も検討していく必要がある。
西児童館は旧泉保育園舎に移設、また不同沈下により閉館していたわんぱく児童館は令和2年度に閉館し、解体する。
・近年、土曜日の利用者が減少している傾向にある。子ども達数人で児童館で過ごすなど、児童館の目的でもある集団での遊びの確保ができない状況もあり、令和2年度より、土曜日は市街地「みらいる」、計根別「えみふる」に集約した体制の開館を図る。
土曜日の長時間だからできる魅力ある事業を検討し、子どもが集まって遊ぶことの楽しさを仕掛けていく必要がある。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br><br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 児童館の事業運営については今後も継続し、今後の方向性のとおり実施していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部子育て支援室 | 担当課長氏名 | 榊田　真一 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　13　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 子育て支援の充実 |
| | 主要施策 | 3 | 子どもを健やかに生み育てる環境づくり |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 赤ちゃんの誕生に一変する生活や慣れない育児に戸惑い、特に外部と接触の少ない生後4ヶ月の乳児を抱える家庭の不安を和らげ、安心して子育てが出来ることを目的として、訪問員を配置し家庭訪問を実施する。 | 家庭訪問を行うことにより、親子の心身の状況や養育環境等の把握、特に支援が必要な家庭に対しては継続的な見守りの実施など、養育支援や虐待防止につながる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 こんにちは赤ちゃん家庭訪問の実施状況 | ○ | 単年 | 100 | 実績値 | | 85 | 90 | 88 | 81 | 86 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 90.0% | 88.0% | 81.0% | 86.0% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2131 | 児童会館費運営管理費（子育て支援事業） | 【2121に含む】 | 92.5% | | | | ○ | | | | | | 子育て支援事業係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 0 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 子育て支援の充実 |
| | 主要施策 | 3 | 子どもを健やかに生み育てる環境づくり |

| 担当部・課 | 町民生活部子育て支援室 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 家庭訪問を実施し、顔がつながることにより、母親が子育て支援センターに足を運ぶきっかけともなり、育児の相談などをしやすい体制を図ることができた。<br>また、養育支援カンファレンスによる保健センター・病院との連携により、妊娠期から支援の必要な特定妊婦に対しての情報を共有することで、出産後の迅速な訪問、適切な支援につながった。 |

### 2 課題

赤ちゃん訪問は実施していないが、初めての出産ではないため既に子育て支援センターに来館しているケースや、電話や、3・4ヶ月検診時に連携し訪問を実施するなども含まれており、状況の把握ができていない家庭は0%ではある。
実際に家庭訪問することで、家庭状況の把握ができる部分もあり、訪問できない家庭に対してのアプローチが課題となる。

### 3 今後の方向性

複雑な家庭事情を抱えているケースも増えており、保健師・保育士・心理士など、それぞれの専門性を生かした視点での訪問も必要。各機関が連携し、一人ひとりに添ったきめ細かな継続的支援を目指す。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 今後も保健センターや町立中標津病院と連携しながら、子育て世代包括支援センター事業とあわせて、子どもを健やかに生み育てる環境づくりを推進していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部子育て支援室 | 担当課長氏名 | 榊田　真一 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　13　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 子育て支援の充実 |
| | 主要施策 | 4 | 児童虐待防止 |
| その他関連計画等 | | 中標津町子ども・子育て支援事業計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 本町の子育て家庭への支援及び児童虐待や配偶者暴力被害の未然防止・早期発見・早期解決を図る。 | 全ての情報が「子育て支援・虐待防止ネットワーク」の事務局を担う子育て支援室に集中する仕組みを構築し、コーディネート機能を担っている。<br>ネットワーク個別ケース会議を通して関係機関との連携・調整、役割分担を図ることにより、家庭に寄り添った支援や見守りにつながる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 虐待早期解決・未然防止に向けてのネットワーク会議の開催件数 | 回 | ○ 単年 | 24 | 実績値 | 11 | 27 | 21 | 14 | 15 | 23 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 87.5% | 58.3% | 62.5% | 95.8% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2141・2142 | 児童虐待防止 | 【2111・2121】 | 92.5% | | | | | | ○ | | | | 子育て支援事業係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 0 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 子育て支援の充実 |
| | 主要施策 | 4 | 児童虐待防止 |

| 担当部・課 | 町民生活部子育て支援室 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 個別相談記録票の管理方法を整理し、情報管理の改善に努めた。個別ケース会議において、関係機関で情報の共有を図ることにより、それぞれの機関が実施できる支援内容や役割分担し、個々に寄り添った支援策を講じることができた。 |

### 2 課題

虐待防止ネットワーク会議の事務局となる子育て支援室に全ての情報が集中するシステムを構築し、子育て支援室は各機関を連携させるコーディネート役としての重要な役割を担っているが、職員一人ひとりの資質に委ねられている部分も多く、研修等により個人のスキルアップは勿論ではあるが、今後も複雑化するケースに対応するため専門性の確保が必要となる。

### 3 今後の方向性

法改正により、児童相談所と市町村の役割が明文化され、町民により近い立場で支援・対応ができることを理由として、これまで児童相談所の業務であったものが、町に課せられるなど市町村の役割が拡大されている。国が創設した虐待に対応する支援員の配置に対する補助制度を活用し、令和2年度より子育て世代包括支援センターを設置する。増加する虐待や支援を必要とする家庭に対応できるコーディネーターの育成を図り、子育て世代包括支援センターと連携し、子育て支援・虐待防止ネットワーク機能の充実を図る。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 近年特に問題となっている児童虐待である。児童相談所、子育て支援・虐待防止ネットワークとの連携を強化し、本町における児童虐待防止に万全を期していく。<br>今後の方向性のとおり推進していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部子育て支援室 | 担当課長氏名 | 榊田　真一 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　13　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 子育て支援の充実 |
| | 主要施策 | 5 | ひとり親家庭福祉の充実 |
| その他関連計画等 | | 中標津町子ども・子育て支援事業計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| ひとり親家庭の母または父及び扶養される児童の医療に要する費用の一部を助成することにより、ひとり親家庭等の健康保持と福祉の向上を図ることを目的とする。 | ひとり親家庭等は増加傾向にあり、その中でも乳幼児を抱える家庭も多いため、就労や経済的な問題を抱えている。手当や医療費の助成による経済的軽減を図ることにより、ひとり親家庭の自立を促し、安定した生活基盤の構築、福祉の向上に貢献できる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 4,798 千円 | 5,790 千円 | 6,141 千円 | 4,142 千円 | 3,805 千円 | 5,283 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 1,817 千円 | 430 千円 | 3,672 千円 | 2,079 千円 | 1,148 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 4,615 千円 | 11,146 千円 | 11,790 千円 | 10,968 千円 | 10,803 千円 | 11,559 千円 |
| 事業費 | 11,230 千円 | 17,366 千円 | 21,603 千円 | 17,189 千円 | 15,756 千円 | 16,842 千円 |
| 対前年度比 | | 154.64 % | 124.40 % | 79.57 % | 91.66 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2151 | ひとり親家庭等医療扶助費 | 15,756 | 85% | ○ | | | | | | | | | 子育て支援管理係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 15,756 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 子育て支援の充実 |
| | 主要施策 | 5 | ひとり親家庭福祉の充実 |

| 担当部・課 | 町民生活部子育て支援室 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 親の経済的自立を図るため、国の制度である児童扶養手当・ひとり親医療費助成のほか、町の独自給付事業として親に対する助成枠を通院・投薬まで拡大している。福祉の向上並びに安定した生活基盤を図るための一助となる。 |

### 2 課題

現状を維持。

### 3 今後の方向性

ニーズ調査においても町独自の経済的支援を求める声が多い。町単独事業となる親への医療費支援を継続して実施することにより、ひとり親家庭の経済的支援、健康保持と福祉の増進を図る。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 各種医療費助成の要望が多い中、唯一町単独事業で親への助成を実施している。<br>ひとり親家庭福祉の充実が図られている。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部福祉課 | 担当課長氏名 | 杉　山　　隆 | 調書作成日 | 令和元年　7　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | 高齢者施策の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 地域支え合いの推進 |
| その他関連計画等 | | 中標津町高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 高齢者の生きがいづくりや、支えあう地域づくりを目的として高齢者の支援を行い、また高齢者の交流を促進する老人クラブ連合会運営を安定的なものにする。<br>平時及び緊急時など支援が必要な高齢者を地域全体で支え合うことで、誰もが住み慣れた地域の中で自分らしく安心して暮らすことができるようにする。 | 高齢者の生活を健全で豊かなものにするため、老人クラブの健全な育成を図る。<br>独居高齢者等の日常生活における不安解消と安全確保を図るとともに、近隣住民と高齢者のつながりを深め、地域の力を借りながら見守り活動の一翼を担う。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R１ | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 要介護認定率【高齢者（65歳以上）人口に占める要介護者の割合】 | % | ○ 単年 | 13.6 | 実績値 | 13.5 | 13.7 | 13.6 | 13.6 | 13.5 | 13.4 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 100.0% | 100.0% | 99.3% | 98.5% | 0.0% |
| 指標2 災害時要援護者支援体制整備町内会数【災害時用援護者支援体制を取っている町内会の数】 | 会 | ○ 単年 | 全町内会 | 実績値 | 1 | 17 | 20 | 21 | 21 | 17 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 44町内会中 | 44町内会中 | 44町内会中 | 44町内会中 | |
| 指標3 高齢者の生活満足度【町民アンケート】 | % | ○ 単年 | 60 | 実績値 | ― | 37.2 | 46.2 | 42.0 | 44.7 | 51.2 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 77.0% | 70.0% | 74.5% | 85.3% | 0.0% |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 665 千円 | 595 千円 | 596 千円 | 545 千円 | 566 千円 | 567 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 408 千円 | 363 千円 | 364 千円 | 384 千円 | 382 千円 | 437 千円 |
| 一般財源 | 6,416 千円 | 6,490 千円 | 6,489 千円 | 6,160 千円 | 5,852 千円 | 5,600 千円 |
| 事業費 | 7,489 千円 | 7,448 千円 | 7,449 千円 | 7,089 千円 | 6,800 千円 | 6,604 千円 |
| 対前年度比 | | 99.45 % | 100.01 % | 95.17 % | 95.92 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2212 | 高齢者支援事業 | 6,800 | 90% | ○ | ○ | | | | ○ | | | | 福祉支援係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 6,800 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | 高齢者施策の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 地域支え合いの推進 |

| 担当部・課 | 町民生活部福祉課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 中標津町老人クラブ連合会の運営や単位老人クラブが主催する研修事業、また、ボランティア団体（託老事業）に支援を行い、安定的な運営につながっている。<br>要援護者の実態を把握し、情報連携することで地域における見守り活動・連絡体制に活用されている。 |

### 2 課題

中標津町老人クラブ連合会会員の高齢化や役員の成り手不足による会員数の減少により、今後、老人クラブ事業運営に支障を来たす恐れがある。
災害時の支援体制整備については、今後も理解を促すとともに、登録台帳のシステム化を検討する必要がある。

### 3 今後の方向性

生産年齢人口が減少する中で高齢者人口が増えていくことから、高齢者が高齢者を支える仕組みづくりが重要となってきている。
託老事業への補助やふれあいサロンの開設箇所の増、共生型交流センターの活用、シルバー人材センターの運営を継続して支援するとともに、老人クラブへの加入や活動について支援を強化し、民生委員を核とした地域での見守りを推進する。
引き続き、町内会等に要援護者台帳の情報提供を行い、災害時の支援体制づくりを推進する。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 高齢者が生きがいをもって住みなれた地域で暮らすことが出来るよう事業を推進していく。<br>中標津町老人クラブ連合会から会員の減少、外出するための足の確保、事務局体制の充実等要望を受けているところであり、行政として魅力ある老人クラブ活動となるよう支援を検討する必要がある。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部福祉課 | 担当課長氏名 | 杉　山　　隆 | 調書作成日 | 令和元年　7　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | 高齢者施策の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 安心して暮らせる環境づくり |
| その他関連計画等 | | 中標津町高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 老人福祉法第11条に基づき、経済的な理由や居住環境などに問題を抱え自立した生活を続けることが困難であり、支援を行う近親者もいない対象者を老人福祉施設に入所させ養護する。 | 援護を必要とする対象者が日常生活や健康面で、安全安心な生活を確保できる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R１ | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 要介護認定率【高齢者（65歳以上）人口に占める要介護者の割合】 | % | ○ 単年 | 13.6 | 実績値 | 13.5 | 13.7 | 13.6 | 13.6 | 13.5 | 13.4 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 100.0% | 100.0% | 99.3% | 98.5% | 0.0% |
| 指標2 災害時要援護者支援体制整備町内会数【災害時用援護者支援体制を取っている町内会の数】 | 会 | ○ 単年 | 全町内会 | 実績値 | 1 | 17 | 20 | 21 | 21 | 17 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 44町内会中 | 44町内会中 | 44町内会中 | 44町内会中 | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 665 千円 | 595 千円 | 596 千円 | 545 千円 | 566 千円 | 567 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 3,025 千円 | 2,981 千円 | 3,143 千円 | 3,845 千円 | 3,203 千円 | 2,780 千円 |
| 一般財源 | 13,967 千円 | 14,092 千円 | 13,060 千円 | 15,052 千円 | 14,074 千円 | 13,457 千円 |
| 事業費 | 17,657 千円 | 17,668 千円 | 16,799 千円 | 19,442 千円 | 17,843 千円 | 16,804 千円 |
| 対前年度比 | | 100.06 % | 95.08 % | 115.73 % | 91.78 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2221・2222 | 高齢者支援事業 | 6,800 | 90% | ○ | ○ | | | | ○ | | | | 福祉支援係 |
| 2221 | 老人福祉施設入所措置費 | 11,043 | 90% | ○ | ○ | | | | | | | | 福祉支援係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　2　事業 | | 17,843 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | 高齢者施策の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 安心して暮らせる環境づくり |

| 担当部・課 | 町民生活部福祉課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 65歳以上であって、環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な対象者に必要な措置を行うもので、令和元年度の措置者の合計は5名となっている。 |

### 2 課題

高齢者世帯であっても安心した生活を送るため、医療の充実や住環境の整備、冬期間の安定した暮らしの保障が望まれるが、消費税率等の改定や原油高騰など国内の経済状況による影響が大きい。

### 3 今後の方向性

高齢者が安心して暮らせるよう、申出に基づくもののみではなく、民生委員その他の関係機関から要措置者の発見に協力が得られるよう、制度について周知を図る。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 法律に基づき適切に実施していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部福祉課 | 担当課長氏名 | 杉　山　　隆 | 調書作成日 | 令和元年　7　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | 高齢者施策の充実 |
| | 主要施策 | 3 | 生きがいと健康づくり |
| その他関連計画等 | | 中標津町高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 公益社団法人中標津町シルバー人材センターに対し、国及び自治体は運営費を助成することで活動基盤の安定化を図り、高齢者の就労の機会を確保し、生きがいづくりや社会参加を促進する。<br>また、高齢者の交流を促進する老人クラブ連合会運営を安定的なものにする。 | 経験と知識を持った高齢者が「学ぶ・楽しむ」をモットーに働きながら生きがいを見出すことができ、高齢者の社会参加の促進と活力ある地域社会づくりに寄与する。<br>また、高齢者の生活を健全で豊かなものにするため、老人クラブの健全な育成を図る。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R１ | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標１ 要介護認定率【高齢者（65歳以上）人口に占める要介護者の割合】 | % | ○ | 単年 | 13.6 | 実績値 | 13.5 | 13.7 | 13.6 | 13.6 | 13.5 | 13.4 | |
| | | | 累計 | | 達成率 | | | 100.0% | 100.0% | 99.3% | 98.5% | 0.0% |
| 指標２ シルバー人材センター登録者数【年ごとの登録者総数】 | 人/年 | ○ | 単年 | 200 | 実績値 | 159 | 135 | 125 | 116 | 113 | 110 | |
| | | | 累計 | | 達成率 | | | 62.5% | 58.0% | 56.5% | 55.0% | 0.0% |
| 指標３ 老人クラブ加入者数【町内老人クラブに加入している人員数】 | 人 | ○ | 単年 | 1,200 | 実績値 | 1,069 | 716 | 664 | 543 | 528.0 | 474.0 | |
| | | | 累計 | | 達成率 | | | 55.3% | 45.3% | 44.0% | 39.5% | 0.0% |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 665 千円 | 595 千円 | 596 千円 | 545 千円 | 566 千円 | 567 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 408 千円 | 363 千円 | 364 千円 | 384 千円 | 382 千円 | 437 千円 |
| 一般財源 | 11,224 千円 | 11,298 千円 | 11,297 千円 | 10,968 千円 | 10,660 千円 | 10,408 千円 |
| 事業費 | 12,297 千円 | 12,256 千円 | 12,257 千円 | 11,897 千円 | 11,608 千円 | 11,412 千円 |
| 対前年度比 | | 99.67 % | 100.01 % | 97.06 % | 97.57 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2231 | 高齢者支援事業 | 6,800 | 90% | ○ | ○ | | | | ○ | | | | 福祉支援係 |
| 2231 | シルバー人材センター運営事業補助 | 4,808 | 90% | ○ | ○ | | | | | | | | 福祉支援係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　2　事業 | | 11,608 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | 高齢者施策の充実 |
| | 主要施策 | 3 | 生きがいと健康づくり |

| 担当部・課 | 町民生活部福祉課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 運営費を支援することで活動基盤の安定化が図られるとともに、高齢者の就労の機会を確保し生きがいづくりや、社会参加の増進につながる。 |

### 2 課題

個人情報保護法により高齢者の生活状況を広く情報共有できないなどの弊害が出ており、老人クラブへの新たな加入者勧誘活動ができない状況にある。
高齢者人口は毎年増加しているものの、シルバー人材センターの会員数の増加には繋がっておらず、シルバー人材センターの運営・活動にも影響が出始めている。

### 3 今後の方向性

シルバー人材センターの登録者数は目標値に達していないが、高齢者の就業機会の確保が得られることから支援を継続する。また、老人クラブの加入者数も近年減少傾向にあるが、支援を継続し、高齢者が生きがいを感じ、ともに支えあい、安心して暮らせるまちづくりを目指す。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 高齢者は増加しているがシルバー人材センターや老人クラブに参加する高齢者は減少している。<br>魅力ある活動を推進するための支援が必要となっている。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部福祉課 | 担当課長氏名 | 杉　山　　隆 | 調書作成日 | 令和元年　7　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | 高齢者施策の充実 |
| | 主要施策 | 4 | 介護保険サービスの充実 |
| その他関連計画等 | | 中標津町高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 採算面から民間事業所が実施することが困難な事業について、中標津町社会福祉協議会に補助を実施する。 | 介護保険事業の居宅介護事業の安定した事業実施 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R１ | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 要介護認定率【高齢者（65歳以上）人口に占める要介護者の割合】 | % | ○ 単年 | 13.6 | 実績値 | 13.5 | 13.7 | 13.6 | 13.6 | 13.5 | 13.4 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 100.0% | 100.0% | 99.3% | 98.5% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 3,531 千円 | 6,880 千円 | 6,261 千円 | 6,466 千円 | 5,508 千円 | 4,447 千円 |
| 事業費 | 3,531 千円 | 6,880 千円 | 6,261 千円 | 6,466 千円 | 5,508 千円 | 4,447 千円 |
| 対前年度比 | | 194.85 % | 91.00 % | 103.27 % | 85.18 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2241 | 社協居宅介護事業補助金 | 5,508 | 72.5% | ○ | | | | | | | | | 社会福祉係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 5,508 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | 高齢者施策の充実 |
| | 主要施策 | 4 | 介護保険サービスの充実 |

| 担当部・課 | 町民生活部福祉課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 介護保険事業の居宅介護事業について、中標津町社会福祉協議会に補助を実施することで、地域福祉の向上に寄与している。 |

### 2 課題

中標津町社会福祉協議会の職員体制の影響により、事業量に限度があり思うように収益が上がらないため、基本6名体制を確保し、安定したサービスを提供できるようにする。

### 3 今後の方向性

平成30年度からは訪問入浴と訪問介護（障がいのみ）事業の赤字分について補助をすることとしたが、最大限の収入目標を設定させるなど、更なる経営努力を促す。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 中標津町社会福祉協議会の体制整備を推進してから2年目となり、円滑な業務連携ができつつある。安定した事業実施を期待すると共に必要な支援を継続して実施していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部介護保険課 | 担当課長氏名 | 菅原　則幸 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　７　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | 高齢者施策の充実 |
| | 主要施策 | 4 | 介護保険サービスの充実 |
| その他関連計画等 | | 高齢者福祉計画　介護保険事業計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

### １ 目的（何のために）

要介護状態にある高齢者が、尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な保健医療、福祉の各サービスを給付するため、平成12年度から介護保険制度が開始されている。

３年間を一つの事業期間とする介護保険事業計画を策定し、介護サービスの提供とサービスの供給量に見合った保険料を設定し安定及び充実した介護保険事業の運営を図る。

令和2年度は、中標津町高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画の最終年であり次期計画の策定にあたる。

### ２ 求める成果（どのような成果を期待するか）

高齢者人口の増加がピークとなる時期を見据え、医療や介護などの社会保障制度の持続可能性を考慮し、給付費の抑制等を目的に、介護保険制度の改正が行われている。

平成30年度からの高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画に基づき、介護保険サービス、福祉サービス、地域ケア体制等の充実を図り、合わせて介護予防・日常生活支援総合事業、在宅医療・介護連携推進事業、認知症施策の推進等の実施体制の整備を図り、本町の高齢者が生きがいを感じ、ともに支え合い、安心して暮らせるまちづくりを目指す。

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | | 指標単位（単年・累計） | | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 要介護認定率 | 人／年 | ○ | 単年 | 13.60 | 実績値 | 13.50 | 13.68 | 13.56 | 13.59 | 13.53 | 13.41 | |
| | | | | 累計 | | 達成率 | | | 99.7% | 99.9% | 99.5% | 98.6% | 0.0% |
| 指標2 | | | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 476,682 千円 | 498,461 千円 | 513,343 千円 | 520,093 千円 | 531,680 千円 | 548,354 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 344,505 千円 | 387,869 千円 | 410,866 千円 | 401,798 千円 | 416,766 千円 | 432,218 千円 |
| 一般財源 | 480,402 千円 | 507,257 千円 | 505,816 千円 | 533,611 千円 | 564,086 千円 | 582,824 千円 |
| 事業費 | 1,301,589 千円 | 1,393,587 千円 | 1,430,025 千円 | 1,455,502 千円 | 1,512,532 千円 | 1,563,396 千円 |
| 対前年度比 | | 107.07 % | 102.61 % | 101.78 % | 103.92 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2243 | 介護保険事業（特別会計） | 1,512,532 | 92.5% | ○ | ○ | | | | | | | | 介護保険係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 1,512,532 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | 高齢者施策の充実 |
| | 主要施策 | 4 | 介護保険サービスの充実 |

| 担当部・課 | 町民生活部介護保険課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 地域密着型事業所の運営推進会議へ参加し、サービスの適正提供についての指導。介護人材確保育成支援事業を通し、介護従事者の定着の促進。保険料の個別徴収の実施。介護認定にかかる認定調査及び審査会の公正・公平な判定のための情報収集技術の向上と情報伝達。認定者以外の高齢者宅の訪問等の相談業務の強化。介護予防事業の取組。老人クラブ等への介護予防、認知症予防等の訪問講座の開催。 民生委員児童委員協議会や連合町内会、社協等との連携強化。<br>高齢化率が年々上昇し、高齢者人口が増加しているが、介護認定率は概ね横ばいの状況を維持している。介護給付費については、増加傾向にあるが高齢化人口の増加に伴うもので適正な執行となっている。<br>介護人材確保や地域包括ケアシステム構築に向け、中標津町介護保険事業者協議会が設立され、介護保険課が運営委員会事務局を担当。協議会事業を推進する。 |

### 2 課題

本町は、高齢化率が全道で三番目に低く、高齢者人口増のピークも管内の他市町よりも数十年遅く迎えることから、従来の制度による介護サービスの需要と供給のバランスの均衡が辛うじて保たれている。将来においても本町の介護サービスの安定的な供給を図るためには、高齢者が生きがいを感じ、ともに支え合う仕組みづくりを確立していかなくては、介護サービスの供給が不足し、高齢者が安心して暮らせるまちづくりが実現できない。

高齢者支援等に対する活動を各機関・団体等が連携・協動し、効果的で安定し継続性のある新しい事業展開を図る必要があるが、介護保険係では、事業所指定等が道より移管され、介護支援係は総合事業の導入に伴い、介護予防事業、要支援1・2対応など業務増となっており、支え合いの地域生活環境づくりや医療・介護の連携など地域ケア体制整備に対する取組などが十分果たせない人員数となっている。

### 3 今後の方向性

介護保険事業及びサービス供給量に応じた適正な介護保険料の設定のために平成29年度において第7期介護保険事業計画を策定。

関係機関、団体、地域住民との協議を進め、本町の実態に応じた高齢者生活支援のためのニーズ把握と高齢者が生きがいを感じ、ともに支え合い、安心して暮らせるまちづくりのための新しい事業を創設していく。

医療・介護の連携では、地域の中核病院である町立中標津病院との連携が必要不可欠であるが、入・退院調整や在宅医療と介護の連携などが不十分であることから高齢者とその家族が安心できる連携体制を構築していく。

介護人材確保・定着に関する事業においては、介護事業者協議会と協働し、高齢者、主婦層、高校生などの就業対策に力を入れる。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 増加する高齢者の対策に的確に対応することが求められているが、全国的な問題である人手不足は本町にも当てはまるところであり、介護サービスを安定的に供給するため、介護保険事業者が事業の継続及び拡大をする際に必要となる人材確保のため、即戦力となる主婦層、高齢者の就業の掘り起こしを優先し、更に将来見込まれる外国人就労者の受け入れに対する検討が必要となっている。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部介護保険課 | 担当課長氏名 | 菅原　則幸 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　７　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | 高齢者施策の充実 |
| | 主要施策 | 5 | 介護予防の推進 |
| その他関連計画等 | | 高齢者福祉計画　介護保険事業計画 | |
| その他関連施策 | | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | | 2 | 高齢者施策の充実 |
| | | 4 | 介護保険サービスの充実 |
| 担　当　課 | | 介護保険課 | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 要介護及び要支援状態になるおそれのある高齢者に対し、要介護状態になることを予防し、その居宅において自立した日常生活を送ることができるよう、個々の状態に合わせた支援を行う。 | 介護予防に関する知識や情報の提供、啓発活動を行うことにより、要介護及び要支援状態の高齢者の増加を防ぐ。<br>中標津町社会福祉協議会に委託し介護未認定者に対し実施しているデイサービス事業により介護予防、認知症予防につなげる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

１ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 介護予防・日常生活支援総合事業の利用人数（要支援認定者数） | 人／年 | ○ 単年 | 300 | 実績値 | | | 216 | 227 | 209 | 221 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 72.0% | 75.7% | 69.7% | 73.7% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 6,353 千円 | 6,387 千円 | 13,673 千円 | 23,285 千円 | 21,898 千円 | 23,839 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 5,632 千円 | 5,579 千円 | 11,381 千円 | 17,986 千円 | 17,125 千円 | 17,976 千円 |
| 一般財源 | 5,845 千円 | 5,876 千円 | 13,569 千円 | 23,229 千円 | 22,119 千円 | 22,565 千円 |
| 事業費 | 17,830 千円 | 17,842 千円 | 38,623 千円 | 64,500 千円 | 61,142 千円 | 64,380 千円 |
| 対前年度比 | | 100.07 % | 216.47 % | 167.00 % | 94.79 % | |

３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2243 | 介護保険事業（特別会計） | 61,142 | 97.5% | | | | | | ○ | | | | 介護支援係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 61,142 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | 高齢者施策の充実 |
| | 主要施策 | 5 | 介護予防の推進 |

| 担当部・課 | 町民生活部介護保険課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 中標津町社会福祉協議会に委託の介護予防事業（デイサービス事業）では、通所者の平均年齢が要介護認定者の平均年齢を上回るなど高齢になっても要介護認定を受けずに元気に生活することができている。<br>運動器具を使用した運動機能の維持･改善を目的とした民間事業における高齢者運動教室を委託事業で実施。定数10人／週に対し概ね定数とおりの通所者となっている。<br>まちづくり出前講座や介護予防教室、認知症サポーター養成講座などを実施してきているが、知識･意識に関する普及･啓発に効果はあるが、各団体などが町全体の共通認識の下、介護予防や認知症予防に取り組むには至っていない。中標津町老人クラブ連合会と単位クラブで介護予防･認知症対策に関するまちづくり出前講座を行い、継続事業となっている。社会福祉協議会の委託事業と老人クラブ、高齢者サロンの事業を組み合わせた新たな介護予防事業を実施する方向で関係団体等と協議を進め、令和2年度からモデル事業の実施の方向で検討が始まった。 |

### 2 課題

社会福祉協議会による介護予防事業は、定員15人で月曜日から木曜日までの1日コースと金曜日の半日コースの2種類を実施しているが、スタッフの増員や浴槽キャパ（収容能力）の問題で利用者増を図ることができない。
老人クラブ、高齢者サロンからは、高齢者が会館等まで移動するため車の確保を要望されており、介護予防･認知症対策などの講座開催には、参加者の「足の確保」が問題となっている。
また、多様な生活支援･介護予防サービスを充実させるには、顔なじみの方の集いの場での事業展開や高齢者の移動の問題など身近な場所で地域の支え合いの活動が、自主性･継続性を保つ必須要件であることから、町全体の共通した認識の下に、住民主体のサービス体制を構築する必要がある。
老人クラブ、高齢者サロンとも社会福祉協議会が事務局となっているため、連携し対応できる体制整備が不可欠である。

### 3 今後の方向性

令和元年度中から、社会福祉協議会と課題に対する協議を重ね、現在の介護予防事業を見直し、多くの高齢者が参加できる事業とするために老人クラブ、高齢者サロン等による通所や希望者がだれでも参加できる事業、障害者団体等も利用できる事業など将来的な共生型通所事業に展開することを目標に令和2年度からモデル事業を開始し、令和3年度から新しい事業の展開を検討する。
また、老人クラブ、高齢者サロン等が実施している既存事業は継続してもらい、社会福祉協議会の新しい通所事業と連携し、高齢者の集いの場を確保し、地域における在宅支援など地域の支え合い活動に発展できるよう関係団体等と検討を始める。

### 4 施策の進め方の評価　　**※部長職による評価欄**

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 中標津町社会福祉協議会体制整備を推進してから2年目となり、円滑な業務･連携ができつつある。<br>今後の方向性のとおり、高齢者サロン等による集いの事業、新たな通所事業等、まちづくり出前講座や介護予防教室、認知症サポーター養成講座など介護予防や認知症予防に取り組む事業の推進を図る。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長･課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部福祉課 | 担当課長氏名 | 杉　山　　隆 | 調書作成日 | 令和元年 7 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 障がい者施策の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 地域における生活支援 |
| その他関連計画等 | 中標津町障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画 | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 障がい者計画の基本理念「かけがえのない一人ひとりが　こころ豊かに暮らすまち」の基、ノーマライゼーション社会の実現を目指す。 | 地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態による事業を障がい福祉計画の基に効率的かつ効果的に実施することで、住み慣れた家庭や地域において自立した日常生活・社会生活を営むことができ、安心して暮らすことができる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R１ | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 町内のグループホーム・ケアホーム利用者数【町内のグループホーム入居者数】 | 人 | ○ 単年 | 49 | 実績値 | 2 | 20 | 19 | 22 | 22.0 | 22.0 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 38.8% | 44.9% | 44.9% | 44.9% | 0.0% |
| 指標2 居宅介護サービスの利用時間【居宅での介護サービス年間利用時間】 | h/年 | ○ 単年 | 3,600 | 実績値 | 3,600 | 2,415 | 2,541 | 3,579 | 2,826 | 3,127 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 70.6% | 99.4% | 78.5% | 86.9% | 0.0% |
| 指標3 児童デイサービスの利用者数【児童デイサービスの年間延利用者数】 | 人/年 | ○ 単年 | 1,300 | 実績値 | 1,000 | 1,125 | 1,462 | 1,194 | 1,033 | 1,020 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 112.5% | 91.8% | 79.5% | 78.5% | 0.0% |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 401,055 千円 | 420,281 千円 | 412,321 千円 | 453,532 千円 | 463,053 千円 | 460,888 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 11,330 千円 | 8,582 千円 | 8,960 千円 | 8,610 千円 | 4,356 千円 | 4,368 千円 |
| 一般財源 | 159,115 千円 | 155,451 千円 | 177,637 千円 | 162,777 千円 | 177,049 千円 | 170,709 千円 |
| 事業費 | 571,500 千円 | 584,314 千円 | 598,918 千円 | 624,919 千円 | 644,458 千円 | 635,965 千円 |
| 対前年度比 | | 102.24 % | 102.50 % | 104.34 % | 103.13 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2311 | 根室圏域障がい者総合相談支援センター事業 | 6,217 | 97.5% | ○ | ○ | | | | | | | | 福祉支援係 |
| 2312 | 重度心身障がい者医療扶助費 | 24,080 | 95% | ○ | | | | | | | | | 福祉支援係 |
| 2313 | 障がい者グループホーム運営事業 | 1,788 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 福祉支援係 |
| 2313 | 障がい者グループホーム入居者補足給付事業 | 2,426 | 92.5% | ○ | ○ | | | | | | | | 福祉支援係 |
| 2313 | 障がい者地域生活支援事業 | 17,176 | 92.5% | ○ | ○ | | ○ | | | | | | 福祉支援係 |
| 2313 | 障がい者介護・訓練等給付費扶助事業 | 592,771 | 95% | ○ | ○ | | | | | | | | 福祉支援係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 6 事業 | | 644,458 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 障がい者施策の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 地域における生活支援 |

| 担当部・課 | 町民生活部福祉課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 障がい者の地域生活の場の提供については、北海道社会福祉事業団の参入により今後も期待できる。<br>指標1においては、今後も更なる施設増加が見込まれる。<br>指標2・指標3においては、目標値はあるものの、利用を増やすことが達成ではない。 |

### 2 課題

障がいのある人ができる限り住み慣れた家庭や地域で生活できるようにするために、障がいのある人の自立した生活を支援することと、その家族の介助負担が軽減となるサービスは必要不可欠で、事業等の拡大と充実は常に求められる。

### 3 今後の方向性

相談支援体制や在宅サービスの充実をはじめ、雇用や就労機会の確保など、地域をあげた包括的な仕組みづくりを進める。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 地域の特性や利用者の状況に応じた様々な事業を展開し、住み慣れた家庭や地域において自立した日常生活・社会生活を営み、心豊かに暮らすことが出来る町を目指して、障がい者計画に基づき施策を推進していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部福祉課 | 担当課長氏名 | 杉　山　　隆 | 調書作成日 | 令和元年 7 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 障がい者施策の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 自立と社会参加の促進 |
| その他関連計画等 | 中標津町障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画 | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 中標津支援学校高等部1、2学年現場実習は、生徒が企業等に出向いて職場体験学習を行い、職業生活や社会生活能力を確かめる重要なカリキュラムである。この時の移動に関しては、教育的見地から公共交通機関を利用することになっているが、本町では、公共交通機関によりがたい実習先があり、この制約から実習先確保に苦慮している現状があり、この移動に際して支援を行う。 | 実習先確保の幅が広がり、生徒の学習機会が拡充される。職業体験学習から卒業後の進路選択肢が増え、一般就労へと雇用の拡大につながる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R１ | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 就労支援事業利用者数【就労支援事業等利用者数】 | 人/年 | ○ 単年 | 82 | 実績値 | 2 | 80 | 86 | 94 | 96 | 106 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 104.9% | 114.6% | 117.1% | 129.3% | 0.0% |
| 指標2 中標津高等養護学校卒業生の町内での就労【高等養護学校卒業生の町内就職者数】 | 人/年 | ○ 単年 | 7 | 実績値 | 4 | 2 | 2 | 0 | 2 | 4 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 28.6% | 0.0% | 28.6% | 57.1% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 389,496 千円 | 408,529 千円 | 400,711 千円 | 440,226 千円 | 449,935 千円 | 446,053 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 338 千円 | 247 千円 | 315 千円 | 412 千円 | 246 千円 | 313 千円 |
| 一般財源 | 142,878 千円 | 139,129 千円 | 160,400 千円 | 144,247 千円 | 159,766 千円 | 154,493 千円 |
| 事業費 | 532,712 千円 | 547,905 千円 | 561,426 千円 | 584,885 千円 | 609,947 千円 | 600,859 千円 |
| 対前年度比 | | 102.85 % | 102.47 % | 104.18 % | 104.28 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2322 | 障がい者介護・訓練等給付費扶助事業 | 592,771 | 95% | ○ | ○ | | | | | | | | 福祉支援係 |
| 2322・2323 | 障がい者地域生活支援事業 | 17,176 | 92.5% | ○ | ○ | | ○ | | | | | | 福祉支援係 |
| 2322 | 障がい者実習支援事業 | 0 | 62.5% | | | | | | | | | ○ | 福祉支援係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 3 事業 | | 609,947 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 障がい者施策の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 自立と社会参加の促進 |

| 担当部・課 | 町民生活部福祉課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 現場実習体験により、自身の職業生活や社会生活への適応能力が試され卒業後の就業意欲に繋がるとともに、障がい者雇用への成果、社会参加の促進につながると考えられる。<br>令和元年度の送迎支援については、中標津支援学校の現場受入先企業が市街地で徒歩で通える実習先や、公共機関を利用できる実習先だったことから送迎支援の利用はなかった。 |

### 2 課題

指標1は目標値を達成している。指標2は目標値を達成しておらず、一般就労できる事業所の確保が今後も求められる。

### 3 今後の方向性

障がいのある子どもへの療育指導や特別支援教育の充実を図るとともに、障がい者の社会参加を促進するため、相談支援体制の充実や就労移行支援事業所を支援し、就労による経済的な自立を促す。
就労につながらない障がい者に対しては、就労支援継続事業所、地域活動支援センター、サロンなどに働きかけ、様々な日中活動の場の確保に努める。
3年間、中標津支援学校の現場実習体験における送迎支援についての利用がなかったことから、スクールバス等運行事業との統合するなど、整理・合理化に向けて教育委員会と協議した結果、令和2年度から統合し実施する方向で調整した。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 地域の特性や利用者の状況に応じた様々な事業を展開し、住み慣れた家庭や地域において自立した日常生活・社会生活を営み、心豊かに暮らすことが出来る町を目指して、障がい者計画に基づき施策を推進していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部児童デイサービスセンター | 担当課長氏名 | 奥山　正行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 障害者施策の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 自立と社会参加の促進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | | 1 | 子育て支援の充実 |
| | | 3 | 子どもを健やかに生み育てる環境づくり |
| 担　当　課 | | 中標津町児童デイサービスセンター | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 心や体、言葉の発達に心配のある幼児とその家族が地域で安心して過ごせるようにする。 | 幼児の発達障がいの早期発見、早期療育。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 児童デイサービスの利用者数（人） | 人 | ○ 単年 | 1,300 | 実績値 | 1,220 | 1,125 | 1,462 | 1,194 | 1,033 | 1,020 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 112.5% | 91.8% | 79.5% | 78.5% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 1,615 千円 | 1,100 千円 | 824 千円 | 821 千円 | 901 千円 | 901 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 1,765 千円 | 千円 | 2,557 千円 | 2,217 千円 | 1,870 千円 | 2,384 千円 |
| 一般財源 | 503 千円 | 2,563 千円 | 千円 | 168 千円 | 342 千円 | 5 千円 |
| 事業費 | 3,883 千円 | 3,663 千円 | 3,381 千円 | 3,206 千円 | 3,113 千円 | 3,290 千円 |
| 対前年度比 | | 94.33 % | 92.30 % | 94.82 % | 97.10 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2132・2321 | 児童デイサービスセンター管理運営費 | 3,113 | 90.0% | ○ | | | | | | | | | 児童デイサービスセンター |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 3,113 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 障害者施策の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 自立と社会参加の促進 |

| 担当部・課 | 町民生活部児童デイサービスセンター |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 作業療法士・心理士・言語聴覚士・保育士のスタッフ体制により療育事業を実施している。<br>延べ利用者数は前年度を下回ったが、保護者の必要に応じた支援を提供できた。 |

### 2 課題

増加傾向にある障がい児への療育、並びに保護者への支援が必要。

### 3 今後の方向性

今後も現在の体制（作業療法士・心理士・言語聴覚士・保育士）を維持し、発達支援を行う。
また、職場内での研修の実施や専門研修への受講を推進し各職員の技能向上を目指す。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 引続き現在の体制を維持し、心や体、言葉の発達に心配のある幼児とその家族が地域で安心して過ごせるように支援をしていく。<br>今後の支援が必要な幼児の数を見極め、必要な専門職の増員や施設の増改築等を検討していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**子どもの発達の遅れは、家庭内ではなかなか気づくことができない事例が多いため、町内の保育園や幼稚園と児童デイサービスセンターや関係機関が密な連携や協力体制を構築することが必要と考えますので、引き続き関係機関と連携を図り、保護者への発達相談や助言を通じて、早期の発達支援につなげていくようお願いします。**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部福祉課 | 担当課長氏名 | 杉　山　　隆 | 調書作成日 | 令和元年　7　月　10　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 障がい者施策の充実 |
| | 主要施策 | 3 | ともに支え合う福祉のまちづくり |
| その他関連計画等 | 中標津町障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画 | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 街の中心部にある共生型交流センターを交流の拠点として、障がい者の日中活動と就労支援、障がい者や高齢者等の多世代交流が図れるサロン運営と自然な集いなどから地域住民の参画を促進する。<br>フレンドリーサマーキャンプに参加することでボランティア精神とノーマライゼーションの理念を身につける。 | 多世代交流から障がいに関しての理解が深められ、障がい者相談支援センターを施設内に設置することで、障がいのある人や家族の抱える様々な問題解決に向け、身近な地域で気軽に相談できる環境となる。<br>フレンドリーサマーキャンプの参加者にボランティア精神とノーマライゼーションの理念を認識してもらうとともに、障がい者に対する理解が深まる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R１ | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 201 千円 | 292 千円 | 201 千円 | 201 千円 | 201 千円 | 195 千円 |
| 一般財源 | 1,910 千円 | 1,709 千円 | 1,943 千円 | 1,982 千円 | 1,964 千円 | 1,901 千円 |
| 事業費 | 2,111 千円 | 2,001 千円 | 2,144 千円 | 2,183 千円 | 2,165 千円 | 2,096 千円 |
| 対前年度比 | | 94.79 % | 107.15 % | 101.82 % | 99.18 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2331 | 共生型交流拠点施設管理経費 | 1,874 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 福祉支援係 |
| 2331 | フレンドリーサマーキャンプ事業費補助 | 291 | 85% | ○ | | | | | | | | | 社会福祉係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 2 事業 | | 2,165 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 障がい者施策の充実 |
| | 主要施策 | 3 | ともに支え合う福祉のまちづくり |

| 担当部・課 | 町民生活部福祉課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 共生型交流センターのサロン利用者数は横這いで推移しているが、障がい者相談件数は気軽に立ち寄れる場所から年々増加となり、問題解決へつながっている。<br>フレンドリーサマーキャンプへの補助は、障がいの有無を超えて、交流を深めることができ非常に有意義なものと考えている。 |

### 2 課題

多世代交流が図られるサロン運営は、現状障がい者の利用に偏りつつあるが、高齢者についても気軽に立ち寄れる環境（地域食堂等）整備が必要である。

### 3 今後の方向性

障がいのある人もない人もお互いに理解し、尊重しあう社会の創造のために交流の機会を拡充し、障がいに対する意識改革や理解を深めてもらえるような事業の実施や広報活動を行う。
地域食堂等については、平成29年度より民間において不定期ではあるが実施しており今後も継続が見込まれる。
フレンドリーサマーキャンプについては、障がいを持つ子どもたちの貴重な体験及び交流の場であり、今後も継続することが望ましい。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 今後の方向性のとおり推進していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部福祉課 | 担当課長氏名 | 杉　山　　隆 | 調書作成日 | 令和元年　7　月　10　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 地域福祉の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 地域資源の充実 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 中標津町社会福祉協議会や民生委員・児童委員、各福祉団体、ボランティア活動などの活性化のために支援し、地域福祉の向上を図る。 | 地域住民が助け合い、誰もが住みなれた地域で安心して充実した幸せな生活ができるようにする。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R１ | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 97 千円 | 66 千円 | 73 千円 | 72 千円 | 75 千円 | 73 千円 |
| 一般財源 | 33,272 千円 | 31,936 千円 | 32,647 千円 | 34,186 千円 | 31,052 千円 | 32,232 千円 |
| 事業費 | 33,369 千円 | 32,002 千円 | 32,720 千円 | 34,258 千円 | 31,127 千円 | 32,305 千円 |
| 対前年度比 | | 95.90 % | 102.24 % | 104.70 % | 90.86 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2421 | 地域福祉推進補助 | 97 | 85% | ○ | | | | | | | | | 社会福祉係 |
| 2421 | 社会福祉協議会補助 | 31,030 | 80% | ○ | | | | | | | | | 社会福祉係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　2　事業 | | 31,127 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 地域福祉の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 地域資源の充実 |

| 担当部・課 | 町民生活部福祉課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 中標津町社会福祉協議会は、自主財源だけでの事業運営が不可能であることから、補助することにより安定的な運営が図られ、町民の福祉向上に寄与している。また、福祉団体が自主的に行う事業の経費を一部補助をすることで、地域福祉の推進が図られている。 |

### 2 課題

少子・高齢化が進み町民や地域のつながりについて、若干希薄な社会とも感じられる中、社会福祉事業及び地域福祉の向上には引き続き中標津町社会福祉協議会の協力は不可欠なことから、その基盤である職員体制の安定性が今後も必要となる。。

### 3 今後の方向性

中標津町社会福祉協議会との連携を強め、地域課題について共通認識のもと相互の役割分担により、民生委員・児童委員、各福祉団体、ボランティア団体等の育成、支援を行う。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 中標津町社会福祉協議会の体制整備を推進してから2年目となり、円滑な業務連携ができつつある。安定した事業実施を期待すると共に必要な支援を継続して実施していく。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部福祉課 | 担当課長氏名 | 杉　山　　隆 | 調書作成日 | 令和元年　7　月　10　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 地域福祉の充実 |
| | 主要施策 | 3 | 支え合いの地域づくり |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 支え合い、助け合う地域づくりを推進するには隣同士での助け合いが最も重要であることから、町民一人ひとりの福祉に対する取り組み意識の向上を図る。 | 地域住民が助け合い、誰もが住みなれた地域で安心して充実した幸せな生活ができるようにする。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R１ | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 ボランティア講座受講者数【社会福祉協議会の講座受講者数】 | 人 | ○ 単年 | 200 | 実績値 | 126 | 238 | 162 | 122 | 50.0 | 76.0 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 81.0% | 61.0% | 25.0% | 38.0% | 0.0% |
| 指標2 福祉ボランティア団体数 | 団体 | ○ 単年 | 25 | 実績値 | | 24 | 25 | 23 | 23 | 23 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 100.0% | 92.0% | 92.0% | 92.0% | 0.0% |
| 指標3 福祉ボランティア会員数 | 人 | ○ 単年 | 500 | 実績値 | | 613 | 625 | 595 | 565.0 | 551.0 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 125.0% | 119.0% | 113.0% | 110.2% | 0.0% |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 200 千円 | 194 千円 | 194 千円 | 194 千円 | 174 千円 | 175 千円 |
| 事業費 | 200 千円 | 194 千円 | 194 千円 | 194 千円 | 174 千円 | 175 千円 |
| 対前年度比 | | 97.00 % | 100.00 % | 100.00 % | 89.69 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2431・2432 | 社会福祉協議会補助 | 174 | 80% | ○ | | | | | | | | | 社会福祉係 |
| | （補助金31,030千円のうちﾎﾞﾗﾝﾃｨｱｾﾝﾀｰ活動費分を計上） | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　2　事業 | | 174 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 地域福祉の充実 |
| | 主要施策 | 3 | 支え合いの地域づくり |

| 担当部・課 | 町民生活部福祉課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 中標津町社会福祉協議会が運営するボランティアセンターに支援を行い、活動団体や個人ボランティアの募集、登録団体の増加を目指している。また、講座や交流会を開催し、ボランティアに対する町民の理解と関心が高まったと考える。 |

### 2 課題

ボランティア講座の内容、開催時期によって参加者数が上下することから目標達成には至ってない。

### 3 今後の方向性

中標津町社会福祉協議会や町内会と連携し、広報・啓発活動や福祉教育の推進、福祉イベントの開催や支援等により、町民の理解を深めていく。また、ボランティア講座については参加者が魅力を感じる内容を盛り込んで多くの参加者を募る。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 中標津町社会福祉協議会の体制整備を推進してから2年目となり、円滑な業務連携ができつつある。安定した事業実施を期待すると共に必要な支援を継続して実施していく。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部福祉課 | 担当課長氏名 | 杉　山　　隆 | 調書作成日 | 令和元年　7　月　10　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 地域福祉の充実 |
| | 主要施策 | 6 | 総合福祉センターの拡充及び利用の促進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 総合福祉センターは、町民のふれあいと交流の促進及び地域福祉の拠点施設として利用推進を図る。 | 高齢者や障がい者福祉の増進が図られると共に、ボランティア活動による高齢者の生きがいづくりにつながる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R１ | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 総合福祉センター利用者【年ごとの利用者数（指定管理実績報告）】 | 人 | ○ 単年 | 19,000 | 実績値 | 19,344 | 17,920 | 15,926 | 14,949 | 13,086 | 11,962 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 83.8% | 78.7% | 68.9% | 63.0% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 8,100 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 358 千円 | 5,807 千円 | 357 千円 | 356 千円 | 360 千円 | 363 千円 |
| 一般財源 | 29,117 千円 | 26,717 千円 | 26,553 千円 | 30,833 千円 | 30,843 千円 | 32,325 千円 |
| 事業費 | 29,475 千円 | 32,524 千円 | 35,010 千円 | 31,189 千円 | 31,203 千円 | 32,688 千円 |
| 対前年度比 | | 110.34 % | 107.64 % | 89.09 % | 100.04 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2461 | 中標津町総合福祉センター運営費 | 31,203 | 87.5% | ○ | | | | | | | | | 社会福祉係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 31,203 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 地域福祉の充実 |
| | 主要施策 | 6 | 総合福祉センターの拡充及び利用の促進 |

| 担当部・課 | 町民生活部福祉課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 指定管理者制度により中標津町社会福祉協議会に委託しており、地域福祉の拠点として多様な担い手づくりや支え合いの地域づくりの場として利用されている。 |

### 2 課題

指標1の利用者は、総合体育館の建設に伴い健康増進室利用者が減少している。
また、施設の老朽化に伴い、修繕・交換等が増えており、特に温泉設備に係る箇所の不具合が多くなってきているのをはじめ、揚湯量の低下による光熱水費の増加など今後において維持管理費が増える要素が多い。

### 3 今後の方向性

維持管理において適時、適切な修繕計画を立て、財政的に大きな負担とならないよう管理するとともに、オール電化の施設であることから電気料金の削減に努める。
健康増進室の利用は、減少傾向であるが、脳疾患患者のリハビリ、障がい者及び高齢者の利用は継続して見込まれる。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 総合福祉センターの利用推進については、総合体育館との利用者の棲み分けによる現状の利用者数と考える。<br>施設の維持管理、特に温泉施設については費用対効果を考慮し適切に対応していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**総合福祉センターについては、利用人数が減少傾向にあるため地域福祉の発信拠点としてだけではなく、今後の施設のあり方も含めて検討する必要があると考えます。**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部 健康推進課 | 担当課長氏名 | 本間　義昭 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 5 | 健康づくりの推進 |
| | 主要施策 | 1 | 健康づくりの推進 |
| その他関連計画等 | | 中標津町健康づくり推進計画 | |
| | | 第2次中標津町食育推進計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| ・「健康」は、豊かな人生を送るための基本的な条件の一つであることから、町民一人ひとりの健康保持を目指して、町民や地域、関係機関や行政が協働して支援する環境を整備し、健康づくりを推進する。<br>・心身の健康の増進と豊かな人間形成、食に関する感謝の念を養うため、食育を推進する。 | ・健康づくり推進計画（なかなか健康なかしべつ）に基づき、健康寿命を延ばし、健康で自分らしく豊かな人生を送られるよう、町民一人ひとりが主体性をもって取り組んでいただき、各分野の目標を達成する。<br>・食に関する正しい知識を身につけ、自ら健全な食生活を実践できるようにする。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 週に1回以上運動をする町民の割合（健康づくり推進計画） | % | ○ 単年 | 45.0 | 実績値 | － | 41.8 | － | － | － | － | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | 0.0% |
| 指標2 喫煙率　男 | % | ○ 単年 | 26.5 | 実績値 | H19年42.4 | 30.0 | － | － | － | － | |
| 女 | | 累計 | 10.5 | 達成率 | 23.1 | 16.8 | | | | | |
| 指標3 欠食率　幼児 | % | ○ 単年 | － | 実績値 | 3.0 | － | 1.9 | 2.0 | 1.6 | 3.5 | |
| 成人男性 | | | 24.0 | | 28.3 | 26.6 | 28.6 | 24.4 | 30.2 | 26.8 | |
| 成人女性 | | 累計 | 13.0 | | 16.4 | 15.1 | 13.8 | 13.7 | 15.1 | 21.8 | |
| | | | | 達成率 | | | － | － | － | － | |
| | | | | | | | 119.2 | 101.7 | 125.8 | 111.7 | |
| | | | | | | | 106.2 | 105.4 | 116.2 | 167.7 | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 220 千円 | 1,817 千円 | 303 千円 | 326 千円 | 854 千円 |
| 一般財源 | 613 千円 | 238 千円 | 235 千円 | 16 千円 | 19 千円 | 40 千円 |
| 事業費 | 613 千円 | 458 千円 | 2,052 千円 | 319 千円 | 345 千円 | 894 千円 |
| 対前年度比 | | 74.71 % | 448.03 % | 15.55 % | 108.15 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2511・2512 2514 | 健康づくり推進事業 | 225 | 95% | ○ | | | | | ○ | | | | 健康推進係 |
| 2512 | 食育推進事業 | 120 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 健康指導係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　2　事業 | | 345 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 5 | 健康づくりの推進 |
| | 主要施策 | 1 | 健康づくりの推進 |

| 担当部・課 | 町民生活部 健康推進課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・健康づくり推進連絡会議を開催し、計画の進捗状況を把握するとともに、今後の事業実施方法等についての協議を行い、目標達成に向け計画の推進を図っている。<br>・令和元年度においても、ふるさと納税制度を活用し、総合体育館との連携による体力測定会を実施し、運動の推進、健康相談、体組成等の測定、計画の認知度を高める活動も実施した。<br>・なかなか健康なかしべつポイント事業を実施し、健診受診者だけでなく体育施設利用者、相談・教室参加者へもポイントを付与することで、町民の健康づくりの取組みへの動機づけとすることができた。<br>・食育については、推進連絡会議を開催して関係機関・関係部署との連携を図り、各農協や食生活改善協議会、中標津農業高校など、各推進連絡委員が所属している団体において、それぞれの立場において食育の推進に向けた取組みを行っている。<br>・食育教室では、親子教室、小中高生を対象とした教室を行った。 |

### 2 課題

・中標津町健康づくり推進計画の計画期間を平成24年度から32年度までの9年間とし、令和3～12年度を第2次中標津町健康づくり推進計画の施行に向け、健康づくり推進連絡会議において計画内容の協議をしなければならない。まずは現計画の評価及び第2次計画策定のため町民アンケート調査を実施しなければならない。
・一人でも多くの町民になかなか健康なかしべつポイント事業に参加してもらい、健康づくりへの動機づけとなるようにしていく必要がある。
・食育教室については、幼児から高齢期まで切れ目のない食育を推進するにあたり、可能な限り対応しているが、進学やクラブ活動等で多忙な中高生に向けた教室の参集に苦慮している。啓発方法の検討が必要である。

### 3 今後の方向性

・令和3年度からの第2次中標津町健康づくり推進計画策定に向け、町民アンケート調査、現計画の評価を実施し、健康づくり推進連絡会議において協議していく。
・なかなか健康なかしべつポイント事業を引き続き実施し、町民の健康づくりへの取組みのきっかけづくりとなるよう、ロゴマークも活用しながら広報誌、チラシ等による周知の強化、ポイント付与対象事業の増加等の検討を行う。
・令和3年度からの第3次中標津町食育推進計画策定に向け、評価アンケートを実施し、食育推進連絡会議において計画内容について協議していく。
・幼児から高齢期まで切れ目のない食育を推進するにあたり、食育教室は可能な限り実施する。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 「なかなか健康なかしべつポイント事業」のようにインセンティブのあるものには参加者が増加するが、健康無関心層をいかに呼び込むかが今後の事業展開の課題と考える。<br>食生活等、予防も含めた健康づくりを推進するために引続き広報活動を地道に展開していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部 健康推進課 | 担当課長氏名 | 本間　義昭 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 5 | 健康づくりの推進 |
| | 主要施策 | 2 | 母子保健事業の充実 |
| その他関連計画等 | | 第４次中標津町母子保健計画 | |
| | | 中標津町子ども子育て支援事業計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

### １ 目的（何のために）

・母子保健法に基づき、生涯を通して健康な生活を送るため、母性及び乳幼児の総合的、継続的な保健サービスを提供する。また、特定不妊治療を受けられた方へ治療費の助成を行い、経済的負担軽減を図る。
・食生活、歯の健康、生活リズム等、健康の基本となる生活習慣の確立へ向けた継続的な保健サービスを提供する。

### ２ 求める成果（どのような成果を期待するか）

・妊産婦から切れ目のない支援を行い、心身の健康管理の充実及び経済的負担の軽減を図り、妊婦が心身ともに健康的に過ごし、安全な妊娠、出産、育児ができる。
・乳幼児及び養育者の健康の保持増進を図り、訪問指導等で病気や障がいの早期発見、早期養育に結び付ける。
・規則正しい食習慣を確立し、健康な体を作る。肥満を予防・改善する。
・歯科疾患予防のため知識の普及と口腔衛生の推進を図り、むし歯の減少につなげる。

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標１ 乳幼児健診受診率 | % | ○ 単年 | － | 実績値 | 97.2 | － | － | － | － | － | |
| 1.6ヶ月健診 | | | 97.0 | | － | 96.6 | 99.0 | 96.9 | 98.4 | 97.6 | |
| 3歳児健診 | | | 97.0 | | － | 96.9 | 99.2 | 96.2 | 98.4 | 97.1 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | － | － | － | － | |
| | | | | | | | 102.1% | 99.9% | 101.4% | 100.6% | |
| | | | | | | | 100.7% | 99.2% | 101.4% | 100.1 | |
| 指標２ むし歯のない3歳児の割合 | % | 単年 | 75.0 | 実績値 | | 75.2 | 77.0 | 84.2 | 85.3 | 88.2 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 102.7% | 112.3% | 113.7% | 117.6% | 0.0% |
| 指標３ | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 1,644 千円 | 8,526 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 94 千円 | 60 千円 | 62 千円 | 2,216 千円 |
| 一般財源 | 23,722 千円 | 23,648 千円 | 21,839 千円 | 21,560 千円 | 19,254 千円 | 13,395 千円 |
| 事業費 | 23,722 千円 | 23,648 千円 | 21,933 千円 | 21,620 千円 | 20,960 千円 | 24,137 千円 |
| 対前年度比 | | 99.69 % | 92.75 % | 98.57 % | 96.95 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2521 | 母子保健事業（妊産婦健康診査費助成事業・特定不妊治療費助成事業、新生児聴覚検査費助成事業、産後ケア事業、子育て包括支援センター） | 16,325 | 92.5% | | ○ | | ○ | | | | | | 母子健康係 |
| 2522 | 母子保健事業（乳幼児健診相談訪問事業） | 1,917 | 95% | | | | ○ | | | | | | 母子健康係 |
| 2523 | 母子保健事業（栄養事業） | 194 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 健康指導係 |
| 2524 | 母子保健事業（歯科事業） | 2,524 | 97.5% | ○ | | | | | | | | | 健康指導係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 4 事業 | | 20,960 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 5 | 健康づくりの推進 |
| | 主要施策 | 2 | 母子保健事業の充実 |

| 担当部・課 | 町民生活部 健康推進課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・妊婦健診の交付者は、全員受診して出産を迎えることができ、妊婦の健康保持、安全な出産につながっている。また、精密健診助成についての見直しを行い、体制整備を図ることができた。<br>・若年、妊婦の健康問題、家庭基盤が不安定など様々な問題を抱えており、妊婦の相談数・訪問数が増加している。<br>・産後ケア事業については、ニーズはあるが利用が伸びなかった。<br>・食事や運動に関する保護者の意識の変化が見られており、計測値の結果も半数以上が改善している。<br>・発達に関する相談、こども相談も増加している。<br>・肥満対策として、学童では来所等により継続的なフォローを実施し、食事やおやつの気づきや改善につながっている。<br>・妊娠期から学童期まで継続して歯科指導を行っていることから、3歳児及び12歳児についてむし歯が減少している。 |

### 2 課題

・妊婦支援として、保健指導の中、喫煙している方は年々減少しているが、同居親族等の喫煙による受動喫煙を含めた喫煙指導の継続が必要である。
・産後ケア事業について、利用に結び付かない背景には、利用しやすいサービスや施設、料金でないということが考えられる。
・子育て世代包括支援センターを活用した、妊娠期からの支援の強化が必要である。
・肥満度が悪化している子どももいるため継続的な支援が必要である。
・むし歯は減少傾向にあるが、むし歯になっている児の半数は比較的本数が多いので対策に工夫が必要である。また、歯の健康に関心の低い保護者へは、むし歯予防の必要性の指導の継続が必要である。
・フッ化物塗布については、ほとんどの児が受けており、う歯の減少の要因になっている。しかし健診・相談時の限られた時間の中で実施することから、対応職員（臨時職員を含む歯科衛生士）の確保を行う必要がある。

### 3 今後の方向性

・妊産婦の支援を行い、心身ともに健康的に安全な妊娠、出産、育児ができるよう、また虐待予防や早期発見のためにも妊娠期からの支援を継続する。
・産後ケア事業、産婦健診事業については、実施状況とニーズを把握しつつ、実施方法や委託施設について検討を行う。
・乳幼児の健診について、マイナポータルへの副本登録が必要で、登録の件数、入力内容が膨大であり、システムの導入と管理が必要である。
・子育て世代包括支援センターを設置し、支援の強化、連携の充実を図るため、システムの導入の検討を行う。
・乳幼児のむし歯は減少傾向にあるが、さらに減少を目指す。保護者へのむし歯予防の必要性について継続的に指導をする。
・子育て世代包括支援センターの周知を図る。

### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松 絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 妊産婦の健康管理の充実や経済的負担の軽減、乳幼児の健康保持増進を図るため各種事業を実施するとともに、子育て世代包括支援センターの設置により、妊産婦期からの支援や虐待予防などの支援等を行うことによって安心して出産・子育てが出来る環境を整えていく。<br>町立中標津病院と連携し、産後ケア事業を推進する。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部 健康推進課 | 担当課長氏名 | 本間　義昭 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 5 | 健康づくりの推進 |
| | 主要施策 | 3 | 成人保健事業の拡充 |
| その他関連計画等 | | 第3期中標津町特定健康診査・特定保健指導実施計画 | |
| | | 中標津町国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画） | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| ・高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、メタボリックシンドローム該当者、予備群該当者を減少させるとともに、生活習慣病（脳卒中、心筋梗塞、糖尿病等）の重症化を防ぎ、医療費の中長期的な減少を図る。<br>・健康増進法、がん対策基本法による事業実施により、成人期の健康保持増進を図る。<br>・健康的な食習慣を身につけ、生活習慣病の予防・改善を図る。<br>・歯科疾患予防の知識の普及と口腔衛生の推進を図る。 | ・特定健康診査受診率30%、特定保健指導率25%を目指し、国民健康保険加入者の生活習慣病の発症・重症化を予防する。<br>・がん検診、肝炎ウイルス検査、健康診査（生保）の受診率向上。<br>・病気の発見、早期治療に結びつける。<br>・食生活に関する知識を深め、生活習慣病の予防・改善に心がける。<br>・日常の正しい口腔ケアを実践することができる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 特定健診受診率 | % | ○ 単年 | 25.0 | 実績値 | 16.0 | 19.6 | 23.7 | 24.2 | 26.9 | 29.2 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 94.8% | 96.8% | 107.6% | 116.8% | 0.0% |
| 指標2 乳がん検診受診率 | %（下段はH28年度から新たに設定した目標値） | ○ 単年 | （33.0） | 実績値 | 15.9 | 26.4 | 8.2 | 8.1 | 8.7 | 9.8 | |
| | | 累計 | 15.0 | 達成率 | | | 54.7% | 54.0% | 58.0% | 65.3% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 4,110 千円 | 5,215 千円 | 4,410 千円 | 4,234 千円 | 4,842 千円 | 8,451 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 20 千円 | 14 千円 | 12 千円 | 20 千円 |
| 一般財源 | 22,652 千円 | 19,957 千円 | 20,714 千円 | 21,559 千円 | 21,463 千円 | 33,834 千円 |
| 事業費 | 26,762 千円 | 25,172 千円 | 25,144 千円 | 25,807 千円 | 26,317 千円 | 42,305 千円 |
| 対前年度比 | | 94.06 % | 99.89 % | 102.64 % | 101.98 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2531 | 特定健診・保健指導事業 | 13,243 | 85% | | | | | | ○ | | | | 健康推進係 |
| 2532 | がん検診等事業 | 10,420 | 95% | | | | | | ○ | | | | 健康推進係 |
| 2532 | 国保健康づくり推進事業（成人保健事業）〈国保特別会計〉 | 2,356 | 95% | | | | | | ○ | | | | 健康推進係 |
| 2534 | 食生活改善事業（成人保健事業）〈一般会計、国保特別会計〉 | 107 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 健康指導係 |
| 2535 | 成人歯科疾患予防対策事業〈国保特別会計〉 | 191 | 95% | ○ | | | | | | | | | 健康指導係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　5　事業 | | 26,317 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 5 | 健康づくりの推進 |
| | 主要施策 | 3 | 成人保健事業の拡充 |

| 担当部・課 | 町民生活部 健康推進課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・特定健康診査は、次年度の健診を申し込める自動予約やインターネットからの申込み、データ受領、健診料の無料化、健診日の拡大、未受診者への勧奨、町内の団体から協賛を受け拡充しながら行っている「なかなか健康なかしべつポイント」の実施、「みなし健診」の実施など、対策を行ってきたことにより受診率が徐々に増加している。また、特定健診とがん検診（胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がん）を一部同日に受けられるようにするなど、受けやすい体制づくりに取り組んでいる。<br>・無料クーポン券（乳がん、子宮頸がん、肝炎検査）の配布や個別勧奨事業の実施により受診者数が増加している。<br>・国保の人間ドックの受診者数が横ばい状態である。 |

### 2 課題

・特定健康診査は、受診率が年々増加してきているものの、国の目標値には達成できていない。今後においても生活習慣病の発症・重症化予防のため受診しやすい体制づくりや個別勧奨等のほか、健診事後の特定保健指導の定着化など、受診率向上に向けた対策が必要である。
・人間ドックは、定員以上の受診希望があるため、受診枠を拡大する必要がある。
・受診率を上げることで、結果説明会や健診事後相談の件数が増えることから、専門職（保健師・管理栄養士）の他事業への稼動を考慮しながら、どのように効率的に増加分の対応をするか検討をしていく必要がある。

### 3 今後の方向性

・特定健診については、次年度の健診を申し込める自動予約、インターネットからの予約受付、健診の無料化、健診日の拡大、未受診者や要精密検査者への受診勧奨、なかなか健康なかしべつポイント事業などを継続して実施する。
・特定健診とがん検診を同時に受診できる体制の拡大や町立病院での個別検診の実施など、受診しやすい体制を進めていく。
・業務軽減や受診率向上に向け、健診データ等をシステム管理化、地域健康システム「健康かるて」の導入が必要である。
・成人への歯科疾患予防対策を継続して実施し、特に歯周病予防を重点に歯科清掃の実践を行うなど、全町民への知識の普及を継続して行っていく。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 町民の健康保持増進、疾病の早期発見・早期治療、医療費削減等を目指し、各種健診への受診勧奨、健康思想の啓発等を実施していく。<br>受診しやすい環境づくりを検討していくと共に町立中標津病院等関係機関との連携を強め、受診率の向上を図っていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部 健康推進課 | 担当課長氏名 | 本間　義昭 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 5 | 健康づくりの推進 |
| | 主要施策 | 4 | 心の健康づくり推進 |
| その他関連計画等 | | 中標津町生きるを支える自殺対策行動計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| ・町民の心の健康づくりを支援する。 | ・自殺率の減少。<br>・相談できる人や場がある人の割合が増える。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 17 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 241 千円 | 300 千円 |
| 一般財源 | 120 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 18 千円 | 2 千円 |
| 事業費 | 120 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 276 千円 | 302 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2541 | こころの健康づくり支援事業 | 276 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 健康推進係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 276 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 5 | 健康づくりの推進 |
| | 主要施策 | 4 | 心の健康づくり推進 |

| 担当部・課 | 町民生活部 健康推進課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・こころの健康づくりに関する相談窓口についての周知。<br>・「中標津町生きるを支える自殺対策行動計画」に基づき広報なかしべつでの記事掲載、出前健康教育、健康相談を実施。<br>・生きるを支える連携会議、ゲートキーパー養成講座の開催により自殺対策への関心が高まった。 |

### 2 課題

・自殺対策は様々な関係機関とのネットワークづくりが重要であり、連携が必要である。
・適切に支援ができるよう、専門職の支援技術向上が必要である。
・地域で見守り支える仕組みづくりが課題である。

### 3 今後の方向性

・心の健康について、相談機関や相談窓口の周知など、普及･啓蒙活動、健康教育や健康相談を継続して実施していく。
・ゲートキーパー養成講座を開催し、自殺対策を支える人材の育成や自殺対策支援に関する職員の技術向上を図る。
・関係機関との地域ネットワークの強化を図る。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 「中標津町生きるを支える自殺対策行動計画」に基づき、「誰も自殺に追い込まれることのない中標津町」の実現を目指す。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長･課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部 健康推進課 | 担当課長氏名 | 本間　義昭 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 5 | 健康づくりの推進 |
| | 主要施策 | 5 | 健康危機管理の充実 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| ・感染症や伝染病の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防し、疾病にかかるリスクを下げる。<br>・熱中症や食中毒予防など、健康危機管理に対する正しい知識の普及により健康被害を防止する。 | ・感染症予防・拡大の防止。<br>・伝染病の恐れのある疾病の発生及びまん延の防止。<br>・熱中症や食中毒についての具体的な予防方法を理解し、危機を回避する。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 予防接種実施率 | % | ○ 単年 | 97.0 | 実績値 | 91.0 | 97.0 | 93.9 | 95.3 | 96.3 | 98.0 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 96.8% | 98.2% | 99.3% | 101.0% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 1,117 千円 | 1,914 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 400 千円 | 400 千円 | 400 千円 | 千円 | 千円 | 2,879 千円 |
| 一般財源 | 42,597 千円 | 57,675 千円 | 54,437 千円 | 47,053 千円 | 50,731 千円 | 52,742 千円 |
| 事業費 | 42,997 千円 | 58,075 千円 | 54,837 千円 | 47,053 千円 | 51,848 千円 | 57,535 千円 |
| 対前年度比 | | 135.07 % | 94.42 % | 85.81 % | 110.19 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2551 | 健康危機管理の充実（感染症予防対策） | 51,848 | 95% | ○ | | | | | ○ | | | | 管理係 |
| 2553 | 健康危機管理の充実（熱中症・食中毒予防対策） | 0 | 90% | ○ | | | | | | | | | 健康指導係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 2 事業 | | 51,848 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 5 | 健康づくりの推進 |
| | 主要施策 | 5 | 健康危機管理の充実 |

| 担当部・課 | 町民生活部 健康推進課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・予防接種については、平成25年度から、ヒブ、小児用肺炎球菌及び子宮頸がんが定期接種化され、平成26年10月からは、水痘及び高齢者の肺炎球菌予防接種が、平成28年4月からは日本脳炎、10月からB型肝炎がそれぞれ定期接種となり、予防接種の種類が増加したことにより、疾病の発生及びまん延の予防効果が上がっている。<br>・熱中症予防及び食中毒予防の対策として、広報記事掲載や健康教育・健康相談時における注意喚起のほか、警報発令時等にあっては、町公式ツイッターやフェイスブック、災害対応型自動販売機電光掲示板の表示、看板設置、公用車用マグネットシートなどにより迅速に対応している。<br>・新型インフルエンザ等対策本部の事務局として、情報の発信、予防に向けた消毒等のマニュアルを作成するなど拡大する恐れのあるコロナ対策の予防に努めた。 |

### 2 課題

・各予防接種は、おおむね95%前後、またはそれ以上の高い接種率となっているが、子宮頸がん予防については、ワクチン接種後に副作用と見られる症状の事例があったことから、平成25年6月に適切な情報提供することができるまでの間、子宮頸がん予防の定期接種を積極的に勧めるべきではないとされた。このことから、以降、子宮頸がん予防の接種については、ほとんどされていない状況にある。

### 3 今後の方向性

・予防接種の必要性を各健診や相談時で説明し、適切な時期に受けられるよう支援する。また、予防接種における制度の変遷に応じ適切な情報を提供するとともに、接種により重篤な健康被害が発生しうる事実を正確に伝え、予防接種の有効性とリスクについての理解が得られるよう支援するとともに、感染予防の必要性の周知や予防接種の勧奨を行う。
・熱中症予防及び食中毒予防については、情報提供、注意喚起のほか、警報発令時等にあっては迅速に対応し健康被害を防止する。
・新型インフルエンザ対策本部として、コロナに関する情報の収集を行い、周知等予防対策に努める。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 各種予防接種の実施、食中毒予防や熱中症予防に対する啓発、周知を徹底して行い、健康被害防止を推進していく。<br>「新北海道スタイル」に合わせた、コロナ予防対策の推進を促す。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町立中標津病院　医事課 | 担当課長氏名 | 走出利政 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　17　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 地域医療の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 地域医療体制の確立 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

### １ 目的（何のために）

団塊の世代が75歳を迎える2025年に向けて、必要なサービス提供体制の確保を図るため、平成26年6月に公布された「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」に基づき、策定された北海道地域医療構想を踏まえ、町内の医療機関やその他関係機関との連携を強化し、地域医療体制の確立を果たす。

根室管内は、医療資源の少ない地域であることから、常勤医師の不足や高度医療機器の購入などが非常に厳しい医療現場となっている。そのようなことから以前より釧路市の高次医療機関を含む、釧路根室地域医療情報ネットワーク協議会に加盟しており、医療情報ネットワークを活用し、釧路、根室地域の患者の医療情報を共有することで、転院や救急搬送等に際し、迅速かつ適正で円滑な医療提供が行える環境の充実を図る。

今後、進む少子・高齢化により、これまで以上に社会保障制度が複雑となり、医療、介護、福祉等の相談が多岐にわたることが想定されることから、専門的知識を有する相談員は地域住民にとって必要不可欠である。

### ２ 求める成果（どのような成果を期待するか）

急性期、回復期、慢性期のそれぞれを担う医療機関との連携強化を図ることで、よりきめ細かい医療提供を実施する。

また、医療情報ネットワークを利用し、関係する医療機関と患者情報の共有が可能となることで医療提供の利便性の向上を図り、関係機関（保健、介護、福祉等）とも連携を密に行うことで、地域住民が安心して入院や在宅療養生活を送れる環境を構築し、まちづくりに寄与する。

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 1,340 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 1,349 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 21,487 千円 | 22,355 千円 | 23,469 千円 | 24,219 千円 | 24,724 千円 | 25,059 千円 |
| 事業費 | 21,487 千円 | 22,355 千円 | 23,469 千円 | 26,908 千円 | 24,724 千円 | 25,059 千円 |
| 対前年度比 | | 104.04 % | 104.98 % | 114.65 % | 91.88 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2611,2612、2613 | 地域医療体制の確立 | 0 | 85% | ○ | ○ | | | | ○ | | | | 医事係 |
| 2612 | 医療相談室・地域医療連携室の推進 | 24,387 | 97.5% | | | | ○ | | | | | | 医事係 |
| 2612 | 地域センター病院機能充実事業（釧路・根室地域病院間ネットワーク） | 340 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 医事係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　３　事業 | | 24,727 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 地域医療の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 地域医療体制の確立 |

| 担当部・課 | 町立中標津病院　医事課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br><br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 地域住民の皆様が安心して入院や在宅療養生活を送れるよう、医療相談室、地域医療連携室を設置し、各医療機関、介護関連施設などとの連携体制の強化を進めている。訪問診療や訪問介護などを継続して療養が必要な状態にある患者については、計画的に訪問診療を行っている。<br>厚生労働省の目指す地域包括ケアシステムの視点に立ち、スムーズな連携を行っている。尚、医療相談室の実績としては入院・外来患者からの医療・介護保険制度等について5,586人の方から医療相談を受けている。また、転院や救急搬送時の他医療機関との医療連携調整については、1,633人の実績がある。その中で患者情報を共有できる医療情報ネットワーク新規利用者は98人となっており、これまでの登録者数は610人となっている。また、地域医療構想を踏まえ第二次医療圏の根室管内各医療機関において、今後必要とされる病棟の種類や病床数について根室圏域地域医療構想調整会議にて病棟の確保や取組状況を含めて議論を行っている。引き続き2025年向けた地域の医療・介護情勢を踏まえ、必要とされる入院病床について院内での協議及び計画が必要である。 |

### 2 課題

町内における医療機関は当院を除いて、1病院、5診療所であり、身近な医療を提供するかかりつけ医を促進するには、医療機関の数は不足している状況にある。地域医療構想を踏まえ、第二次医療圏の根室管内各医療機関では病棟の種類とその病床数について議論が行われているが、医療資源の少ない地域である根室第二次医療圏の各医療機関だけの議論ではなく、第三次医療圏の釧路管内医療機関を含めた議論が必要である。

### 3 今後の方向性

地域医療構想を踏まえ、2025年に向け、根室第二次医療圏に必要とされる病棟の種類やその病床数についての議論は、引き続き根室圏域地域医療構想調整会議にて行われる。今後は第三次医療圏の医療機関等においても議論を行い、釧路市内の医療機関が担う役割、根室管内の医療機関が担う役割を明確にし、第三次医療圏全体として検討することも重要である。また、当院としても必要とされる役割、目標等を再度精査する必要がある。今後とも地域センター病院としての役割を維持し、第三次医療圏釧路市の医療機関との連携を密に図りつつ、経営改善の議論、その計画、実行が病院として急務である。

令和2年6月より病院経営改革プロジェクトチームが発足したことにより、院内での課題や問題点を改善すべくワーキンググループでの議論を基に具体的手法を検討・実施して行く。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 石垣　敏 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br><br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価のとおり「A：このまま進めてよい」と評価する。<br>地域医療構想による入院病棟のあり方については、道により根室地域のあり方について結果が出ているところであるが、経営改革プロジェクトチームを中心とした協議を重ね、地域として必要不可欠な回復期病床である地域包括ケア病床や、慢性期病床である地域一般病床への転換など、持続可能な地域医療体制の構築を図る。<br>また、医療相談室、地域医療連携室の相談件数、紹介、受入件数は年々増加傾向にあり、体制強化が必要である。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町立中標津病院管理課 | 担当課長氏名 | 有賀　勇治 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　17　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 地域医療の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 町立病院の機能充実 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 地域住民の命を守り、安全で安心な暮らしのためには、救急医療体制をはじめとする地域医療の充実が不可欠であることから、根室管内の中核病院としての機能の充実・整備と地域に根ざした病院として地域医療の充実を図る。 | 医療機器を計画的に整備・更新することにより医療機能の維持・充実を図る。<br>医療スタッフの研修により、医療技術・サービスの向上・充実を図ると共に、地域の住民に愛される（信頼される）医療機関となる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 病床利用率 | % | ○ 単年 | 70 | 実績値 | 47.9 | 37.7 | 35.5 | 40.1 | 44.5 | 41.9 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 50.7% | 57.3% | 63.6% | 59.9% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 1,332 千円 | 43,000 千円 | 2,130 千円 | 1,940 千円 | 14,077 千円 | 15,050 千円 |
| 地方債 | 401,800 千円 | 281,800 千円 | 23,000 千円 | 37,500 千円 | 21,700 千円 | 20,400 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 2,490 千円 | 1,703 千円 | 19,594 千円 | 2,527 千円 | 1,418 千円 | 1,734 千円 |
| 事業費 | 405,622 千円 | 326,503 千円 | 44,724 千円 | 41,967 千円 | 37,195 千円 | 37,184 千円 |
| 対前年度比 | | 80.49 % | 13.70 % | 93.84 % | 88.63 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2621 | 医療機械器具整備 | 35,289 | 100% | ○ | | | | | | | | | 経理係 |
| 2621 | 看護職員等研修 | 721 | 90% | ○ | | | | | | | | | 総務管理係 |
| 2621 | 地域センター機能強化事業（研修会開催事業） | 1,185 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 総務管理係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　3　事業 | | 37,195 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 地域医療の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 町立病院の機能充実 |

| 担当部・課 | 町立中標津病院管理課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 道の補助金を活用し、電動油圧手術台など医療機器12品目13点の購入により、検査・治療の充実が図られ、医療診断・治療に活用されている。<br>また、看護職員の課題に応じた対策や研修を実施。 院内研修：看護研究アドバイザー研修（1回）、新人研修（11回）、経年別研修（プリセプターフォローアップ研修1回、看護倫理研修1回、リーダーシップ研修1回）等。学研ナーシングサポート（インターネット配信研修）、日本看護協会根室支部独自研修を実施、更に地域センター病院として医師会と共催し、学術講演会を3回実施、更に、全ての住民を対象とした医療講演会を開催し、医師・医療スタッフの資質や医療技術の向上が図られた。一方で、新型コロナウイルスの影響により2月3月の患者数が昨年度より千人減少し病床使用率は昨年を下回る結果となった。 |

### 2 課題

病院の機能充実には、耐用年数の経過した医療機器等が多数あるため、計画的に更新整備を進める必要があるが、病院運営が厳しい状況にあり、整備に係る財源の確保が必須となっている。
令和元年度は、入院・外来を合わせた患者数は175,354人で、前年度と比較すると入院で1,820人、外来で2,775人の減となったが、病院収入の根幹である診療収入の減少は、病院経営を圧迫する大きな要因の一つとなることから、患者数を増やし増収に努める必要がある。

### 3 今後の方向性

地域住民の命を守り、安全で安心して暮らせるまちづくりのためには、持続可能で安定的な医療提供が不可欠である。そのために、医師、看護師及び医療技術者の確保は重要な課題であり、医療関係者が働きやすい環境の形成に向け、研究・研修機会の確保を図る。
また、病院施設を継続して使用するためには、施設の大規模改修や、現病院新築時に合わせて導入している医療機器が耐用年数を超えているため、更新が必要となっている。
病院の運営状況は大変厳しい状況であるが、病院経営コンサルタントと委託契約し、令和2年6月3日に発足した町立中標津病院経営改革プロジェクトチームにより「医療介護連携」「救急連携」「住民連携」「診療報酬算定強化」「コスト削減」のテーマごとにグループワークにより検討を行い、健全経営を行うための経営改革を行う。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 石垣　敏 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価のとおり「A：このまま進めてよい」と評価する。<br>看護職員や医療技術者の研修については、病院の運営、患者に対する技術の向上などに寄与することから、今後も計画的に研修会を開催し、職員の資質向上を図る。<br>医療機器の購入については、限られた予算の有効活用を図り、老朽化しているもの、必要度の優先順位などを検討しながら購入を進める。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町立中標津病院　医事課 | 担当課長氏名 | 走出利政 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　17　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 地域医療の充実 |
| | 主要施策 | 3 | 救急医療・災害時医療体制の確立 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 町民一人ひとりが住み慣れた地域で、健康で安心できる生活を送ることを実現するため、救急医療体制は不可欠であり、救急患者の症状に応じた適切な医療の提供を維持する必要がある。地方公共団体が地域の実情に応じて病院群輪番制方式、共同利用型病院方式等による入院を要する救急医療機関を整備し、大規模地震等による負傷者の発生に備え、応急収容するために転用できる場所や応急用資器材等の確保により自己完結できる体制整備が必要であり、災害派遣チーム（DMAT）の隊員確保、育成が今後も必要とされる。 | 町民一人ひとりが住み慣れた地域で、安全で安心した生活を送ることが出来るための適切な救急医療体制の確保。<br>大規模地震等による負傷者の発生に備え、自己完結できる医療体制の整備や災害派遣チーム（DMAT）の維持。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 町外（釧路市）医療機関への搬送件数 | 件 | ○ 単年 | 145 | 実績値 | 178 | 192 | 167 | 200 | 170 | 153 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 115.2% | 137.9% | 117.2% | 105.5% | 0.0% |
| 指標2 時間外受診者数 | 人 | ○ 単年 | 4,400 | 実績値 | 8,412 | 5,477 | 5,099 | 5,221 | 5,404 | 4,586 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 115.9% | 118.7% | 122.8% | 104.2% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 2,180 千円 | 1,431 千円 | 2,198 千円 | 2,208 千円 | 2,244 千円 | 2,244 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 1,091 千円 | 1,852 千円 | 1,100 千円 | 1,105 千円 | 1,123 千円 | 1,123 千円 |
| 一般財源 | 213,280 千円 | 211,136 千円 | 219,821 千円 | 227,170 千円 | 263,570 千円 | 270,408 千円 |
| 事業費 | 216,551 千円 | 214,419 千円 | 223,119 千円 | 230,483 千円 | 266,937 千円 | 273,775 千円 |
| 対前年度比 | | 99.02 % | 104.06 % | 103.30 % | 115.82 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2631 | 救急医療体制の充実 | 258,784 | 97.5% | ○ | ○ | | | | ○ | | | | 医事課医事係 |
| 2631 | 広域救急医療対策事業（小児救急医療支援）一般会計 | 1,123 | 100% | | ○ | | | | | | | | 管理課総務管理係 |
| 2631 | 広域救急医療対策事業（小児救急医療支援）病院事業会計 | 6,831 | 97.5% | | ○ | | | | | | | | 管理課総務管理係 |
| 2632 | 災害医療体制の充実 | 199 | 82.5% | | ○ | | | | | | | | 管理課総務管理係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　4　事業 | | 266,937 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 地域医療の充実 |
| | 主要施策 | 3 | 救急医療・災害時医療体制の確立 |

| 担当部・課 | 町立中標津病院　医事課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 地域の救急医療体制の充実を図るため、24時間、365日の救急医療体制を実施している。時間外で受診された患者は4,586人となっており、前年度と比較すると818人減少している。<br>土日祝祭日については、小児科時間外診療を午前10時から午前11時の時間で実施しており、小児科時間外患者全体の約9割（小児科時間外患者数1,628人中、1,463人が受診）の子どもが受診している。また、消防救急隊との連携を図り、専門的な高度医療、特殊医療を提供できる第三次医療圏の釧路市内医療機関へ救急車やドクターヘリにより153件の搬送を行っている。<br>当院は災害拠点病院の指定を受けており、災害時における受入体制構築や被災地への災害時医療援助隊（DMAT）の派遣など医療体制整備を行っている。 |

### 2 課題

24時間、365日の救急医療体制を維持していくためには、常勤医師の当直業務の軽減を図るため、引続き大学医局等を通じて出張医師確保に努める。また、コンビニ受診の抑制が必要と思われるものの、救急医療が発生した際の患者若しくは家族の初期対応が重要であることから、救急時の初期対応を家庭においてもが対応出来るよう、医療情報の発信が必要である。
災害時の医療体制については、災害時を等想定した防災危機管理マニュアルの見直し及び、トリアージ訓練等の実施が必要である。また、被災地への医師等派遣については災害時医療援助隊（DMAT）の複数編成等が理想である。

### 3 今後の方向性

令和元年度の時間外に受診された患者については、4,586人で前年度と比較して818人の減となっている。また、その際に入院された方は、566人で前年度と比較して106人の減となっている。時間外の医療従事者の体制としては、限られた人員の中で適切な医療行為を提供しなければならないため、引続き、適正かつ迅速な医療行為の提供が行える環境整備を構築し、三次医療圏の釧路市内医療機関との連携を密に行い、地域センター病院としてまた、二次医療圏域の医療機関としての役割を果たしていく必要がある。
また、災害時の対応として、定期的な防災危機管理マニュアルの見直しが必要であり、DMAT隊の派遣については、複数隊編成等にも対応できる人材の育成が求められる。
令和2年6月より病院経営改革プロジェクトチームが発足したことにより、院内での課題や問題点を改善すべくワーキンググループでの議論を基に具体的手法を検討・実施して行く。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 石垣　敏 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価のとおり「A：このまま進めてよい」と評価する。<br>地域における救急医療体制の確保は、地域住民の生命を守る上で最も重要であることから、当院の医療提供体制のみならず、今後とも大学等の協力を得ながら進めて行く必要がある。<br>また、災害時の受入体制、DMATなどの派遣体制については、今後とも人材の育成を行い、受入、派遣共に協力できる体制の整備を図る必要がある。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町立中標津病院管理課 | 担当課長氏名 | 有賀　勇治 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　17　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 地域医療の充実 |
| | 主要施策 | 4 | 安定経営の取組 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 持続可能な病院経営を確保するため。 | 適切な医療提供体制の再構築を図るため、平成29年3月に策定した『町立中標津病院新経営改革プラン』の実施。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 1,598,732 千円 | 1,530,932 千円 | 1,590,843 千円 | 1,598,297 千円 | 1,548,361 千円 | 1,421,912 千円 |
| 事業費 | 1,598,732 千円 | 1,530,932 千円 | 1,590,843 千円 | 1,598,297 千円 | 1,548,361 千円 | 1,421,912 千円 |
| 対前年度比 | | 95.76 % | 103.91 % | 100.47 % | 96.88 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2641 | 病院事業会計繰出金 | 1,548,361 | 92.5% | ○ | ○ | | ○ | | | | | | 経理係 |
| 2642 | 新町立中標津病院改革プラン実施事業 | 0 | 87.5% | ○ | ○ | | | | | | | | 経理係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　2　事業 | | 1,548,361 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 地域医療の充実 |
| | 主要施策 | 4 | 安定経営の取組 |

| 担当部・課 | 町立中標津病院管理課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| C<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 国の繰出し基準通達、及び一般会計との繰出し基準に基づき、<br>救急医療確保負担金(258,784千円)・保健衛生行政経費負担金(12,112千円)・建設改良（企業債利息）負担金(40,433千円)・リハビリテーション医療経費負担金(33,421千円)・小児医療経費負担金(66,186千円)・周産期医療費負担金（17,074千円）・研究研修経費補助金(5,836千円)・医師確保対策経費補助金(597,698千円)・共済組合追加費用負担分補助金(15,804千円)・基礎年金拠出金公的負担補助金(45,920千円)・児童手当補助金(8,278千円)・院内保育所経費補助金(12,115千円)・医療確保経費補助金(152,918千円)・建設改良（企業債元金償還金）(281,698千円)・建設改良（建設改良費）(84千円)、これらの負担金・補助金・出資金について 総額1,548,361千円を一般会計から病院事業会計へ資金の繰入れを実施、これにより医療の提供が図られた。 |

### 2 課題

『町立中標津病院新経営改革プラン』を踏まえた取組により、12月まで前年度より収益が増収傾向にあったが、新型コロナウイルスの影響により決算では、前年度とほぼ同額となった。
赤字経営から脱却していないことから、持続可能な病院経営を行うための改革は引続き継続する必要がある。
また、多額の繰入れを実施したが、更に資金不足が発生しており、年度末において8億3,000万円の一時借入れを行った。
自主財源の確保はもとより、早期に資金不足の解消を行う必要がある。
資金不足が解消されなければ、起債借入れができなくなる可能性があり、老朽化した施設の改修や医療機器等の更新に支障を来し、適切な診療業務を行うことが困難となる。
さらに運転資金が不足することにより、支払業務が滞る可能性が高いことから、早急に資金不足の解消を図らなければならない。

### 3 今後の方向性

病院の運営状況は大変厳しい状況であるが、病院経営コンサルタントと委託契約し、令和2年6月3日に発足した町立中標津病院経営改革プロジェクトチームにより「医療介護連携」「救急連携」「住民連携」「診療報酬算定強化」「コスト削減」のテーマごとにグループワークにより検討を行い、健全経営を行うための経営改革を行う。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 石垣　敏 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。<br>町立中標津病院新経営改革プランについては、医師確保、経常収支比率、医業収支比率などの目標値は達成できていないが、令和2年6月に発足した町立中標津病院経営改革プロジェクトチームを中心に、全職員が一丸となって経営改革に取り組み、収益の改善、医療機能の充実を図る。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町立中標津病院管理課 | 担当課長氏名 | 有賀　勇治 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　17　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 7 | 医療体制の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 医育大学医局への派遣要請 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 地域医療に支障を来さないよう現状医師数を確保し、増員に向けた要請を継続して行う。 | 医師の確保。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 医師数 | 人 | ○ 単年 | 22 | 実績値 | 19 | 22 | 20 | 19 | 21 | 20 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 90.9% | 86.4% | 95.5% | 90.9% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2711・2721 | 医師確保対策 | 0 | 87.5% | ○ | | | | | | | | | 総務管理係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 0 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 7 | 医療体制の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 医育大学医局への派遣要請 |

| 担当部・課 | 町立中標津病院管理課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 大学病院からの医師派遣が困難になり、より一層の医師不足が深刻化する中、道内の医育大学の協力により、令和元年度は各医育大学医局から継続的な派遣の維持が図られ、医師数を減員することなく確保することができた。 |

### 2 課題

医師の新臨床研修制度等により、医師の確保をめぐる環境が激変している中、令和元年度末における前年度末比較では、常勤医師数に変動はなく現状を維持することが出来た。
医師総数は20名（常勤15名、嘱託医師5名）となっているが、常勤医師不在の診療科（眼科、泌尿器科等）や透析担当医について、入院管理も含めた医療体制の確立には、常勤医師の充足が不可欠で、大学医局においてもこれまで入局者が少ない状況が続いており医師確保は依然厳しい状況である。
また、医育大学から遠く離れた当地域においては、常勤医師の不足から出張医師主体による外来診療とならざるを得ないため、病院経営が極めて難しい状況になっている要因の一つである。

### 3 今後の方向性

当院は根室管内の地域センター病院であることから、地域住民の安全・安心・高度な医療を受けたいというニーズは高く、当院の役割は重要となっているが、常勤医師が充足されていない診療科においては、出張医師による診療に頼らざるを得ない状況となっている。
平成30年4月から北海道大学消化器外科Ⅱより外科医師2名の派遣を受けており、当分の間、手術応援として関係医療機関である消化器外科Ⅱの他、市立釧路総合病院、釧路赤十字病院から毎月シフトを組み週2日の応援を得ている。
その他の診療科においても、出張医師による応援のため、報酬や旅費などの経費が膨らむ要因となっていることから常勤医の確保が必要である。高度医療・救急医療の確保に対し、医療従事者の不足など厳しい経営環境であるが、「地域医療が崩壊すると、地域が崩壊する」にならないためにも、医師・看護師・薬剤師の確保に継続性をもって取り組まなければならず、引き続き民間医師紹介機関等も有効に活用しながら常勤医師の確保を図る。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 石垣　敏 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価のとおり「A：このまま進めてよい」と評価する。<br>道内の3医育大学より、地域枠医師の卒業生が地域に派遣され始め、初期研修が終了した2年目以降の医師が平成31年4月1日付で当院の内科に1名派遣されたが、未だ、常勤医師が充足されていない診療科もあり、引続き取組を行う必要がある。<br>民間医師紹介機関からの紹介は、非常勤医師が多く、常勤医師の紹介が少ない状況であるため、道内医育大学への要請及び自治体病院協議会の医師斡旋センター、道などの協力を得ながら常勤医師の確保を図る。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町立中標津病院管理課 | 担当課長氏名 | 有賀　勇治 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　17　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 7 | 医療体制の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 地域医療振興財団などからの情報収集 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 地域医療に支障を来さないよう現状医師数を確保し、増員に向けた招聘を継続して行う。 | 常勤医師の確保。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 医師数 | 人 | ○ 単年 | 22 | 実績値 | 19 | 22 | 20 | 19 | 21 | 20 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 90.9% | 86.4% | 95.5% | 90.9% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2711・2721 | 医師確保対策 | 0 | 87.5% | ○ | | | | | | | | | 総務管理係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 0 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 7 | 医療体制の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 地域医療振興財団などからの情報収集 |

| 担当部・課 | 町立中標津病院管理課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 全国自治体病院協議会が運営する自治体病院・診療所医師求人求職支援センターや北海道地域医療振興財団が行うドクターバンク情報の活用、継続性のある取組を行っている。<br>また、町のホームページ、民間求人サイト等の活用により広く医師の募集を行っている。<br>この民間医局の仲介により、非常勤で人工透析担当医師（内科）1名（毎週月～水）、内科医師1名（毎週木～金曜日）を確保することができた。 |

### 2 課題

入院管理も含めた医療体制の確立には、常勤医師の充足が不可欠であるが、常勤医師の確保は依然厳しい状況である。
また、医育大学や医師の集中する都市部から遠く離れた当地域においては、常勤医師の不足から出張医師による外来主体の診療とならざるを得ないため、病院経営が極めて難しい状況になっている要因の一つである。

### 3 今後の方向性

当院は根室管内の地域センター病院であることから、地域住民の安全・安心・高度な医療を受けたいというニーズは高く、当院の役割は重要となっているが、常勤医師が充足されていない診療科においては、出張医師による診療に頼らざるを得ない状況となっている。
平成30年4月から北海道大学消化器外科Ⅱより外科医師2名の派遣を受けており、当分の間、手術応援として関係医療機関である消化器外科Ⅱの他、市立釧路総合病院、釧路赤十字病院から毎月シフトを組み週2日の応援を得ている。
その他の診療科においても、出張医師による応援のため、報酬や旅費などの経費が膨らむ要因となっていることから常勤医の確保が必要である。高度医療・救急医療の確保に対し、医療従事者の不足など厳しい経営環境であるが、「地域医療が崩壊すると、地域が崩壊する」にならないためにも、医師・看護師・薬剤師の確保に継続性をもって取り組まなければならず、引き続き民間医師紹介機関等も有効に活用しながら常勤医師の確保を図る。

### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 石垣　敏 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価のとおり「A：このまま進めてよい」と評価する。<br>医師の確保については、基幹となる大学との連携が必要であり、大学からの派遣が難しい診療科の医師の確保に努める必要がある。<br>また、医師の就職希望要因の一つとして住環境も要件となってくることから、田舎暮らしならではの広い庭付き住宅を希望することもあるため、不動産業者と連携しながら、優良住宅の確保に努める。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**地域住民が安全・安心な医療を受けるためには、常勤医や看護師の確保が非常に重要な課題であると考えます。このことは、時間と経費を要する部分でもあるため、病院経営改革と一体となった取り組みをお願いします。**
**また、病院経営改革については町民の関心が高いことから、経過報告を行い、町民の声を聞き取る場を設け取り組みに反映し、最終報告をすることで、町立病院に対する町民からの信頼を培うことができると考えます。**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町立中標津病院管理課 | 担当課長氏名 | 有賀　勇治 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　17　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 7 | 医療体制の充実 |
| | 主要施策 | 3 | 医療技術職員養成修学資金の活用啓発 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 地域住民の命を守り、安全で安心して暮らせるまちづくりのため、持続可能な医療提供に必要な助産師・看護師、医療技術職員を確保する。 | 医療提供に必要な助産師・看護師、医療技術職員の確保。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 医療技術職員養成修学資金の活用による採用者数 | 人 | 単年 | 24 | 実績値 | 0 | 8 | 12 | 13 | 16 | 18 | |
| | | ○ 累計 | | 達成率 | | | 50.0% | 54.2% | 66.7% | 75.0% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 144,741 千円 | 11,858 千円 | 9,074 千円 | 11,263 千円 | 14,971 千円 | 17,421 千円 |
| 事業費 | 144,741 千円 | 11,858 千円 | 9,074 千円 | 11,263 千円 | 14,971 千円 | 17,421 千円 |
| 対前年度比 | | 8.19 % | 76.52 % | 124.12 % | 132.92 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2731 | 看護職員確保対策事業（医療技術職員養成修学資金貸付金） | 14,900 | 82.5% | ○ | | | | | | | | | 総務管理係 |
| 2731 | 看護職員等確保対策事業（看護職員等確保対策貸付金） | 0 | 82.5% | ○ | | | | | | | | | 総務管理係 |
| 2731 | 看護職員確保対策事業（看護職員確保対策旅費） | 71 | 80% | ○ | | | | | | | | | 総務管理係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　3　事業 | | 14,971 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 7 | 医療体制の充実 |
| | 主要施策 | 3 | 医療技術職員養成修学資金の活用啓発 |

| 担当部・課 | 町立中標津病院管理課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 看護師の資格取得を目指している者のうち、資格取得後、当院での勤務を希望している者を対象に修学資金を貸付している。<br>継続貸付7名（看護師7名） 新規貸付6名（看護師5名、薬剤師1名） 令和元年度採用2名。<br>体験学習受入時及び管内の各高等学校の進路担当者に修学資金貸付制度のリーフレットを配布したほか、旭川市内専門学校や美唄聖華高等学校を訪問し、修学資金貸付金の制度周知と求人について、進路担当者と面談を行い、今後の採用に向け就職担当者と情報交換することができた。 |

### 2 課題

管内の高校に修学資金制度のリーフレットを配布し、貸付制度の周知を図ったことから、毎年5名前後の学生に新規貸付を行ったが、育児休業取得者及び退職者がいるため、施設基準要件を満たす安定した看護体制の確立のためには、更なる看護師の確保が必要な状況にある。
貸付金の返済免除後に、退職してしまう職員もいることから、職員の定着化につながるよう、看護師の研修や働きやすい職場環境等の改善をさらに進めていく必要がある。

### 3 今後の方向性

近年、看護の提供の場が医療機関以外の様々な機関に拡大していることなどから、医療機関でも看護師が不足する状況となっている。
また、薬剤師については、都市部での奪い合いが激しくなっており、薬剤師の確保が非常に困難となっていることから、大学の就職セミナーに参加するなど、地元出身者へのアプローチを行い、薬剤師の確保に努める必要があり、医療従事者全般の確保は道内にとどまらず大都市圏も視野に確保に努める。
今後の医療体制の見直しによる看護職員、医療技術職員の必要数の確保に向け、修学資金貸付を計画的に継続する必要があり、就業者の定着や離職防止の観点から、院内保育所運営の充実と、医療技術者の安定的確保（中途退職者の削減）には、医療勤務環境の改善が必要であることから「働き方改革」の取組を進める。

### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 石垣 敏 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価のとおり「A：このまま進めてよい」と評価する。<br>病院の運営において看護師、薬剤師、放射線技師などのコ・メディカルの存在は必要不可欠であるが、近年は全ての業種において不足している状況にある。<br>このため、高校での説明会を開催するなど、修学資金貸付金の周知と理解に努めるとともに、養成機関との連携を密にし、病院の運営に支障を来すことの無いよう人材確保に努める。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部住民保険課 | 担当課長氏名 | 渡部　寛親 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | ７ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 8 | 社会保障の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 国民健康保険の安定的な運営 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 国民健康保険事業の健全な事業運営を確保し、町民の健康保持、増進に寄与することを目的とする。 | 保険税の収納率向上、医療費の抑制に努め、安定した事業運営を確保する。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 国保加入者一人当り療養諸費（全道平均） | 円 | ○ 単年 | 全道平均以下 | 実績値 | | 279,311 | 270,968 | 298,234 | 300,689 | 312,783 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 町民が健康保険や年金制度に関して知りたい情報が得られていると感じる割合（町民アンケート） | % | 単年 | 40 | 実績値 | | 45.3 | 52.6 | 42.8 | 39.9 | 51.8 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 131.5% | 107.0% | 99.8% | 129.5% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 889,998 千円 | 841,769 千円 | 774,302 千円 | 1,528,693 千円 | 1,515,489 千円 | 1,858,956 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 1,259,996 千円 | 1,104,358 千円 | 1,143,569 千円 | 135 千円 | 70 千円 | 86 千円 |
| 一般財源 | 1,110,607 千円 | 1,021,045 千円 | 998,322 千円 | 956,116 千円 | 886,725 千円 | 897,775 千円 |
| 事業費 | 3,260,601 千円 | 2,967,172 千円 | 2,916,193 千円 | 2,484,944 千円 | 2,402,284 千円 | 2,756,817 千円 |
| 対前年度比 | | 91.00 % | 98.28 % | 85.21 % | 96.67 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2811・2813・2814 | 国民健康保険事業 | 2,402,284 | 82.5% | | ○ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 2,402,284 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 8 | 社会保障の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 国民健康保険の安定的な運営 |

| 担当部・課 | 町民生活部住民保険課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 国保資格の適用適正化においては、年金事務所との合意による年金情報を活用した適用適正化対策におけるマニュアルを策定し、調査及び届出勧奨を実施。<br>生活習慣病の早期発見・予防を目的とした特定健診・保健指導の受診率向上を図るため、平成27年度より実施しているキャンペーンについては、新たに健康ポイント事業として対象者を拡大、健康づくりに取り組む人の増加を目指した内容で実施し、町民の健康増進、及び医療費適正化を図った。<br>〇健康ポイント事業応募者数　649名 |

### 2 課題

平成30年度の国保改革による納付金制度が導入され、現在は各市町村における医療費水準、所得水準の格差等から納付金配分係数の調整や道費による個別補填が行われているが、今般統一保険料を目指すことが明確に示されたことから、納付金配分の平準化に向けた道や道内市町村との協議おいて医療費水準格差解消への要望を含め、適正な保険税率への改定や収納率向上、保健事業等における財源の確保が課題となってくる。

### 3 今後の方向性

道内統一保険料が令和12年度開始に向け目指すこととなり、本町においては納付金配分の上昇が今後見込まれること。また、医療費水準の格差に伴う道費による個別補填も段階的に減額されるため、適正な保険税率により激変が生じないよう基金の活用も含め円滑な統一保険料への移行を目指す。また、保険税収納率においても保険税率改定に影響することから引き続き収納部門と連携し収納率向上対策を進めていく。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 令和12年度から開始される北海道統一保険料については、その議論に参加し情報収集した上で、本町の適正な保険税の改正に繋げていく必要がある。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部住民保険課 | 担当課長氏名 | 渡部　寛親 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | ７ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 8 | 社会保障の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 後期高齢者医療制度の円滑な運用 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 都道府県ごとに全ての市町村が加入する広域連合が制度の運営主体となって実施する医療制度として、75歳以上（一定の障がいがあると認められた方は65歳以上）の方が将来にわたり安心して医療を受けられるよう持続可能な医療制度を構築するため。 | 被保険者の増加や、医療の高度化により上昇している医療費に対し、医療費の抑制、財源の確保により安定した事業運営。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 町民が健康保険や年金制度に関して知りたい情報が得られていると感じる割合（町民アンケート） | % | ○ 単年 | 40.0 | 実績値 | － | 45.3 | 52.6 | 42.8 | 39.9 | 51.8 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 131.5% | 107.0% | 99.8% | 129.5% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 205 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 44 千円 | 88 千円 | 千円 | 千円 | 10 千円 |
| 一般財源 | 232,574 千円 | 235,777 千円 | 246,300 千円 | 260,803 千円 | 270,449 千円 | 284,373 千円 |
| 事業費 | 232,574 千円 | 235,821 千円 | 246,388 千円 | 261,008 千円 | 270,449 千円 | 284,383 千円 |
| 対前年度比 | | 101.40 % | 104.48 % | 105.93 % | 103.62 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2821・2822 | 後期高齢者医療保険事業 | 270,449 | 82.5% | ○ | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 270,449 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 8 | 社会保障の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 後期高齢者医療制度の円滑な運用 |

| 担当部・課 | 町民生活部住民保険課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 保険料の収納向上対策として滞納者に対し、差押えについて記載した町独自の催告文書を年4回発送することで、滞納者からのアプローチを促し納付相談、納付誓約書の徴取を実施。<br>普通徴収の収納率は広域連合が示す目標収納率には届かなかったが、前年度より0.32ポイントの上昇となった。<br>令和元年度　普通徴収収納率　99.11%（目標収納率　99.25%） |

### 2 課題

被保険者数の増加及び一人当たり医療費の上昇に伴い、保険料率においても上昇していることから今後保険料の納付が困難な被保険者が増加する可能性がある。（収納率の低下）

### 3 今後の方向性

納付催告を定期的に実施し、滞納者に対しては納付が停滞しないように早期納付折衝、早期財産調査等により迅速な資力把握を行い、今後も差押等、滞納処分の実施も含め被保険者間の公平性の確保に努める。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 今後の方向性のとおり推進していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部住民保険課 | 担当課長氏名 | 渡部　寛親 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | ７ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大　項　目 | 8 | 社会保障の充実 |
| | 主要施策 | 3 | 国民年金制度の周知・啓発 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 町民に国民年金の制度及び趣旨を正しく理解してもらい、保険料納付率の向上及び、国民年金の受給率向上を図る。 | 町民が知りたい情報を得ることができる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 町民が健康保険や年金制度に関して知りたい情報が得られていると感じる割合（町民アンケート） | % | ○ 単年 | 40.0 | 実績値 | － | 45.3 | 52.6 | 42.8 | 40 | 52 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 131.5% | 107.0% | 99.8% | 129.5% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 5,997 千円 | 5,859 千円 | 5,506 千円 | 4,960 千円 | 5,392 千円 | 4,868 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 事業費 | 5,997 千円 | 5,859 千円 | 5,506 千円 | 4,960 千円 | 5,392 千円 | 4,868 千円 |
| 対前年度比 | | 97.70 % | 93.98 % | 90.08 % | 108.71 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2831・2832 | 国民年金制度の周知・啓発 | 5,392 | 85% | ○ | | | | | | | | | 保険年金係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 5,392 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 2 | 健やかでやさしいまちづくり |
| | 大 項 目 | 8 | 社会保障の充実 |
| | 主要施策 | 3 | 国民年金制度の周知・啓発 |

| 担当部・課 | 町民生活部住民保険課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・町広報誌、コミュニティFM放送、町HPによる周知のほか、成人式におけるパンフレットの配布。<br>・窓口での個別相談においては独自作成した説明資料を用いてわかりやすい説明を行っている。<br>・保険料納付率は前年度と比較し0.9ポイント増の73.9%<br>・評価指標（町民アンケート）においても前年度12ポイント増の52%となり目標値を上回る結果となっている。 |

### 2 課題

年金に関する各種申請窓口として相談や制度の説明が必須となるが、障害年金など個々の事情に応じて様々なパターンがあるため職員の知識の向上が必要。

### 3 今後の方向性

人事異動等による窓口業務の質が低下しないよう、研修会等への積極的な参加により係内での情報共有及びマニュアル等を作成する。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 今後の方向性のとおり推進していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部農林課 | 担当課長氏名 | 中野　康志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 1 | 農業生産基盤の整備 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 飼料自給率向上を目指し、各種事業を導入し、牧草、デントコーン等の収量増を図ってきた。近年ではTMRセンター方式による、安定した給餌飼料の実現で、センター組合員の生乳生産量は増産傾向にある。クラスター事業を活用し、規模拡大を進める酪農家も増えている。大型酪農に対応し、機械も大型化しており、過去整備した道路は傷みが激しく、再整備を含めた道路整備も必要である。 | 計画的な草地整備により、栄養価の高い飼料作物の増収を進め、自給飼料率の向上で、所得向上を目指す。TMRセンターを代表とする農作業の分業化により、実労働時間の短縮、労働環境の改善を図り、魅力ある産業を目指す。防雪柵の整備等道路整備は、冬期間の安全な交通網の構築が可能となる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 生産農業所得（1戸当たり） | 千円 | ○ 単年 | 18,592 | 実績値 | 16,345 | 21,374 | 25,331 | 24,517 | 24,846 | 25,707 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 136.2% | 131.9% | 133.6% | 138.3% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 273,868 千円 | 403,485 千円 | 463,330 千円 | 1,443,391 千円 | 1,443,181 千円 | 1,438,680 千円 |
| 地方債 | 78,900 千円 | 81,170 千円 | 52,500 千円 | 40,400 千円 | 83,900 千円 | 83,300 千円 |
| その他 | 10,948 千円 | 21,705 千円 | 35,525 千円 | 80,288 千円 | 84,839 千円 | 58,701 千円 |
| 一般財源 | 129,728 千円 | 134,082 千円 | 131,779 千円 | 136,896 千円 | 135,125 千円 | 106,257 千円 |
| 事業費 | 493,444 千円 | 640,442 千円 | 683,134 千円 | 1,700,975 千円 | 1,747,045 千円 | 1,686,938 千円 |
| 対前年度比 | | 129.79 % | 106.67 % | 249.00 % | 102.71 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3111・3121 3123・3151 | 中山間地域等直接支払事業 | 281,329 | 97.5% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3111・3151 3161 | 多面的機能支払交付金事業 | 45,119 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3111・3142 | 根室東部区域農用地総合整備事業負担金 | 23,686 | 95% | | | | | | | | | ○ | 農務係 |
| 3111・3142 | 道営農道整備特別対策事業負担金（協和30線地区） | 41,585 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3111・3142 | 道営農地整備事業負担金（俵橋第2地区） | 44,746 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3111・3142 | 道営農地整備事業負担金（南1号第2地区） | 0 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3111・3142 | 道営草地畜産基盤整備事業負担金（計根別北部地区） | 28,298 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3111 | 公社営草地畜産基盤整備事業（中標津中部地区） | 65,001 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3111 | 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（ｸﾗｽﾀｰ関連事業） | 1,217,281 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 合計　9　事業 | | 1,747,045 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | カみなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 1 | 農業生産基盤の整備 |

| 担当部・課 | 経済部農林課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 中山間、多面的については、地域協議会において協議決定された事業が実施されており、草地整備、環境整備等着実に実施されている。特に草地整備については、「根釧酪農ビジョン」で目標としている更新率に近づきつつある。<br>道路整備についても、順次進められており、農作業の効率化を図り、農業者の冬場の安心安全な交通網の確保に貢献している。<br>また、基盤整備事業は畜産クラスター事業を中心に施設整備が進みが生産性の向上が図られている。 |

### 2 課題

国際貿易関連施策の変化により、農業の先行きが不透明な状況であり、設備投資や後継者等への足かせとなっている。農業へ関心のある若者は少数であり、初期投資が大きな酪農は敬遠されがちである。多くの産業で人手不足が顕著であり酪農現場でも同様である。規模拡大には最新技術等、ロボット化が主流であり、これまで酪農の基本形態であった家族経営体の維持が今後、大きな課題である。規模の大きな農場への新規就農は就農者への負担も大きく敬遠されがちなことから新規就農を目指す者とのマッチングが難しくなる可能性がある。また、規模拡大による家畜ふん尿の処理についても、畑への還元、臭気対策など農業者、農業団体、行政が連携して解決しなければならない喫緊の課題である。

### 3 今後の方向性

生乳生産を維持するためには、経営規模の拡大は時代の流れであるが、一方では家族経営の営農が継続できなければ地域農業は崩壊する危険がある。TMRセンターに代表される協同の仕組みは、安定した自給飼料の確保と業務の分業化による過重労働の軽減につながることから、今後も町として可能な支援を推進する。また、規模拡大等によるふん尿処理については、バイオマス産業都市構想の実現に向け、費用対効果を充分に検証しつつ、バイオガスプラントによるふん尿のエネルギー化と臭気低減対策を基本に農家の経営規模や意向に応じた対策を講じる。
大型農業機械が安全に通行でき、冬場の生乳集荷も滞ることなく通行可能な道路整備は今後も計画的に継続実施する。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 冷涼な気候と豊富な草資源を活かした草地型酪農は根釧酪農の特徴、強みである。乳牛の増頭や規模拡大に対応する牧草などの自給飼料基盤及び道路等のインフラ整備は農業振興上重要な施策であり、引き続き各種の補助制度等を導入し進める必要がある。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部農林課 | 担当課長氏名 | 中野　康志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 2 | 担い手の育成・確保と支援体制の強化 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 全国的に農家戸数は減少傾向にあり、本町においても農業者の高齢化、後継者不足を要因とする離農者は増えつつある。これまで離農による農地の集積に関しては近隣農家の規模拡大により取り込めているが、それもいつまで続くか解らない。農家戸数の減少は、地域コミュニティの崩壊につながり、基幹産業を酪農として関連産業と発展してきた本町のとおり、今後も町として存続していくためには、基幹産業酪農が永続的に経営が維持できる施策が必要である。 | 酪農の労働環境を改善し、酪農が魅力ある産業であることや、各種就農補助制度があることを広く周知し、新規就農を目指す若者を１人でも多く確保する。新規就農者は意欲ある優良農家となる場合が多く、今後も関連団体と連携し、経営能力、育成管理能力の優れた人材を輩出できるよう支援対策を講じる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 生産農業所得（1戸当たり） | 千円 | ○ 単年 | 18,592 | 実績値 | 16,345 | 21,374 | 25,331 | 24,517 | 24,846 | 25,707 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 136.2% | 131.9% | 133.6% | 138.3% | 0.0% |
| 指標2 新規就農者数（戸） | 戸 | 単年 | 13 | 実績値 | 0 | 13 | 15 | 17 | 19 | 21 | |
| | | ○ 累計 | | 達成率 | | | 115.4% | 130.8% | 146.2% | 161.5% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 198,924 千円 | 199,451 千円 | 193,185 千円 | 193,911 千円 | 194,110 千円 | 193,719 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 96,838 千円 | 105,455 千円 | 105,822 千円 | 102,566 千円 | 101,930 千円 | 94,219 千円 |
| 事業費 | 295,762 千円 | 304,906 千円 | 299,007 千円 | 296,477 千円 | 296,040 千円 | 287,938 千円 |
| 対前年度比 | | 103.09 % | 98.07 % | 99.15 % | 99.85 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3111・3121 3123・3151 | 中山間地域等直接支払事業 | 281,329 | 97.5% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3121 | 農業担い手対策補助 | 23 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3122 | 農地保有合理化事業利子補給 | 22 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3121・3122 | 新規就農者対策事業補助金 | 8,000 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3121・3122 3123 | 酪農学園大学との連携協定 | 65 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3121 | 新規就業・就農PR事業 | 601 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3121 | 農業次世代人材投資事業補助金（経営開始型） | 6,000 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　7　事業 | | 296,040 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | カみなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 2 | 担い手の育成・確保と支援体制の強化 |

| 担当部・課 | 経済部農林課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ファムエイとの新規就業・就農PR事業では、酪農ヘルパーとして職業体験に来るケースもあり、一定の成果が出ている。酪農学園大学との連携協定に基づく酪農フォーラムでは、乳牛の飼養技術や病気対策について時々の旬なテーマを数年継続することとし、酪農経営の改善等に役立っている。 |

### 2 課題

現在、各産業での人材不足が深刻であり、農業回帰の時代と言われるが初期投資に莫大な資金が必要な酪農は就農PRでも畑作から比べると人気薄である。また、一年中休みが無く働くことが職業としマイナスイメージが定着しており、新規就農対策としても労働環境の改善や生活環境の充実は喫緊の課題である。今後も就農希望者に対して親身になって相談できる窓口と人材確保が必要であり、町も関係団体と連携したサポート体制の構築が必要である。

### 3 今後の方向性

新規就農者の経営は殆どが優良経営となっており、今後はこういった成功事例（酪農は儲かる産業）をアピールできる方に農業PRの場に同行してもらうなど協力体制の構築を検討する。また、農業へ関心のある若者の掘り起こしのため、農業人フェアへの参加だけでなく、関連学校への学校訪問によるPR活動にも積極的に取り組んでいく。新規就農者の初期投資の軽減対策も大切だが、地域の環境にどう馴染めるか人的サポートが就農場所を決定する際、重要となるため町も農協と連携した窓口体制の強化に取り組む。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 少子高齢化に伴う労働力人口の減少によりあらゆる産業が人手不足の状況の中、新規就農者や後継者、その他農業従事者等担い手確保のためには、地域や産業としての農業に魅力があることが今後一層求められる。農業に関心のある若者の掘り起こしを目的とした様々な事業の推進は勿論、新規就農者の確保に実績を上げている計根別農協の支援・相談体制や、中標津町農協の出資法人、㈱RARAFARMでの実習受け入れなどと連携し、担い手の確保・育成に取り組む必要がある。特に飼養頭数の増加と省力化の両立、さらには経営効率化を目的とした情報通信技術（ICT）の推進は今後益々重要になってくるものと思われ、ベースとなる光ファイバの整備に取り組む予定である。現在取り組んでいる事務事業の推進とともに、農福連携や外国人技能実習生等、多様な人材・労働力の活用も新たな対策として進める必要がある。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**新規就農者の確保に関して、インターネットを利用した募集の強化や外国人の就農に関する調査・研究も必要**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 農業委員会 | 担当課長氏名 | 坂井　一文 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 2 | 担い手の育成･確保と支援体制の強化 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 農業者の老後の生活安定と福祉の向上を図り、農業の担い手（後継者）の確保や農家の円滑な世代交代（経営移譲）を進めることを目的に実施する。 | 農業者年金制度について十分な理解が得られることで、新規加入者の増加につながり、農業者の老後の生活安定と福祉の向上が図られ、農業の担い手（後継者）確保や農家の円滑な世代交代につながっていく。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

１ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 農業者年金新規加入者数 | 人／年 | ○ 単年 | 20 | 実績値 | 53 | 27 | 27 | 13 | 11 | 6 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 135.0% | 65.0% | 55.0% | 30.0% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 1,579 千円 | 1,578 千円 | 1,578 千円 | 1,734 千円 | 1,476 千円 | 1,693 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 158 千円 | 千円 |
| 事業費 | 1,579 千円 | 1,578 千円 | 1,578 千円 | 1,734 千円 | 1,634 千円 | 1,693 千円 |
| 対前年度比 | | 99.94 % | 100.00 % | 109.89 % | 94.23 % | |

３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3124 | 農業者年金受託事業 | 1,634 | 85% | ○ | | | | | | | | | 庶務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 1,634 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | カみなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 2 | 担い手の育成・確保と支援体制の強化 |

| 担当部・課 | 農業委員会 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| C<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 農業者の老後の生活安定と福祉の向上を図り、農業の担い手（後継者）の確保や農家の円滑な世代交代（経営移譲）を進めることを目的に実施した結果、6名の新規加入を確保できたが、新規加入者が年々減少傾向にある。 |

### 2 課題

農業者年金について十分な理解を得られることで新規加入者の増加につながり、農業者の老後の生活安定と福祉の向上が図られ、農業の担い手（後継者）の確保につながるが、近年、新規加入者数が減少していることから、今後も啓蒙・普及活動が必要。

### 3 今後の方向性

新規加入者数が減少していることから、農業者年金制度の普及啓蒙を今以上に図り加入者数を維持していく。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**二次評価対象外**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 農業委員会 | 担当課長氏名 | 坂井　一文 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 2 | 担い手の育成･確保と支援体制の強化 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 町の基幹産業である農業においては、後継者不在による離農件数の増加など、年々深刻さは増しており、若者の未婚、晩婚化が進んでいる現状から、家族経営が主体である本地域農業の発展･存続にとって重大な問題となっており、後継者のパートナーの確保が最重要課題である。 | 独身後継者のパートナーの確保。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 交流会の開催 | 回 | ○ 単年 | 3 | 実績値 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 66.7% | 66.7% | 66.7% | 33.3% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 1,500 千円 | 1,500 千円 | 1,500 千円 | 1,500 千円 | 1,081 千円 | 1,500 千円 |
| 事業費 | 1,500 千円 | 1,500 千円 | 1,500 千円 | 1,500 千円 | 1,081 千円 | 1,500 千円 |
| 対前年度比 | | 100.00 % | 100.00 % | 100.00 % | 72.07 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3124 | 農業後継者対策協議会負担金 | 1,081 | 80% | | ○ | | | | | | | | 庶務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 1,081 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | カみなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 2 | 担い手の育成･確保と支援体制の強化 |

| 担当部・課 | 農業委員会 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| C<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 農業後継者が農業を持続するために共に歩むパートナーの確保のための各種事業への継続した参加やその後の交流サポートを実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業の中止を余儀なくされたが、新型コロナウイルス発生前の秋季（夏季）交流会については実施することができ、男女合わせて10名の参加、2組のマッチング成果が見られた。 |

2 課題

青年の社交性の向上や家族の理解と協力が必要である。
また、男女ともに交流会への参加が減少傾向にあり、晩婚化の影響により平均年齢の上昇が進み、参加女性に関しては、30歳代が主流になりつつある。
新型コロナウイルス収束までは「新しい生活様式」における交流会等のあり方を検討する必要がある。

3 今後の方向性

農家や関係団体等から積極的な事業推進の要望があることから、近隣町との情報交換や青年学習を合同で開催するなど、連携して取り組んでいく。
また、「新しい生活様式」に即した後継者対策等について検討していかなければならない。

4 施策の進め方の評価　　**※部長職による評価欄**

| 担当部長氏名 | |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

**二次評価対象外**

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 農業委員会 | 担当課長氏名 | 坂井　一文 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 2 | 担い手の育成･確保と支援体制の強化 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 新たな農業の担い手として異業種からの農業参入、集落による共同経営、地域としての遊休農地対策など、優良農地の維持には新たな取り組みが求められている。これらを先進的に取り組んでいる地域を視察･研修することにより、担い手確保の適正かつ円滑な遂行を学び、地域農業が直面する課題解決の一助とする。 | 近年、農業を取り巻く環境は大きく変化しており、他地域の関係機関の活動内容等を研修することにより、知識習得や視野拡大等、時代に対応した農業委員の資質向上を図る。<br>また、多様化する地域課題に対処し、農業行政の一層の向上が図られる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 0 千円 | 2,069 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 2,040 千円 | 0 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 2,069 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 2,040 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3124 | 農業委員研修 | 2,040 | | ○ | | | | | | | | | 庶務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 2,040 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 2 | 担い手の育成・確保と支援体制の強化 |

| 担当部・課 | 農業委員会 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 3年間の任期中に1回、農業委員18名を対象として3泊4日で道外視察研修を実施することにより見聞を広め知識の習得や視野拡大等資質向上が図られた。<br>また、研修終了後は研修内容を農業委員会だよりやホームページを通じ、広く周知することにより地域の農業者にも還元される。 |

### 2 課題

農業委員のみでの視察研修となることから、不測の事態（飛行機の欠航など交通機関の変更や体調不良者などの看護等）に対応することが難しいことから、今後は事務局職員の随行の検討が必要。

### 3 今後の方向性

次回は令和4年度に実施を予定しており、研修内容・行先等については準備委員会を発足し協議・検討していく。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**二次評価対象外**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部農林課 | 担当課長氏名 | 中野　康志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 3 | 農地の有効活用 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 中山間地域等直接支払制度にみるように、昨今の施策実施には、農地の地図情報が必須であり、様々な基盤整備を進めるうえでも農地等に関する情報が集約されたデータベース化は有効な手段である。近年は地図精度も向上しており業務効果率とコスト低減を図るうえでも必要と考える。 | 正確な土地の把握と業務の効率化が期待される。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 生産農業所得（1戸当たり） | 千円 | ○ 単年 | 18,592 | 実績値 | 16,345 | 21,374 | 25,331 | 24,517 | 24,846 | 集計中 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 136.2% | 131.9% | 133.6% | | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 552 千円 | 659 千円 | 659 千円 | 659 千円 | 665 千円 | 429 千円 |
| 事業費 | 552 千円 | 659 千円 | 659 千円 | 659 千円 | 665 千円 | 429 千円 |
| 対前年度比 | | 119.38 % | 100.00 % | 100.00 % | 100.91 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3132 | 水土里情報利活用促進事業・農地情報共有化支援事業 | 665 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 665 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 3 | 農地の有効活用 |

| 担当部・課 | 経済部農林課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| C<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 町の回線スピード、機器のスペック等により、システム自体の利便性が保たれていない。またシステムの使い勝手も悪い、そこの部分の改善が図られると期待できる。 |

### 2 課題

現状の回線スピードやシステム自体の利便性の問題もあり、使い勝手ということでは、改善の余地があると思われる。今後はそういった課題がクリアできれば活用範囲は広がるものと考える。

### 3 今後の方向性

現在利用している北海道土地団体連合会提供の水土里情報システムについては、利便性に乏しい。
今後においては、本年度から実施の農業振興地域整備計画の見直し（R2～R3）及び農地情報のデジタル化による新たな地図情報システムの導入に伴い、水土里情報システムの利用は一旦廃止し、背景用デジタルオルソ画像のみの利用とする。町が今後整備を予定している全庁型GISシステムとの連携については、整備後において利便性やセキュリティ対策などを検証した上で検討していきたい。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| C<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 農地利用の集積、遊休農地の発生防止等農業委員会による農地利用の最適化とともに生産基盤の整備等、農地の有効活用を進めるうえで農地情報のデジタル管理は必要不可欠であり、そのため北海道土地団体連合会提供の農地情報（水土里ネット）の活用を前提に取り組んできたが、ハード・ソフトの両面で課題があり成果が得られていなかったところである。今般、本町の農業振興対策における土地利用の基本計画である「中標津町農業振興地域整備計画」の見直しに着手（R2～R3）、合わせて両農協が所有する中山間事業等の農業情報と合わせて行うことにより、全町的な新たな農地情報システムの整備が図られる。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 農業委員会 | 担当課長氏名 | 坂井　一文 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 3 | 農地の有効活用 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 平成26年4月に改正農地法が施行され、農業委員会が管理している農地台帳の法定化に伴い、農地情報の公開が義務化された。<br>農地台帳データと地番図は常に最新の状態を保ち、管理する必要がある。 | 農家や関係団体から求められていた詳細な情報提供が可能となる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

１ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 176 千円 | 395 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 2,308 千円 | 523 千円 | 141 千円 | 357 千円 | 412 千円 | 0 千円 |
| 事業費 | 2,484 千円 | 918 千円 | 141 千円 | 357 千円 | 412 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | 36.96 % | 15.36 % | 253.19 % | 115.41 % | |

３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3132 | 農地基本台帳整理事業 | 412 | 80% | | | | | ○ | | | | | 庶務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 412 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 3 | 農地の有効活用 |

| 担当部・課 | 農業委員会 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 農地の権利移動等のデーター更新を適時実施することにより、常に適正な農地台帳を維持することができる。 |

2 課題

毎月の権利移動等の入力や年1回の住民基本台帳及び固定資産課税台帳との照合作業など、膨大な作業が必要となっている。
また、旧システムと併用していることから、新システムへの統一化を図る必要がある。

3 今後の方向性

現地確認等により、正確な農地情報の収集による整理や提供を行う必要がある。

4 施策の進め方の評価　**※部長職による評価欄**

| 担当部長氏名 | |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

**二次評価対象外**

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 農業委員会 | 担当課長氏名 | 坂井　一文 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 3 | 農地の有効活用 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 農地法等の一部を改正する法律が施行され農地利用集積事業の創設等に伴う農業委員会が新たに担うこととなった事務の円滑な執行に必要な支援。<br>農地法に基づく事務の適正実施、農地の有効利用のための支援である。 | 農地の有効利用及び最適化の推進と耕作放棄地発生の未然防止。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 利用状況調査、各種研修会参加 | 回 | ○ 単年 | 2 | 実績値 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 0.0% |
| 指標2 農用地利用集積 | % | ○ 単年 | 94 | 実績値 | 87.00 | 88.80 | 89.29 | 99.73 | 99.73 | 99.73 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 95.0% | 106.1% | 106.1% | 106.1% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 674 千円 | 597 千円 | 638 千円 | 492 千円 | 392 千円 | 1,273 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 事業費 | 674 千円 | 597 千円 | 638 千円 | 492 千円 | 392 千円 | 1,273 千円 |
| 対前年度比 | | 88.58 % | 106.87 % | 77.12 % | 79.67 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3132 | 機構集積支援事業（農地制度円滑化事業） | 392 | 80% | ○ | | | | | | | | | 農地係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 392 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 3 | 農地の有効活用 |

| 担当部・課 | 農業委員会 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 利用状況調査による耕作放棄地の把握・解消の指導の実施により、農地法の事務の適正実施につながった。<br>研修会等の実施により農地法等の知識が習得され、農地の有効利用に向けた活動の一助となった。 |

2 課題

農地の有効利用及び最適化の推進には耕作放棄地発生の未然防止が必要。

3 今後の方向性

農地の有効利用に貢献するため、利用状況調査・農業委員研修は今後も継続が必要。

4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

**二次評価対象外**

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 農業委員会 | 担当課長氏名 | 坂井　一文 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 3 | 農地の有効活用 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 農地保有合理化事業により、規模拡大・農地の集団化を図る。 | 離農農家の農地流動化、担い手の規模拡大及び集団化。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 122 千円 | 79 千円 | 104 千円 | 91 千円 | 96 千円 | 95 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 事業費 | 122 千円 | 79 千円 | 104 千円 | 91 千円 | 96 千円 | 95 千円 |
| 対前年度比 | | 64.75 % | 131.65 % | 87.50 % | 105.49 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3132 | 農地保有合理化促進事業 | 96 | 85% | ○ | | | | | | | | | 農地係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 96 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 3 | 農地の有効活用 |

| 担当部・課 | 農業委員会 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 北海道農業公社が買入した農地の管理及び売渡時の書類作成、買入時の利用調整を行い、担い手への農地の集積が図られた。 |

2 課題

今後、離農する農家も増加し、処分が困難となる農地も増加し遊休農地が発生することも予想される。
農地の権利移動は農業委員会のあっせんと農地保有合理化事業による集積を併用し、出し手、受け手、両者に負担がかからない方策を図る必要がある。

3 今後の方向性

引き続き、農地の権利移動を適正に行い、離農農家の農地の流動化を図るとともに、担い手への農地の集積を図っていく。

4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

**二次評価対象外**

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部農林課 | 担当課長氏名 | 中野　康志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 4 | 安全・安心・良質な農畜産物の付加価値向上 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | | 5 | 6次産業化の推進 |
| | | 1 | 農畜産物加工・流通の支援 |
| 担　当　課 | | 農林課 | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | | |
| | | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | | 5 | 6次産業化の推進 |
| | | 2 | 地域内連携による経済活性化 |
| | | 農林課 | |

### １ 目的（何のために）

本町の農業は無霜期間及び耕作期間が短いという気象条件がある中、道内でも上位の耕作面積を誇り、草地型酪農を主体とした大型酪農地帯を形成してきた。酪農以外にも、馬鈴しょ、てん菜、大根、ブロッコリーの畑作物も展開されており、優れた地場食材の地産地消にも取り組んでいる。日本は人口減少時代、本町が将来町として存続するためには、基幹産業としての農業の振興は重要な施策であり、農畜産物のブランド化、高付加価値化は農業所得向上とともに、基幹農業を守り、担い手の確保にもつながっていく。

### ２ 求める成果（どのような成果を期待するか）

安全・安心で良質な地域の農畜産物をPRし、農業所得の向上を図り、優れた農畜産物のブランド化、高付加価値産物の生産を目指す。

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 生産農業所得（1戸当たり） | 千円 | ○ 単年 | 18,592 | 実績値 | 16,345 | 21,374 | 25,331 | 24,517 | 24,846 | 25,707 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 136.2% | 131.9% | 133.6% | 138.3% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度（当初予算） | 令和２年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 120,689 千円 | 165,826 千円 | 242,036 千円 | 202,684 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 地方債 | 82,600 千円 | 86,370 千円 | 52,500 千円 | 40,400 千円 | 81,700 千円 | 79,300 千円 |
| その他 | 千円 | 8,175 千円 | 35,525 千円 | 24,914 千円 | 28,298 千円 | 32,500 千円 |
| 一般財源 | 12,531 千円 | 12,995 千円 | 12,055 千円 | 12,235 千円 | 13,117 千円 | 9,326 千円 |
| 事業費 | 215,820 千円 | 273,366 千円 | 342,116 千円 | 280,233 千円 | 123,115 千円 | 121,126 千円 |
| 対前年度比 | | 126.66 % | 125.15 % | 81.91 % | 43.93 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3141 | 馬鈴しょ原種農場運営費補助 | 7,200 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3141 | ジャガイモシストセンチュウ対策協議会負担金 | 76 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3141 | 牛乳消費拡大推進委員会負担金 | 800 | 90% | ○ | | | | | | | | | 畜産係 |
| 3143 | 地産地消推進事業 | 410 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3111・3142 | 道営農道整備特別対策事業負担金（協和30線地区） | 41,585 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3111・3142 | 道営農地整備事業負担金（俵橋第2地区） | 44,746 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3111・3142 | 道営農地整備事業負担金（南1号第2地区） | 0 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3111・3143 | 道営草地畜産基盤整備事業負担金（計根別北部地区） | 28,298 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　8　事業 | | 123,115 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | カみなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 4 | 安全・安心・良質な農畜産物の付加価値向上 |

| 担当部・課 | 経済部農林課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 本町の基幹産業酪農の農業所得は、規模拡大による生乳生産増や、品質向上により、着実に向上している。また、大根、ジャガイモ等は地域ブランドを確立し、高値で取引されている。農道整備により、大型機械の走行も安全になり、農作業の効率も向上している。 |

### 2 課題

今後更なる農業所得の向上を図るには、農畜産物の付加価値を高める6次産業化の取組が有望であるが、特に酪農生産現場における労働状況は、規模拡大で限界に来ている。搾乳ロボットの導入や、TMRの取組等は労働環境の改善にもつながっており、今後更に増えることを期待しているが、家族経営による小規模酪農家にはその意向はなく、その実現は難しい。また6次産業化への取組意欲のある農業者は非常に少ない。

### 3 今後の方向性

今後の酪農経営は、規模の拡大による大規模酪農と、家族経営体の小規模酪農の二極化が進むものと考えられ、地域酪農を守るには、双方の形態が永続可能な経営環境の整備が必要であると考える。農畜産物の安定した集出荷には、安全な輸送路確保のための道路整備が今後も必要である。安心安全な地域の農畜産物を地域で消費する「地産地消」や牛乳・乳製品の消費拡大については、今後も力を入れて取り組む考えである。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 国内第2位の生乳生産量を誇る本町にとって、消費者の期待に応えた良質な生乳生産とその生乳で作られた地元乳業メーカーによる安全安心な牛乳乳製品の提供は本町の地域経済を支える根幹である。また、酪農畜産が主体の本町にとって中標津町農協は馬鈴しょ、大根を始め年間12億円を超える農産物を生産しており、高い品質を活かした高取引が行われている。引き続き安全安心な農畜産物の生産を支えるため、防疫体制の強化と生産基盤の整備を進め、生産者の所得向上に努める。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部農林課 | 担当課長氏名 | 中野　康志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 5 | 環境と調和した農業生産の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | | 4 | 環境保全の推進 |
| | | 3 | 河川と水の保全 |
| 担　当　課 | | 農林課 | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 本町は道内でも有数の酪農地帯であり、家畜ふん尿を堆肥化し、自己の圃場へ還元する、循環型酪農が主たる酪農形態である。一方で、道東の空の玄関口として空港を有する本町にとり、観光資源としての牧場の魅力は大きく、そのイメージを損なう家畜ふん尿臭気対策は喫緊の課題である。バイオガス発電は、臭気対策として、また、副産物の利用販売、熱利用等新たな産業興しとしても有望な事業である。 | 中山間事業を活用した、地域の環境整備は共同活動の中で既に取り組まれており、廃屋撤去等も行われている。バイオガス発電事業は、臭気対策だけでなく、液肥を活用した草地の雑草対策、再生敷き料による、牛の病気対策等は既に実証済みであり、廃熱を利用した新たな産業興しの実現も期待できる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 生産農業所得（1戸当たり） | 千円 | ○ 単年 | 18,592 | 実績値 | 16,345 | 21,374 | 25,331 | 24,517 | 24,846 | 25,707 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 136.2% | 131.9% | 133.6% | 138.3% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 218,296 千円 | 222,699 千円 | 221,294 千円 | 222,783 千円 | 221,400 千円 | 221,399 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 104,864 千円 | 105,823 千円 | 105,039 千円 | 105,807 千円 | 105,184 千円 | 105,264 千円 |
| 事業費 | 323,160 千円 | 328,522 千円 | 326,333 千円 | 328,590 千円 | 326,584 千円 | 326,663 千円 |
| 対前年度比 | | 101.66 % | 99.33 % | 100.69 % | 99.39 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3151 | バイオガス導入推進に要する経費 | 136 | 85% | ○ | | | | | | | | | 畜産係 |
| 3111・3121 3123・3151 | 中山間地域等直接支払事業 | 281,329 | 97.5% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3111・3151 3161 | 多面的機能支払交付金事業 | 45,119 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　3　事業 | | 326,584 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 5 | 環境と調和した農業生産の推進 |

| 担当部・課 | 経済部農林課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 平成28年度地産地消型再生可能エネルギー面的利用推進事業（構想普及支援事業）計画策定段階において、農家独自の勉強会の開催や、バイオガス実現に向けた農家の組織化等、新たな展開を見せており、建設実現に向けた検証を進めている。 |

### 2 課題

平成29年度にバイオマス産業都市構想を策定し、国より認定を受けた。認定後の事業化に向けた酪農家の投資をどう促していくか、施設の有益性、投資効果の具体的利益の数値化等、農家理解に向けた具体的取組をどう進めていくか、まずはJAの全面的協力の下、農家理解が深まることが鍵となる。

### 3 今後の方向性

平成29年度に「中標津町バイオマス産業都市構想」の認定を国から受けたことにより、構想の計画期間である令和9年度までの10年間で（中間年の令和4年度に見直すこととされている）具体的な施設整備事業は、民間主体による実施を想定しており、今後、構想の実現に向け関係機関等と協議を進めていく。具体的には、農林水産省、経済産業省等の国の補助事業等を最大限活用し、先ずは1番目のバイオガスプラントを実現し、その普及促進を目指す。バイオガスプラントから生産される消化液を農地に還元し、環境に配慮した循環型酪農やオーガニック牛乳の生産は、再生可能エネルギーを活用した牛乳として、インセンティブが考えられ、町のイメージアップ、地域住民の環境や産業への理解も期待できる。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 飼料価格の高止まりが続く中、環境にやさしく豊富な土地や草資源を活かした草地型・循環型酪農を引き続き推進する必要がある。特に、酪農経営の大規模化・多頭化により家畜排せつ物も増大しており、循環型酪農の基本である「土・草・牛」のバランス維持、さらには管内水産業からの信頼に応えるためにも、家畜排せつ物の適正処理と農地還元・臭気対策は重要な施策である。一方、これらの対策の根幹に据えたバイオマス産業都市構想によるバイオガス発電計画は北海道電力への送電の課題が明らかになり進展していない状況にある。引き続き、FIT（再生可能エネルギー固定買取制度）の動向及び安価な民間プラントの開発などを見据えつつ、酪農家の規模や施設状況に応じた適切な対応を進める必要がある。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部農林課 | 担当課長氏名 | 中野　康志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 6 | 多様でゆとりある農業経営の促進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 本町は一部で畑作も行われているものの、基幹産業を酪農とし、周辺産業と共に発展してきた町であり、農業を守るための支援策は、今後も中標津町が町として存続していくためには重要な施策である。町営牧場の運営は、大型化する酪農経営の中で、育成部門の分業化が進んでいることから、今後も安定的な管理運営体制が重要である。 | 農業経営の安定化及び農業所得の増は、離農者らを減らし、就農者確保へもつながる施策である。町営牧場は道営事業を導入し、草地更新、パドックの整備、衛生舎等を順次進め、牧養力を高めており、受入育成牛の増が可能となる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 生産農業所得（1戸当たり） | 千円 | ○ 単年 | 18,592 | 実績値 | 16,345 | 21,374 | 25,331 | 24,517 | 24,846 | 25,707 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 136.2% | 131.9% | 133.6% | 138.3% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 32,768 千円 | 39,569 千円 | 38,920 千円 | 38,039 千円 | 37,192 千円 | 36,685 千円 |
| 地方債 | 3,800 千円 | 28,100 千円 | 12,900 千円 | 31,700 千円 | 16,800 千円 | 7,200 千円 |
| その他 | 40,194 千円 | 38,311 千円 | 40,308 千円 | 39,866 千円 | 40,021 千円 | 23 千円 |
| 一般財源 | 88,908 千円 | 118,180 千円 | 87,955 千円 | 110,115 千円 | 114,775 千円 | 127,473 千円 |
| 事業費 | 165,670 千円 | 224,160 千円 | 180,083 千円 | 219,720 千円 | 208,788 千円 | 171,381 千円 |
| 対前年度比 | | 135.31 % | 80.34 % | 122.01 % | 95.02 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3161 | 農業経営基盤強化資金利子補給 | 3,879 | 97.5% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3161 | 畜産特別資金利子補給 | 2,073 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3161 | 畑作物冷湿害資金利子補給 | 102 | 95% | | | | | | | | | ○ | 農務係 |
| 3161 | 農業農村活性化資金貸付金 | 60,000 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| 3161 | 高品牛等確保奨励報奨金 | 597 | 80% | ○ | | | | | | | | | 畜産係 |
| 3162 | 家畜自衛防疫組合負担金 | 8,905 | 95% | ○ | | | | | | | | | 畜産係 |
| 3161 | 牧場会計繰出金 | 16,467 | 85% | ○ | | | | | | | | | 畜産係 |
| 3161 | 町営牧場事業 | 71,646 | 87.5% | ○ | | | | | | | | | 畜産係 |
| 3111・3151 3161 | 多面的機能支払交付金事業 | 45,119 | 95% | ○ | | | | | | | | | 農務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　9　事業 | | 208,788 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 6 | 多様でゆとりある農業経営の促進 |

| 担当部・課 | 経済部農林課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 活性化資金貸付は、牧場経営に直結した資金として、農業者の生活及び経営の安定に寄与している。 |

### 2 課題

各種利子補給や、資金貸付等、農業経営の安定化と生活環境整備のための、様々な支援策を講じてきており、一定程度の成果は上がっているものと思われる。しかし、生き物相手の酪農は365日休みが無く、休暇取得には、ヘルパー事業の充実が欠かせないが、新規就農者不足同様、ヘルパーも担い手不足であり、酪農家の希望通りに利用できない現状がある。

### 3 今後の方向性

農業者の高齢化、離農は全国的に深刻な課題となっており、新規就農者の確保は、農業団体と連携しながら積極的に取り組まなければならない。また、今後、農村部における光ファイバーの整備に伴い、スマート農業の推進を図り、省力化と効率化による農業の生産性と農業従事者の所得向上へつなげ、魅力ある農業を構築し新規就農へつなげていく。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 多くを占める家族経営や大規模法人、放牧主体の経営など多様な経営体が地域の担い手としてそれぞれの目指す経営規模の中、健康でやりがいが持てる経営を支援する施策が必要である。また、今後の担い手確保のためにも、酪農が夢のある職業として選択されるよう、労働環境・子育て支援・所得向上に向けた施策を複合的に進める必要がある。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部畜産食品加工研修センター | 担当課長氏名 | 太田　淳也 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 7 | 畜産食品加工研修センターの充実 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 農畜産物の高付加価値を高める取組を進め、消費者との交流を通して、地場農畜産物の消費拡大を進める。 | 農畜産物の高付加価値化と消費拡大。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値(R2) | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 研修センターでの一般研修者の利用人数 | 人／年 | ○ 単年 | 1,500 | 実績値 | 1,386 | 1,410 | 1,572 | 1,384 | 1,397 | 1,390 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 104.8% | 92.3% | 93.1% | 92.7% | 0.0% |
| 指標2 研修センターでの専門技術受講者人数 | 人／年 | ○ 単年 | 60.0 | 実績値 | 52 | 20 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 6.7% | 6.7% | 6.7% | 6.7% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 900 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 15,509 千円 | 15,165 千円 | 15,164 千円 | 14,233 千円 | 15,570 千円 | 19,189 千円 |
| 一般財源 | 2,291 千円 | 3,530 千円 | 3,530 千円 | 2,549 千円 | 2,387 千円 | 171 千円 |
| 事業費 | 17,800 千円 | 18,695 千円 | 18,694 千円 | 16,782 千円 | 18,857 千円 | 19,360 千円 |
| 対前年度比 | | 105.03　％ | 99.99　％ | 89.77　％ | 112.36　％ | |

### 3　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3171 | 畜産食品加工研修センターの充実 | 18,857 | 82.5% | ○ | ○ | | | | ○ | | | | 製造係 |
| 3172 | | | | | | | | | | | | | |
| 3173 | | | | | | | | | | | | | |
| 3174 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 18,857 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 農業の振興 |
| | 主要施策 | 7 | 畜産食品加工研修センターの充実 |

| 担当部・課 | 経済部畜産食品加工研修センター |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br><br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 地域農業の発展を目的として乳製品及び食肉製品の研究開発・製造・販売、畜産食品等の製造技術の研修・指導を行っている。（製造3割、研修7割）<br>令和元年度は、研修会の開催方法を見直し、これまで課題であった新規利用者の受け入れ枠の確保や、1研修会当たりの参加人数の増加に取り組んだ。経理のミスを防ぐため、事務処理方法の見直しを行った。<br><br>【令和元年度実績】※R2.2月以降は新型コロナ感染症対策のため、研修会を中止。<br>〇生産物売払収入：9,747千円（前年 9,933千円）<br>〇研修会開催回数：215回、1,394人（前年 247回、1,401人） |

### 2　課題

・施設の修繕や機器の更新を徐々に進めているので、製造や研修会を行う上での懸念材料は減っているが、施設・設備の老朽化が進んでいるため、計画的な機器の更新や施設の修繕を行う必要がある。
・製造技術の研究や指導を進めるため、新製品の開発・ブランド化に取り組むとともに、農業高校との連携・協力を図る必要がある。
・センターの運営や研修会の受け入れ体制について、より効率的で効果的な方法を確立していく必要がある。

### 3　今後の方向性

・研修センターは、乳製品及び食肉製品の研究開発、製造並びに食肉製品の販売を行い、地域農業の発展と住民生活の向上を図るために必要な事業に取り組む。
・製品販売においては、既存製品の改良・改善を図るとともに、新商品の開発を進め地域のブランド化を推進する。また、技術研修及び指導については、事業者などへ専門的な技術指導や相談対応を行うとともに、畜産食品の普及を目的とした一般研修を実施する。
・施設が整備されて30年以上が経過し設備や製造機械が老朽化の状況がみられるため、施設・設備の点検やメンテナンスを行いながら、安全な運営を図るとともに、施設の長寿命化に努める。
・将来に向けた研修センターの運営や再整備について検討する時期に来ていることから、次期の総合発展計画の中で計根別地域全体のまちづくりや、農業高校との連携など様々な観点から検討していく。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br><br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 設置後30年を経過する本センターは、①製品の研究開発、②製造技術の研修及び指導、③製品の製造及び販売という条例上の設置目的と照らしたうえで、ニーズの高い現在の製造研修を続けつつ、施設設備・技術職員・民間需要の観点から、長期的視点で今後のあり方を検討しなければならない時期と考える。加えて、センター単独の視点のみならず、計根別全体のまちづくりや農業高校との連携のあり方を踏まえた幅広い議論が必要である。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部農林課 | 担当課長氏名 | 中野　康志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | 林業の振興 |
| | 主要施策 | 1 | 森林資源の育成・保全 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

### １ 目的（何のために）

地球規模で進行する地球温暖化を防ぐ森林環境保全が求められいる中、日本の林業業界は、担い手不足、従事労働者の減少・高齢化問題を抱えている。北海道遺産に指定されている「根釧台地の格子状防風林」は、次代へ引き継がなければならない貴重な財産である。本町は海を持たないが、さけます遡上河川である標津川の8割が行政界にあり、河畔林等の整備、環境保全は川上の町の責務である。森林は、木材の供給だけでなく、保水としてのダム効果による土砂災害防止機能、野生生物の住みかとして、多様な機能を有しており、今後も適切な森林環境保全は重要な施策である。

### ２ 求める成果（どのような成果を期待するか）

適切な森林管理は、森林の二酸化炭素吸収量を増加させ、地球温暖化防止効果機能を高め、天然のダムとして土砂災害から地域を守る働きをしている。伐採期の到来した立木は、これらの機能が低下し、適時伐採し、植樹することで、森林の持つ機能を効果的に維持することができる。

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 無立木地面積（町有林+私有林） | ha | ○ 単年 | 368 | 実績値 | 329 | 378 | 382 | 328 | 283 | 253 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 96.3% | 112.2% | 130.0% | 68.8% | 0.0% |
| 指標2 Jクレジット販売量 | CO2/t | ○ 単年 | 60 | 実績値 | 329 | 10 | 65 | 55 | 75 | 84 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 108.3% | 91.7% | 125.0% | 140.0% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 42,151 千円 | 51,394 千円 | 38,930 千円 | 33,748 千円 | 33,818 千円 | 32,576 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 12,100 千円 | 17,000 千円 | 14,500 千円 |
| その他 | 826 千円 | 1,221 千円 | 2,095 千円 | 1,240 千円 | 1,000 千円 | 715 千円 |
| 一般財源 | 15,368 千円 | 20,388 千円 | 34,626 千円 | 11,219 千円 | 12,558 千円 | 12,757 千円 |
| 事業費 | 58,345 千円 | 73,003 千円 | 75,651 千円 | 58,307 千円 | 64,376 千円 | 60,548 千円 |
| 対前年度比 | | 125.12 % | 103.63 % | 77.07 % | 110.41 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3211・3231 | 森林整備事業補助 | 5,303 | 90% | | ○ | | | | | | | | 林務係 |
| 3211・3231 | 森林環境保全直接支援事業 | 48,242 | 92.5% | | ○ | | | | | | | | 林務係 |
| 3211・3231 | 水源林整備事業 | 228 | 90% | ○ | | | | | | | | | 林務係 |
| 3211 | 未来につなぐ森づくり推進事業補助 | 9,455 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 林務係 |
| 3211・3221 | 森林経営計画策定事業 | 495 | 97.5% | ○ | | | | | | | | | 林務係 |
| 3211 | 町有林収穫量調査 | 594 | 95% | ○ | | | | | | | | | 林務係 |
| 3211・3232 | 町有林間伐促進型CO2排出削減対策経費 | 59 | 82.5% | ○ | | | | | | | | | 林務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　7　事業 | | 64,376 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | 林業の振興 |
| | 主要施策 | 1 | 森林資源の育成・保全 |

| 担当部・課 | 経済部農林課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 補助事業により、継続的に間伐事業を実施し、また、森林所有者の森林経営計画策定により、森林の持つ多面的機能維持を計画的に推進している。<br>Jクレジット販売では、イベントによる販売促進活動により、企業からの照会が増えており、令和元年度では84tの販売実績となった。 |

### 2 課題

私有林においては、森林所有者の高齢化により、伐採跡地の再造林が思うように進んでいない。また、不在地主の私有林も増えており、今後の森林整備に影響が出ないか心配な状況である。一方、町有林においては、町内の林業業者の担い手不足や作業員の高齢化から労務の確保が困難になっており、造林・下刈の整備量を維持するのが厳しい状況にある。

### 3 今後の方向性

補助事業を有効に活用し、計画的な造林を進め、森林の維持更新に努める。私有林の再造林を推進するためには、今後も手厚い補助が必要であり、個人負担が少ないことを、森林所有者へPRすることも必要である。また、近年の町内林業業者における担い手不足の課題を考慮して、工事の実施方法などを改善し、労務負担の軽減を図る。
なお、Jクレジット販売については、今後も積極的に販売促進に取り組んでいく。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 森林資源は木材資源としてのみならず、国土保全や水源かん養、地球温暖化防止等の多面的機能を持っており、森林管理署及び道森林室等とともに、広域的な森林資源の育成・保全を引き続き計画的に進めていく必要がある。一方、森林整備を担う林業従事者は減少かつ高齢化が進み、担い手の育成が急務である。森林吸収源対策として創設された森林環境譲与税の交付も始まり、R6年度からは国税としての森林環境税の課税が始まる予定である。森林整備に向けた国内の関心も一層高まることが予想され、本町の課題と実態に合った森林整備と担い手確保の両立に向けた効果的な活用方策を森林組合や林業業界ともに改めて構築する必要がある。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 | 担当課長氏名 | 山宮　克彦 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | １ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | 林業の振興 |
| | 主要施策 | 1 | 森林資源の育成・保全 |
| その他関連計画等 | | 中標津町生涯学習推進計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 地域の林業関係者の指導による学習や作業体験を通して、参加した子どもたちのふるさと意識を高め、地域の中で健やかに育つきっかけづくりとする。 | 多くの子どもたちに森を守り育てることの意義を伝える。<br>また、地元の産業のひとつである林業を知ってもらい、身近に感じてもらう。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事　務　事　業　名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担　当　係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3211 | 青少年健全育成活動支援事業（林業体験教室） | 0 | 82.5% | ○ | | | | | | | | | 社会教育係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 0 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | 林業の振興 |
| | 主要施策 | 1 | 森林資源の育成・保全 |

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 一昨年度から周知方法を改善して事業を実施している。<br>令和元年度の参加数は14名。<br>内容は、①枝払い体験、②製材工場見学、③木工体験であり、「見て」、「触れて」、「体験」することにより、子どもたちに地元の林業を知ってもらうきっかけづくりにすることができた。 |

### 2 課題

参加者の確保及び事業内容の充実。

### 3 今後の方向性

経費のかからないこの事業について、例年経済部農林課林務係と連携して事業を実施している。
本町の森林と酪農、そして林業との関わりを学ぶ「ふるさと学習」、「景観学習」としても意義ある機会と捉え、今後も常に改善を行いながら継続して事業を実施する。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。<br><br>○周知方法について、学校へのチラシ配布に加えて「らいふまっぷ」への掲載も行った。結果、H29～3名　H30～29名となった。（R1～14名） |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部農林課 | 担当課長氏名 | 中野　康志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | 林業の振興 |
| | 主要施策 | 2 | 林業・林産業の活性化 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 当地域には伐期の到来した森林が多く、優良なカラマツ材を地域材として利用促進し、林産業の活性化を図る必要がある。近年、中国、韓国等の木材消費が旺盛で北海道からの輸出も増えているが、需要増に対し、衰退した森林業界に対応するだけの供給能力が不足しているのが現状である。需要増を好機としてとらえ、増産体制を整える事業者もおり、町としても積極的に支援している。 | 地域材の利活用が進み、除間伐材が有効活用されることで、地域材の価値が見直され、業界の経済の好循環を期待する。また、木質バイオマス発電の稼動は林地残材等、これまで未利用だった材の活用が期待される。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 無立木地面積（町有林+私有林） | ha | ○ 単年 | 368 | 実績値 | 329 | 378 | 382 | 328 | 283 | 253 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 96.3% | 112.2% | 130.0% | 145.5% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 2,540 千円 | 2,541 千円 | 2,609 千円 | 4,933 千円 | 4,955 千円 | 2,716 千円 |
| 事業費 | 2,540 千円 | 2,541 千円 | 2,609 千円 | 4,933 千円 | 4,955 千円 | 2,716 千円 |
| 対前年度比 | | 100.04 % | 102.68 % | 189.08 % | 100.45 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3221 | 地域林業振興活動強化事業補助 | 3,971 | 90% | ○ | | | | | | | | | 林務係 |
| 3221 | 森林整備担い手対策推進事業負担金 | 314 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 林務係 |
| 3222・3531 3532 | 木材利用推進事業 | 175 | 82.5% | ○ | | | | | | | | | 林務係 |
| 3211・3221 | 森林経営計画策定事業 | 495 | 97.5% | ○ | | | | | | | | | 林務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 4 事業 | | 4,955 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | 林業の振興 |
| | 主要施策 | 2 | 林業・林産業の活性化 |

| 担当部・課 | 経済部農林課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 森林組合への継続した支援は、組合存続に大きな影響を持っており、組合員の森林財産を守る機能維持に貢献している。 |

### 2 課題

日本の林業界は、安価な輸入材により国産材の需要・価格低迷が続き、林業経営の衰退を招き、担い手不足、従事労働者の減少・高齢化問題を抱えてきた。近年では、人材不足を補うため、東南アジアからの研修生を受け入れている業者もいるが、言葉の壁や生活習慣の違い等、解決すべき課題は多い。

### 3 今後の方向性

森林所有者の大半が林業の専門知識を有しておらず、私有林の森林整備を推進していくために森林組合は、私有林を守り育てる担い手としてなくてはならない組織であり、今後も組織存続のために、支援強化を予定している。また、今後、建設される公共施設には、地域材利用の起爆剤となるよう、可能な限り地域材を使うことを目標とする。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 森林資源は木材利用はもとより、国土保全や水源かん養、地球温暖化防止等の多面的機能を持っており、それらを支える林業・林産業の活性化は重要な課題である。一方、林業・林産業は従事者の高齢化が進んでいるとともに、輸入材との厳しい価格競争に置かれている。新型コロナの影響を受けた国産回帰への期待も高まるが、従事者、担い手の育成と合わせ、地域材の利用による経済循環を一層高める具体的な施策が必要である。鉄骨価格の高騰により、カラマツを使用した大型牛舎の建設も徐々に増えており、用途拡大が期待されているところでもある。森林吸収源対策として創設された森林環境譲与税の交付も始まり、R6年度からは国税としての森林環境税の課税が始まる予定である。地域材利用に向けた国内の関心も一層高まることが予想され、本町の課題と実態に合った林業・林産業の活性化に効果的な活用方策を森林組合や林業業界ともに改めて構築する必要がある。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部農林課 | 担当課長氏名 | 中野　康志 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | 林業の振興 |
| | 主要施策 | 3 | 森林環境の保全と活用 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 日本は戦後の高度経済成長期において、乱開発や森林伐採を繰り返した結果、森林衰弱による保水力、土砂災害防止機能が低下するなど、大変憂慮すべき状況となっている。根釧地区には北海道遺産にも指定されている「根釧台地の格子状防風林」があり、その保全は未来への責任である。さらに、本町は海を持たないが、さけますが遡上する標津川の川上の責任として、河畔林等の整備、環境保全は酪農家と連携しながら、その責任を果たしていかなければならない。 | 伐採跡地の再造林を推進し、森林環境保全を進める。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 無立木地面積（町有林+私有林） | ha | ○ 単年 | 368 | 実績値 | 329 | 378 | 382 | 328 | 283 | 253 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 96.3% | 112.2% | 130.0% | 145.5% | 0.0% |
| 指標2 Jクレジット販売量 | CO2/t | ○ 単年 | 60 | 実績値 | | 10 | 65 | 55 | 72 | 84 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 108.3% | 91.7% | 120.0% | 140.0% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 40,090 千円 | 49,496 千円 | 35,776 千円 | 29,500 千円 | 27,999 千円 | 28,372 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 12,100 千円 | 17,000 千円 | 14,500 千円 |
| その他 | 826 千円 | 1,411 千円 | 2,485 千円 | 1,530 千円 | 1,468 千円 | 1,648 千円 |
| 一般財源 | 12,723 千円 | 17,946 千円 | 31,179 千円 | 7,944 千円 | 8,011 千円 | 8,824 千円 |
| 事業費 | 53,639 千円 | 68,853 千円 | 69,440 千円 | 51,074 千円 | 54,478 千円 | 53,344 千円 |
| 対前年度比 | | 128.36 % | 100.85 % | 73.55 % | 106.66 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3232・5411 | 緑化推進事業（植樹祭） | 640 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 林務係 |
| 3232・5411 | 緑化推進事業（植樹祭後の植栽木管理） | 6 | 97.5% | ○ | | | | | | | | | 林務係 |
| 3211・3231 | 森林整備事業補助 | 5,303 | 90% | | ○ | | | | | | | | 林務係 |
| 3211・3231 | 森林環境保全直接支援事業 | 48,242 | 92.5% | | ○ | | | | | | | | 林務係 |
| 3211・3231 | 水源林整備事業 | 228 | 90% | ○ | | | | | | | | | 林務係 |
| 3211・3232 | 町有林間伐促進型CO2排出削減対策経費 | 59 | 82.5% | | ○ | | | | | | | | 林務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 6 事業 | | 54,478 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | 林業の振興 |
| | 主要施策 | 3 | 森林環境の保全と活用 |

| 担当部・課 | 経済部農林課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 植樹祭では年々参加者が増加傾向にあり、森林の重要性の認識が高まっていると考えられると考えている。<br>Jクレジットの販売促進では、企業から購入打診も増えており、令和元年度では84tの販売実績があった。 |

### 2 課題

農業者が農地面積を拡大するために森林を伐採し、森林面積が減る傾向にある。また、伐採期が到来し、伐採した場合も所有者が高齢であったりと、再造林に難色を示す場合もある。天然更新は合法であっても、実際に木が生えるのは難しいと思われる。

### 3 今後の方向性

森林の公益的機能維持・増進のためには、私有林整備が今後ますます重要となってくるが、林業労働者の減少や高齢化による担い手不足が深刻になってきており、就労ビザによる外国人労働者を雇用する事業所も出てきており、外国人労働者は今後更に増えることが予想され、その対応も必要になってくる。私有林の再造林を推進するためには、今後も手厚い補助が必要であり、造林に対する個人負担が少ないことを、森林所有者へPRすることも必要である。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 森林資源は木材資源としてのみならず、国土保全や水源かん養、地球温暖化防止等の多面的機能を持っており、森林管理署及び道森林室等とともに、広域的な森林資源の育成・保全を引き続き計画的に進めていく必要がある。一方、森林整備を担う林業従事者は減少かつ高齢化が進み、担い手の育成が急務である。森林吸収源対策として創設された森林環境譲与税の交付も始まり、R6年度からは国税としての森林環境税の課税が始まる予定である。森林環境の保全に向けた国内の関心も一層高まることが予想され、引き続き伐採後の再造林や植樹活動、Jクレジット販売による民間企業との森林環境保全の取り組みを進める必要がある。今後は将来的な森林面積を想定のうえ、伐採と再造林の事業量バランスに留意が必要である。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 | 担当課長氏名 | 太田　淳也 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 商工業の振興 |
| | 主要施策 | 1 | 中小企業支援策の検討推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 中小企業振興条例に基づく審議会、審議会部会を通じて中小企業支援策を検討し、中小企業に活力を持たせる。 | 中小企業振興条例は理念条例であり、商工会、中小企業家同友会と連携し、具体策の実施に向け協議していく。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値(R2) | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 年間販売額 | 百万円 | ○ 単年 | 110,700 | 実績値 | 109,135 | 86,513（H26） | － | － | － | － | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | 0.0% |
| 指標2 製品製造出荷額 | 百万円 | ○ 単年 | 13,700 | 実績値 | 10,272 | 16,752 | － | － | － | － | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 2 千円 | 34 千円 | 14 千円 | 12 千円 | 6 千円 | 13 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 361 千円 | 313 千円 | 869 千円 | 180 千円 | 144 千円 | 166 千円 |
| 事業費 | 363 千円 | 347 千円 | 883 千円 | 192 千円 | 150 千円 | 179 千円 |
| 対前年度比 | | 95.59 % | 254.47 % | 21.74 % | 78.13 % | |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3311 | 中小企業振興基本条例推進事業 | 150 | 85% | ○ | ○ | | ○ | | | | | | 商工労働係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　１　事業 | | 150 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 商工業の振興 |
| | 主要施策 | 1 | 中小企業支援策の検討推進 |

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 中小企業振興基本条例の中小企業振興審議会部会（町、商工会、同友会）により中小企業振興策や地域経済分析（企業経営実態調査）、基本条例基本指針等を議論し、中小企業振興審議会に諮り、「中標津町中小企業振興基本条例基本指針」が制定となり、地域経済活性化に必要な中小企業振興策等を精力的に検討している。<br>中小企業の経営基盤強化のため、既存企業に対する支援策として「中小企業応援事業補助金」を創設し中小企業を支援している。 |

### 2　課題

中小企業振興審議会や同部会において、新たな課題の掘り起こしなどを行い、課題解決に向けた検討を行う必要がある。

### 3　今後の方向性

中小企業振興審議会や同部会での議論を深め、中小企業振興策について幅広く検討を行う。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 引き続き、中小企業振興条例に基づく審議会、部会等により各界における経済状況や課題を把握し、的確な施策検討を進める必要がある。特に、新型コロナによる影響は長期化が予想され、影響を十分調査するとともに、必要な中小企業支援策を早急に検討しなければならない。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**町で展開している各種支援事業が引き続き有効活用されるよう取り組みを推進していく必要がある**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 | 担当課長氏名 | 太田　淳也 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 商工業の振興 |
| | 主要施策 | 2 | 融資制度の充実 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 地域経済団体及び金融機関と連携して、充実した中標津町中小企業融資制度の構築を図り、中小企業経営基盤の安定を図る。 | 中小企業が事業運営に必要とする資金を円滑に調達できるように町内金融機関と連携し、融資制度の確保に努める。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値(R2) | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 6,614 千円 | 5,104 千円 | 5,138 千円 | 4,918 千円 | 6,089 千円 | 4,455 千円 |
| 事業費 | 6,614 千円 | 5,104 千円 | 5,138 千円 | 4,918 千円 | 6,089 千円 | 4,455 千円 |
| 対前年度比 | | 77.17 % | 100.67 % | 95.72 % | 123.81 % | |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3321 | 中小企業融資保証料補助 | 6,089 | 82.5% | ○ | | | | | | | | | 商工労働係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　１　事業 | | 6,089 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 商工業の振興 |
| | 主要施策 | 2 | 融資制度の充実 |

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 中小企業融資制度は、北海道保証協会の保証付きの融資制度であり、その保証料額の2分の1を補助金で支援している。平成20年のリーマンショックの影響もあり、平成21年より、初年度にかかる保証料額を全額補助とし、2年目以降は従前どおり2分の1としてきた。<br>その後10年間にわたって特別な措置を継続してきたが、経済状況を勘案したうえで令和2年度より初年度にかかる保証料額を2分の1とすることとした。 |

### 2　課題

近年、金融庁からの指導指針では、過度な担保や保証は避けるよう言われている中、本町は北海道保証協会への保証料を補助する制度として運用している。
関係機関との協議の中では、保証料補助の見直しなどを検討中。どのような影響があるのか、また、新型コロナウイルス感染症の町経済への影響を踏まえ慎重な議論が必要。

### 3　今後の方向性

保証料補助について、関係機関との協議を進める。なお、初年度の保証料額については、制度新規利用者を除き全額補助から元々の2分の1補助へ変更することとする。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 引き続き、中小企業振興条例に基づく審議会、部会等により各界における経済状況や資金需要を把握し、的確な施策検討を進める必要がある。特に、新型コロナによる影響は長期化が予想され、資金需要の状況を注視する必要がある。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 | 担当課長氏名 | 太田　淳也 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 商工業の振興 |
| | 主要施策 | 3 | 既存企業の体質強化 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 中小企業経営基盤強化のため、既存企業に対する支援を行い、中小企業の体質強化を図る。 | 事業所、工場など、経年劣化による改修及び事業規模拡大に伴う設備投資が行われ、売り上げの向上による安定した経営が行われる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値(R2) | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 既存中小企業への支援事業 | 件／年 | ○ 単年 | 7 | 実績値 | － | 6 | 3 | 7 | 0 | 4 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 42.9% | 100.0% | 0.0% | 57.1% | 0.0% |
| 指標2 技術講習会の開催 | 回／年 | ○ 単年 | 1.0 | 実績値 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 18,816 千円 | 14,382 千円 | 17,254 千円 | 19,886 千円 | 18,966 千円 | 17,544 千円 |
| 事業費 | 18,816 千円 | 14,382 千円 | 17,254 千円 | 19,886 千円 | 18,966 千円 | 17,544 千円 |
| 対前年度比 | | 76.43 % | 119.97 % | 115.25 % | 95.37 % | |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3331 | 中小企業応援事業補助 | 1,200 | 82.5% | ○ | ○ | | | | ○ | | | | 商工労働係 |
| 3331 | 小規模事業指導補助 | 16,115 | 82.5% | ○ | | | | | | | | | 商工労働係 |
| 3331 | 商工業振興推進補助 | 1,561 | 75% | ○ | | | | | | | | | 商工労働係 |
| 3332 | 技能士会研修事業補助金 | 90 | 75% | ○ | ○ | | | | | | | | 商工労働係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　4　事業 | | 18,966 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 商工業の振興 |
| | 主要施策 | 3 | 既存企業の体質強化 |

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 商工会との連携のもと、中小企業経営相談、各種説明会を開催するとともに、中小企業に対し、店舗や設備などを改修する経費の一部を助成し、企業の体質強化の一助となった。 |

### 2 課題

中小企業応援事業補助金の補助要件において、当初想定していないケースが増えてきたことから、制度を見直す必要がある。

### 3 今後の方向性

中小企業振興審議会部会（町、商工会、同友会）において、中小企業振興策や地域経済活性化に必要な中小企業振興策等を精力的に検討していく。

### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋 豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 引き続き、中小企業振興条例に基づく審議会、部会等により各界における経済状況や課題を把握し、的確な施策検討を進める必要がある。特に、新型コロナによる影響は長期化が予想され、影響を十分調査するとともに、必要な中小企業支援策を検討しなければならない。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部都市住宅課 | 担当課長氏名 | 天野　英典 | 調書作成日 | 令和２年 ７ 月 ７ 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 商工業の振興 |
| | 主要施策 | 3 | 既存企業の体質強化 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 建築技術について、技術研究機関・建築団体と連携し最新の建築技術についての講習会を開催し、町内の建築工務店の技術力向上・人材育成を図る。また、本町の住宅着工数、近年の住宅の特徴や町内工務店・メーカー別受注率など、町内の住宅産業の推移を把握できるように情報の発信を行う。 | 建築主である町民が、地元工務店に安心して任せることができるように技術力の向上・人材育成を図る。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 技術講習会の開催 | 回/年 | ○ 単年 | 1 | 実績値 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 0.0% |
| 指標2 住宅情報の発行 | 回 | ○ 単年 | 隔年 | 実績値 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 60 千円 | 47 千円 | 59 千円 | 65 千円 | 62 千円 | 74 千円 |
| 事業費 | 60 千円 | 47 千円 | 59 千円 | 65 千円 | 62 千円 | 74 千円 |
| 対前年度比 | | 78.33 % | 125.53 % | 110.17 % | 95.38 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3332 | 講習会の開催（建築技術の普及） | 62 | 75% | ○ | | | | | ○ | | | | 建築指導係 |
| 3333 | 住情報の発信 | 0 | 75% | ○ | | | | | | | | | 建築指導係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 2 事業 | | 62 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 商工業の振興 |
| | 主要施策 | 3 | 既存企業の体質強化 |

| 担当部・課 | 建設水道部都市住宅課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 「根室地域住宅産業セミナー」を根室振興局と共催で開催した。<br>地元工務店の技術向上や人材育成サポートにつながった。 |

2 課題

講習会の内容について、他団体の動向等を反映した有意義な講習会の開催を目指す。
開催時期、周知方法を見直し、講習会参加者の増加を目指す。

3 今後の方向性

新技術、新工法の採用など、具体的事例を基に参加者の建築技術レベルアップを目指す講習会を開催する。
また、住宅情報発信については、本町の住宅産業推移を知ることは重要であり、事業者への意識向上が図られるような記事掲載及び毎年発行に取り組む。

4 施策の進め方の評価　**※部長職による評価欄**

| 担当部長氏名 | 望月　正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 道と連携し、セミナー等を実施することにより、町内工務店技術者の技術向上と最新技術の普及が図られ、町内工務店技術者との交流、連携にも繋がっている。<br>また、引き続き町内住宅建設についての情報誌を発行し、情報提供、共有を行っていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 | 担当課長氏名 | 太田　淳也 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 商工業の振興 |
| | 主要施策 | 4 | まちなか賑わいの創出 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | | 1 | 計画的な土地利用と市街地整備の推進 |
| | | 3 | 市街地整備の推進 |
| 担　当　課 | | 経済振興課 | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 中心市街地の環境整備をはじめ、イベントの開催を通じて、町民が気軽にまちなかに来る機会を作り出し、中心市街地に賑わいを創出する。 | 中心市街地の空き地、空き店舗が活用され、人が集い活気が溢れ、地域経済が活性化される |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値(R2) | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 中心市街地の歩行者交通量（※調査：5年に1度実施） | 人／日 | ○ 単年 | 3,310 | 実績値 | 2,810 | 3,012 | － | － | － | － | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | 0.0% |
| 指標2 中心市街地の車両交通量（※調査：5年に1度実施） | 台／日 | ○ 単年 | 44,040 | 実績値 | 39,603 | 40,044 | － | － | － | － | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 650 千円 | 650 千円 | 500 千円 | 650 千円 | 580 千円 | 580 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 7,167 千円 | 7,022 千円 | 6,995 千円 | 7,518 千円 | 7,239 千円 | 3,282 千円 |
| 事業費 | 7,817 千円 | 7,672 千円 | 7,495 千円 | 8,168 千円 | 7,819 千円 | 3,862 千円 |
| 対前年度比 | | 98.15 % | 97.69 % | 108.98 % | 95.73 % | |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3341 | 商工会青年部・女性部対策補助 | 242 | 75% | ○ | | | | | | | | | 商工労働係 |
| 3341 | 商店街街路灯維持 | 2,547 | 75% | | | | | | | ○ | | | 商工労働係 |
| 3342 | まちなか賑わい推進事業 | 1,170 | 80% | ○ | | | | | ○ | | | | 商工労働係 |
| 3342 | 中標津経済センター建設借入金償還補助事業 | 3,860 | 75% | ○ | | | | | | | | | 商工労働係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　4　事業 | | 7,819 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 商工業の振興 |
| | 主要施策 | 4 | まちなか賑わいの創出 |

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 商工会青年部・女性部の取り組む各種研修や事業に対する一部支援を行い、若手後継者の育成と組織強化に寄与している。<br>まちなかの賑わいを取り戻すため、まちなか賑わい推進事業のイベントを主催する商工会に対し補助を行った。イベントには多くの町民が参加し中心市街地の活性化に繋がった。<br>また、環境整備として街路灯の維持管理を行い、安全で安心な中心市街地の確保に努めている。<br>平成12年より支援してきた中標津経済センター建設に係る借入償還金補助が令和元年度をもって終了。 |

### 2　課題

まちなか賑わい推進事業は、中心市街地活性化として今後も継続して支援したい事業ではあるが、イベントの収支状況を適切に把握し、翌年度以降の町補助額に反映する検討が必要。
街路灯については、生活課所管の防犯灯との一元管理について検討が必要。

### 3　今後の方向性

商工会の青年部・女性部に対する支援については、若手後継者の育成と女性部の強化のため継続して支援を行う。
まちなか賑わい推進事業は、中心市街地活性化に繋がる事業として、イベントの収支状況などを勘案しながら支援を行っていく。
商店街の集積に対して必要な街路灯の維持管理を適切に行っていく。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | バイパス沿いをはじめとした郊外への事業所進出と中心市街地商店街の活性化は、本町の定住人口と商圏人口の維持・拡大に大きな役割を果たす両輪である。特に、本町の商い発祥の地である経済センターエリアを中心としたまちなか賑わい対策は、中小企業支援策と合わせ商工会との連携のもと引き続き進める必要がある。また、商業対策のみならず、まちなかに人が集う観点で考えると、今後の土地利用計画やバス運行、イベントの集積など幅広い観点での検討も必要である。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 | 担当課長氏名 | 太田　淳也 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | カみなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 商工業の振興 |
| | 主要施策 | 5 | 空店舗対策及び創業者への支援 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 空店舗対策、創業者支援を通じて中心市街地に賑わいを呼び戻す。 | 創業を目指す起業者に対し、起業支援を実行し空き地、空き店舗の活用を促進し、もって地域経済の活性化を図る。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値(R2) | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 起業家支援事業実績 | 件 | ○ 単年 | 7 | 実績値 | 2 | 7 | 7 | 7 | 3 | 5 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 100.0% | 100.0% | 42.9% | 71.4% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 1,500 千円 | 2,646 千円 | 1,597 千円 | 1,000 千円 | 1,500 千円 | 1,500 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 事業費 | 1,500 千円 | 2,646 千円 | 1,597 千円 | 1,000 千円 | 1,500 千円 | 1,500 千円 |
| 対前年度比 | | 176.40 % | 60.36 % | 62.62 % | 150.00 % | |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3311 | 空き地空き店舗等活用事業 | 1,500 | 82.5% | ○ | | | | | ○ | | | | 商工労働係 |
| 3351 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　１　事業 | | 1,500 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 商工業の振興 |
| | 主要施策 | 5 | 空店舗対策及び創業者への支援 |

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 中心市街地並びに、都市計画区域用途地域を対象範囲として新規創業する起業家を支援しており、地域経済活性化に寄与している。創業後も継続営業している店舗がほとんどでその補助効果も高いと言える。 |

### 2　課題

10年以上継続した事業であるが、対象地域が住宅街にも及んでおり、本来の中心市街地への集積と活性化の目的と一部相違が見られる。新規創業者にとっては貴重な制度であるが、複雑な相談ケースもあることから、今後補助要件の見直しを検討する。

### 3　今後の方向性

中小企業振興基本条例を推進していく上で、必要な支援策であり、中小企業審議会・部会（町・商工会・同友会）等により、更なる効果的な補助金に見直し、各種施策と連携し、地域経済の活性化へと結び付けていく。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 特に、中心市街地商店街の活性化対策として空き店舗対策は本町のオリジナルで重要な施策であり、商工会の会員増加や新規民間融資にもつながっている。引き続き新規創業誘導策として必要な施策である。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部企画課 | 担当課長氏名 | 七條　隆志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 商工業の振興 |
| | 主要施策 | 6 | 特産品の開発・PR活動の展開 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| ふるさと納税制度を活用し、寄附金の用途に応じた施策の実現に向け、寄附金の使途を設定し、賛同者からの寄附金を活用する。また、寄附者へ町特産品を贈呈し、全国へ『中標津町』をPRするとともに、地域経済の活性化を図る。 | 町の施策や魅力などの情報発信及び交流人口の増加。特産品の送付を通じた地元企業の活性化。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 20,274 千円 | 23,918 千円 | 32,329 千円 | 53,537 千円 | 67,182 千円 |
| 一般財源 | 1 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 事業費 | 1 千円 | 20,274 千円 | 23,918 千円 | 32,329 千円 | 53,537 千円 | 67,182 千円 |
| 対前年度比 | | 2,027,400.00 % | 117.97 % | 135.17 % | 165.60 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3362 | 中標津町ふるさと応援制度（ふるさと納税） | 53,537 | 85% | | | | | | ○ | | | | 企画調整係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 53,537 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 商工業の振興 |
| | 主要施策 | 6 | 特産品の開発・PR活動の展開 |

| 担当部・課 | 総務部企画課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・令和元年度寄附実績　寄附件数：4,624件　寄附金：90,551,000円（前年度比約1.48倍）<br>・令和元年度寄附金活用実績　広陵中学校長寿命化改良工事ほか8件　18,902,206円<br>・事業内容　寄附申込受付サイト「ふるさとチョイス」「ANAのふるさと納税」「Wowma！ふるさと納税」に加え新たに「ふるなび」を導入、返礼品贈呈事務の一部委託<br>・また、寄附者への感謝として「ふるさと応援ツアー」を企画し、8名の参加があり寄附者との継続したつながりができた。<br>・前年度を大きく上回る寄附者からの申し込みにより、本町の特産品を発送し、町の魅力を伝えることができたほか、地域経済の活性化に寄与した。 |

### 2 課題

総務省からの通達により新たに示された寄附額に対する募集経費の割合が、本町は基準（5割以下）を超えていることから改善が必要となっている。

### 3 今後の方向性

総務省からの通達による新たな寄附額に対する募集経費の割合について、基準（5割以下）内に抑えるよう改善が必要であることから、各種取組の検討・実施により基準を満たすよう努めるとともに、新たな寄附受付サイトの導入検討や業務体制の見直しも並行して進め、さらなる寄附者の獲得を目指し、本町の特産品を通じ町の魅力を伝え、地域経済の活性化を図っていく。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 寄附受付サイトの拡充や新たな返礼品の開発等に取り組み、寄附金額も前年度の1.5倍まで増加したが、今後は国から示されている募集経費5割以下に向けて検討をしていくとともに、新たな寄附者の獲得はもとより、全国水準（10%）より高い、現在の寄附金リピーター率約20%をさらに高めていくよう取り組んでいく。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 | 担当課長氏名 | 太田　淳也 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 商工業の振興 |
| | 主要施策 | 6 | 特産品の開発・PR活動の展開 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 地域特産品の開発や販路拡大により、地域に活力をもたらす産業振興を図る | 新規特産品の開発、販路拡大により、製造事業者の規模拡大による雇用の創出が期待できる |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値(R2) | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 年間販売額 | 百万円 | ○ 単年 | 110,700 | 実績値 | 109,135 | 86,513 (H26) | － | － | － | ー | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 200 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 1,154 千円 | 863 千円 | 800 千円 | 461 千円 | 200 千円 | 200 千円 |
| 事業費 | 1,354 千円 | 863 千円 | 800 千円 | 461 千円 | 200 千円 | 200 千円 |
| 対前年度比 | | 63.74 % | 92.70 % | 57.63 % | 43.38 % | |

### 3　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3361 | 特産品PR強化事業 | 200 | 75% | | ○ | | | | ○ | | | | 商工労働係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 200 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 商工業の振興 |
| | 主要施策 | 6 | 特産品の開発・PR活動の展開 |

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 特産品の基準作りや特産品PR強化事業として、(一社)なかしべつ観光協会が行う特産品PR事業へ支援を行った。 |

### 2　課題

イベントにおける特産品PRなど目的は一定の成果を挙げており、継続して取り組むべきであるが、販路拡大や、特産品の基準作りに遅れが見受けられる。

### 3　今後の方向性

販路拡大と特産品の基準づくりを推進するとともに、ふるさと納税返礼品との連動についても検討を依頼。事業の見直しを含め、内容の精査を検討する。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 豊富で高品質な生乳や農産物を生かした地域の特産品は一定の認知はなされている。引き続き、イベントでの販売や出展によるPRを推進しつつ、もうワンランク品質の良さをアピールすべく「中標津としての特産品」、お墨付きを与えるような仕組み、基準作りが必要である。「特産品イコール食べ物」ではなく、地元の温泉や観光資源、体験メニューなど幅広い観点で、さらにはふるさと納税の返礼品活用、企業の新商品開発支援など他施策との連携が必要である。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 | 担当課長氏名 | 太田　淳也 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 観光の振興 |
| | 主要施策 | 1 | 広域観光・交流機能の充実 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 観光の振興を図り、物流や人の往来など、外部からの域内消費を増やし地域の産業・経済を安定させ、域外への発信につなげるサイクルを確立し持続的、安定的で魅力ある地域づくりを行う | 管内及び周辺地域にある観光推進組織との連携を図り、受入体制の確立、魅力ある観光メニューの開発 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値(R2) | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 観光入込客数 | 万人／年 | ○ 単年 | 35 | 実績値 | 37.0 | 32.0 | 29.0 | 28.6 | 29.9 | 30.2 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 82.9% | 81.7% | 85.4% | 86.3% | 0.0% |
| 指標2 宿泊客数 | 万人／年 | ○ 単年 | 5.1 | 実績値 | 4.4 | 4.7 | 4.5 | 4.8 | 5.1 | 4.9 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 88.2% | 94.1% | 100.0% | 96.1% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 1,000 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 9,956 千円 | 10,028 千円 | 11,729 千円 | 12,617 千円 | 11,571 千円 | 13,077 千円 |
| 事業費 | 9,956 千円 | 10,028 千円 | 11,729 千円 | 12,617 千円 | 12,571 千円 | 13,077 千円 |
| 対前年度比 | | 100.72 % | 116.96 % | 107.57 % | 99.64 % | |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3411 | 観光振興事業 | 2,556 | 75% | | | | ○ | | | | | | 観光振興係 |
| 3411 | 観光イベント補助 | 175 | 80% | ○ | | | | | | | | | 観光振興係 |
| 3411 | 観光諸行事負担金 | 9,840 | 80% | | | | ○ | | | | | | 観光振興係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　３　事業 | | 12,571 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 観光の振興 |
| | 主要施策 | 1 | 広域観光・交流機能の充実 |

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | （観光振興事業）根室観光連盟が行う事業に対する支援。訪日外国人誘致、FDA・ピーチ関連プロモーション、教育旅行の受入れなど各種施策を展開し、根室管内の広域観光を推進している。<br>（観光イベント補助）一次産業の振興と賑わい創出のため「じゃがいも伯爵まつり＆ふれあい広場実行委員会」に対し支援を実施。地域ならではのイベントに町内外から多くの来場者が訪れ、町の活性化に繋がっている。<br>（観光諸行事負担金）町内で観光資源を生かしたイベント（なかしべつ夏祭り・なかしべつ冬まつり・山開きなど）を開催し、まちの賑わいを創出している。 |

### 2　課題

（観光振興事業）根室管内の観光振興を図るためには、管内1市4町連携した広域観光の取組みが重要であり、行政及び観光関連団体及び観光事業者の連携・協力による施策の展開が必要である。
（観光イベント補助）魅力あるイベントとするため、実施団体に対する継続した支援が必要。
（観光諸行事負担金）夏祭り、冬まつりは町の2大イベントであり町民の期待や関心も高い。実行委員会での議論を重ね毎年内容の充実を図る必要がある。資材の高騰や消費税増税などにより、毎年予算不足が心配される状況となっており、負担金の増額について要望が高い。

### 3　今後の方向性

（観光振興事業）「知床ねむろ」地域全体で観光客の誘致に取り組み、交流人口の増加による地域経済の活性化を図る。
（観光イベント補助）地域の特性を活かして民間主体で実施されている事業であり、体験型イベントして魅力あるまちづくりに貢献している。引き続き町の財政支援を行う必要がある。
（観光諸行事負担金）各事業とも歴史あるイベントであり、本町の観光振興に大きく貢献している。今後も関係団体と協力しながら町民ニーズを反映し、住民参加型のイベントして内容の充実を図っていく。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | その町、地域の特色を生かしながら一定のエリアで観光振興を図る広域観光を推進するため、引き続きなかしべつ観光協会をはじめ知床ねむろ観光連盟、ひがし北海道自然美への道DMO、阿寒摩周国立公園広域観光協議会等観光振興団体と連携のうえ進めていく必要がある。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 | 担当課長氏名 | 太田　淳也 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 観光の振興 |
| | 主要施策 | 2 | 観光客の誘致 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | | 6 | 計画的な行政運営の推進 |
| | | 4 | 広域行政の推進 |
| 担　当　課 | | 経済振興課 | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 地域・観光振興、環境保全への寄与。 | 知床・地方版図柄入りナンバーの導入、普及啓発。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値(R2) | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 660 千円 | 千円 | 280 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 8 千円 | 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 660 千円 | 8 千円 | 280 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | 1.21　% | |

### 3　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事　務　事　業　名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担　当　係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3421 | 知床・地方版図柄入りナンバー導入事業 | 8 | 85% | ○ | | | ○ | | | | | | 地域振興係 |
| 1641 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 8 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | カみなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 観光の振興 |
| | 主要施策 | 2 | 観光客の誘致 |

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 知床世界自然遺産周辺7町が連携し、「知床」のPRと観光振興、自然環境の保全を目的として地域のイメージがデザインされたご当地ナンバーの導入・普及を促進する。<br>平成30年12月に図柄デザインが決定。令和2年度の導入に向けて、7町で構成する知床ナンバー協議会ではポスターやステッカーによるPRを行うとともに、町の広報誌やホームページ、SNS、FM放送などを通じて、申請手続きや普及に向けたPR活動を行った。 |

### 2　課題

知床ナンバーの普及・啓蒙活動を推進するとともに、これを契機として7町が連携した地域活性化の取り組みを行うため、寄附金の使い道や基金管理団体の設立などについて積極的な協議が必要。

### 3　今後の方向性

知床周辺地域の一体感を育み、観光客等へより一層知床をPRし、自然環境の保全と観光を推進しながら地域経済を活性化させるために知床ナンバーの活用について、知床ナンバー協議会や関係団体と協議をしていく。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 本町を含む根室・オホーツク管内の7町による知床ナンバーが実現し、今後は所期の目的である知床ナンバーを「歩く広告塔」とした広域観光振興・環境保全に取り組むステージとなった。引き続き7町の連携により進めるものである。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 | 担当課長氏名 | 太田　淳也 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 観光の振興 |
| | 主要施策 | 3 | 観光推進体制の充実 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 本町における観光振興のフロント組織であり観光業を支える重要な役割を果たしている（一社）なかしべつ観光協会の円滑な事業運営及び観光産業確立に向けた支援。 | ・観光振興や交流人口の拡大による地域活性化への貢献。<br>・行政や関係団体と連携した広域観光の推進。<br>・民間の経営感覚を活かした事業運営。独自財源の確保。<br>・観光を担う人材の育成。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値(R2) | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 観光入込客数 | 万人／年 | ○ 単年 | 35 | 実績値 | 37.0 | 32.0 | 29.0 | 28.6 | 29.9 | 30.2 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 82.9% | 81.7% | 85.4% | 86.3% | 0.0% |
| 指標2 宿泊客数 | 万人／年 | ○ 単年 | 5.1 | 実績値 | 4.4 | 4.7 | 4.5 | 4.8 | 5.1 | 4.9 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 88.2% | 94.1% | 100.0% | 96.1% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 9,217 千円 | 9,217 千円 | 8,117 千円 | 7,967 千円 | 7,517 千円 | 7,573 千円 |
| 事業費 | 9,217 千円 | 9,217 千円 | 8,117 千円 | 7,967 千円 | 7,517 千円 | 7,573 千円 |
| 対前年度比 | | 100.00 % | 88.07 % | 98.15 % | 94.35 % | |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3431 | 観光協会補助金 | 7,517 | 75% | | | | ○ | | | | | | 観光振興係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　１　事業 | | 7,517 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 観光の振興 |
| | 主要施策 | 3 | 観光推進体制の充実 |

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・行政と連携した観光施策の推進（観光情報の発信、市場調査、マーケティングなど）<br>・根室管内の各観光協会、根室観光連盟、ひがし北海道DMOなどと連携し広域観光の推進<br>・首都圏での観光プロモーションや、旅行会社などを招聘したツアーでの観光誘致活動<br>・町のふるさと納税事業、移住長期滞在事業、特産品販売事業への協力（受託事業）<br>・開陽台オープンイベントや山開きの実施、町内の祭やイベントへの出店<br>・旅行業商品の企画販売（FDA遊覧飛行、フォトツアー、白いモアン）<br>・観光課題への取組（北根室ランチウェイ存続、開陽台活性化、地域ブランドの掘り起こし） |

### 2　課題

事務局体制の強化を図るため、計画的に地域おこし協力隊を採用する予定であったが、当初の目論見どおりの人材採用には至っておらず、慢性的なマンパワー不足を招いている。

### 3　今後の方向性

観光施策を推進するためには観光協会との連携は必要不可欠であり、そのためには、現在不足している観光協会の事務局職員（地域おこし協力隊）を早期に採用し、事務局体制の強化を図る必要がある。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 観光振興を推進するためには、町と観光協会による推進目標の共有と、事業を推進する観光協会の機能強化が欠かせない。観光協会は徐々にではあるが、ふるさと納税の返礼品事業受託や旅行業による収益事業等により財務状況は上向きつつあり、さらに今般、ANAグループから派遣された専任の事務局長も着任したところである。将来的には協会の自主財源によるプロパー職員の増員による体制強化がベストと考えるが、現時点では引き続き、町の地域おこし協力隊を活用した事務局体制の強化を図っていくことが必要である。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部農林課 | 担当課長氏名 | 中野　康志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 5 | 6次産業化の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 優良カラマツ材のブランド化を図るための利用促進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 本町の森林の中でのカラマツの伐期齢が、カラマツ全体の60%を占めており、適切に枝打ちされた10齢級のカラマツは、ほとんど無節であると予想され、木材本来の美しさと強度を保ち、冷涼な気候で育ったため成長が遅く、目の詰まった質の高い材として、一般建築材への利用促進とブランド化に向けた取組を進める必要がある。 | 地域材としてのカラマツ材を一般建築材として普及させ、地域のお金を地域内で還流させる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 優良カラマツ材を使った施設の建築（累計） | 件 | 単年 | 5 | 実績値 | 0 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | |
| | | ○ 累計 | | 達成率 | | | 80.0% | 100.0% | 120.0% | 140.0% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 114 千円 | 239 千円 | 219 千円 | 140 千円 | 175 千円 | 263 千円 |
| 事業費 | 114 千円 | 239 千円 | 219 千円 | 140 千円 | 175 千円 | 263 千円 |
| 対前年度比 | | 209.65 % | 91.63 % | 63.93 % | 125.00 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3222・3531 3532 | 木材利用推進事業 | 175 | 82.5% | ○ | | | | | | | | | 林務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 175 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 5 | 6次産業化の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 優良カラマツ材のブランド化を図るための利用促進 |

| 担当部・課 | 経済部農林課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 平成25年に立ち上げた「中標津町地域材利用促進協議会」では、カラマツ材の建築材としての認知度を高めるため、年1回のフォーラムを開催し、一般住民を含め、カラマツに対する負のイメージの払拭に努めている。 |

### 2 課題

ヤニ、ねじれ等のカラマツに対する負のイメージが定着しており、まずはそのイメージを払拭する必要がある。カラマツ材としての課題は、乾燥技術の進歩により既に克服しているが、コストが若干高くなる傾向にある。

### 3 今後の方向性

今後も本町の公共建築物には、公営住宅をはじめとして、可能な限り地域材としてのカラマツ材を使用していく計画である。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 児童センターや総合体育館、公営住宅など町有施設への地域材（カラマツ）利用を進めてきたところであるが、事業費と材質上の課題から大きな普及には至っていない現状。一方、鉄骨資材の高騰から地域材を使った大型牛舎の建設も徐々にではあるが増えている状況にある。新型コロナを契機とした国産回帰の動きも予想され、公共・民間施設での積極的な地域材利用に向け、森林環境譲与税も活用した新たな施策の検討も必要と考える。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 | 担当課長氏名 | 太田　淳也 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 雇用対策の推進 |
| | 主要施策 | 1 | 通年雇用化対策の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 失業者または季節労働者の通年雇用化や地域求職者の雇用創出。 | 企業が季節労働者を通年雇用化できるよう冬期間の就労対策事業を実施する。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値(R2) | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 通年雇用化人数（管内4町季節労働者数） | 人／年 | ○ 単年 | 15 | 実績値 | 11 | 12 | 12 | 18 | 13 | 13 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 80.0% | 120.0% | 86.7% | 86.7% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 300 千円 | 300 千円 |
| 一般財源 | 154 千円 | 123 千円 | 153 千円 | 139 千円 | 121 千円 | 148 千円 |
| 事業費 | 154 千円 | 123 千円 | 153 千円 | 139 千円 | 421 千円 | 448 千円 |
| 対前年度比 | | 79.87 % | 124.39 % | 90.85 % | 302.88 % | |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3611 | 通年雇用促進支援事業 | 421 | 90% | ○ | | | | | ○ | | | | 商工労働係 |
| 3612 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　１　事業 | | 421 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 雇用対策の推進 |
| | 主要施策 | 1 | 通年雇用化対策の推進 |

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 通年雇用化に向け、厚生労働省・道より支援を受け、根室管内4町として事業を進めており、建設オペレーター等の資格取得の講習会の費用を一部負担するなど、地域の雇用創造に貢献している。 |

### 2　課題

国の予算の圧縮に伴い、事業経費も減額されてきている。今後も継続して事業を推進していくためには、国の予算確保は必須である。

### 3　今後の方向性

当地域における季節労働者対策は必要不可欠であり、国、道と連携し、本事業の実施が必要である。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 労働力人口の減少により季節労働者も減少傾向にあるが、寒冷積雪による建設業関連の季節労働者が依然多数を占めている。通年雇用化に向けては、企業の年間を通した業務量の確保と有資格者をはじめとした人材の育成が必要であり、引き続き根室管内4町通年雇用促進協議会及び地域雇用活性化推進事業により取り組む必要がある。一方、季節労働者の構成は年々高齢化が進んでおり通年雇用化を望んでいない層も増えていることから、労働力不足全体の課題として捉える必要がある。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 | 担当課長氏名 | 太田　淳也 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 雇用対策の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 季節労働者への就労対策の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 失業者または季節労働者の通年雇用化や地域求職者の雇用創出。 | 企業が季節労働者を通年雇用化できるよう冬期間の就労対策事業を実施する。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値(R2) | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 通年雇用化人数（管内4町季節労働者数） | 人／年 | ○ 単年 | 15 | 実績値 | 11 | 12 | 12 | 18 | 13 | 13 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 80.0% | 120.0% | 86.7% | 86.7% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 4,004 千円 | 3,113 千円 | 3,999 千円 | 3,658 千円 | 2,837 千円 | 2,142 千円 |
| 事業費 | 4,004 千円 | 3,113 千円 | 3,999 千円 | 3,658 千円 | 2,837 千円 | 2,142 千円 |
| 対前年度比 | | 77.75 % | 128.46 % | 91.47 % | 77.56 % | |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3621 | 季節労働者冬季就労対策事業 | 706 | 62.5% | | | | | | | | | ○ | 商工労働係 |
| 3621 | 労働福祉対策事業補助事業 | 2,131 | 75% | ○ | | | | | | | | | 商工労働係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　２　事業 | | 2,837 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 雇用対策の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 季節労働者への就労対策の推進 |

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・冬期間に失業する季節労働者の短期就労対策として、町道清掃作業などを実施。管内には依然として1,200名ほどの季節労働者が存在するが、年々減少傾向にあり、正規雇用化や他業への就業者も増加しており、当事業において参加者がなかなか集まらない実態があるため、冬季就労事業の目的は達成した。<br>・連合北海道中標津地区連合会が行う労働福祉の対策の事業に対して補助金を支給。<br>・労働福祉向上のための会館運営（指定管理者制度を活用）。 |

### 2　課題

本町では建設業関連の季節労働者が依然として多く、高齢化も進んでいる。通年雇用化に向けて各種資格取得をはじめとした人材の育成や実態調査を行うとともに、雇用確保に向けて事業主向けセミナーや情報提供などを引き続き行う必要がある。

### 3　今後の方向性

労働者の雇用環境の改善に取り組む労働福祉対策事業に対して、継続的な支援を行う。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 労働力人口の減少により季節労働者も減少傾向にあるが、寒冷積雪による建設業関連の季節労働者が依然多数を占めている。通年雇用化に向けては、企業の年間を通した業務量の確保と有資格者をはじめとした人材の育成が必要であり、引き続き根室管内4町通年雇用促進協議会及び地域雇用活性化推進事業により取り組む必要がある。一方、季節労働者の構成は年々高齢化が進んでおり通年雇用化を望んでいない層も増えていることから、労働力不足全体の課題として捉える必要がある。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 | 担当課長氏名 | 太田　淳也 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 雇用対策の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 雇用の確保に向けた取り組み |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 産業振興の促進、経済発展と雇用の拡大、企業誘致のため、工場等を新設又は、増設する企業を支援する。<br>根室管内4町における創意工夫により雇用創出を図り、雇用の安定と地域経済の活性化を推進するため、厚生労働省の受託事業として実施する。 | 投資と雇用に多額の負担を要する企業に対して、事業展開当初の最大3カ年を支援することにより、地域産業の活性化と域内循環が期待できる。<br>厚生労働省（北海道労働局）の受託事業として「南知床4町地域雇用創造協議会」（中標津町・別海町・標津町・羅臼町）が事業を実施。地域における雇用の安定と、拡充、経済活性化を図る。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値(R2) | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 3,810 千円 | 3,512 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 3,448 千円 | 184 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 7,258 千円 | 3,696 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

### 3　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事　務　事　業　名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担　当　係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3631 | 産業振興奨励に要する経費 | 3,425 | 82.5% | ○ | | | | | | | | | 商工労働係 |
| 3633 | 地域雇用活性化推進事業（負担金） | 3,833 | 80% | ○ | ○ | | | | | | | | 商工労働係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　2　事業 | | 7,258 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 雇用対策の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 雇用の確保に向けた取り組み |

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・産業振興奨励金については、企業による事業規模拡大や新規創業、進出に対し固定資産税の25%相当額を最大3年間、事業者に対し支援する。<br>・地域雇用創造事業は、雇用情勢の厳しい地域で、地域自ら創意工夫をもって提案した事業を厚生労働省から受託して実施するもの。受託期間（令和元年度～3年度）で、成果指標に沿った取り組みを行う。 |

### 2　課題

地域雇用創造事業：新型コロナウイルス感染症に配慮した研修会の実施。

### 3　今後の方向性

新型コロナウイルス感染症の影響を勘案しながら、予定している事業を展開していく。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 根室管内地場企業の雇用対策として現在R元年度からR3年度までの3年間、総額1.4億円のプロジェクトである地域雇用活性化推進事業を展開しており、引き続き事業所の魅力向上（新分野進出、販路拡大、雇用環境の改善を支援）と求職者のスキルアップ（各種セミナー、講座開催、資格取得支援）、両者のマッチング支援（就労体験、企業説明会等）を総合的に進める必要がある。また、企業の規模拡大や新たな企業・事業所の進出により雇用の拡大を促す産業振興奨励金（昭和63年条例）については、新型コロナ後の企業・事業所の進出等新たな動きを見据えた見直しに向けた検討も必要である。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 | 担当課長氏名 | 太田　淳也 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 雇用対策の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 雇用の確保に向けた取り組み |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 失業者または季節労働者の通年雇用化や地域求職者の雇用創出。 | 企業誘致の推進を図り、新たな雇用の場の拡大。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値(R2) | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 200 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 50 千円 | 6 千円 | 1,022 千円 | 181 千円 | 863 千円 | 139 千円 |
| 事業費 | 50 千円 | 6 千円 | 1,022 千円 | 181 千円 | 1,063 千円 | 139 千円 |
| 対前年度比 | | 12.00 % | 17033.33 % | 17.71 % | 587.29 % | |

### 3　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3631 | 企業誘致推進事業 | 1,063 | 92.5% | | | | ○ | | ○ | | | | 地域振興係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 1,063 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 雇用対策の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 雇用の確保に向けた取り組み |

| 担当部・課 | 経済部経済振興課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 行政と町内協力団体の連携により、学校法人岩谷学園日本語学校の誘致の取組を推進。令和元年6月に学校法人岩谷学園と中標津町岩谷学園誘致の会、中標津町、中標津町商工会が連携協定を締結し、令和3年4月の「岩谷学園ひがし北海道日本語学校」開設に向けて準備を進めてきた。<br>令和元年度は、日本語学校開設に係る理解を深めるために「住民説明会」や「外国人との共生を考える町民セミナー」を開催するとともに、岩谷学園が現地で行う学生募集の状況について関係者でベトナム視察を実施した。令和2年5月までに日本語学校開設に係る校舎の改修が行われ、岩谷学園ひがし北海道日本語学校の校舎事務所開所式が執り行われた。 |

### 2　課題

留学生の居住及びアルバイト先の確保、外国人留学生に対する住民理解を深めることなどが必要。また、日本語学校開設後においては、留学生の生活状況の管理・監督をするとともに生活面のサポートや、町民との交流の場を設けるなど、引き続き行政と町内協力団体が連携して行う必要がある。

### 3　今後の方向性

岩谷学園の進出を町の新たな起爆剤として、産業・観光・教育文化など各方面に新たな施策を展開できるよう取組を進める。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 雇用確保に向けては、労働力不足に悩む地場企業の対策と合わせ、新たな企業・事業所の誘致も積極的に取り組まなければならない課題である。新型コロナを契機とした企業の地方進出やサテライトオフィス・テレワークといった新たな企業形態も出始めることが予想され、多様な企業進出に対応する施策が今後は必要である。また、企業の規模拡大や新たな企業・事業所の進出に当たっては、経済的支援の呼び水のみならず、土地利用・税制・インフラ整備等全庁的・総合的な施策を講じる必要がある。経済部としても産業振興奨励金（昭和63年条例）の見直しも検討が必要。岩谷学園の誘致については順調に日本語学校開設計画が進んでおり、次のステージ（専門学校開設）に向け引き続き学園側と取り組む。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**産業振興奨励金など企業誘致に関する施策の見直し検討を進めることが必要**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部都市住宅課 | 担当課長氏名 | 天野　英典 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | ７ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 計画的な土地利用と市街地整備の推進 |
| | 主要施策 | 1 | 計画的な土地利用の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | | 1 | 計画的な土地利用と市街地整備の推進 |
| | | 2 | 都市計画マスタープランの推進 |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 本町は、経済成長期に急速に発展する中で、市街地が拡大し都市基盤整備が充実してきたが、今後の土地利用は、国土交通省が推奨している立地適正化計画の趣旨を理解し、市街地の拡大を抑制し、都市機能がコンパクトに集積した、都市経営コストのかからないコンパクトなまちづくりを目指す。 | 都市機能の拡大を抑制しつつ、まちの中心に人や施設、各種機能が集積し、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを目指し、都市経営コスト削減を図る。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標１ 中心部市街地は便利で利用しやすいと感じる町民の割合（町民アンケート） | % | ○ 単年 | 71 | 実績値 | | 70 | 62 | 59 | 59 | 64 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 87.3% | 83.1% | 83.1% | 90.1% | 0.0% |
| 指標２ | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標３ | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 54 千円 | 54 千円 | 54 千円 | 54 千円 | 67 千円 | 53 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 173 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 1,618 千円 | 1,020 千円 | 879 千円 | 4,040 千円 | 8,853 千円 | 9,540 千円 |
| 事業費 | 1,672 千円 | 1,074 千円 | 933 千円 | 4,267 千円 | 8,920 千円 | 9,593 千円 |
| 対前年度比 | | 64.23 % | 86.87 % | 457.34 % | 209.05 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4111・4121 | 都市計画マスタープランの推進 | 8,920 | 87.5% | ○ | | | | | | | | | 街づくり推進係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 8,920 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 計画的な土地利用と市街地整備の推進 |
| | 主要施策 | 1 | 計画的な土地利用の推進 |

| 担当部・課 | 建設水道部都市住宅課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 都市計画マスタープランや農業振興地域整備計画、森林整備計画等の土地利用計画に則し、市街地の無秩序な拡大を抑制しつつ、町の中心に公共施設等の機能が集積し、人が集い、賑わいのある歩いて暮らせるコンパクトな行政コストのかからないまちづくりを実現するため、総合的な調整を図っている。<br>①都市計画審議会開催<br>②職員研修開催<br>③中標津町都市計画マスタープラン総合検証、定時見直し策定委託業務、策定委員会開催 |

### 2 課題

近年、商業を取り巻く環境の変化や居住人口、交流人口が減少し、地域コミュニティの活力が低下しつつあり、高齢化などにより文化、交流機能などの中心市街地が発揮すべき本来の機能も低下し、失われた賑わいを取り戻すことが求められている。
また、地域の産業活動や歴史を重んじ景観を重視した「個性豊かで美しい風格のあるまちづくり」が求められている。

### 3 今後の方向性

次期都市計画マスタープランを町民参画、庁舎内連携で取り組み、将来、人口の減少と急速な少子高齢化の進行が見込まれることから、市街地の拡大を抑制し、これまで整備された都市施設の有効活用を推進することにより、様々な都市機能がコンパクトに集積することにより歩いて暮らせるコンパクトな街づくりを目指す。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月　正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 新型コロナウイルス感染症防止対策により、都市計画マスタープランの策定作業が若干遅れているが、これまで、少子高齢化、人口減少を背景に、将来的にも町民が安心して生活ができ、持続可能な都市経営のあるべき姿を町民と一緒にヒアリングやアンケート、ワークショップなどを実施し議論している。<br>今後においても、土地利用だけでなく、居住機能や医療、福祉、商業、公共交通等の様々な都市機能を誘導する立地適正化計画や用途地域見直しも視野に入れ議論していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部都市住宅課 | 担当課長氏名 | 天野　英典 | 調書作成日 | 令和２年 ７ 月 ７ 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 計画的な土地利用と市街地整備の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 都市計画マスタープランの推進 |
| その他関連計画等 | | 中標津町景観計画 | |
| | | 中標津町住生活基本計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 本町の都市計画に関する基本的な方針を定める都市計画マスタープラン（都市マス）に基づき、町民と行政がまちづくりの理念、将来像を共有し、官民の役割分担と協働によって、愛着のある暮らしやすいまちづくりを目指す。 | 本町の都市計画に関する基本的な方針を定める都市計画マスタープラン（都市マス）に基づき、町民と行政がまちづくりの理念、将来像を共有し、官民の役割分担と協働によって、愛着のある暮らしやすいまちづくりを目指す。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標１ 中心市街地は便利で利用しやすいと感じる町民の割合（町民アンケート） | % | ○ 単年 | 71 | 実績値 | | 70 | 62 | 59 | 59 | 64 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 87.3% | 83.1% | 83.1% | 90.1% | 0.0% |
| 指標２ | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標３ | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 406 千円 | 327 千円 | 348 千円 | 348 千円 | 407 千円 | 304 千円 |
| 事業費 | 406 千円 | 327 千円 | 348 千円 | 348 千円 | 407 千円 | 304 千円 |
| 対前年度比 | | 80.54 % | 106.42 % | 100.00 % | 116.95 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4121 | 地域まちづくり事業の推進 | 407 | 75% | | ○ | | | | | | | | 街づくり推進係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 407 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 計画的な土地利用と市街地整備の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 都市計画マスタープランの推進 |

| 担当部・課 | 建設水道部都市住宅課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 都市計画マスタープランに基づき、6地域による地域別構想に掲げたそれぞれの地域特性を活かした構想の実現に向け、身近な地域のまちづくりに自発的に関わり、実行するものであり、西町・川西地域、中心部地域、西部地域では既に活動があり、人から人へのつながりができ、まちづくりに対する関心の効果が表れている。<br>活動内容<br>・西町・川西地域づくり協議会：（諸事情により休止）<br>・中心部地域：ライトアップ事業、イルミネーション、キャンドル設置等<br>・西部地域：親子たこづくり・たこあげ大会 |

### 2 課題

現在、地域別構想の取組を行っている3地区において、積極的に取り組んでいるが、今後、役員の高齢化による後継者育成が大きな課題となる。 また、今後においてはまだ、活動の無い地区に対し取組のきっかけ作りを検討する必要がある。
また、平成29年5月に景観計画が策定されたが、景観もまちづくりには必要不可欠であることから、景観計画と都市計画マスタープランの両者のまちづくりという視点の区別が難しく、今後分かりやすくする検討が必要と思われる。
また、国では少子高齢化を背景に、自治体財政が逼迫することから、将来的にも住民が安心して生活ができ、持続可能な都市経営を課題とし、居住機能や医療、福祉、商業、公共交通等の様々な都市機能を誘導する立地適正化計画の策定を推奨している。
新型コロナウイルス感染症に伴う社会状況の変化を見据えた計画とするため、現状分析などを含めて時間をかけて議論を尽くす必要がある。

### 3 今後の方向性

都市計画マスタープランを町民と行政が理念、将来像を共有し、官民の役割分担と協働によって、愛着のある暮らしやすいまちづくりを目指すための取組として、地域別構想に基づく地域協議会の設立及び活動に対する行政支援が必要である。
また、現在国では、持続可能な都市経営を課題とした居住機能や医療、福祉、商業、公共交通等の様々な都市機能を誘導する立地適正化計画の策定を推進していることから、十分検討する必要がある。

### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月 正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 都市マス地域別街づくり構想に基づき、3地区の街づくり協議会の活動に対して支援しているが、現在策定作業を進めている次期都市マスにおいても、持続可能で、安全、安心して暮らせる都市づくりを目指し、地域の課題可決に向けた議論、合意形成が必要である。<br>また、総合計画とも連携し、町の将来像を共有し、協働による愛着のある暮らしやすいまちづくりを推進する。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部都市住宅課 | 担当課長氏名 | 天野　英典 | 調書作成日 | 令和２年 ７ 月 ７ 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 計画的な土地利用と市街地整備の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 市街地整備の推進 |
| その他関連計画等 | | 中標津町都市計画マスタープラン | |
| その他関連施策 | | 4 利便性のある調和のとれたまちづくり<br>1 計画的な土地利用と市街地整備の推進<br>1 計画的な土地利用の推進 | 4 利便性のある調和のとれたまちづくり<br>1 計画的な土地利用と市街地整備の推進<br>2 都市計画マスタープランの推進 |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 中心市街地は、商業、サービス業等の様々な機能が集まり、町民の生活の場であると同時に娯楽や交流の場として、地域に根ざした風土、景観、文化、伝統などに育んできた。近年、商業を取り巻く環境の変化や居住人口、交流人口が減少し、地域コミュニティの活力が低下しつつあり、中心市街地が発揮すべき本来の機能が低下し、失われた賑わいを取り戻すための活動が必要である。 | 都市計画マスタープランで地域別のまちづくり構想を掲げた目標に向かい官民の役割分担の中での取組により、地域の特性を生かした愛着のあるまちづくりを目指し、活気ある賑わいのあるまちづくりを期待する。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 中心市街地は便利で利用しやすいと感じる町民の割合（町民アンケート） | % | ○ 単年 | 71 | 実績値 | | 62 | 62 | 59 | 59 | 64 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 87.3% | 83.1% | 83.1% | 90.1% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 54 千円 | 54 千円 | 54 千円 | 54 千円 | 67 千円 | 53 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 1,618 千円 | 1,020 千円 | 879 千円 | 4,040 千円 | 8,853 千円 | 9,236 千円 |
| 事業費 | 1,672 千円 | 1,074 千円 | 933 千円 | 4,094 千円 | 8,920 千円 | 9,289 千円 |
| 対前年度比 | | 64.23 % | 86.87 % | 438.80 % | 217.88 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4111・4121・4131 | 都市計画マスタープランの推進 | 8,920 | 87.5% | ○ | | | | | | | | | 街づくり推進係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 8,920 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 計画的な土地利用と市街地整備の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 市街地整備の推進 |

| 担当部・課 | 建設水道部都市住宅課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 機能的・効率的な市街地内土地利用の推進<br>・市街地におけるそれぞれの地域特性を勘案した利用区分の設定を行うとともに、交通ネットワークや公共施設等と連携するような住居系、商業・業務系、工業系、観光・レクリエーション系の土地利用をバランスよく配置し、効率的かつ機能的な土地利用を誘導してきた。 |

### 2 課題

近年、商業を取り巻く環境の変化や居住人口、交流人口が減少し、地域コミュニティの活力が低下しつつあり、高齢化などにより文化、交流機能などの中心市街地が発揮すべき本来の機能も低下し、失われた賑わいを取り戻すことが求められている。
また、地域の産業活動や歴史を重んじ景観を重視した「個性豊かで美しい風格のあるまちづくり」が求められている。

### 3 今後の方向性

都市計画マスタープランを町民と行政が理念、将来像を共有し、官民の役割分担と協働によって、愛着のある暮らしやすいまちづくりを目指すための取組として、地域別構想に基づく地域協議会の設立及び活動に対する行政支援が必要である。
また、現在国では、持続可能な都市経営を課題とした居住機能や医療、福祉、商業、公共交通等の様々な都市機能を誘導する立地適正化計画の策定を推進していることから、十分検討する必要がある。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月　正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 新型コロナウイルス感染症防止対策により、都市計画マスタープランの策定作業が若干遅れているが、これまで、少子高齢化、人口減少を背景に、将来的にも町民が安心して生活ができ、持続可能な都市経営のあるべき姿を町民と一緒にヒアリングやアンケート、ワークショップなどを実施し議論している。<br>今後においても、土地利用だけでなく、居住機能や医療、福祉、商業、公共交通等の様々な都市機能を誘導する立地適正化計画や用途地域見直しも視野に入れ議論していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部建設管理課 | 担当課長氏名 | 不藤浩二 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ 施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 計画的な土地利用と市街地整備の推進 |
| | 主要施策 | 4 | 町有未利用地の有効活用 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担 当 課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 市街地の町有未利用地の活用と利用を図る。 | 町有財産の適正な維持管理と貸付や売払いによる有効活用 |

## Ⅱ 施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 土地貸付面積 | ㎡ | ○ 単年 | 742 | 実績値 | 742 | 742 | 742 | 742 | 742 | 742 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 19,368 千円 | 53,375 千円 | 22,388 千円 | 25,462 千円 | 61,279 千円 | 47,465 千円 |
| 一般財源 | 28,950 千円 | 19,155 千円 | 14,332 千円 | 9,122 千円 | 5,796 千円 | 9,409 千円 |
| 事業費 | 48,318 千円 | 72,530 千円 | 36,720 千円 | 34,584 千円 | 67,075 千円 | 56,874 千円 |
| 対前年度比 | | 150.11 % | 50.63 % | 94.18 % | 193.95 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4141.4142 | 財産管理事務経費 | 48,321 | 77.5% | ○ | | | | | | | | | 用地管財係 |
| 4141.4142 | 基金管理経費 | 18,754 | 77.5% | ○ | | | | | | | | | 用地管財係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 2 事業 | | 67,075 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 計画的な土地利用と市街地整備の推進 |
| | 主要施策 | 4 | 町有未利用地の有効活用 |

| 担当部・課 | 建設水道部建設管理課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 1件　A=124.56㎡の売払いをし、基金積立をおこなった。<br>財政調整基金、土地開発基金、特定地方交通線標津線代替輸送確保基金への積み立て。 |

### 2 課題

測量調査や土地鑑定料などの費用が必要である。
旧JR鉄橋の処分に膨大な経費を要する。
未利用町有財産が増加している。

### 3 今後の方向性

継続して、町有財産の適切な維持管理、売払い、貸付を行う。
未利用町有財産の利活用について検討し適切に管理していく。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月　正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 町有未利用財産の売り払い、貸付を行い有効活用を図っている。<br>総務部財政課と連携協力し、普通財産の未利用財産利活用方針を策定し、計画的に売り払い、貸付、利活用、保全（維持管理）を行っていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部都市住宅課 | 担当課長氏名 | 天野　英典 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | ７ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | 景観形成の推進 |
| | 主要施策 | 1 | 景観法に基づく景観計画の策定 |

| その他関連計画等 | | |
|---|---|---|
| | 中標津町都市計画マスタープラン | 中標津町緑の基本計画 |
| | 中標津町環境基本計画 | |

| その他関連施策 | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 2 | 景観形成の推進 | 2 | 景観形成の推進 |
| | 2 | 景観の質の向上、保全、活用の推進 | 3 | 景観形成の普及・啓発などの推進 |
| 担　当　課 | | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 「まちへの誇りや愛着を持てる“ふるさとなかしべつ”」と「町民がいきがいと住み続けられる持続可能なまち」を目指し、まちの財産である中標津町の景観を後世へ引き継ぐことを目的とする。 | 町民の皆さんが中標津町の景観の価値を共有し、理解を深め、その取組に参加していくことにより、これまで以上に景観の魅力が身近に感じられることにつながる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 景観計画の策定 | 単年 | H28策定 | 実績値 | 未 | 未 | 策定済 | 策定済 | 策定済 | 策定済 | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 5,090 千円 | 2,273 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 5,752 千円 | 9,212 千円 | 4,397 千円 | 1,178 千円 | 919 千円 | 786 千円 |
| 事業費 | 5,752 千円 | 9,212 千円 | 4,397 千円 | 6,268 千円 | 3,192 千円 | 786 千円 |
| 対前年度比 | | 160.15 % | 47.73 % | 142.55 % | 50.93 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4211・4221・4231 | 景観形成の推進 | 3,192 | 95% | | | ○ | | | | ○ | | | 街づくり推進係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 3,192 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | 景観形成の推進 |
| | 主要施策 | 1 | 景観法に基づく景観計画の策定 |

| 担当部・課 | 建設水道部都市住宅課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 景観法に基づく中標津町景観計画の推進にあたり、中核を担う団体（景観整備機構）の設立に向けて「みんなの景観なかしべつプロジェクト」と共に景観形成活動を実践してきた。 |

### 2 課題

まち全体の景観まちづくりに欠かせないことは、町民・活動団体・事業者・行政が連携し、「協働」で進めることである。そのために、まち全体で景観まちづくりを育てていく過程（プロセス）を意識しながら、景観まちづくりに取り組む「参加の機会」をつくっていく。

### 3 今後の方向性

景観まちづくりを従来以上に迅速かつ円滑に進めるための「景観まちづくり団体」という仕組みの形成を図ってきた結果として、「みんなの景観なかしべつプロジェクト」が立ち上がった。今後は団体の意向に応じて適宜「景観まちづくり団体」に移行していく。その後「景観整備機構」へ発展していく。「景観整備機構」の設立、指定後は、機構と中標津町（行政）との協働が核となり、町全域における調和のとれた景観まちづくり活動の推進を目指していく。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月　正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | みんなのなかしべつプロジェクト（みんなか）の設立により、町民の景観に対する意識の醸成が図られている。<br>引き続き、みんなかが行う、景観計画に基づいた「景観整備機構」の設立に向けた景観学習会やフォーラムなど、様々な活動を支援していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部農林課 | 担当課長氏名 | 中野　康志 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | 景観形成の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 景観の質の向上、保全、活用の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 役場～24線～開陽台入り口までの道路を町内のシンボルロードとして位置づけし、ふるさと創生事業により、景観整備（並木植樹）を実施。牧歌景観と調和した、並木保全を行ってきている。 | 景勝地開陽台へ続くシンボルロードとして、自然と調和した町のイメージアップにつながる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 1,751 千円 | 1,763 千円 | 1,763 千円 | 1,966 千円 | 2,127 千円 | 383 千円 |
| 事業費 | 1,751 千円 | 1,763 千円 | 1,763 千円 | 1,966 千円 | 2,127 千円 | 383 千円 |
| 対前年度比 | | 100.69 % | 100.00 % | 111.51 % | 108.19 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4221 | ふるさと創生並木保全 | 2,127 | 77.5% | | | ○ | | | | | | | 林務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 2,127 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | 景観形成の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 景観の質の向上、保全、活用の推進 |

| 担当部・課 | 経済部農林課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 並木保全のための下刈作業を実施し、シンボルロードとしての景観イメージの向上につなげた。 |

### 2 課題

植樹から27年を経過し、樹木の生長と共に、電線に影響したり、隣接住宅に影響を及ぼしたりしている。特に市街地近くでは、今後その影響が更に出てくる可能性がある。また、今後は風倒木の心配も出てくる。樹木には伐採期があり、その時その木をどうするか、伐採後どうするかが課題となる。同様の事業導入に際しては、植樹後の将来的な影響も見据えた検討が必要である。

### 3 今後の方向性

今後も景観維持には同様の保全管理が必要であるが、樹木は大きく育ち保育期間は終了している。
道や町が管理している道路の歩道部分についてはそれぞれ道路管理者が草刈りを行っているところであり、それぞれ管理面積の持ち分を見直し、町のｹﾞｰﾄｳｪｲとして景観維持を図っていく。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 本町は格子状防風林、河畔林、市街地を囲む林により独特の景観を生み出しており、これらの森林がもたらす景観は視覚的な価値のみならず防風・防霧、河川環境や生態系の維持等様々な役割を果たしています。引き続き並木保全等の保護活動を継続しつつ、今後は景観計画や教育活動との連携により「活用」を意識した施策も必要である。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部都市住宅課 | 担当課長氏名 | 天野　英典 | 調書作成日 | 令和２年 ７ 月 ７ 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | 景観形成の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 景観の質の向上、保全、活用の推進 |
| その他関連計画等 | | 中標津町都市計画マスタープラン | 中標津町緑の基本計画 |
| | | 中標津町環境基本計画 | |
| その他関連施策 | | 4 利便性のある調和のとれたまちづくり | 4 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | | 2 景観形成の推進 | 2 景観形成の推進 |
| | | 1 景観法に基づく景観計画の策定 | 3 景観形成の普及・啓発などの推進 |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 今後も継続的に景観まちづくりを進めていくため、町民・活動団体・事業者・行政の協働の取組による、具体的な推進方策を定め、景観まちづくりを育てていくプロセスに沿って、「関心・参加・楽しむ・発見・共有・つながり・ひろがり」の過程を大切にし、町民・活動団体・事業者・行政の協働による景観まちづくりを進める。 | 本町の貴重な財産として、四季の変化に恵まれた豊かな自然を確実に後世に引き継いでいくため、官民が自然に対する誇りと愛着を持てる取組を期待する。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 景観計画の策定 | 単年 | H28策定 | 実績値 | 未 | 未 | 策定済 | 策定済 | 策定済 | 策定済 | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 5,090 千円 | 2,273 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 5,752 千円 | 9,212 千円 | 4,397 千円 | 1,178 千円 | 919 千円 | 786 千円 |
| 事業費 | 5,752 千円 | 9,212 千円 | 4,397 千円 | 6,268 千円 | 3,192 千円 | 786 千円 |
| 対前年度比 | | 160.15 % | 47.73 % | 142.55 % | 50.93 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4211・4221・4231 | 景観形成の推進 | 3,192 | 95% | | | ○ | | | | ○ | | | 街づくり推進係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 3,192 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | 景観形成の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 景観の質の向上、保全、活用の推進 |

| 担当部・課 | 建設水道部都市住宅課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 条例に基づき開陽台周辺地区を景観形成重点区域に指定や、国道272号バイパス沿いの景観形成基準、携帯電話基地局設置に係る指導指針、太陽光発電施設立地に伴う景観形成基準などを策定し景観形成を推進してきた。<br>特に携帯電話基地局設置にあたっては、Society5．0時代を迎え、5Gをはじめとするインフラ整備支援が進められる中で、市街地や郊外地を分け隔てなく全域をサービスの対象地域と考えなければならないことから、景観形成基準の理念を継承しつつ、景観への影響が少ない高さを抑えた基地局設置について、禁止区域を緩和することとした。 |

### 2 課題

町民の皆さんが中標津町の景観の価値を共有し、理解を深め、その取組に参加し、これまで以上に景観まちづくりが進められるよう支援する必要がある。

### 3 今後の方向性

景観まちづくりの推進方策の実践を後押しできるよう、景観法に加えて中標津町が運用する指針、基準、制度、その他関連する既存制度も活用し、より効果的に町民、活動団体・事業者等と中標津町の景観の質の向上、保全が進められるよう相互理解を深めていく。
都市と地方の情報格差のない「Society5．0時代の地方」の実現に向けて、景観まちづくりとの共存を図っていく。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月　正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | みんなのなかしべつプロジェクト（みんなか）の設立により、町民の景観に対する意識の醸成が図られている。<br>引き続き、みんなかが行う、景観計画に基づいた「景観整備機構」の設立に向けた景観学習会やフォーラムなど、様々な活動を支援していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部都市住宅課 | 担当課長氏名 | 天野　英典 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | ７ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり | | |
| | 大　項　目 | 2 | 景観形成の推進 | | |
| | 主要施策 | 3 | 景観形成の普及・啓発などの推進 | | |
| その他関連計画等 | | 中標津町都市計画マスタープラン | | 中標津町緑の基本計画 | |
| | | 中標津町環境基本計画 | | | |
| その他関連施策 | | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | | 2 | 景観形成の推進 | 2 | 景観形成の推進 |
| | | 1 | 景観法に基づく景観計画の策定 | 2 | 景観の質の向上、保全、活用の推進 |
| 担　当　課 | | | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 中標津町の景観の魅力や景観形成に対する考え方を、町民や来訪者、事業者等に知ってもらい、景観に対する理解と関心を深めていくために各種普及・啓発活動を推進します。 | 本町の貴重な財産として、四季の変化に恵まれた豊かな自然を確実に後世に引き継いでいくため、官民が自然に対する埃と愛着を持てる取り組みを期待する。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 景観計画の策定 | 単年 | H28策定 | 実績値 | 未 | 未 | 策定済 | 策定済 | 策定済 | 策定済 | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 5,090 千円 | 2,273 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 5,752 千円 | 9,212 千円 | 4,397 千円 | 1,178 千円 | 919 千円 | 786 千円 |
| 事業費 | 5,752 千円 | 9,212 千円 | 4,397 千円 | 6,268 千円 | 3,192 千円 | 786 千円 |
| 対前年度比 | | 160.15 % | 47.73 % | 142.55 % | 50.93 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4211・4221・4231 | 景観形成の推進 | 3,192 | 95% | | | ○ | | | | ○ | | | 街づくり推進係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 3,192 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | 景観形成の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 景観形成の普及・啓発などの推進 |

| 担当部・課 | 建設水道部都市住宅課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 中標津町の景観の成り立ちを学び、理解を深めることで、まちへの誇りや愛着の醸成、財産としての景観を後世に引き継いでいくことにつながることから、庁内連携及び教育委員会との協働の取組により、景観形成及び景観まちづくりの次世代を担う子どもたちへの景観学習を実施した。<br>また、計画策定後の実践として、民間主体の「みんなの景観なかしべつプロジェクト」が立ち上がり、行政との協働による景観まちづくりを推進する組織（景観整備機構）への移行を目指した活動を本格化させた。<br>〇協働の景観まちづくり事業 （ 景観フォーラム（In計根別）、かぼちゃランタン事業、景観学習 ）<br>〇景観整備機構設立に向けた事前組織の活動<br>〇景観審議会の開催<br>〇景観推進事業補助金の交付 |

### 2 課題

行政との協働による景観まちづくりを推進する景観整備機構の設立に向け、「みんなの景観なかしべつプロジェクト」の取組を行政としてできる限り支援する必要がある。

### 3 今後の方向性

景観計画は、市街地や農村環境・自然環境を守り、つくり、育てる方策を実現させるため、町全体の調和を図り、価値を高めていく中心的な役割を果たす。今後は、町民の皆さんが中標津町の景観の価値を共有し、理解を深め、その取り組みに参加できる機会を創出し、これまで以上に景観の魅力が身近に感じられる普及・啓発の推進を図る。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月　正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | みんなのなかしべつプロジェクト（みんなか）の設立により、町民の景観に対する意識の醸成が図られている。<br>引き続き、みんなかが行う、景観計画に基づいた「景観整備機構」の設立に向けた景観学習会やフォーラムなど、様々な活動を支援していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部企画課 | 担当課長氏名 | 七條　隆志 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 道路・交通網の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 高規格道路などの整備促進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 地域高規格道路釧路中標津道路、根室中標津道路及び北海道横断自動車道釧路根室道路の整備促進を図るため、 市町・議会・商工会・農協・漁協などの関係団体で構成する期成会等による各種活動を実施する。 | 要望活動により地域高規格道路並びに高規格幹線道路の整備促進を図り、地域経済の活性化及び地域振興・発展を目指す。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 210 千円 | 216 千円 | 216 千円 | 216 千円 | 216 千円 | 216 千円 |
| 事業費 | 210 千円 | 216 千円 | 216 千円 | 216 千円 | 216 千円 | 216 千円 |
| 対前年度比 | | 102.86 % | 100.00 % | 100.00 % | 100.00 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4311・4312・4313 | 地域高規格道路・高規格幹線道路の整備促進 | 216 | 85% | ○ | | | | | | | | | 企画調整係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 216 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 道路・交通網の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 高規格道路などの整備促進 |

| 担当部・課 | 総務部企画課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 事業実施主体である国・道に対して、整備促進への要望活動を各種機会を通じて実施している。釧路中標津道路の事務局が本町、根室中標津道路の事務局は根室市。<br>なお、要望活動は釧路根室管内における4つの道路整備促進期成会合同で実施している。（釧根トライアングル整備構想連絡会議） |

### 2 課題

・事業実施主体である国・道に対する要望活動が主な活動であり、要望なしでは事業推進を図れない状況である。
・釧路中標津道路は平成30年度に上別保道路の整備が完成したところであるが、今後、調査区間である雷別道路・阿歴内道路の整備区間への昇格は緊急性、必要性等から期待できない状況。このような中、上春別周辺の道路において吹雪による通行止めが多発しており、この防雪対策の要望に向けて関係機関との調整が新たに必要となっている。
・北海道横断自動車道釧路根室道路の整備は、平成30年度に尾幌～糸魚沢間の新規事業化が決定し、着実に進捗している。
・根室中標津道路は平成27年度の別海道路開通後の事業進展がなく、未指定区間である別海町中春別～中標津空港間の早期整備に向けた調査を要望している。

### 3 今後の方向性

広域にわたる事業であることから、今後においても沿線自治体及び関係団体と協力し、早期完成を要望していく。特に、根室中標津道路の別海町中春別から本町の区間においては、通勤者も利用し交通量も多く、またカーブもきつく道路幅も狭いことから調査区間の指定を今後も要望していく。
事務局を担っている釧路中標津道路の整備、調査区間が現時点で事業の進展が見込まれていないが、新たに上春別周辺の道路について暴風雪対応に係る整備の必要性が高まってきていることから、早期の調査区間引き上げを図るため、要望活動を継続してく。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 地域高規格道路である根室中標津道路及び釧路中標津道路については、地域の医療・防災・物流・観光等広域的な面から、地域で連携した要請・要望活動を展開していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部建設管理課 | 担当課長氏名 | 不藤浩二 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ 施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 道路・交通網の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 高規格道路などの整備促進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担 当 課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 町民生活の利便性向上や地域の活性化に向け、高規格道路の整備促進をはじめ、国道、道道について、国、道など関係機関に要望し整備促進を図る。 | 高規格道路の早期完成及び、国道、道道の整備促進 |

## Ⅱ 施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 6 千円 | 5 千円 | 3 千円 | 3 千円 | 4 千円 | 1 千円 |
| 一般財源 | 796 千円 | 830 千円 | 848 千円 | 799 千円 | 877 千円 | 1,074 千円 |
| 事業費 | 802 千円 | 835 千円 | 851 千円 | 802 千円 | 881 千円 | 1,075 千円 |
| 対前年度比 | | 104.11 % | 101.92 % | 94.24 % | 109.85 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4312 | 土木一般管理経費 | 881 | 92.5% | ○ | ○ | | ○ | | | | | | 管理係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 881 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 道路・交通網の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 高規格道路などの整備促進 |

| 担当部・課 | 建設水道部建設管理課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br><br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・各種負担金、会費の負担<br>（北海道防災協会、北海道道路整備促進協会、北海道治水・砂防海岸事業促進同盟）<br>・賃金職員の雇用<br>・情報共有化システムの運用<br><br>国道、道道の整備事業、治水対策事業に対し町民の意見や地域の要望を提案し、早期着手への理解は得られている。<br>また、情報共有システムは道路維持管理に有効活用されている。 |

### 2 課題

近年、農業機械の大型化に伴う路肩落ちなどの問題が発生している。
このような現状を国や道へ報告し、道路の構造基準や改築の手段などを要望していかなければならない。

### 3 今後の方向性

継続して連絡会議などを実施し、情報交換及び連絡調整等により道路整備促進に寄与する。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月　正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br><br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 今後も町民の意見・地域要望等に基づき、道路整備促進に向け、国や道などの関係機関連絡会議等を通じ情報収集、意見交換を継続して行っていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部建設管理課 | 担当課長氏名 | 不藤浩二 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ 施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 道路・交通網の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 町道などの生活道路の整備 |
| その他関連計画等 | | 第７期中標津町道路整備5ヵ年計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担 当 課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 町民生活の利便性向上や、社会経済活動を支える重要な社会資本である町道の整備を図る。 | 道路整備5ヵ年計画に基づき、町道の整備を推進するため、関係機関と連携し、幹線道路から身近な生活道路に至るまで、より一層安全で便利な道路環境づくりを進める。 |

## Ⅱ 施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 町道の舗装率 | ㎡ | 単年 | 61 | 実績値 | 55 | 58 | 58 | 59 | 60 | 60 | |
| | | ○ 累計 | | 達成率 | | | 95.1% | 96.7% | 98.4% | 98.4% | 0.0% |
| 指標2 道路や河川などが適切に管理されていると感じる町民の割合（町民アンケート） | | ○ 単年 | 65 | 実績値 | | 60 | 60 | 57 | | 57 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 92.3% | 87.7% | 0.0% | 87.7% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 41,088 千円 | 31,554 千円 | 50,718 千円 | 46,907 千円 | 47,324 千円 | 57,600 千円 |
| 地方債 | 279,100 千円 | 424,300 千円 | 368,600 千円 | 573,600 千円 | 490,500 千円 | 224,400 千円 |
| その他 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 一般財源 | 18,821 千円 | 18,761 千円 | 13,505 千円 | 26,716 千円 | 21,231 千円 | 5,300 千円 |
| 事業費 | 339,009 千円 | 474,615 千円 | 432,823 千円 | 647,223 千円 | 559,055 千円 | 287,300 千円 |
| 対前年度比 | | 140.00 % | 91.19 % | 149.54 % | 86.38 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4321 | 俵橋南3号道路整備事業（交付金） | 9,720 | 90% | ○ | | | | | | | | | 事業推進係 |
| 4321 | 豊岡35線道路整備事業（交付金） | 71,354 | 90% | ○ | | | | | | | | | 事業推進係 |
| 4321 | 武佐南7線道路整備事業 | 35,131 | 100% | ○ | | | | | | | | | 事業推進係 |
| 4321 | 西竹38線連絡道路整備事業 | 68,763 | 100% | ○ | | | | | | | | | 事業推進係 |
| 4321 | 俣落30線道路整備事業 | 81,168 | 100% | ○ | | | | | | | | | 事業推進係 |
| 4321 | 開陽26線道路整備事業 | 44,910 | 100% | ○ | | | | | | | | | 事業推進係 |
| 4321 | 西竹48線道路整備事業 | 42,208 | 100% | ○ | | | | | | | | | 事業推進係 |
| 4321 | りんどう北8号道路整備事業 | 39,997 | 100% | ○ | | | | | | | | | 事業推進係 |
| 4321 | 市街地道路簡易舗装整備事業 | 58,817 | 90% | | | | ○ | | | | | | 事業推進係 |
| 4321 | 西町通防犯灯整備事業 | 517 | 100% | ○ | | | | | | | | | 事業推進係 |
| 4321・4322 | 南9丁目通整備事業 | 103,640 | 100% | | | | | | | | | ○ | 事業推進係 |
| 4321 | 土砂仮置場整備事業 | 2,830 | 100% | | | | | | | | | ○ | 事業推進係 |
| 合計 12 事業 | | 559,055 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 道路・交通網の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 町道などの生活道路の整備 |

| 担当部・課 | 建設水道部建設管理課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・町道整備事業（交付金） 2路線　改良L=225.2m　舗装L=337.2m<br>・町道整備事業（単独） 6路線　L=1450.7m<br>・測量設計　1路線　L=2,230m<br>・市街地道路簡易舗装事業　2路線　L=518.8m<br>道路整備を行い町民生活、社会経済活動の利便性が向上した。 |

### 2 課題

道路整備予算が大変厳しい状況となってきている。特に社会資本整備総合交付金の配分が、要望額に対し3割～4割程度となっており、第7期中標津町道路整備5ヵ年計画が計画通りに実施できていない状況である。

### 3 今後の方向性

今後も社会資本整備総合交付金や、社会資本整備に関する町予算の確保に努める。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月　正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 国の社会資本整備総合交付金の配分が要望額に対し40%程度であり、また、町の財政状況も大変厳しい状況のなかで、道路予算の確保ができない状況であるが、今後も、第7期道路整備5か年計画に基づいた道路整備を行っていくため、予算の確保に努める。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部 | 担当課長氏名 | 山本雅典 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ 施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 道路・交通網の充実 |
| | 主要施策 | 3 | 安全な道路環境の維持 |
| その他関連計画等 | | 橋梁長寿命化計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担 当 課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 町民生活の利便性向上や地域の活性化に向け、町道の維持管理、橋梁長寿命化及び冬期間の除雪体制の充実を図り、安全な道路環境づくりを進める。 | 道路施設の定期的な調査・点検・維持管理を行い、安全な道路環境づくりを進める。また、冬期間の視程障害、吹き溜まりによる交通障害を解消するため、防雪柵の設置を進め、また、安定した除雪体制の確立と道路交通確保を図る。 |

## Ⅱ 施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 道路や河川などが適切に管理されていると感じる町民の割合（町民アンケート） | % | ○ 単年 | 65.0 | 実績値 | | 56.1 | 60.2 | 56.6 | 54.0 | 57.4 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 92.6% | 87.1% | 83.1% | 88.3% | 0.0% |
| 指標2 橋梁の補修箇所 | 橋 | 単年 | 10 | 実績値 | | 3 | 4 | 4 | 5 | 6 | |
| | | ○ 累計 | | 達成率 | | | 40.0% | 40.0% | 50.0% | 60.0% | 0.0% |
| 指標3 防雪柵の整備（計画4.3km） | km | 単年 | 4.3 | 実績値 | 0.3 | 2.8 | 3.0 | 3.2 | 3.6 | 3.8 | |
| | | ○ 累計 | | 達成率 | | | 69.8% | 74.4% | 83.7% | 88.4% | 0.0% |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 46,219 千円 | 77,236 千円 | 65,327 千円 | 64,290 千円 | 122,458 千円 | 121,568 千円 |
| 地方債 | 43,900 千円 | 60,900 千円 | 80,200 千円 | 166,200 千円 | 265,700 千円 | 162,400 千円 |
| その他 | 4,656 千円 | 4,694 千円 | 4,700 千円 | 4,846 千円 | 4,627 千円 | 3,352 千円 |
| 一般財源 | 363,002 千円 | 342,882 千円 | 341,755 千円 | 315,315 千円 | 360,520 千円 | 283,772 千円 |
| 事業費 | 457,777 千円 | 485,712 千円 | 491,982 千円 | 550,651 千円 | 753,305 千円 | 571,092 千円 |
| 対前年度比 | | 106.10 % | 101.29 % | 111.93 % | 136.80 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4331 | 土木施設管理経費 | 4,565 | 100% | ○ | | | | | | | | | 維持係 |
| 4331 | 橋梁等改修経費 | 247 | 97.5% | ○ | | | | | | | | | 維持係 |
| 4331 | 橋梁長寿命化修繕事業 | 54,940 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 維持係 |
| 4332 | 道路維持補修経費 | 90,338 | 90% | | | | ○ | | | | | | 維持係 |
| 4332 | 側溝維持管理経費 | 8,615 | 92.5% | | | | ○ | | | | | | 維持係 |
| 4332 | 街路維持管理経費 | 120,608 | 90% | | | | ○ | | | | | | 維持係 |
| 4334 | 除雪経費 | 432,876 | 92.5% | | | | | | ○ | | | | 維持係 |
| 4334 | 上標津北14号道路防雪柵設置事業（交付金） | 20,657 | 90% | ○ | | | | | | | | | 事業推進係 |
| 4334 | 武佐北11号道路防雪柵設置事業 | 20,459 | 90% | ○ | | | | | | | | | 事業推進係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 9 事業 | | 753,305 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 道路・交通網の充実 |
| | 主要施策 | 3 | 安全な道路環境の維持 |

| 担当部・課 | 建設水道部 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・町道及び附帯施設の維持管理（市街地L＝132km 郊外L＝491km 合計L＝623km）<br>・防雪柵設置 2路線 L＝154m、町道及び道路附帯施設の維持管理、橋梁長寿命化事業、防雪柵設置事業の実施により、安全な道路環境づくりが図られた。 |

### 2 課題

町道の総延長は623kmあり、誰もが安全・安心して通行できる状態に管理することが道路管理者の責務であり、道路施設の老朽化や局地的豪雨、暴風雪の度重なる発生により道路の維持管理は益々重要なものとなっているが、厳しい財政状況のもと限られた予算、さらに限られた人員での対応となるため、道路維持管理体制の充実を図らなければならない。

### 3 今後の方向性

職員の減少に伴い、今後は職員の育成と事業量に対する事業費の確保に努め、維持管理体制と民間委託化も含めた検討を進め事業の実施を図りたい。

### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月 正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 限られた予算、さらに限られた人員で町道及び、道路付帯施設の維持管理、橋梁長寿命化事業、防雪柵設置事業を実施している。<br>今後数年で除雪機械等の運転技術を持った職員が退職期を迎えるため、運転技術の継承が課題となっている。<br>このような状況下で、市街地幹線道路除雪について、業者委託を実施することができた。<br>引き続き業者委託も含め、維持管理方式の調査研究、検討を行っていく。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 道路・交通網の充実 |
| | 主要施策 | 4 | 公共交通機能の強化 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 住民の移動手段を確保するため。 | 通院、通学や交通弱者の移動手段が確保され、地域住民の生活安全確保に寄与する。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 町有バス利用者数 | 人/年 | ○ 単年 | 5,000 | 実績値 | 4,855 | 6,313 | 6,349 | 7,431 | 8,251 | 7,637 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 127.0% | 148.6% | 165.0% | 152.7% | 0.0% |
| 指標2 市内循環線利用者数 | 人/年 | ○ 単年 | 45,000 | 実績値 | 49,559 | 25,585 | 24,154 | 26,140 | 25,583 | 25,362 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 53.7% | 58.1% | 56.9% | 56.4% | 0.0% |
| 指標3 生活路線利用者数 | 人/年 | ○ 単年 | 150,000 | 実績値 | 156,107 | 138,795 | 145,136 | 146,217 | 131,067 | 117,243 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 96.8% | 97.5% | 87.4% | 78.2% | 0.0% |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 7,408 千円 | 5,835 千円 | 4,626 千円 | 3,330 千円 | 3,319 千円 | 3,693 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 44,550 千円 | 37,231 千円 | 39,856 千円 | 37,603 千円 | 48,901 千円 | 38,485 千円 |
| 一般財源 | 22,976 千円 | 24,478 千円 | 26,615 千円 | 20,585 千円 | 25,386 千円 | 21,374 千円 |
| 事業費 | 74,934 千円 | 67,544 千円 | 71,097 千円 | 61,518 千円 | 77,606 千円 | 63,552 千円 |
| 対前年度比 | | 90.14 % | 105.26 % | 86.53 % | 126.15 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4341 | 町有バスの運行経費 | 14,078 | 77.5% | ○ | | | | | | | | | 交通町民相談係 |
| 4342・4343 | 生活交通路線維持対策補助 | 15,696 | 82.5% | ○ | | | | | | | | | 交通町民相談係 |
| 4343 | 標津線代替輸送連絡調整協議会負担金 | 47,481 | 77.5% | ○ | | | | | | | | | 交通町民相談係 |
| 4343 | 代替バス運行費補助 | 351 | 75% | ○ | | | | | | | | | 交通町民相談係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 4 事業 | | 77,606 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 道路・交通網の充実 |
| | 主要施策 | 4 | 公共交通機能の強化 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 町有バスの運行及び民間バスへの補助により町民の移動手段を確保した。<br>また、町民に路線バスの運行状況を周知したことにより利用率の向上へとつながった。 |

### 2 課題

町有バスは平成26年10月から見直しにより、武佐線及び俣落線は市街地の一部も運行するようになり利用者は増加したが、慢性的な赤字運行の状態が続いている。
市内循環線は、平成26年度の市街地の路線再編に伴い路線が延長したことから便数が減便となり、利用者減少の要因の一つとなっている。
利便性の向上、利用者数の増、経費削減について検討が必要である。
JR代替バス路線は地域住民の公共交通手段として確保することが重要であるが、JR廃止後約30年が経過しており、運用している基金も少なくなっている。

### 3 今後の方向性

町有バス路線は、高齢化の進む中、今後も地域の生活路線や児童生徒の通学路線としての維持が必要である。
市内循環線は、路線の延長要望により路線の見直しを行い東側の空白地帯の解消を行ったが、一部区間で利用者が減少となったことから地域事情を含めた調査を進め、今後の運行方法を研究する。
また、各バス路線の利用促進のため、利用しやすい路線マップや乗り方についての周知を図る。
JR代替バス路線は、一部の路線見直しを行い利用者の利便性を図っているが、利用者の減少が続いており、運行維持のための標津線代替輸送連絡協議会のあり方を再検討する。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 交通弱者の移動手段確保のため公共交通機能を強化することは大変重要であるが、反面、利用者の減少に伴う収益の悪化、慢性的な赤字補填に伴い財政負担を強いられている。JR廃止後約30年が経過しており、運用している基金も少なくなっていることから、利用者の移動手段を確保した上でのコストダウンの検討、利用者の増加を目指した対策等、標津線代替輸送連絡調整協議会に加入している市町村間で十分協議し、見直しも含めた検討が必要である。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**情報収集等を行い現状や課題を早急に解決したうえで、様々な対応策について検討することが必要**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 道路・交通網の充実 |
| | 主要施策 | 4 | 公共交通機能の強化 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| | |

## Ⅱ　施策の実施結果

1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標４ バスを利用して、便利に暮らすことができると感じる町民の割合（町民アンケート） | % | ○ 単年 | 100 | 実績値 | | 27.0 | 27.6 | 33.8 | 23.2 | 29.1 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 27.6% | 33.8% | 23.2% | 29.1% | 0.0% |
| | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事　務　事　業　名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A B C D E F G H I | 担　当　係 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 合計　事業 | | 0 | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 道路・交通網の充実 |
| | 主要施策 | 4 | 公共交通機能の強化 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | |

### 2 課題

### 3 今後の方向性

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部空港対策室 | 担当課長氏名 | 太田　淳也 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり | | |
| | 大　項　目 | 3 | 道路・交通網の充実 | | |
| | 主要施策 | 5 | 安定した航空路線の維持・活用 | | |
| その他関連計画等 | | | | | |
| | | | | | |
| その他関連施策 | | 3 | 力みなぎる産業のまちづくり | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | | 4 | 観光の振興 | 4 | 北方領土対策の推進 |
| | | 2 | 観光客の誘致 | 3 | 交流事業の推進 |
| 担　当　課 | | 経済振興課 | | 経済振興課 | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 地域にとって有益な高速交通の確保に向けて、搭乗者数の確保、搭乗率の向上、観光客の誘致により現航空路線の維持及び新規路線の就航を目指す。 | 中標津空港を基点とした根室地域観光の展開による観光客の増加 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値(R2) | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 中標津空港搭乗者数 | 人／年 | ○ 単年 | 210,000 | 実績値 | 167,325 | 194,530 | 195,915 | 199,239 | 196,722 | 195,264 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 93.3% | 94.9% | 93.7% | 93.0% | 0.0% |
| 指標2 中標津空港搭乗率 | % | ○ 単年 | 67 | 実績値 | 66 | 65 | 66 | 68 | 67 | 66 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 97.8% | 100.9% | 99.3% | 98.5% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 16,000 千円 | 3,900 千円 | 6,000 千円 | 4,100 千円 | 5,500 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 22,455 千円 | 5,838 千円 | 12,927 千円 | 14,386 千円 | 14,870 千円 | 11,319 千円 |
| 事業費 | 22,455 千円 | 21,838 千円 | 16,827 千円 | 20,386 千円 | 18,970 千円 | 16,819 千円 |
| 対前年度比 | | 97.25 % | 77.05 % | 121.15 % | 93.05 % | |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3422 | 空港利用促進対策経費 | 18,970 | 92.5% | ○ | | | ○ | | ○ | | | | 空港対策係 |
| 4351 | | | | | | | | | | | | | |
| 4352 | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　１　事業 | | 18,970 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 道路・交通網の充実 |
| | 主要施策 | 5 | 安定した航空路線の維持・活用 |

| 担当部・課 | 経済部空港対策室 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 中標津空港の需要拡大及び航空路線の確保をもって利便性を図り、地域経済の発展及び地域住民生活の向上を図ることを目的として、根室管内1市4町及び関係団体により空港利用促進に関する調査研究及び目的を達成のために必要な事業を行うこととしている。<br>令和元年度は、国や航空会社に対し要請活動を行うとともに、航空会社と連携した利用促進事業の取組や、地域主体でのプロモーション活動を実施した。<br>中標津空港の利用者数は、定期便については4月から11月までは前年度を上回り順調に推移していたが、新型コロナウイルスの影響により、195,264人に留まり20万人を達成することができなかった。FDAのチャーター便については、就航5年目を迎え過去最高の7,018人の実績となった。 |

### 2　課題

中標津空港は道内空港の民営化の枠組みには入っていないことから、当地域唯一の高速交通の確保を図るため、空港機能の維持や安全運航のための整備や運営が安定的に行われるよう、国や北海道などと連携を図る必要がある。
令和2年度に入ってから、新型コロナウイルス感染症の拡大によって航空需要が著しく減少し、当空港においても減便や運休が続き航空路線の減便・運休によって根室管内の観光産業やビジネスなど地域経済にとって大きなマイナスの影響を与えている。また、医師不足が深刻な当地域にとって航空路線は、道内外から管内の市・町立病院へ派遣される医師の重要な交通手段となっていたことから、出張医師の派遣が滞ることによって診療の休診や常勤医師へ過重な負担を招いている。

### 3　今後の方向性

新型コロナウイルス感染症の影響によって中標津空港の路線では減便・運休が続いているが、地域経済の発展と住民生活の維持・向上のため、国や北海道のガイドラインに基づく空港の感染症対策に努めるとともに、感染症の流行状況を見定めつつ、落ち込んだ航空需要の回復を目指し中標津空港発着路線の利用促進を図る。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 引き続き中標津空港利用促進期成会での積極的な利用促進活動と広域観光施策との連携により中標津空港路線の維持、活用を進める必要がある。全道的には7空港の一括民営化によって新たな航空・観光振興が期待され、中標津空港を含む委託外空港との連携も期待されていたところであるが、新型コロナの影響により航空業界は大打撃を受け旅客復活には数年要するともいわれている。中標津空港も減便が続いており、必ずしも「いずれ復活」という安心感を持たず、危機感をもって利用状況を注視し全日空と協調した対策を講じる必要がある。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部総務課 | 担当課長氏名 | 下村　浩次 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 情報化の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 自治体の情報化の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| タブレットやスマートフォンなどが普及し、インターネットが身近になり、SNSを活用したリアルタイムでの情報入手、発信が可能となる中で、行政においてICT（情報通信技術）を活用した行政サービスの導入を推進し、利便性を向上させる。 | ・誰もが、どこでも情報を入手できることにより、町民と行政が情報を共有できる環境が整う。<br>・広く町民はもとより、全国への情報発信につなげる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 588 千円 | 420 千円 | 420 千円 | 420 千円 | 420 千円 | 420 千円 |
| 一般財源 | 52,703 千円 | 43,085 千円 | 43,428 千円 | 46,040 千円 | 47,181 千円 | 45,896 千円 |
| 事業費 | 53,291 千円 | 43,505 千円 | 43,848 千円 | 46,460 千円 | 47,601 千円 | 46,316 千円 |
| 対前年度比 | | 81.64 % | 100.79 % | 105.96 % | 102.46 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4421 | ホームページの充実 | 1,897 | 90% | ○ | | | | | | | | | 情報化推進・広報調査係 |
| 4422 | 自治体情報システム協議会負担金 | 29,177 | 85% | ○ | | | | | | | | | 情報化推進・広報調査係 |
| 4422 | IDC運用経費 | 9,215 | 87.5% | ○ | | | | | | | | | 情報化推進・広報調査係 |
| 4422 | 中標津町情報ネットワーク運営 | 5,817 | 85% | ○ | | | | | | | | | 情報化推進・広報調査係 |
| 4422 | 総合行政ネットワーク（LGWAN）運営 | 134 | 90% | ○ | | | | | | | | | 情報化推進・広報調査係 |
| 4422 | HARP構想への参加 | 1,361 | 70% | ○ | | | | | | | | | 情報化推進・広報調査係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　6　事業 | | 47,601 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 情報化の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 自治体の情報化の推進 |

| 担当部・課 | 総務部総務課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 広報紙に加え、公式ホームページ、FMコミュニティ放送、フェイスブック、ツイッターの導入により、各種行政情報や緊急情報などをリアルタイムで入手することが可能な環境は随時整備されている。 |

### 2 課題

日々進展している情報化社会の中で時代に即した情報サービスの提供が重要となっていることから、常に研究しなければならず、セキュリティ対策の徹底が必要となっている。

### 3 今後の方向性

ホームページの内容の充実及び有効活用を図るとともに、SNSを活用したリアルタイムでの情報発信に努める。
町が保有する行政情報のオープンデータ化により、住民生活の利便性の向上を図る。
今後とも、情報基盤の整備や多様な情報サービスの提供を図り、誰でも安心して利用できるよう、既存の各種行政システムを維持し、情報セキュリティ対策の徹底に努める。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | ・町ホームページの充実やSNSを活用し、情報配信内容の工夫を進めていく。<br>・時代の変化の中で求められている行政情報のオープンデータ化について、早期に検討を進めていく。<br>・情報化の進展に伴うセキュリティ対策の強化を進めていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部住民保険課 | 担当課長氏名 | 渡部　寛親 | 調書作成日 | 令和２年 ７ 月 ７ 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 情報化の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 自治体の情報化の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 各種システムを活用した情報環境の充実に努め、住民の利便性の向上と、国及び地方公共団体等との情報連携による合理化を図る。 | 情報環境の充実による、戸籍の誤記載、誤交付の防止、電子申請による行政手続きの簡素化、利便性の向上。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

１ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 32 千円 | 30 千円 | 29 千円 | 29 千円 | 28 千円 | 6,392 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 2,373 千円 | 2,465 千円 | 2,519 千円 | 2,400 千円 | 2,350 千円 | 2,502 千円 |
| 一般財源 | 7,330 千円 | 7,166 千円 | 7,853 千円 | 8,485 千円 | 8,512 千円 | 9,189 千円 |
| 事業費 | 9,735 千円 | 9,661 千円 | 10,401 千円 | 10,914 千円 | 10,890 千円 | 18,083 千円 |
| 対前年度比 | | 99.24 % | 107.66 % | 104.93 % | 99.78 % | |

３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4422 | 戸籍管理システム運用 | 8,102 | 92.5% | ○ | ○ | | | | | | | | |
| 4422 | 住民基本台帳ネットワークシステム | 2,788 | 90% | ○ | ○ | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 2 事業 | | 10,890 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 情報化の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 自治体の情報化の推進 |

| 担当部・課 | 町民生活部住民保険課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | マイナンバーカードの交付状況においては、職員への取得勧奨の実施。来庁者へのｶｰﾄﾞ交付申請を端末を利用した支援等により、3月末時点で15.41%と北海道平均を1.9ポイント上回る結果となった。（道内175市町村中30位）<br>また、カード交付率の増加に伴い、コンビニ交付サービスの利用件数も増加（前年比220%）している。 |

### 2 課題

マイナンバーカードの交付開始から5年が経過し、当時ｶｰﾄﾞを取得した住民の電子証明書の有効期限が到来したことや、カードを利用した転入出の増加、国の行政デジタル化推進による様々な施策の展開が始まるためマイナンバーカード事務が急激に増加しており、マンパワー不足となっている。
また、戸籍システムにおいてもマイナンバーとの連携が控えており、今後も事務の増加が見込まれ、1人当たりの業務量の増加によるヒューマンエラー等が危惧される。

### 3 今後の方向性

マイナンバーカードを活用した事業（マイナポイント事業、オンライン資格確認、マイナンバーと口座、医療受診記録との紐づけ等）、カード普及促進に向けた事業が今後も増加するため、カード交付事務の増加に加えて、カードを利用するための初期設定等の問い合わせや支援等に対応するため、交付金を活用した人員の増強や各事業担当部署（オンライン資格確認なら保険年金係）との連携、応援体制を検討していく必要がある。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 戸籍システムにおけるマイナンバーとの連携事務や、マイナンバーカードを活用した事業など、カード普及促進については国が率先して進めようとしているので、その状況に合せた職員の協力・応援態勢を整備する必要がある。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部総務課 | 担当課長氏名 | 下村　浩次 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 情報化の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 情報化の環境づくりの推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| LGWANは、国と全国の地方自治体のコンピューターネットワークを相互接続した行政広域ネットワークであり、地方自治体間の情報共有、行政事務の効率化と安全性の確保を図る。 | 広範囲な情報交換・共有の実現など、行政事務の効率化・迅速化を図ることができるばかりでなく、維持運営費の削減が可能となり、町民生活に必要な行政情報の提供による町民サービスの向上が見込める。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 422 千円 | 32 千円 | 32 千円 | 56 千円 | 134 千円 | 135 千円 |
| 事業費 | 422 千円 | 32 千円 | 32 千円 | 56 千円 | 134 千円 | 135 千円 |
| 対前年度比 | | 7.58 % | 100.00 % | 175.00 % | 239.29 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4431 | 総合行政ネットワーク（LGWAN）運営 | 134 | 90% | ○ | | | | | | | | | 情報化推進・広報調査係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 134 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 情報化の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 情報化の環境づくりの推進 |

| 担当部・課 | 総務部総務課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | LGWANは、行政専用ネットワークであり、自治体間でのメール送受信、国等への申請業務などのアクセス回線となっていることから情報連携において利用が不可欠な状況となっている。 |

### 2 課題

国等との情報連携においては、利活用が広がりつつあるが、町民が活用するには操作面において煩雑なところがあり、あまり浸透していない。
業務での利用が拡大していることから、今後は機能障害や情報漏洩といった重大インシデントの発生に備えた対策が必要となる。

### 3 今後の方向性

行政手続きのオンライン化を進めるため、情報通信基盤の一層の拡充と行政手続き自体の合理化を図る必要がある。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 各種手続きへの利活用を進め、行政手続等の合理化を進めていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部都市住宅課 | 担当課長氏名 | 天野　英典 | 調書作成日 | 令和２年 ７ 月 ７ 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大　項　目 | 5 | 住宅施策の推進 |
| | 主要施策 | 1 | 公営住宅の整備・維持管理の推進 |
| その他関連計画等 | 中標津町住生活基本計画 | | 中標津町都市計画マスタープラン |
| | 中標津町公営住宅等長寿命化計画 | | 中標津町景観計画 |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 住宅に困窮する低所得者が低廉な家賃で賃借することにより、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的に公営住宅の整備・維持管理を行う。 | 住宅に困窮する低所得者に安心、安全で快適な住まいを提供する。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 公営住宅の建設 | 戸 | 単年 | 124 | 実績値 | | 74 | 88 | 100 | 124 | | |
| | | ○ 累計 | | 達成率 | | | 71.0% | 80.6% | 100.0% | 0.0% | 0.0% |
| 指標2 公営住宅の除却 | 戸 | 単年 | 108 | 実績値 | | 52 | 52 | 108 | 108 | | |
| | | ○ 累計 | | 達成率 | | | 48.1% | 100.0% | 100.0% | 0.0% | 0.0% |
| 指標3 公営住宅の個別改善 | 戸 | 単年 | 36 | 実績値 | 176 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | | ○ 累計 | | 達成率 | | | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 79,498 千円 | 162,683 千円 | 42,512 千円 | 328,883 千円 | 113,182 千円 | 157,473 千円 |
| 地方債 | 139,000 千円 | 179,700 千円 | 36,700 千円 | 320,100 千円 | 97,100 千円 | 148,700 千円 |
| その他 | 35,160 千円 | 千円 | 31,001 千円 | 23,217 千円 | 190 千円 | 191 千円 |
| 一般財源 | 7,607 千円 | 141 千円 | 23,318 千円 | 19,683 千円 | 5,364 千円 | 2,558 千円 |
| 事業費 | 261,265 千円 | 342,524 千円 | 133,531 千円 | 691,883 千円 | 215,836 千円 | 308,922 千円 |
| 対前年度比 | | 131.10 % | 38.98 % | 518.14 % | 31.20 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4511 | 公営住宅建設事業 | 182,029 | 77.5% | | ○ | ○ | | | | | | | 住宅係 |
| 4512 | 公営住宅維持管理 | 33,807 | 75% | | ○ | | | | | | | | 住宅係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 2 事業 | | 215,836 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 5 | 住宅施策の推進 |
| | 主要施策 | 1 | 公営住宅の整備・維持管理の推進 |

| 担当部・課 | 建設水道部都市住宅課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・旭第2団地、宮下高台団地個別改善基本・実施計画策定<br>・東中団地実施設計（4棟16戸）<br>・東中団地除却工事（6棟28戸）<br>・泉団地外構工事<br><br>安全で快適な公営住宅の提供により、生活と社会福祉の増進に寄与することができた。 |

### 2 課題

人口減少社会へと向かい、民間住宅（戸建て、借家など）の空き家率も高くなってくる。
持ち家を相続しても実際に居住による活用がされない場合が散見される。
公営住宅においては、比較的新しい団地は入居率、応募率も高いが、一部の団地では応募率が低下している。

### 3 今後の方向性

将来、社会全体で住宅が余っていくことが予想される。
特に、公営住宅需要も人口減少に伴って減っていくことが予想されることから、固定的な戸数を公営住宅で確保するということが合理的だった人口急増社会における考え方からの転換が必要である。
民間住宅を活用し、自治体による公営住宅建設による供給だけでなく、地域内の住宅ストックをベースにした家賃補助制度も活用しながら、必要戸数を確保していく。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月　正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 住生活基本計画、公営住宅等長寿命化計画に基づき整備、維持管理を行っているが、社会情勢、財政状況が大きく変化しており、令和2年度の東中団地整備スケジュールを見直し実施した。<br>今後においても社会情勢、財政状況に応じた、事業量、事業費の平準化を図り、事業を遂行していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部都市住宅課 | 担当課長氏名 | 天野　英典 | 調書作成日 | 令和２年 ７ 月 ７ 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大　項　目 | 5 | 住宅施策の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 良好な住宅地の形成 |
| その他関連計画等 | | 中標津町住生活基本計画 | |
| | | 中標津町都市計画マスタープラン | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 市街地整備と連動し、民間への適切な宅地開発指導により、宅地分譲等事業者も土地取得者も安心できる良好な住宅地の形成を図る。 | 中標津町宅地開発指導要綱に基づき、良好な住宅地の形成を図るため、宅地分譲地も町民等が、安心安全に取得でき快適な住環境となるように良好な住宅地の形成を図る必要がある。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4531 | 良好な住宅地の形成 | | 75% | ○ | | | | | | | | | 街づくり推進係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 0 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 5 | 住宅施策の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 良好な住宅地の形成 |

| 担当部・課 | 建設水道部都市住宅課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 中標津町都市計画マスタープラン及び中標津町宅地開発指導要綱に基づき土地利用規制及び開発行為について適正に指導した。 |

### 2 課題

開発行為等の指導については、利害関係が大きく影響し、宅地分譲取得者も安心安全な財産を取得できるように、本町として的確な技術指導が可能な技術者の育成及び職員配置が必要である。

### 3 今後の方向性

安心安全な住宅地の形成のため、中標津町宅地開発指導要綱に基づき、事業者と十分協議し、良好な住宅地の形成に努める。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月　正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 北海道の開発許可制度の手引き、中標津町開発行為宅地開発指導要綱に基づき開発許可指導を行っている。<br>開発許可の基準に満たない住宅地の造成については、道路整備、排水施設、除雪、ごみ収集などに問題が起こらないよう、住環境に配慮した良好な住宅地となるよう今後も宅建事業者に理解を求めていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部建設管理課 | 担当課長氏名 | 山本雅典 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ 施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 公園・緑地の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 安全・安心な公園施設整備 |
| その他関連計画等 | | 公園施設長寿命化計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担 当 課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 都市における緑とオープンスペースは、人々の憩いとレクリエーションの場となるほか、都市景観の向上、都市環境の改善、災害時の避難場所等として機能するなど多様な機能を有しており、緑とオープンスペースの中核となる都市公園の整備を図る。また、公園長寿命化計画に基づき、既存の公園の改修工事を実施し、適切な維持管理を進める。 | 子どもや高齢者をはじめ、誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備と維持管理を行う。 |

## Ⅱ 施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 公園の修繕箇所数（計画26箇所） | 箇所 | 単年 | 17 | 実績値 | 0 | 9 | 9 | 11 | 12 | 14 | |
| | ○ | 累計 | | 達成率 | | | 52.9% | 64.7% | 70.6% | 82.4% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 624,921 千円 | 825,077 千円 | 62,151 千円 | 84,805 千円 | 39,266 千円 | 28,500 千円 |
| 地方債 | 563,700 千円 | 742,500 千円 | 58,300 千円 | 91,500 千円 | 33,700 千円 | 23,400 千円 |
| その他 | 61,221 千円 | 35,979 千円 | 6,342 千円 | 千円 | 9,690 千円 | 0 千円 |
| 一般財源 | 974 千円 | 90,170 千円 | 2,233 千円 | 3,980 千円 | 206 千円 | 5,778 千円 |
| 事業費 | 1,250,816 千円 | 1,693,726 千円 | 129,026 千円 | 180,285 千円 | 82,862 千円 | 57,678 千円 |
| 対前年度比 | | 135.41 % | 7.62 % | 139.73 % | 45.96 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4611 | 都市公園管理経費（施設改修） | 75,343 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 維持係 |
| 4611 | 丸山公園整備事業 | 7,519 | 100% | | | | | | | | | ○ | 事業推進係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 2 事業 | | 82,862 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 公園・緑地の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 安全・安心な公園施設整備 |

| 担当部・課 | 建設水道部建設管理課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 長寿命化計画に基づき、老朽化した公園施設（遊具）等の更新継続の実施を進めることができた。 |

### 2 課題

老朽化した公園施設（遊具）等の更新については、事業費の調整を行いながら公園施設長寿命化計画に基づき、更新整備を進める。 また、公園施設長寿命化計画に基づき整備を行う26公園を計画的に整備するには、社会資本整備総合交付金や町の予算確保が難しく、公園施設の利用制限を行いながら計画的に更新整備を行わなければならない。

### 3 今後の方向性

公園施設長寿命化計画に基づく更新整備については、事業予算の確保に努め計画的に整備を進める。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月　正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 総合体育館、テニスコートなどの大型事業が完了し、各種大会等により交流人口の増加と町民の健康増進に寄与している。<br>今後も公園施設長寿命化計画に基づき、各公園遊具の更新を進める。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部建設管理課 | 担当課長氏名 | 山本雅典 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ 施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 公園・緑地の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 緑地の適切な維持管理 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担 当 課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 都市における緑とオープンスペースは、人々の憩いとレクリエーションの場となるほか、都市景観の向上、都市環境の改善、災害時の避難場所等として機能するなど多様な機能を有しており、開発行為等で整備された緑地について、適切に維持管理を行う。 | 市街地における緑、オープンスペースを確保するため、適切な維持管理を行う。 |

## Ⅱ 施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 自然・公園・家の周辺などの「まちの緑」に満足している町民の割合（町民アンケート） | % | ○ 単年 | 80.0 | 実績値 | | 71.0 | 75.6 | 73.1 | 70.6 | 74.7 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 94.5% | 91.4% | 88.3% | 93.4% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 91 千円 | 95 千円 | 107 千円 | 91 千円 | 94 千円 | 88 千円 |
| 一般財源 | 50,865 千円 | 51,451 千円 | 51,368 千円 | 53,042 千円 | 53,546 千円 | 53,868 千円 |
| 事業費 | 50,956 千円 | 51,546 千円 | 51,475 千円 | 53,133 千円 | 53,640 千円 | 53,956 千円 |
| 対前年度比 | | 101.16 % | 99.86 % | 103.22 % | 100.95 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4621 | 都市公園管理経費 | 53,640 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 維持係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 53,640 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 4 | 利便性のある調和のとれたまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 公園・緑地の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 緑地の適切な維持管理 |

| 担当部・課 | 建設水道部建設管理課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 市街地における公園施設の維持管理は、指定管理者により適切に実施された。<br>開発行為緑地については、草刈り、冬期間の除雪堆雪スペースなどに活用され、適切に維持管理された。 |

### 2 課題

指定管理者による公園施設の状況把握等の情報を共有することで、より適切な維持管理を実施していく。
開発行為緑地に関しては、近年、新築住宅が増えてきていることにより、隣接する緑地の維持（草刈り）箇所を増やすことが課題となるが、住宅街にある緑地として環境等にも配慮する必要があるため、予算の確保によりできる限り事業の実施に向け取り組みたい。

### 3 今後の方向性

住宅地内のオープンスペースとして、一時避難地、冬期の堆雪スペースとしての利用とコミュニティ形成の場としての利用促進を図る。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月　正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 公園施設、開発行為緑地の管理については、指定管理者委託により適切に管理されている。<br>今後も住宅地のオープンスペース、一時避難所、豪雪時の除雪堆雪場として有効活用を図り、限られた予算の中で維持管理を行っていく。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 中標津消防署管理課 | 担当課長氏名 | 岩崎　猛 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | ５ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 消防・防災の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 消防・救急体制の充実 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 町民を災害から守る安全・安心なまちづくりのため、消防の人員、資機材及び施設の充実強化を図る。<br>そのためには、消防吏員及び消防団員の定数を確保し研修・訓練を積極的に行い、複雑多様化する各種災害に対応するための技能向上が必要である。また、突然の心停止に対して、町民がいち早く有効な救命処置が行えるよう、24時間使用可能なAEDを設置し、救命率の向上を図る。 | 消防団員を確保し、消防団の組織強化を図る。さらに消防操法訓練大会に参加することで、消防技術の向上と士気高揚を図る。<br>消防吏員を北海道消防学校に派遣し、最新の専門知識と技術及び医学知識と手技を習得する。それにより、複雑多様化する各種災害に効果的かつ効率的に対応し、被害を最小限にとどめ、町民の生命及び財産を災害から守ることが期待できる。また、町内の数箇所にAEDを設置することで、突然の心停止に対する有効な救命処置が行え、救命率向上が期待できる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 消火栓の新設 | 基 | | 単年 | 223 | 実績値 | 210 | 218 | 219 | 220 | 220 | 221 | |
| | | ○ | 累計 | | 達成率 | | | 98.2% | 98.7% | 98.7% | 99.1% | 0.0% |
| 指標2 防火水槽の新設 | 基 | | 単年 | 70 | 実績値 | 65 | 65 | 64 | 64 | 64 | 64 | |
| | | ○ | 累計 | | 達成率 | | | 91.4% | 91.4% | 91.4% | 91.4% | 0.0% |
| 指標3 消防団員数（うち女性消防団員数） | 人 | | 単年 | 130（10） | 実績値 | | 120（0） | 124（7） | 120（6） | 120（10） | 120（10） | |
| | | ○ | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 105,700 千円 | 86,200 千円 | 28,000 千円 | 26,600 千円 | 126,200 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 240 千円 | 551 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 4,060 千円 | 12,942 千円 | 8,997 千円 | 7,500 千円 | 4,278 千円 | 1,901 千円 |
| 事業費 | 109,760 千円 | 99,142 千円 | 37,237 千円 | 34,651 千円 | 130,478 千円 | 1,901 千円 |
| 対前年度比 | | 90.33 % | 37.56 % | 93.06 % | 376.55 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5112 | 救助工作車購入 | 129,376 | 100% | ○ | | | | | | | | | 企画係 |
| 5114 | 北海道消防学校派遣教育 | 929 | 100% | ○ | | | | | | | | | 訓練係 |
| 5114 | AED（自動体外式除細動器）借上設置事業 | 173 | 92.5% | ○ | | | ○ | | | | | | 企画係 |
| 5115 | 北海道消防操法訓練大会 | 0 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 消防団係 |
| 5115 | 消防団員数（うち女性消防団員数） | 0 | 90% | ○ | | | | | | | | | 消防団係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 5 事業 | | 130,478 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 消防・防災の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 消防・救急体制の充実 |

| 担当部・課 | 中標津消防署管理課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・救助工作車の施設整備は、財政的に有利な地方債を活用し、機能強化を図った。<br>・北海道消防学校等に職員を派遣し教育したことで、専門的知識及び技術の習得ができた。<br>・町内のコンビニエンスストア6店舗の協力を得てAEDを設置し、緊急時に町民がAEDを使用することが可能な環境作りができた。<br>・令和2年度に開催される北海道消防操法大会に向けて出場団員同士の士気高揚と技術強化を図ることができた。<br>・消防団員の定員数130名に近づけるため、各分団の幹部が中心となり、同僚や関係者の事業者等に対して勧誘活動を行った結果3名が入団した。 |

### 2 課題

超高齢社会に向け、より安全安心なまちづくりのためには、人員、資機材、消防施設及び水利の充実強化を図ることが必要不可欠であり、消防車両及び救急自動車等は、財源的に最も有利な地方債を活用していきたい。
消防水利は水道管の状況により、空白区域への設置可能箇所が限られ、基準上の消防水利空白区域に新設することが困難な状況となっている。また、大規模災害が発生した場合にも使用可能な耐震性防火水槽を整備し、埋設配管等耐用年数を超過した消防水利は、役場水道課と協議をしながら計画的に整備を進める必要がある。
また、町内のコンビニエンスストアにAEDを設置した当時から見ると、24時間営業の店舗が増えている中、AED設置と有効活用が普及するよう努めたいが全店舗にAEDを設置することが困難な状況である。

### 3 今後の方向性

消防車両及び救急自動車等の更新は、様々な災害事案に対し効果的で財源的に有利な方法での整備・更新が必要であり、車両の経過年数、走行距離及び車両や積載物の状態等を勘案した車両更新計画を図る。
消防水利整備は、消防水利の基準及び消火活動への有効性などを考慮した整備を進めるとともに、水道管の布設事業と連携し老朽化した消火栓の本体取替工事や改修工事に移行するなど、整備計画の見直し改善を図る必要がある。
防火水槽の新設は、大規模地震発生等にも使用可能な耐震性防火水槽を計画的に整備するとともに、耐用年数を超過した耐震性・安全性が危惧される既存防火水槽の解体又は、改修整備と合わせた整備計画の見直し改善を図る。
北海道消防学校における研修・訓練、女性消防団員を含む消防団員の確保等は、今後の状況や全体のバランス等を考慮した事務事業を進める。
町内の24時間営業の全店舗にAEDを設置することが困難であることから、今後は、自社努力でAEDが設置されるように努めていく。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 豊間根　茂 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価のとおり「A：このまま進めてよい」と評価する。<br>消防車両の更新が進むなか、近年の消防水利の傾向は老朽化した消火栓の不具合が多く発生しており、水利を適切に維持し消防力の低下を招くことのないよう整備する必要がある。<br>消防学校派遣教育については、消防業務に必要な知識の習得を消防職員や消防団員に図っていく。<br>AED（自動体外式除細動器）借上設置については、適切な管理のもと救命率の向上に努めていく。<br>消防団に関しては、依然として全国的にも団員数の減少傾向にあり、効果的な対策が進まない現状であるが、消防団幹部の努力により団員数を維持している。総務省より団員確保のため待遇の改善などが示されるなか、規模の大きな災害に必要不可欠となる消防団員の確保に向け、環境を整えるよう取り組んでいく必要がある。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**二次評価対象外**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 中標津消防署警防課 | 担当課長氏名 | 佐藤　雄大 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　10　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 消防・防災の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 消防・救急体制の充実 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 町民の安全・安心のため高機能消防指令装置の保守点検を専門業者に委託することで、消防活動の情報共有を確実かつ円滑に行うことができる。<br>また、救急現場までの到着時間の短縮を図るとともに、応急手当ができる人を養成することで救急車到着前の救命処置ができ、救命率の向上につながる。 | 高機能消防指令装置を平成28年度から運用したことで、住民情報や地図上の位置情報が得られ、現場到着まで確実かつ円滑な支援ができていることから、今後も適切な保守点検を実施し、不具合を未然に防止して町民の安全・安心に寄与する。<br>企業の職員、協会の会員等に各種救命講習を行うことで、救命率の向上が期待できる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 救急現場までの平均所要時間 | 分秒 | ○ 単年 | 短縮 | 実績値 | | 8分30秒 | 8分24秒 | 8分36秒 | 8分42秒 | 8分42秒 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 各種救命講習の受講者数 | 人／年 | ○ 単年 | 1,400 | 実績値 | 638 | 1,385 | 857 | 925 | 830 | 590 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 61.2% | 66.1% | 59.3% | 42.1% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 2,810 千円 | 2,484 千円 | 2,484 千円 | 2,530 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 2,810 千円 | 2,484 千円 | 2,484 千円 | 2,530 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | 88.40 % | 100.00 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5111 | 救急現場までの平均所要時間 | | 87.5% | ○ | | | | | | | | | 救急係 |
| 5114 | 各種救命講習の受講者数 | | 82.5% | ○ | | | | | | | | | 救急係 |
| 5111 | 通信機器保守点検委託 | 2,484 | 95% | | | | ○ | | | | | | 通信施設係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　3　事業 | | 2,484 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 消防・防災の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 消防・救急体制の充実 |

| 担当部・課 | 中標津消防署警防課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 119番通報から現場到着までの時間は、ほぼ横ばいに推移しており、令和元年度の全国平均8分42秒と差はない。<br>各種救命講習の受講者拡大は、救急車が現場到着するまでの応急手当ができる人の育成であり、ホームページの掲載、ポスターの掲示、地域FM等を活用したが、大きな効果は得られず、受講者増加には繋がらなかった。<br>高機能消防指令装置及びデジタル無線設備は、専任エンジニアの保守点検を行い、適切な維持管理をしたことから不具合の発生もなく良好に機能している。 |

### 2 課題

救急現場は管轄区域が広大で、冬季期間の降雪、積雪等もあることと、傷病者を搬送するため安全な運転及び運行を心掛けていることから大きな時間短縮は困難である。
救命講習の受講者は、様々な媒体を活用して募集を試みたが、大きな効果はなく減少傾向にある。また、3月以降の救命講習を休会としたため減少幅も大きくなっている。
高機能消防指令装置が5年目を迎え、経年劣化を想定し、通年サポートを受ける必要がある。

### 3 今後の方向性

救急現場までの到着時間の短縮は、道路網の正確な把握と効率の良い出動経路を選択することと、緊急走行時は、出動隊員で安全確認を徹底することで時間短縮に努める。
救命講習は、宿泊業組合、飲食業組合、建設業組合及び運送業組合等に応急手当が救命には重要であることを知ってもらうことで受講に繋げるとともに、小学校高学年へ、入門コース受講の啓発が必要である。

### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 豊間根　茂 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価のとおり「B：若干の見直し・修正が必要」と評価する。<br>緊急性の高い疾患には、救急隊の素早い現場到着と適切な処置による医療機関への搬送が重要である。現場到着時間について短縮されていないものの、119番通報から出動まで通信員や救急隊員は効率的な出動に取り組んでいる。広大な区域という地域的な事情もあるが、全国平均と差はなく更なる質の向上を目指したい。<br>高機能消防指令装置も現在まで大きなトラブルはなく、緊急通報を受ける重要な窓口であることから、引き続き活動に有用な情報も盛り込みながら適切な維持管理に取組みたい。<br>各種救命講習の受講者数については目標値の5割に満たなく、新規の受講者の減少傾向が続いている。年度末に約200人弱の講習を予定していたが、新型コロナウイルスにより講習が中止されたことも影響を受ける。救命率の向上を目指して、新たな業種などにもアプローチしていく必要がある。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**二次評価対象外**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 中標津消防署予防課 | 担当課長氏名 | 佐々木富宏 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 6 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ 施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 消防・防災の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 防災体制の強化 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担 当 課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 町民が安心して暮らせる町づくりのため、防火対象物や一般住宅の防火体制強化と、防火意識の向上を図る。 | 事業を継続することで、町民の防火意識高揚につながり、利用施設における火災予防上の不備欠点を早期に確認することが、危険を防ぐことに繋がる。 |

## Ⅱ 施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 火災発生件数 | 件 単年 | 減少 | 実績値 | － | 11 | 10 | 10 | 10 | 9 | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 住宅用火災警報器普及率 | % 単年 | 100 | 実績値 | 23 | 68 | 68.0 | 84.0 | 88.0 | 73.6 | |
| | 累計 | | 達成率 | | | 68.0% | 84.0% | 88.0% | 73.6% | 0.0% |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 133 千円 | 133 千円 | 111 千円 | 77 千円 | 119 千円 | 105 千円 |
| 事業費 | 133 千円 | 133 千円 | 111 千円 | 77 千円 | 119 千円 | 105 千円 |
| 対前年度比 | | 100.00 % | 83.46 % | 69.37 % | 154.55 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5121 | 火災発生件数の減少 | 0 | | ○ | | | | | | | | | |
| 5122 | 防火対象物等の消防法令違反対策推進事業 | 119 | | ○ | | | | | | | | | |
| 5122 | 住宅用火災警報器の普及等促進 | 0 | | ○ | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 3 事業 | | 119 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 消防・防災の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 防災体制の強化 |

| 担当部・課 | 中標津消防署予防課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 建物火災の件数は増加したが、牧草火災の件数は1件と減少し、火災発生件数が昨年と比較し減少傾向にあるため、火災予防啓発の成果が見られる。<br>住宅用火災警報器普及率は昨年度より上がっていて、設置及び維持管理に関するPRチラシや街頭啓発での広報活動に成果が見られる。<br>防火対象物等の消防法令違反対策推進事業は、立入検査実施目標件数316件に対して336件を実施しており、適切な防火指導及び違反是正をすることができた。 |

### 2 課題

火災件数は、毎年多く発生している牧草火災が令和元年は減少しており、注意喚起などの啓発活動の成果が出ているが、依然として不適切な火気の取扱により火災が発生していることから、より多くの広報及び啓発活動が必要である。
また、住宅の建設により住宅用火災警報器の設置数は増加しているが、町民の安全を確保する上で、住宅用火災警報器の設置は重要であることから、設置率100%を目指し高齢者宅を中心に設置及び維持管理を呼びかけていく。
防火対象物等の消防法令違反対策推進事業は、立入検査によって判明した消防法令違反に対し、是正されるように適切な指導をすることができる知識と技術が必要である。

### 3 今後の方向性

火災件数は、建物火災が増加したことに伴い、今後は年数回発行している「消防署だより」の内容を精査し、分かりやすい内容にしていかなければならない。また、住宅用火災警報器の設置率は調査方法の変更によって下がっているものの、今後も奏功事例などを周知し、住宅用火災警報器の必要性を町民に訴え、設置及び維持管理の促進を図っていく必要がある。
防火対象物等の消防法令違反対策推進事業は、消防法令に基づき計画的に検査を実施し、違反対象物が適切な是正に移行できるように、より高度な知識と技術を習得する。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 豊間根　茂 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。<br>火災発生件数については近年10件前後で推移しているが、建物火災の増加が見られた。<br>また、不適切な火気の取扱により火災が発生していることから、広報車による巡回及び広報紙やメディアを活用し、火災の減少に取り組む必要がある。<br>町民の利用する施設の安全が守られるよう、防火対象物における防火管理体制や消防用設備の維持管理について、適切な指導で消防法令の違反対策を推進する。<br>住宅用火災警報器については、無作為抽出による調査のため数字の変動はあるが、警報機設置の奏功事例も含めて町民に伝えるとともに、一定年経過した警報機の維持管理も呼びかけていく。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**二次評価対象外**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部総務課 | 担当課長氏名 | 下村　浩次 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 消防・防災の充実 |
| | 主要施策 | 3 | 防災体制の強化 |
| その他関連計画等 | | 中標津町地域防災計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 平成23年の東日本大震災をはじめ、台風による集中豪雨などの自然災害、さらには切迫している可能性が高いと言われている千島海溝沿い超巨大地震の発生に対する危機管理体制の整備に加えて、防災・減災体制の整備を図る。 | ・多様な情報伝達手段の整備、充実を図り、災害から自ら身を守り、被災者数を抑制する。<br>・自助、共助、公助のもと、災害に備えた備蓄に取り組み、防災、減災の地域づくりを進める。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 防災活動拠点の整備 | 箇所 | 単年 | 6 | 実績値 | 0 | 2 | 4 | 6 | 6 | 6 | |
| | | ○ 累計 | | 達成率 | | | 66.7% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 0.0% |
| 指標2 防災拠点における資材整備率 | % | 単年 | 100 | 実績値 | 25 | 40 | 74 | 86 | 100 | 80 | |
| | | ○ 累計 | | 達成率 | | | 74.0% | 86.0% | 100.0% | 80.0% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 4,340 千円 | 3,420 千円 | 4,094 千円 | 3,620 千円 | 3,510 千円 | 860 千円 |
| 地方債 | 千円 | 234,400 千円 | 千円 | 1,600 千円 | 千円 | 3,600 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 712 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 7,263 千円 | 16,645 千円 | 8,180 千円 | 9,691 千円 | 10,740 千円 | 11,182 千円 |
| 事業費 | 11,603 千円 | 254,465 千円 | 12,274 千円 | 15,623 千円 | 14,250 千円 | 15,642 千円 |
| 対前年度比 | | 2193.10 % | 4.82 % | 127.29 % | 91.21 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5132・5134 | 防災情報連絡体制整備事業 | 9,148 | 90% | ○ | | | | | | | | | 防災係 |
| 5133 | 防災備蓄品等整備事業 | 5,102 | 87.5% | ○ | | | ○ | | | | | | 防災係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 2 事業 | | 14,250 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 消防・防災の充実 |
| | 主要施策 | 3 | 防災体制の強化 |

| 担当部・課 | 総務部総務課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 平成30年2月に道が示した大規模地震発生時の被害想定により、予測される避難者数が大幅に増加したことから、災害時備蓄計画の見直しを行い、必要な資機材の備蓄を進めた。<br>防災情報連絡体制整備については、コミュニティFMを活用した防災放送訓練をはじめ、緊急情報メール、防災行政無線、衛星電話、防災専用ファックスの維持に努め、平時からの防災意識高揚と災害対応能力の向上が図られた。 |

### 2 課題

感染症対策にも配慮し、資機材の備蓄を行う必要がある。
防災情報の伝達において、外国人を含め情報伝達が困難な要配慮者や情報弱者等に対し、確実に緊急情報が伝わるよう、情報伝達体制、手段の整備が必要となる。

### 3 今後の方向性

感染症対策にも配慮し、災害時備蓄計画に基づいた食料、飲料水、生活必需品及び災害応急対策に必要な資機材の備蓄を進めるとともに、自助による備蓄の重要性を呼びかけていく。
要配慮者や情報弱者等に配慮した情報伝達の検討を行う。
中標津町緊急情報メールの登録者数を増やすとともに、情報伝達手段の多様化を図る。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 成果指標である防災活動拠点の整備及び資材整備率については、概ね順調に推移しているが、新型コロナウイルス感染症の発生により、避難所等における感染症対策についての対応も早期に整えていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部総務課 | 担当課長氏名 | 下村　浩次 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 消防・防災の充実 |
| | 主要施策 | 4 | 地域防災力の向上 |
| その他関連計画等 | | 中標津町地域防災計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 平成23年の東日本大震災をはじめ各地で頻発する大規模地震、近年の異常気象による集中豪雨などにより防災意識が高まる中、町民や企業が自ら防災に備え、対応する「自助」、地域での助け合いによる「共助」、国や道、町が行う「公助」による役割分担を確立し、防災・減災体制の向上を図る。 | ・町民の防災意識を向上させ、災害時の被害を最小限にする。<br>・町民、事業所等が自主的に防災訓練を実施することで地域防災力の向上が期待できる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 自主防災組織の組織化率 | % | 単年 | 75.0 | 実績値 | 4.0 | 35.0 | 35.0 | 35.0 | 35.0 | 25.6 | |
| | | ○ 累計 | | 達成率 | | | 46.7% | 46.7% | 46.7% | 34.1% | 0.0% |
| 指標2 日頃から家庭で災害への備えをしている町民の割合（町民アンケート） | % | ○ 単年 | 85.0 | 実績値 | | 37.1 | 37.2 | 40.0 | 46.9 | 57.4 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 43.8% | 47.1% | 55.2% | 67.5% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 724 千円 | 690 千円 | 690 千円 | 820 千円 | 1,010 千円 | 860 千円 |
| 地方債 | 千円 | 234,400 千円 | 千円 | 1,600 千円 | 千円 | 3,600 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 262 千円 | 984 千円 | 257 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 3,691 千円 | 12,150 千円 | 4,390 千円 | 6,874 千円 | 8,271 千円 | 8,475 千円 |
| 事業費 | 4,415 千円 | 247,240 千円 | 5,342 千円 | 10,278 千円 | 9,538 千円 | 12,935 千円 |
| 対前年度比 | | 5600.00 % | 2.16 % | 192.40 % | 92.80 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5141 | 地域防災力向上事業 | 390 | 90% | ○ | ○ | | | | | | | | 防災係 |
| 5142 | 防災情報連絡体制整備事業 | 9,148 | 90% | ○ | | | | | | | | | 防災係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 2 事業 | | 9,538 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 消防・防災の充実 |
| | 主要施策 | 4 | 地域防災力の向上 |

| 担当部・課 | 総務部総務課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 避難所体験セミナーの実施をはじめ、広報誌による「中標津町防災の日」啓発事業により、町民の防災意識が着実に向上している。 |

### 2 課題

全国各地における大規模な自然災害の増加により、防災に関する町民の意識が高まっていることから、より積極的に啓発事業に取り組む必要がある。
防災訓練等、マンネリ化や形骸化しないよう、工夫を凝らした取組が必要である。

### 3 今後の方向性

自衛隊など多様な主体と連携した防災訓練を実施する。
地域防災力の更なる向上のため、自主防災組織の拡充と地域防災リーダーの育成に取り組む。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | ・町民の防災に対する意識は着実に高まっていることから、共助の推進に向けた自主防災組織の拡充と地域防災リーダーの育成に取り組んでいく。<br>・標津川を挟んで南北に市街地が形成されている本町の特性から、自衛隊との連携による訓練を早期に実施していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部総務課 | 担当課長氏名 | 下村　浩次 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 消防・防災の充実 |
| | 主要施策 | 5 | 建築物の耐震化 |
| その他関連計画等 | | 中標津町耐震改修促進計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 地震が発生した際の建築物の倒壊などの被害及びこれに起因する生命・財産の被害を未然に防止するため、既存建築物の耐震診断及び耐震改修を促進し、安全で安心な生活を確保する。 | 耐震化率を向上し、地震発生時における建物の倒壊を防止する。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 公共建築物の耐震化率 | % | 単年 | 90.0 | 実績値 | 76.5 | 85.0 | 90.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| | | ○ 累計 | | 達成率 | | | 100.0% | 111.1% | 111.1% | 111.1% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 435 千円 | 450 千円 | 1,900 千円 | 千円 | 千円 | 666 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 165 千円 | 150 千円 | 1,902 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 223 千円 |
| 事業費 | 600 千円 | 600 千円 | 3,802 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 889 千円 |
| 対前年度比 | | 100.00 % | 633.67 % | % | % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5151 | 建築物耐震改修促進事業 | 0 | 57.5% | | | | | | ○ | | | | 防災係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 0 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 消防・防災の充実 |
| | 主要施策 | 5 | 建築物の耐震化 |

| 担当部・課 | 総務部総務課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| C<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 広報誌、町ホームページ、コミュニティFMなどを活用した普及啓発や既存住宅耐震改修費補助金による支援を行っているが、耐震改修に要する費用の面からなかなか進まない状況にある。 |

### 2 課題

耐震改修には相当な費用がかかることから、リフォームや建替をするか、迷っている住宅所有者が多い。また、費用に対する補助金の額が少ないのもネックとなっている。
補助制度の活用実績が無いことから、事業の在り方を検討する必要がある。

### 3 今後の方向性

令和2年度が耐震改修促進計画の最終年となることから、国や道の動向に注視し、計画や制度の再構築を図る。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 現在の制度では耐震診断・補強設計・改修費を合わせて1件あたり889千円の補助上限額となっており、実改修事業費が数百万円を要する中では取り組みづらい状況がある。また、現在の町の財政状況から補助の拡充は困難な状況もあるため、現計画の見直しに合わせて、国・道への制度改正について要請を行っていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**耐震化については、今後増加が想定される空き家対策も含めて、進めていく必要がある**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部建設管理課 | 担当課長氏名 | 山本雅典 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ 施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 消防・防災の充実 |
| | 主要施策 | 6 | 治水対策の促進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担 当 課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 近年の異常気象（大雨被害）や洪水などによる被害防止のため、河川改修整備を推進し、河川施設の維持管理を行う。 | 河川に隣接する民有地及び河川管理用地への被害防止のため、治水対策を実施することで、近隣住民への安全・安心が図られる。 |

## Ⅱ 施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 740 千円 | 千円 | 801 千円 | 836 千円 | 861 千円 | 874 千円 |
| 地方債 | 千円 | 780 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 236 千円 | 236 千円 | 238 千円 | 239 千円 | 239 千円 | 238 千円 |
| 一般財源 | 5,740 千円 | 13,349 千円 | 11,252 千円 | 11,190 千円 | 7,753 千円 | 5,409 千円 |
| 事業費 | 6,716 千円 | 14,365 千円 | 12,291 千円 | 12,265 千円 | 8,853 千円 | 6,521 千円 |
| 対前年度比 | | 213.89 % | 85.56 % | 99.79 % | 72.18 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5161 | ポンタワラ川改修工事 | 2,852 | 90% | | | | ○ | | | | | | 維持係 |
| 5162 | 河川管理経費 | 6,001 | 92.5% | | | | ○ | | | | | | 維持係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 2 事業 | | 8,853 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 消防・防災の充実 |
| | 主要施策 | 6 | 治水対策の促進 |

| 担当部・課 | 建設水道部建設管理課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・河川改修工事（ポンタワラ川）、かごマット護岸　L＝30m<br>・河川管理経費（タワラマップ川、ますみ川、ミドリ川、調整池）清掃<br>・普通河川（クテクンベツ川、俣落川）等河床均し<br>・樋門樋管点検（保守点検・施設草刈り） |

### 2 課題

近年の異常気象による河川の増水に伴う、市街地及び郊外地の河岸が洗掘される箇所が多く、近隣住民生活への影響も与えることも予測されることから、河川改修の整備が必要とされる。また、増水に伴い河川敷地内外の樹木の倒木により、川の流れを阻害していることから計画的に護岸整備の実施が必要とされるが、厳しい財政状況のなか予算確保に努め事業継続を図りたい。

### 3 今後の方向性

市街地を流れる河川については、かごマット等の小規模な護岸改修工事を計画的に実施するとともに、河川の清掃、施設の点検を計画的に実施する。郊外地の河川として、大雨時には増水、濁流等により河川敷地、民有地（草地）への浸食による影響を及ぼす状況であるため、河川の流域状況を調査するとともにパトロールの実施をし、河床低下や河岸浸食防止を計画的に実施する。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月　正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 市街地の河川については、濁流の発生も少なく、増水に対応した護岸整備と清掃を継続して行っていく。<br>郊外地の河川については、濁流、増水により河岸浸食、河床低下が発生しており、限られた予算の中で、河床均し、砂利寄せを行っていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | 防犯・交通安全の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 防犯活動の促進及び意識高揚 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 安全で安心に暮らせる生活環境を構築するため、地域ぐるみで町民を犯罪から守るための防犯活動の充実を図る。 | 防犯活動が促進され防犯意識の高揚が図られる。<br>暴力のない明るく平穏な郷土を実現する。<br>犯罪や青少年の非行から町民の安全を確保する。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 刑法犯認知件数 | 件/年 | ○ 単年 | 0 | 実績値 | | 134 | 79 | 98 | 72 | 74 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 地域や企業などで防犯活動に参加している町民の割合（町民アンケート） | % | ○ 単年 | 30 | 実績値 | | 24.3 | 19.3 | 22.1 | 21.5 | 28.4 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 64.3% | 73.7% | 71.7% | 94.7% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 9 千円 | 7 千円 | 5 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 2,528 千円 | 2,242 千円 | 2,522 千円 | 2,523 千円 | 329 千円 | 342 千円 |
| 事業費 | 2,537 千円 | 2,249 千円 | 2,527 千円 | 2,523 千円 | 329 千円 | 342 千円 |
| 対前年度比 | | 88.65 % | 112.36 % | 99.84 % | 13.04 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5211 | 防犯協会活動事業 | 230 | 75% | ○ | | | | | | | | | 交通町民相談係 |
| 5211 | 暴力追放運動推進協議会補助 | 57 | 80% | ○ | | | | | | | | | 交通町民相談係 |
| 5211 | 安全で住みよいまちづくり推進協議会運営費 | 42 | 80% | ○ | | | | | | | | | 交通町民相談係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　3　事業 | | 329 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | 防犯・交通安全の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 防犯活動の促進及び意識高揚 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 防犯活動は「安全で住みよいまちづくり推進協議会」が中心となり、関係機関・団体との連携により住民啓発や防犯運動を推進した。 |

### 2 課題

防犯活動は、関係機関・団体と連携し防犯意識の向上、地域住民による自主的な防犯活動を促進していかなければならないが、依然として車上狙いや子どもたちに対する不審者からの声かけなどが後を絶たず、また特殊詐欺なども手口がますます巧妙化している。

### 3 今後の方向性

防犯活動は、安全・安心なまちづくりのため、今後とも防犯に関する情報の提供を継続して関係機関・団体と進めていく。
また、町民一人ひとりの防犯意識を高め、身近でできる防犯対策に取り組むことを促がしていく。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 防犯活動は、地域の安全・安心を進めていくために必要な活動であり、今後とも関係機関や団体との連携を深め推進していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | 防犯・交通安全の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 防犯施設の整備拡充 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 町民が安心して暮らすことのできる安全で住みよい地域社会の実現に寄与する。 | 夜間の犯罪発生や交通事故等について未然防止が図られる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 防犯灯設置数 | 基 | 単年 | 2,000 | 実績値 | 1,961 | 1,961 | 1,965 | 1,992 | 2,002 | 1,995 | |
| | ○ | 累計 | | 達成率 | | | 98.3% | 99.6% | 100.1% | 99.8% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 12,697 千円 | 11,975 千円 | 13,113 千円 | 14,247 千円 | 14,032 千円 | 14,481 千円 |
| 事業費 | 12,697 千円 | 11,975 千円 | 13,113 千円 | 14,247 千円 | 14,032 千円 | 14,481 千円 |
| 対前年度比 | | 94.31 % | 109.50 % | 108.65 % | 98.49 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5221 | 防犯施設の設備 | 14,032 | 80% | ○ | | | | | | | | | 交通町民相談係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 14,032 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | 防犯・交通安全の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 防犯施設の整備拡充 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 防犯灯は、宅地造成に伴い逐次設置している。 |

2 課題

地域からの要望が多く、限られた予算の範囲内であることから緊急性の高い場所から優先した設置となっている。

3 今後の方向性

防犯灯の設置及び維持補修については、地域の犯罪抑止力からも必要であり今後も整備していく。

4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 設置要望や修繕などに適切に対応していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | 防犯・交通安全の充実 |
| | 主要施策 | 3 | 交通安全施設の設置要請強化 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 児童・生徒の交通事故防止のため。 | 安全で安心して暮らせる生活環境が構築される。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 270 千円 | 0 千円 | 270 千円 | 0 千円 | 378 千円 | 0 千円 |
| 事業費 | 270 千円 | 0 千円 | 270 千円 | 0 千円 | 378 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5231 | 交通安全施設設置 | 378 | 80% | ○ | | | | | | | | | 交通町民相談係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 378 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | 防犯・交通安全の充実 |
| | 主要施策 | 3 | 交通安全施設の設置要請強化 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | スクールゾーンなどの交通道路標示工事は、隔年実施をしており、令和元年度は10か所実施。（中小3、東小4、丸小3） |

### 2 課題

北海道公安委員会が設置を行う交通安全施設は、少ないながら要望に沿った設置が行われているが、全道の中で集約し決定されることから、本町の要望がなかなか実現しない状況にある。

### 3 今後の方向性

交通安全施設は道路整備が行われる都度新たな要望が発生しており、今後とも学校周辺や通学路を優先して北海道公安委員会に要請していく。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 交通安全施設は、地域や教育関係者からの要望を全て北海道公安委員会に要請しているが、公安委員会から設置場所の意見を求められた場合には学校周辺や通学路を優先とする。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | 防犯・交通安全の充実 |
| | 主要施策 | 4 | 交通安全意識の高揚 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 地域ぐるみで交通事故から守るための交通安全運動の充実を図る。 | 安全で安心して暮らせる生活環境が構築される。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 交通安全教室開催回数 | 回/年 | ○ 単年 | 30 | 実績値 | 24 | 22 | 20 | 20 | 19 | 17 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 66.7% | 66.7% | 63.3% | 56.7% | 0.0% |
| 指標2 シートベルト着用率 | % | ○ 単年 | 100 | 実績値 | 98.4 | 97.8 | 99.9 | 100.0 | 99.8 | 99.8 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 99.9% | 100.0% | 99.8% | 99.8% | 0.0% |
| 指標3 交通事故発生件数 | 件/年 | ○ 単年 | 0 | 実績値 | － | 25 | 12 | 14 | 6 | 11 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 4,482 千円 | 4,333 千円 | 4,405 千円 | 4,311 千円 | 4,752 千円 | 4,333 千円 |
| 事業費 | 4,482 千円 | 4,333 千円 | 4,405 千円 | 4,311 千円 | 4,752 千円 | 4,333 千円 |
| 対前年度比 | | 96.68 % | 101.66 % | 97.87 % | 110.23 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5241 | 交通安全対策 | 4,752 | 85% | ○ | | | | | | | | | 交通町民相談係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 4,752 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | 防犯・交通安全の充実 |
| | 主要施策 | 4 | 交通安全意識の高揚 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 交通安全運動は、年齢層に応じた交通安全意識高揚のため啓発活動を実施し、主に子どもを対象とした交通安全指導員による交通安全教室を行った。 |

### 2 課題

本町の生活スタイルは自家用車を利用する車社会となっており、交通事故は身近な問題となっている。
安全安心なまちづくりを推進する上で、子どもたちへの交通安全思想の普及や高齢者への交通安全思想の再確認など継続して実施することが必要である。
交通安全指導員は高齢化が進んでおり、不足した場合には、なり手がいない状況である。

### 3 今後の方向性

交通安全については、年齢層に応じた交通安全意識高揚のため啓発活動を実施し、主に子どもたちを対象とした交通安全指導員による交通安全教室を実施していく。
また、高齢者が関わる交通事故が増えてきていることから、高齢ドライバーに対しての安全運転の啓発や夜間の歩行に対しての注意喚起を今後とも関係機関との連携により交通事故防止のための活動を継続していく。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 高齢者の交通事故が注目されている中、高齢者の免許返納に対する支援についての問い合わせが散見されるが、免許を持っていない高齢者との公平性を考慮する必要がある。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 消費者対策の推進 |
| | 主要施策 | 1 | 町消費生活センターの充実 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 消費生活に関する情報提供のため。 | 町の消費者行政の推進に寄与する。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 出前講座開催数（消費生活情報） | 回/年 | ○ 単年 | 10 | 実績値 | 6 | 3 | 2 | 3 | 2 | 1 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 20.0% | 30.0% | 20.0% | 10.0% | 0.0% |
| 指標2 消費生活相談件数 | 件/年 | ○ 単年 | 100 | 実績値 | 145 | 82 | 81 | 62 | 93 | 87 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 81.0% | 62.0% | 93.0% | 87.0% | 0.0% |
| 指標3 消費生活に関する窓口が役場にあることを知っている町民の割合（町民アンケート） | % | ○ 単年 | 70 | 実績値 | － | 39.9 | 40.4 | 47.6 | 43.2 | 44.4 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 57.7% | 68.0% | 61.7% | 63.4% | 0.0% |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 2,032 千円 | 1,297 千円 | 1,865 千円 | 2,087 千円 | 1,246 千円 | 2,367 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 87 千円 | 96 千円 | 55 千円 | 千円 | 252 千円 | 119 千円 |
| 一般財源 | 2,430 千円 | 2,527 千円 | 2,466 千円 | 3,246 千円 | 3,307 千円 | 2,630 千円 |
| 事業費 | 4,549 千円 | 3,920 千円 | 4,386 千円 | 5,333 千円 | 4,805 千円 | 5,116 千円 |
| 対前年度比 | | 86.17 % | 111.89 % | 121.59 % | 90.10 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5311 | 消費生活モニター | 0 | 75% | ○ | | | | | | | | | 交通町民相談係 |
| 53･･ | 無料法律相談 | 155 | 80% | ○ | | | | | | | | | 交通町民相談係 |
| 5312 | 消費生活センター | 2,197 | 80% | ○ | | | | | | | | | 交通町民相談係 |
| 5312 | 消費者行政活性化事業 | 2,453 | 85% | ○ | | | | | | | | | 交通町民相談係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 4 事業 | | 4,805 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 消費者対策の推進 |
| | 主要施策 | 1 | 町消費生活センターの充実 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br><br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 近年複雑多様化する相談内容に適切なアドバイスを実施した。<br>また、まちづくり出前講座や情報誌を通じて特殊詐欺などを未然に防止する注意喚起や啓発を行った。 |

### 2 課題

消費取引の多様化に伴い、悪質商法の被害を受けるケースは後を絶たず、またそれに伴う多重債務の発生など、高齢者などの弱者への強引な商取引による被害なども相変わらず発生している。

### 3 今後の方向性

今後ますます多様化、複雑化する事例に対応するため、専門スタッフを養成し、相談体制を充実させていく。
消費生活センターでの相談件数は減少しているが、新手の悪質商法などが発生している状況で、消費センターの存在をPRしていく。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br><br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 相談により被害を防ぐことが出来たものが多々あることから、今後とも消費生活センターのPR活動を推進していく。また、相談員の資質向上を目的とした研修等に積極的に参加していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 消費者対策の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 町消費者協会の活動強化 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 町民に対して消費生活に関する情報提供のため。 | 町の消費者行政の推進に寄与する。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

１ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 503 千円 | 503 千円 | 503 千円 | 503 千円 | 500 千円 | 500 千円 |
| 事業費 | 503 千円 | 503 千円 | 503 千円 | 503 千円 | 500 千円 | 500 千円 |
| 対前年度比 | | 100.00 % | 100.00 % | 100.00 % | 99.40 % | |

３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5321 | 消費者協会活動補助 | 500 | 77.5% | ○ | | | | | | | | | 交通町民相談係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 500 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 消費者対策の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 町消費者協会の活動強化 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 町消費生活センターと町消費者協会が連携し、各種消費生活運動を行い消費者の意識向上を図った。 |

### 2 課題

平成23年度から事務局を福祉センターに移し、独自の活動をしている。
消費者大会や街頭啓発などの実施により広く住民に消費者意識の向上を訴えているが、通常の情報発信は会員への情報誌のみであり不足している。

### 3 今後の方向性

消費者相談は、役場生活課に置いている町消費生活センターで行っているが、町消費者協会でも独自に相談員を養成し、連携を図りながら進めていく必要がある。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 消費者協会の活動は、消費者への情報提供により消費者の意識向上を図るものであり、消費者センターとの連携を視野に進めていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 1 | 環境保全推進体制の確立 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 中標津町環境基本条例、中標津町環境基本計画に基づき、各種環境保全施策を展開し、現在及び将来の町民が健康で文化的な生活を営む上で必要な環境を確保する。 | 具体的な対策及び指針等を策定。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5411 | 地域環境管理整備促事業計画 | 0 | 57.5% | ○ | | | | | | | | | 環境衛生係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 0 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 1 | 環境保全推進体制の確立 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 中標津町環境基本計画に基づき、町の美化活動を推進し、ごみの減量化やリサイクルを進め、廃棄物の適正処理を促進した。 |

### 2 課題

環境保全の重要性をさらに周知し、町民一人ひとりの意識高揚へ繋げ、推進体制を確立する必要がある。

### 3 今後の方向性

環境保全施策を展開する中で、現在の状況を踏まえ、さらに将来の環境を確保するための教育や情報発信をしていかなければならない。
また、省エネを推進していくためには市町村単位ではなく、北海道全域における省エネ対策への取組が効果的である。
定期的に環境審議会を開催し、中標津町環境基本計画に基づく各種環境保全施策を検証していく必要がある。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 今後の方向性のとおり推進する。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 河川と水の保全 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 雨水排水・工場排水・家庭排水・家畜糞尿等様々な物質が河川に流出し、河川環境の悪化を防ぐため。 | 水質基準値を基準範囲内に収める。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 8,169 千円 | 7,599 千円 | 7,278 千円 | 7,825 千円 | 7,714 千円 | 7,536 千円 |
| 事業費 | 8,169 千円 | 7,599 千円 | 7,278 千円 | 7,825 千円 | 7,714 千円 | 7,536 千円 |
| 対前年度比 | | 93.02 % | 95.78 % | 107.52 % | 98.58 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5431 | し尿処理手数料補助 | 6,925 | 75% | ○ | | | | | | | | | 環境衛生係 |
| 5432　5433 | 環境保全に係る河川水質調査事業 | 789 | 80% | ○ | | | | | | | | | 環境衛生係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　2　事業 | | 7,714 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 河川と水の保全 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 標津川・当幌川の水質検査を行い環境保全に係る監視を行う。<br>標津川は市街地上流の最終処分データを使用し、俵橋の共成橋に監視地点を設けた。<br>当幌川は国道272号線の豊岡橋と西9線当幌大橋に監視地点を設定し、年4回の検査を実施した。<br>12項目の分析項目を、標津川（上流部・下流部）、当幌川（上流部・下流部）の4地点で年4回検査を実施している。 |

### 2 課題

河川への汚濁水は、市街地においては下水道の普及により抑止された状況。
しかし第1次産業において発生する産業排水は、様々な手法により、現在その対策が検討されている。

### 3 今後の方向性

下水道の普及率の向上と、第1次産業において発生する産業排水の河川への流入抑止に向けた対策の確立が重要となっている。
し尿処理に関しては、収集体制を維持することが必要であるが負担と受益を考慮する必要がある。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 今後とも水質検査結果については、農協、漁協等関係機関に通知し、ホームページで公開していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 河川と水の保全 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 標津町にある浄化センターの老朽化による建替えについて下水道広域化推進総合事業（下水道共同処理方式）による手法が最有力とのことから、事業内容を検証し早急な検討が必要である。 | 財源、現施設の寿命等を考慮し最適な施設を建設し、負担金の抑制に努める。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

１ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 0 千円 | 0 千円 | 34,676 千円 | 37,272 千円 | 64,308 千円 | 70,960 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 34,676 千円 | 37,272 千円 | 64,308 千円 | 70,960 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | 107.49 % | 172.54 % | |

３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5431 | 根室北部衛生組合負担金 | 64,308 | 57.5% | | | | ○ | | | | | | 環境衛生係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 64,308 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 河川と水の保全 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 平成23年度から広域し尿処理方法について構成町（中標津町・標津町・羅臼町）と協議した結果、中標津町の下水道終末処理場による下水道広域化推進総合事業（下水道共同処理方式）が有力であるという方向性で一致した。 |

### 2 課題

平成29年10月衛生組合事務局から下水道広域化推進総合事業の提案を受け、早急な検討が必要となっている。
以前からMICS事業（汚水処理施設共同整備事業）による共同処理が有力ということで協議されてきたが、具体的な検討が不足しており方針決定には至っていない。
予定では平成30年度までに住民合意、令和元年度方針決定、令和5年度基本設計、令和6年度実施設計、令和7年度工事着工、令和9年度稼動開始としていたが、本町の協議状況からかなり難しい状況となっている。

### 3 今後の方向性

下水道広域化推進総合事業の妥当性及び中標津町が受入可能か判断できる資料を作成するため本年度中に基本構想を策定することとなっており、その結果を踏まえて早急な検討をしていく。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 平成23年度から広域し尿処理方法について構成町（中標津町・標津町・羅臼町）と協議した結果、中標津町の下水道終末処理場による下水道広域化推進総合事業（下水道共同処理方式）が有力であるという方向性も示されたが、中標津町における受け入れの妥当性及び可能性について検証し、その結果を踏まえた検討が必要である。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部農林課 | 担当課長氏名 | 中野　康志 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 4 | 森林と緑の保全 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 地球規模で環境悪化が顕在化しており、進行している地球温暖化の対策は、世界共通の課題であり、世界第5位の二酸化炭素排出国である日本の責任は大きい。二酸化炭素吸収能力を持つ森林は、緑のダムとしての災害防止機能やヒーリング機能等多面的機能を担っており、未来に引き継いでいかなければならない貴重な財産である。 | 日頃から、森づくりや地域緑化事業への住民参加を促すことで、森や木の大切さの共通理解が進み、地域住民の緑化保全に対する協力意識が醸成される。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 植樹祭による緑化面積 | ha | 単年 | 8 | 実績値 | 4 | 6 | 6.56 | 6.96 | 7.45 | 7.95 | |
| | | ○ 累計 | | 達成率 | | | 80.4% | 85.3% | 91.3% | 97.4% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 190 千円 | 390 千円 | 290 千円 | 240 千円 | 662 千円 |
| 一般財源 | 294 千円 | 341 千円 | 302 千円 | 449 千円 | 498 千円 | 158 千円 |
| 事業費 | 294 千円 | 531 千円 | 692 千円 | 739 千円 | 738 千円 | 820 千円 |
| 対前年度比 | | 180.61 % | 130.32 % | 106.79 % | 99.86 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5442 | 生活環境保全林管理（管理道草刈） | 92 | 87.5% | ○ | | | | | | | | | 林務係 |
| 3232・5441 | 緑化推進事業（植樹祭） | 640 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 林務係 |
| 3232・5441 | 緑化推進事業（植樹祭後の植栽木管理） | 6 | 97.5% | | | ○ | | | | | | | 林務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 3 事業 | | 738 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 4 | 森林と緑の保全 |

| 担当部・課 | 経済部農林課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 植栽後の下刈作業については、緑化管理組合等を中心に、ボランティアにより施業しているが、毎年多くの参加がある。町の植樹祭についても、近年参加者が増加傾向にあり、住民の緑化意識が高まっているものと感じている。 |

### 2 課題

町の植樹祭については千本/年を目標に植樹を実施してきているが、ここ数年参加者が増加傾向にあるため、更に参加者が増加した場合の会場の確保、用具類の確保が課題となる。また、植栽後のシカの食害対策が課題である。

### 3 今後の方向性

町民との協働のまちづくりの視点に立った緑化事業としての植樹祭は、木の大切さ、森の大切さを考え、町民が自ら森づくりに参加できる大切な行事である。植栽後の保育管理も、緑の財産を次世代へ引き継ぐための大切な作業であり、まちづくりの視点からも、とても意義深い事業であるため継続実施する。生活環境保全林は、開陽台牧場内を流れるせせらぎ等、来訪者が自然を身近に親しむことのできる公園として整備しており、散策路の機能維持のためにも草刈は今後も必要である。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋　豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 森林資源は木材資源としてのみならず、国土保全や水源かん養、地球温暖化防止等の多面的機能を持っており、森林管理署及び道森林室等とともに、広域的な森林資源の育成・保全を引き続き計画的に進めていく必要がある。森林吸収源対策として創設された森林環境譲与税の交付も始まり、R6年度からは国税としての森林環境税の課税が始まる予定である。森林環境の保全に向けた国内の関心も一層高まることが予想され、住民との植樹活動やJクレジット販売による民間企業との森林環境保全の取組み等、森林と緑の保全に向けた民間との協働活動をよりさらに進める必要がある。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 5 | 野生動植物の保全 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 狂犬病予防法に基づく蓄犬登録業務を行う。<br>また、野ギツネ徘徊の苦情に対応するため時期を設定し駆除している。 | ペットの適正な飼育に関する啓発等を行うことにより、地域環境の美化を推進する。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 614 千円 | 598 千円 | 576 千円 | 637 千円 | 631 千円 | 606 千円 |
| 事業費 | 614 千円 | 598 千円 | 576 千円 | 637 千円 | 631 千円 | 606 千円 |
| 対前年度比 | | 97.39 % | 96.32 % | 110.59 % | 99.06 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5454 | 蓄犬登録事業 | 631 | 75% | | | | | | ○ | | | | 環境衛生係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 631 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 5 | 野生動植物の保全 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 狂犬病予防注射の実施率は、全国的にみても本町は低い方であり、更なる啓発が必要である。<br>また、飼い犬の多頭飼いや放し飼いによる悪質な飼育者に対する指導、警察等との連携等、住民トラブルを招きやすい業務が多い。 |

### 2 課題

数年前から役場組織機構により、野犬、有害鳥獣は農林課、蓄犬、死骸動物の駆除は生活課で業務分担しているが、業務の棲み分けが難しい状況にある。

### 3 今後の方向性

狂犬病注射実施率の向上と、犬を含めた動物に対する生活課と農林課の業務内容を整理する必要がある。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 狂犬病予防注射実施率の向上に向けた対応策を検討していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 経済部農林課 | 担当課長氏名 | 中野　康志 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 5 | 野生動植物の保全 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

### １ 目的（何のために）

・ｶﾗｽ～乳牛へのいたずらで、高価な牛をダメにするケースもあり、酪農家からのｶﾗｽ駆除の要望は強い。
・ｷﾂﾈ～市街地への出没が増える傾向にある。ｷﾂﾈの餌やりや、家庭菜園ﾌﾞｰﾑで餌になりそうなものを畑の肥料に使用していることも寄り付きの要因と思われる。深刻な被害はないまでも、ｴｷﾉｺｯｸｽの心配もあり、住民からの駆除要望は多い。
・ｴｿﾞｼｶ～春先の牧草の若芽の食害や、ﾃﾞﾝﾄｺｰﾝ、畑作苗等の食害は相変わらずあり、駆除を休むと年2割で増殖する動物であり、継続した駆除は必要。

### ２ 求める成果（どのような成果を期待するか）

カラス、エゾシカは農業被害を低減させる目的で取組んでいるが、エゾシカの食害についての算定根拠が明確でないため、金額ベースでの被害額が減らない（実際には減っていると思われる）。
キツネについては、市街地での駆除は檻に頼るしかなく、一定程度捕獲しても、郊外からまた、新たなキツネが入り込むという状況が続いている。

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 エゾシカ有害駆除頭数 | 頭 | ○ 単年 | 700 | 実績値 | 726 | 919 | 723.00 | 536.00 | 723 | 731 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 103.3% | 76.6% | 103.3% | 104.4% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 540 千円 | 500 千円 | 370 千円 | 1,160 千円 | 380 千円 | 530 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 6,223 千円 | 5,698 千円 | 4,924 千円 | 5,446 千円 | 3,850 千円 | 4,264 千円 |
| 事業費 | 6,763 千円 | 6,198 千円 | 5,294 千円 | 6,606 千円 | 4,230 千円 | 4,794 千円 |
| 対前年度比 | | 91.65 % | 85.41 % | 124.78 % | 64.03 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5454 | 有害鳥獣駆除対策 | 517 | 85% | ○ | | | | | | | | | 自然環境係 |
| 5454 | エゾシカ農業被害対策（有害鳥獣駆除） | 3,713 | 85% | ○ | | | | | | | | | 自然環境係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 2 事業 | | 4,230 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 5 | 野生動植物の保全 |

| 担当部・課 | 経済部農林課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | キツネの檻による捕獲と同時に、町内会と連携した野生鳥獣及び、野良犬、野良猫等への餌やり禁止の周知で、効果の上がっている地域もある。 |

### 2 課題

野良猫や野良犬に限らず、キツネや鴨等、野生鳥獣への餌やりはなくならず、目撃者からの苦情も寄せられるが、隣近所の人間関係にも影響することから、個別指導にも気を使う。町内会の協力を得ながら地道に対応している。近年では、ヘビ等駆除まで自然環境係に連絡が入る状況であり、本来行政が扱うべきか疑問のある苦情が増えている。町内会への加入率の低下に見るように、隣近所との付合いが希薄になっているのも要因と思われ、根は深いものがある。ｴｿﾞｼｶ駆除の対応については、ある程度成果は上がっているが、駆除したシカの有効活用については、各業者の思惑もあり、今後もトラブルの可能性をはらんでいる。また、残滓処理について、一般廃棄物としての許可を受けた業者が、受入を突然中止する等、対応に振り回されている。今後は猟友会と協力し、安定的な残滓処理施設設置についても検討したい。ヒグマについては、目撃される場所もある程度特定されており、クマのテリトリーもそれなりに確立されているものと思われるが、個体数は増えているものと推測する。平成元年まで道で実施していた、春クマの駆除を実施しなければ、今後人的被害の可能性もありうる。

### 3 今後の方向性

エゾシカの有害駆除については、繁殖率の高い動物であり、今後も継続した取組が必要。郊外で問題となっている野犬は、一部の放し飼いなど犬猫の飼い方のモラルの徹底が求められ、JAや町内会など団体を通じた粘り強い啓発を今後も続ける必要がある。人的に被害を及ぼさないような野生動物（ヘビ等）及び外来動物（アライグマ等）の対応も行っているが、方針を検討する必要がある。外来植物については、その扱いが明確になっておらず、横断的に協議し考え方をまとめる必要がある。

### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 板橋 豊 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 野生動植物の生態系維持のため森林環境の保全は重要な役割を担っている。一方、エゾシカによる農作物の食害は年間9000万円にも及び、有害駆除と利活用に取り組んでいるところ。農林業行政としては、引き続き農業振興と森林保全の観点と共存する野生動植物の保全を念頭にバランスよく施策を進める必要がある。庁舎内の事務分掌上、農林業被害をもたらす有害鳥獣と住民生活上の被害対策としてのイヌ・ネコ・カラス・キツネ対応に曖昧な部分も多く、住民対応に混乱をきたさぬよう整理が必要である。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 | 担当課長氏名 | 山宮　克彦 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | １ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 5 | 野生動植物の保全 |
| その他関連計画等 | | 中標津町生涯学習推進計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 特に市街地付近で減少している町花エゾリンドウについて移植と研究を行うことで保護と増殖することを目的とする。 | 将来、移植したエゾリンドウが自然に増殖すること。<br>また、移植地の整備に努め、鑑賞・観察が可能な環境を残し、町民の町花保護意識を高めること。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 51 千円 | 49 千円 | 51 千円 | 45 千円 | 42 千円 | 50 千円 |
| 事業費 | 51 千円 | 49 千円 | 51 千円 | 45 千円 | 42 千円 | 50 千円 |
| 対前年度比 | | 96.08 % | 104.08 % | 88.24 % | 93.33 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5455 | エゾリンドウ保護増殖事業 | 42 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 学芸係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 42 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 5 | 野生動植物の保全 |

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 「中標津町郷土館友の会（中標津の自然を知ろう会）」との協働により、以下のことを実施した。<br>・移植地＝環境整備（5回）、写真撮影（3回）、播種（1回）<br>・保護＝発芽株及び移植株の生育対処（随時）<br>・整備＝群生地の草刈り（1回）<br>※川西の群生地については令和元年度をもって群生地を解除し、看板を撤去した。<br>・岩石園・郷土館前庭・りんどう球場・スキー練習場移植地の整備（随時）<br>・周知＝インターネットによる周知（随時） |

### 2 課題

長年事業を実施してきたことによりエゾリンドウについての知見が多く得られている。
また、多くの株を移植したことにより、町民の目にとまる機会を増やすことができたが、エゾリンドウ自ら増えていけない環境への移植を続けても限界があるため、自生可能な町有地等の調査や確保も必要である。

### 3 今後の方向性

今後も町民団体である「中標津町郷土館友の会（中標津の植物を知ろう会）」との協働により継続して取り組んでいく。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 6 | 地球温暖化防止対策の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく温室効果ガスの排出抑制。 | 実行計画を策定し、温室効果ガスの排出量と目標年次を設定し、達成に向け推進する。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 中標津町事務事業分温室効果ガス排出量 | kg-CO2 | ○ 単年 | 10,919 | 実績値 | 11,055 | 11,574 | 11,944 | 11,464 | 11,630 | 調査中 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 109.4% | 105.0% | 106.5% | | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5461 | 地球温暖化対策実行計画 | 0 | 70% | | | | ○ | | | | | | 環境衛生係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 0 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 6 | 地球温暖化防止対策の推進 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| C<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 役場庁舎の事務事業から排出される温室効果ガス及びエネルギー使用料の把握はしているが、大幅な削減とはなっていない。<br>しかし、把握をすることで職員個々の意識改善につながる。 |

### 2 課題

役場庁舎の事務事業から排出される温室効果ガス及びエネルギー使用料の把握はしているが、大幅な削減とはなっていない。
また、平成28年度に地球温暖化対策の推進に関する法律の一部改正がされたが、我が国は平成27年7月に温室ガスを2030年度に2013年度比で26%削減するとの目標を柱とする草案を国連に提出しており、この目標達成のために家庭、業務部門において約40%の削減が必要となる。

### 3 今後の方向性

地球温暖化実行計画（事務事業編）は市町村に策定が義務付けされており早急な策定が必要。策定することで地球温暖化の現状や対策を推進するとともに職員の環境意識向上を図ることができる。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| B<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 課長評価の3 今後の方向性のとおり進めていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 総務部総務課 | 担当課長氏名 | 下村　浩次 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 7 | 省エネルギー対策の推進 |
| その他関連計画等 | | 中標津町環境基本計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」（省エネ法）の改正に伴い、特定事業者として省エネルギー対策に向けた取組を図る。 | 各施設における単年度のエネルギー原単位平均1%削減を達成する。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 240 千円 | 160 千円 | 200 千円 | 240 千円 | 239 千円 | 0 千円 |
| 事業費 | 240 千円 | 160 千円 | 200 千円 | 240 千円 | 239 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | 66.67 % | 125.00 % | 120.00 % | 99.58 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5473 | 省エネ・節電対策事業 | 239 | 85% | | | | | | ○ | | | | 総務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 239 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 7 | 省エネルギー対策の推進 |

| 担当部・課 | 総務部総務課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 省エネアドバイザーからの助言を受け、役場庁舎内で消費電力が大きい議事堂の白熱灯をLED照明に交換し、消費電力の抑制を図った。 |

### 2 課題

公共施設の省エネ診断は概ね完了しているが、施設改修には大規模な工事や多額の費用を要するものもある。
蛍光管の生産中止を見据えた、照明器具のLED化を検討する必要がある。
消費電力量は天候の関係や起因する要因は様々であることから、設備改修による省エネ効果を可視化することが困難である。

### 3 今後の方向性

これまでの省エネアドバイザーからの助言を基に、個々の職員も含め各施設における省エネ意識を維持していく必要がある。
照明のLED化については、老朽化による公共施設の修繕計画も考慮した上で計画的に実施していく必要がある。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 遠　藤　俊　勝 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 事業者として省エネルギー対策に取り組まなければならないが、各公共施設の耐用年数及び今後の施設管理計画等を考慮した中で、優先順位等を整理のうえ計画的に進めていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 8 | 公害防止対策の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 休止状態となっている清掃センターの解体。 | 清掃センターの解体及びダイオキシン対策。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

１ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 7,007 千円 | 232,716 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 7,007 千円 | 232,716 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5481 | 中標津町清掃センター解体工事 | 7,007 | 77.5% | ○ | | | | | | | | | 環境衛生係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 7,007 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 8 | 公害防止対策の推進 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 平成27年にダイオキシン・アスベストの含有調査を行い、ダイオキシンについてはサイクロンから測定され、すべての箇所に付着が検出された。<br>アスベストについても3施設から検出が確認された。 |

### 2 課題

ダイオキシンについては施設解体後に再度調査を行い基準値をクリアする必要があり、基準値超過の場合土壌入替え工事が必要。
アスベストについても調査時に含有箇所は判明していたが、法改正によりアスベストの対象部材が拡大されていることから、再度調査が必要である。

### 3 今後の方向性

解体工事について、令和元年度に解体設計を実施。予定通り、令和2年度に解体工事を実施する。
アスベストの再調査については解体設計時に行う。

### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 今後の方向性のとおり着実に実行する。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 8 | 公害防止対策の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 平成28年度PCB使用残存調査、平成29年度高圧受電設備調査、蛍光灯安定器等全数調査結果により、PCBの使用が判明した機器の処分。 | PCBが判明した機器を撤去し、安全な施設運営を目指す。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 10,486 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 10,486 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5481 | PCB使用機器調査・処分事業 | 0 | 77.5% | ○ | | | | | | | | | 環境衛生係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 0 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | 環境保全の推進 |
| | 主要施策 | 8 | 公害防止対策の推進 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 平成29年度に行ったPCB含有調査により判明した蛍光灯安定器については、平成30年度中に登録し、処分は令和2年度以降に北海道PCB処理事業所にて実施予定である。 |

### 2 課題

PCB含有調査は解体が基本であり、実施するとコンデンサとして使用不可となる。このことから、高圧受電設備内の使用中のコンデンサを容易に含有調査を実施することは難しい。しかしながら、各所管において改修工事等に合わせて交換するなどのタイミングで、PCB含有調査は必須であり、なおかつ、処分先のJX金属苫小牧ケミカル㈱が令和9年度で閉鎖予定であり、それまでに分析・処分する必要がある。

### 3 今後の方向性

原課、財政当局等と協議し進めており、引き続き各所管と調整のうえ進める。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 引続き各施設所管課と連携を保ち、令和9年度の処分先閉鎖までに処分を完了するよう調整を行っていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 5 | 循環型社会の形成 |
| | 主要施策 | 1 | ごみ処理・リサイクル体制の充実 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| ごみ減量化の推進を図る。 | ごみ減量化に伴う収集・運搬路線の縮小により、収集運搬費用のコスト削減。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

１ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 一般廃棄物処理量 | t/年 | ○ 単年 | 8,275 | 実績値 | 9,130 | 8,716 | 8,575 | 8,580 | 8,555 | 8,223 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 103.6% | 103.7% | 103.4% | 99.4% | 0.0% |
| 指標2 資源物処理量 | t/年 | ○ 単年 | 2,705 | 実績値 | 1,484 | 1,534 | 1,545 | 1,526 | 1,571 | 1,497 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 57.1% | 56.4% | 58.1% | 55.3% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 603,370 千円 | 599,208 千円 | 602,615 千円 | 629,390 千円 | 645,162 千円 | 652,565 千円 |
| 事業費 | 603,370 千円 | 599,208 千円 | 602,615 千円 | 629,390 千円 | 645,162 千円 | 652,565 千円 |
| 対前年度比 | | 99.31 % | 100.57 % | 104.44 % | 102.51 % | |

３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5511 | 最終処分場延命化措置対策 | 52,396 | 75% | | | | ○ | | | | | | 環境衛生係 |
| 5511 | 根室北部廃棄物処理広域連合負担金 | 468,179 | 72.5% | | | | | | ○ | | | | 環境衛生係 |
| 5512 | 一般廃棄物収集・運搬事業 | 124,587 | 82.5% | ○ | | | | | | | | | 環境衛生係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　３　事業 | | 645,162 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 5 | 循環型社会の形成 |
| | 主要施策 | 1 | ごみ処理・リサイクル体制の充実 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ごみの減量化に向けて広報、チラシや町内会等へのまちづくり出前講座などを実施し、ごみの分別などの周知を行った。<br>また町内外の小中学生による最終処分場視察見学を行い、家庭内から排出されたごみの行方を通じて、ごみ減量、分別、リサイクルについて啓発した。<br>ごみの減量化とリサイクルの推進は、廃棄物処理に係る経費節減にもなり最終処分場の延命化となる。 |

### 2 課題

ごみの排出量については大幅な減量にはつながっておらず、何らかの方策を研究していかなければならない。
広域連合への負担金について、施設の老朽化等による修繕費用等の増大により負担金が年々増加傾向にある。
リサイクルセンターで行う資源ごみの審査規準の明確化により不適合物が増加しているため対策が必要である。

### 3 今後の方向性

本町ではごみ減量アクションプラン（目標達成期間：平成23年から平成28年）を策定し、廃棄物の減量を目指す行動指針を策定していたが、個々の行動には限界があることから、町内会に対して資源ごみの回収等の協力を依頼している状況である。
可燃ごみの減量化を大きな柱として定めており、資源ごみの分別の徹底や生ごみの水切りなど今後もその方針に沿った活動を推進していく必要がある。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 根室北部廃棄物処理広域連合焼却施設の長寿命化を名目に、建設時の公債費の償還が終了するにも拘らず負担金の増額を予定している。<br>近年多額の修繕費を掛けており、長寿命化の必要性の検証が必要である。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 5 | 循環型社会の形成 |
| | 主要施策 | 2 | 不法投棄対策の推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | | 4 | 環境保全の推進 |
| | | 2 | 環境保全意識の高揚 |
| 担　当　課 | | 生活課 | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| ・地域の環境保全を図り、まちの美化意識の高揚に資することを目的とする。<br>中標津町きれいな街にする条例を推進し、清潔で住みよいまちづくりに資することを目的とする。<br>・不法投棄防止に向けた取組。<br>子どもたちの環境教育の推進。 | ・不法投棄やごみのポイ捨てをなくし、住みよい町を目指す。<br>ごみのポイ捨てや不法投棄を行わないきれいで住みよい街を目指す。<br>・環境保全、不法投棄防止の意識を高め、環境美化、ゴミの減量につなげる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標１ | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標２ | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標３ | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 7,707 千円 | 9,452 千円 | 7,744 千円 | 8,161 千円 | 13,090 千円 | 9,325 千円 |
| 事業費 | 7,707 千円 | 9,452 千円 | 7,744 千円 | 8,161 千円 | 13,090 千円 | 9,325 千円 |
| 対前年度比 | | 122.64 % | 81.93 % | 105.38 % | 160.40 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5511～5514<br>5523 | 中標津町きれいな街にする条例啓発、ごみ減量・リサイクル促進事業 | 13,079 | 75% | | | | | | ○ | | | | 環境衛生係 |
| 5522 | 根室管内自然の番人宣言 | 11 | 75% | ○ | | | | | | | | | 環境衛生係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　2　事業 | | 13,090 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 5 | 循環型社会の形成 |
| | 主要施策 | 2 | 不法投棄対策の推進 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・不法投棄対策を事業所による根室自然の番人宣言による監視活動や、住民や事業者のごみ回収などのボランティア活動によって進めている。<br>また監視カメラを導入し、不法投棄が頻繁に行われる箇所に設置した。<br>・自然の番人宣言に基づき町内会、事業所と協力連携し、町内一斉清掃活動を実施した。<br>また各種団体のボランティア清掃活動を支援した。<br>小中学校での環境教育の一環として、一般廃棄物最終処分場やリサイクルセンターへの見学を実施した。<br>また家庭内では、省エネやごみの分別など環境に配慮した生活スタイルが定着してきている。 |

### 2 課題

・不法投棄は住民や事業者の努力に関わらず発生しており、その対策を「ねむろ自然の番人宣言」による事業所等の監視活動や住民、事業者のごみ回収などのボランティア活動によって進めている。
・不法投棄などによる環境を悪化させないためには、町民の意識の向上を推進しなければならない。
　そのためには子供たちへの環境教育の充実や、家庭での環境問題への取組、事業者による事業活動においての環境対策の実施などが必要となってくる。

### 3 今後の方向性

・監視カメラの設置を広く広報するなど有効活用して、不法投棄を抑止する。
　また悪質な事例は警察や関係機関と連携して不法投棄を摘発していく。
・環境保全思想の普及及び住民参加による取組の推進を継続していく事が必要。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 今後の方向性のとおり推進していく。<br>ねむろ自然の番人宣言ごみゼロの日清掃活動などのボランティア活動への参加者の増により、環境保全意識の高揚を図っていく。<br>小中学生などの施設見学を積極的に受け入れ、環境改善の充実を図る。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部上下水道課 | 担当課長氏名 | 山根　秀徳 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 10 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 上・下水道の再整備 |
| | 主要施策 | 1 | 安全・安心な水道水の供給 |
| その他関連計画等 | | 中標津町水道ビジョン | |
| その他関連施策 | | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | | 6 | 上・下水道の再整備 |
| | | 7 | 水道・下水道の災害対応 |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 水道・下水道は、快適な町民生活に欠かせない安全・安心な水道水の安定供給及び、快適で衛生的な生活環境、水環境を保全する使命がある重要なライフラインであることから、災害時において、住民に対し迅速かつ安心・安全な給水を行うため、応急給水資材を整備する。 | 災害時においても、安心・安全な応急給水を敏速に行う体制の整備。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 53,381 千円 | 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 53,381 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5611 | 応急給水設備事業（水道事業） | 53,381 | 100% | | | | | | | | | ○ | 水道係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 53,381 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 上・下水道の再整備 |
| | 主要施策 | 1 | 安全・安心な水道水の供給 |

| 担当部・課 | 建設水道部上下水道課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 応急給水に必要な資機材等（加圧式給水車 3㎥1台、同車庫兼災害備品倉庫1棟、給水コンテナ3基、緊急給水栓5基）の整備を行うことで、災害時などにおける応急給水活動が効率的、敏速に行うことが可能となった。 |

### 2 課題

災害発生時を想定した、応急給水対応の訓練の実施と応援体制の整備。

### 3 今後の方向性

必要に応じた資機材の見直し検討と消耗品等の補充整備と応急給水訓練を定期的に実施する。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 応急給水資機材を整備することができた。<br>今後においても、給水訓練を実施し、必要となる資機材を整備していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部上下水道課 | 担当課長氏名 | 山根　秀徳 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　10　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり | | |
| | 大　項　目 | 6 | 上・下水道の再整備 | | |
| | 主要施策 | 2 | サービスの向上 | | |
| その他関連計画等 | | 中標津町水道ビジョン | | | |
| | | 中標津町下水道ビジョン | | | |
| その他関連施策 | | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | | 6 | 上・下水道の再整備 | 6 | 上・下水道の再整備 |
| | | 7 | 水道・下水道の災害対応 | 8 | 事業経営における効率化の推進 |
| 担　当　課 | | | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 水道・下水道は、快適な町民生活に欠かせない安全・安心な水道水の安定供給及び、快適で衛生的な生活環境、水環境を保全する使命がある重要なライフラインであることから、給排水の管路施設台帳の電子データを整備し、迅速かつ正確な情報提供を行い、サービスの向上を図る。 | 最新の管路情報に更新することで、日常管理が適正に実施され、事故や災害時などにおいても迅速な復旧対応を行う。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 多様な料金などの支払い方法 | 件 | ○ 単年 | 5 | 実績値 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 80.0% | 80.0% | 80.0% | 80.0% | 0.0% |
| 指標2 水道管路台帳の電子化 | % | ○ 単年 | 100 | 実績値 | | 72 | 72 | 72 | 75 | 100 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 72.0% | 72.0% | 75.0% | 100.0% | 0.0% |
| 指標3 下水道管路台帳の電子化 | % | ○ 単年 | 100 | 実績値 | | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 0.0% |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 4,894 千円 | 4,570 千円 | 4,158 千円 | 13,231 千円 | 16,330 千円 | 21,578 千円 |
| 事業費 | 4,894 千円 | 4,570 千円 | 4,158 千円 | 13,231 千円 | 16,330 千円 | 21,578 千円 |
| 対前年度比 | | 93.38 % | 90.98 % | 318.21 % | 123.42 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5622・5681 | 水道管情報集補正委託（水道事業） | 1,940 | 100% | ○ | | | | | | | | | 水道係 |
| 5622・5681 | 水道管情報集補正委託（簡易水道事業） | 8,841 | 100% | ○ | | | | | | | | | 水道係 |
| 5622・5671 | 下水道台帳整備 | 5,549 | 100% | ○ | | | | | | | | | 下水道係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　３　事業 | | 16,330 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 上・下水道の再整備 |
| | 主要施策 | 2 | サービスの向上 |

| 担当部・課 | 建設水道部上下水道課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 上下水道の管路情報及び下水道施設台帳の電子データについて、毎年データの更新を実施、本年度については、簡易水道区域の管路情報の整備が完了した。<br>これにより、迅速な情報提供が可能となり、情報提供のサービスの向上が図られた。 |

### 2 課題

水道料金区分の一部において、令和2年7月より改定を実施するが、今後根本的な料金改定が必要である。
料金などの支払い方法について、納入方法の多様化（クレジット決済、キャッシュレス決済等）について検討が必要である。
窓口収納業務等の外部委託について、実施の可否、方法について更なる検討が必要である。

### 3 今後の方向性

水道、下水道の技術業務については専門性が高く、業務遂行には関係法令により一定の経験年数が必要となることから、計画的な人員配置により人材育成を行い、住民サービスの低下を防ぐことが必要となる。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 水道料金営農区分において、運営委員会での議論を重ね、令和2年7月より改定実施することができた。<br>上下水道料金について、今後も財政推計を行い概ね5年毎に料金改定について検討する。<br>また、クレジット決済、スマホ決済などの支払い方法、窓口収納業務の外部委託化に向け調査研究を行っていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部上下水道課 | 担当課長氏名 | 山根　秀徳 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　10　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり | | |
| | 大　項　目 | 6 | 上・下水道の再整備 | | |
| | 主要施策 | 3 | 水道施設などの維持管理・更新・再整備 | | |
| その他関連計画等 | | 中標津町水道ビジョン | | | |
| | | 中標津町環境基本計画 | | | |
| その他関連施策 | | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | | 6 | 上・下水道の再整備 | 6 | 上・下水道の再整備 |
| | | 1 | 安全・安心な水道水の供給 | 8 | 事業経営における効率化の推進 |
| 担　当　課 | | | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 安全、安心で安定した水道水の供給のため、水道施設の耐震化・延命化を図り、適正な維持管理及び計画的な施設の更新・再整備を図る。 | 有収率や有効率の向上、維持管理費の低減と水道水の安定供給。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 有収率（実際に使用された水量／浄水場から送り出した水量） | % | ○ 単年 | 90 | 実績値 | 87.9 | 90.6 | 85.5 | 85.8 | 88.0 | 89.1 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 95.0% | 95.3% | 97.8% | 99.0% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 22,786 千円 | 21,710 千円 | 27,187 千円 | 37,267 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 地方債 | 217,500 千円 | 528,030 千円 | 491,751 千円 | 367,953 千円 | 248,800 千円 | 401,100 千円 |
| その他 | 2,694 千円 | 17,538 千円 | 12,975 千円 | 21,492 千円 | 16,274 千円 | 31,280 千円 |
| 一般財源 | 98,791 千円 | 131,991 千円 | 223,573 千円 | 392,967 千円 | 452,481 千円 | 396,612 千円 |
| 事業費 | 341,771 千円 | 699,269 千円 | 755,486 千円 | 819,679 千円 | 717,555 千円 | 828,992 千円 |
| 対前年度比 | | 204.60 % | 108.04 % | 108.50 % | 87.54 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5631・5632・5633 | 配水管整備事業（水道事業） | 72,262 | 100% | | | | ○ | | | | | | 水道係 |
| 5631・5632・5633 | 配水管整備事業（簡易水道事業） | 40,106 | 100% | ○ | | | | | | | | | 水道係 |
| 5632・5633 | 上水道導水管改修事業（水道事業） | 140,030 | 100% | | | | | | | | | ○ | 水道係 |
| 5631・5611 | 道営畑地帯総合整備事業（西竹地区） | 134,367 | 100% | ○ | | | | | | | | | 水道係 |
| 5633・5681 | メーター検定満期取替工事（水道事業） | 28,483 | 100% | ○ | | | | | | | | | 水道係 |
| 5633・5681 | メーター検定満期取替工事（簡易水道事業） | 5,206 | 100% | ○ | | | | | | | | | 水道係 |
| 5611 | 水道施設維持管理委託業務（水道事業） | 43,187 | 100% | ○ | | | | | | | | | 浄水係 |
| 5611 | 水道施設維持管理委託業務（簡易水道事業） | 55,178 | 95% | ○ | | | | | | | | | 浄水係 |
| 5631 | 中標津上水道浄水施設更新工事 | 160,016 | 100% | ○ | | | | | | | | | 浄水係 |
| 5631 | 中標津簡易水道浄水施設更新工事 | 35,310 | 95% | ○ | | | | | | | | | 浄水係 |
| 5632・5611 | 漏水調査事業（水道事業） | 3,410 | 100% | ○ | | | | | | | | | 水道係 |
| 合計　11　事業 | | 717,555 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 上・下水道の再整備 |
| | 主要施策 | 3 | 水道施設などの維持管理・更新・再整備 |

| 担当部・課 | 建設水道部上下水道課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 管路施設、浄水場施設の計画的な更新、改修により水道水の安定的な供給に寄与する。<br>管路の漏水調査を行い、有収率を1ポイント向上した。<br>計量法に基づく、水道メーターの取替を実施した。 |

### 2 課題

中標津町には5か所の浄水施設及び上水道で約180Km、簡易水道で308kmに及ぶ配水管施設があり、古くは昭和40年代に整備されたものがあり、老朽化による配水管の破損、漏水による断水などのリスクが高くなっている。

### 3 今後の方向性

日常点検や定期的な診断を行い、水道ビジョンに基づき計画的に施設の更新、改修を図る。
上水道においては、本年度から実施している漏水調査により、有収率が89.0%と1ポイント向上したが、90%を下回っており、引き続き漏水調査を行い有効率の向上を図る。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 上下水道、簡易水道配水管整備については、水道ビジョンに基づき計画的に施設更新を行っていく。<br>漏水調査を実施し、有収率が若干上昇しているが、今後も有収率の向上を図っていく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部上下水道課 | 担当課長氏名 | 山根　秀徳 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 10 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 上・下水道の再整備 |
| | 主要施策 | 4 | 水洗化率向上に向けた啓発活動の推進 |
| その他関連計画等 | | 中標津町下水道ビジョン | |
| | | 中標津町環境基本計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 生活環境の向上及び河川などの水質保全のため、水洗化を促進するため、水洗便所への改造時の町民負担軽減。 | 水洗化率の向上を図る。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 水洗化率（下水道・農集） | % | ○ 単年 | 93 | 実績値 | 89.7 | 90.2 | 90.9 | 91.9 | 92.0 | 92.3 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 97.7% | 98.8% | 98.9% | 99.2% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 1 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 0 千円 | 25 千円 |
| 事業費 | 1 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 25 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5641 | 水洗便所改造等資金貸付制度 | 0 | 52.5% | ○ | | | | | | | | | 下水道係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 0 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 上・下水道の再整備 |
| | 主要施策 | 4 | 水洗化率向上に向けた啓発活動の推進 |

| 担当部・課 | 建設水道部上下水道課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 令和元年度は貸付制度の利用者はいない。 |

### 2 課題

未水洗化の世帯は、家屋の老朽化、経済的な理由、高齢者世帯等であり、水洗化率はあまり伸びていない状況である。
汚水管の新規エリアの整備は、令和元年度　中標津処理区で5,213.66平方メートル、計根別地区で1,835.83平方メートルあるが、平成24年度で新規貸付は休止状態であり、利用が無い状況である。

### 3 今後の方向性

新規地区の汚水管整備時に貸付金制度を再開する。
水洗化のPRは継続して行う。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 未水洗化の世帯は、家屋の老朽化、経済的な理由、高齢者世帯等であり、水洗化率は見込めない状況となっている。新たな助成制度等については、既水洗化世帯と不公平となることから現制度を継続する。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部上下水道課 | 担当課長氏名 | 山根　秀徳 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　10　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 上・下水道の再整備 |
| | 主要施策 | 5 | 下水道施設の維持管理・更新・再整備 |
| その他関連計画等 | | 中標津町下水道ビジョン | 下水道施設長寿命化計画 |
| | | 中標津町環境基本計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 生活環境の向上及び河川などの水質保全のため、計画的に老朽化した施設の耐震化・更新を図り改修する。 | 有収率の向上及び維持管理費の縮減を図る。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 下水道管路カメラ調査（全体延長60Km） | Km | 単年 | 42 | 実績値 | 1.2 | 21.0 | 24.5 | 24.5 | 24.5 | 27.6 | |
| | | ○ 累計 | | 達成率 | | | 58.3% | 58.3% | 58.3% | 65.7% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 261,042 千円 | 111,856 千円 | 118,673 千円 | 104,480 千円 | 52,374 千円 | 190,370 千円 |
| 地方債 | 241,900 千円 | 92,900 千円 | 95,500 千円 | 119,200 千円 | 63,600 千円 | 165,300 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 193 千円 | 550 千円 |
| 一般財源 | 227,987 千円 | 222,155 千円 | 236,301 千円 | 227,106 千円 | 216,161 千円 | 241,073 千円 |
| 事業費 | 730,929 千円 | 426,911 千円 | 450,474 千円 | 450,786 千円 | 332,328 千円 | 597,293 千円 |
| 対前年度比 | | 58.41 % | 105.52 % | 100.07 % | 73.72 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5651 | 公共下水道社会資本整備総合交付金（下水道ストックマネジメント計画） | 6,880 | 95% | | | | ○ | | | | | | 下水道係 |
| 5651・5652 | 公共下水道社会資本整備総合交付金（終末処理場施設更新・再整備） | 86,317 | 95% | | | | ○ | | | | | | 下水道係 |
| 5651 | 公共下水道（終末処理場・管渠工事）単独事業 | 22,840 | 100% | ○ | | | | | | | | | 下水道係 |
| 5651・5652 | 下水道管路施設修繕 | 12,386 | 100% | | | | ○ | | | | | | 下水道係 |
| 5651・5652 | 下水道管渠清掃委託 | 1,124 | 100% | | | | ○ | | | | | | 下水道係 |
| 5651 | 終末処理場等維持管理委託 | 185,082 | 100% | ○ | | | | | | | | | 下水道係 |
| 5651 | 終末処理場施設等修繕 | 13,018 | 100% | | | | ○ | | | | | | 下水道係 |
| 5651 | 農業集落排水事業 | 3,719 | 100% | ○ | | | | | | | | | 下水道係 |
| 5651 | 水質測定器具更新 | 962 | 100% | ○ | | | | | | | | | 下水道係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　９　事業 | | 332,328 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 上・下水道の再整備 |
| | 主要施策 | 5 | 下水道施設の維持管理・更新・再整備 |

| 担当部・課 | 建設水道部上下水道課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 下水道管路調査については、老朽化した管路について、カメラ調査結果に基づき修繕計画、改修方法など適切な判断が可能となる。<br>処理場施設についても、老朽化した機器を順次更新、修繕を行うことで、安定したサービスの提供が図られる。 |

### 2 課題

下水道管路は、道路下に埋設され機能する施設であり、硫化水素による管路施設の腐食、劣化等による道路陥没、設備の故障等を未然に防止する必要があり、下水道ストックマネジメント計画に基づき健全な経営が出来るように努める必要がある。
終末処理場については、下水道事業の汚水の処理の根幹であり、プラント系の更新費用は膨大であることから、現在社会資本整備総合交付金において、計画的に更新を行っているが、終末処理場施設の更新費用は、高額となるものが多いが、交付金の配分が削減され要望どおりとならない。
このため、施設の更新や管路カメラ調査についても、計画どおり進んではいない。

### 3 今後の方向性

下水道ビジョン及び下水道ストックマネジメント計画に基づき、安定したサービスの提供ができるよう、計画的な施設の更新、改修を行う。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 終末処理場の施設更新の費用は高額となるため、社会資本整備総合交付金を活用しているが、交付金の配分が減少傾向にあるため、計画的に更新、改修事業を継続する。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部上下水道課 | 担当課長氏名 | 山根　秀徳 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | 10 | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 上・下水道の再整備 |
| | 主要施策 | 6 | 雨水対策の向上 |
| その他関連計画等 | | 中標津町下水道ビジョン | 都市計画マスタープラン |
| | | 中標津町環境基本計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 局地的豪雨等による住宅地等の浸水や道路冠水の被害解消のため、雨水管整備を行い住生活環境の改善を図るとともに、町民の生活と財産を守る。 | 雨水管整備により、浸水地区を解消し、浸水対策達成率の向上を図る。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

１ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 雨水管整備 | ha | 単年 | 168 | 実績値 | 157.0 | 161.0 | 163.0 | 163.0 | 163.0 | 163.0 | |
| | | ○ 累計 | | 達成率 | | | 97.0% | 97.0% | 97.0% | 97.0% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 12,479 千円 | 8,197 千円 | 千円 | 7,473 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 12,400 千円 | 8,100 千円 | 千円 | 7,400 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 80 千円 | 98 千円 | 千円 | 74 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 事業費 | 24,959 千円 | 16,395 千円 | 0 千円 | 14,947 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | 65.69 % | % | % | % | |

３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5661 | 公共下水道社会資本整備総合交付金（浸水対策） | 0 | 100% | | | | ○ | | | | | | 下水道係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 0 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 上・下水道の再整備 |
| | 主要施策 | 6 | 雨水対策の向上 |

| 担当部・課 | 建設水道部上下水道課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| C<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 雨水8号準幹線の測量調査及び実施設計については、平成30年度に実施済み<br>本工事は道が行う標津川河川改修工事と整合性を図り実施する。 |

2 課題

末広地区（西3条北8丁目付近）において、大雨時に一部浸水、冠水地区がある。
道が行う標津川河川改修事業が進んでいない。

3 今後の方向性

道が実施する標津川河川改修にあわせて、本工事を予定している。

4 施策の進め方の評価　**※部長職による評価欄**

| 担当部長氏名 | 望月正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 末広地区（西3条北8丁目付近）の雨水管整備を予定しているが、道が実施する標津川河川改修事業と整合を図る必要があり、河川改修事業の樋門施工に合わせ雨水管整備を行う。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部上下水道課 | 担当課長氏名 | 山根　秀徳 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　10　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり | | |
| | 大　項　目 | 6 | 上・下水道の再整備 | | |
| | 主要施策 | 7 | 水道・下水道の災害対応 | | |
| その他関連計画等 | | 地域防災計画 | | | |
| | | 国民保護計画 | | | |
| その他関連施策 | | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | | 6 | 上・下水道の再整備 | 6 | 上・下水道の再整備 |
| | | 2 | サービスの向上 | 8 | 事業経営における効率化の推進 |
| 担　当　課 | | | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 水道・下水道は、快適な町民生活に欠かせない安全・安心な水道水の安定供給及び、快適で衛生的な生活環境、水環境を保全する使命がある重要なライフラインであることから、水道・下水道ビジョンに基づき、事業運営を行う。 | 災害時の迅速な対応のため、水道・下水道の施設台帳の電子化の整備を行う。<br>水道・下水道とも重要なライフラインであることから、BCP計画（業務継続計画）を策定し維持に努める。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 水道管路台帳の電子化 | % | ○ 単年 | 100 | 実績値 | | 72 | 72 | 72 | 75 | 100 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 72.0% | 72.0% | 75.0% | 100.0% | 0.0% |
| 指標2 下水道管路台帳の電子化 | % | ○ 単年 | 100 | 実績値 | | 100 | 100 | 10 | 100 | 100 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 100.0% | 10.0% | 100.0% | 100.0% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 4,894 千円 | 4,570 千円 | 4,158 千円 | 13,231 千円 | 16,330 千円 | 21,578 千円 |
| 事業費 | 4,894 千円 | 4,570 千円 | 4,158 千円 | 13,231 千円 | 16,330 千円 | 21,578 千円 |
| 対前年度比 | | 93.38 % | 90.98 % | 318.21 % | 123.42 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5622・5681 | 水道管情報集補正委託（水道事業） | 1,940 | 100% | ○ | | | | | | | | | 水道係 |
| 5622・5681 | 水道管情報集補正委託（簡易水道事業） | 8,841 | 100% | ○ | | | | | | | | | 水道係 |
| 5622・5671 | 下水道台帳整備 | 5,549 | 100% | ○ | | | | | | | | | 下水道係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　３　事業 | | 16,330 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 上・下水道の再整備 |
| | 主要施策 | 7 | 水道・下水道の災害対応 |

| 担当部・課 | 建設水道部上下水道課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 上下水道の管路情報及び下水道施設台帳の電子データについて、毎年データの更新を実施、本年度については、簡易水道区域の管路情報の整備が完了した。<br>これにより、迅速な情報提供が可能となり、情報提供のサービスの向上が図られた。<br>年明けからの新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大に伴い、BCP（業務継続計画）に新型インフルエンザ等対策編・対応マニュアル編）を追加策定した。 |

### 2 課題

BCP計画については、役場全体の計画と整合性をとる必要がある。また、管轄する厚生労働省、国土交通省より見直しが求められることから、適時改定する必要がある。
今回策定した新型インフルエンザ等対策編・対応マニュアル編についても、実行時に不都合な部分も見られたことから、内容の見直しと各事業で策定しているBCP計画との統合が必要となる。

### 3 今後の方向性

災害時においても、サービスの提供が継続できるよう、訓練（机上訓練を含む）とBCP計画の見直しが必要となる。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 水道管路、下水道管路の電子化については、令和元年度で100%達成した。<br>令和2年2月からの新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大に伴い、BCP（業務継続計画）に新型インフルエンザ等対策編・対応マニュアル編）を追加策定し対応することができた。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 建設水道部上下水道課 | 担当課長氏名 | 山根　秀徳 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　10　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 6 | 上・下水道の再整備 |
| | 主要施策 | 8 | 事業経営における効率化の推進 |
| その他関連計画等 | | 中標津町水道ビジョン | |
| | | 中標津町下水道ビジョン | |
| その他関連施策 | | 1 | 参画と協働で未来を築くまちづくり |
| | | 6 | 計画的な行政経営の推進 |
| | | 2 | 健全な財政運営の推進 |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 自主性を高め、効率的・効果的に健全な行政経営を行うため、自主財源の安定的確保及び将来世代に過度の負担を残さない健全な財政運営を行う。<br>自主財源である料金・使用料確保により柔軟に対応できる経営体制づくりを図る。<br>下水道事業・簡易水道事業の公営企業会計適用を図り、経営の透明性、適正な料金の設定など、会計の健全財政の推進を図る。 | 応益の原則に基づいた受益者負担の公平性の観点から、使用料などの徴収率の向上と負担額の見直しを行い、自主財源の安定的確保を図る。経済性・企業性を発揮し、使用料などの改正を含めた収入の確保に努め、独立採算の原則に基づき、公営企業の健全経営を図る。<br>下水道事業、簡易水道事業の公営企業会計適用拡大の検討を行い、経営の透明性、適正な料金設定など会計の健全財政の推進を図る。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

１ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 39,400 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 468 千円 | 285 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 468 千円 | 39,685 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1624・5681 | 水道料金改定 | 343 | 100% | | ○ | | | | | | | | 業務係 |
| 1625・5682 | 地方公営企業法の適用化 | 125 | 97.5% | ○ | | | | | | | | | 業務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　2　事業 | | 468 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 6 | 上・下水道の再整備 |
| | 主要施策 | 8 | 事業経営における効率化の推進 |

| 担当部・課 | 建設水道部上下水道課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 上下水道運営委員会及び簡易水道運営委員会を開催し、料金の改定について審議いただいた。<br>答申に基づき、水道料金、営農用区分の超過料金について、令和2年7月と令和3年4月の2段階で料金の改定を行った。これにより、令和2年度での収入は水道事業会計では、3,286千円、簡易水道会計では27,389千円の増収が図られる見込みとなった。<br>公営企業会計適用拡大に向け調査研究を行い、令和2年度からの移行作業に向け予算計上を行った。 |

### 2 課題

下水道事業及び簡易水道事業については、令和4年度末までに公営企業会計への移行が求められており、移行作業として、固定資産台帳の整備の業務量が莫大であるが、令和5年度の公営企業会計移行に向け、着実に事務を進める必要がある。
下水道事業、簡易水道事業の公営企業会計移行については、令和2年度より委託業務により実施するが、移行作業が終了するまで、それぞれの会計において一貫して業務を担当する職員が必要となる。
施設の老朽化等に伴う維持費等の増加、受益人口の減少や需要量の減少に伴う、費用負担（料金）の見直しと財源確保。
料金等の債権管理についても、水道料金（使用料）と下水道使用料では対応する法令が異なる。また、今般の民法改正により管理が複雑となることから、適切に管理するとともに、納期限内納付を推奨し、滞納額の縮減に向け対応する必要がある。
料金の滞納管理について、民法の改正により個別管理の対応が求められる。

### 3 今後の方向性

令和5年度から下水道事業、簡易水道事業の公営企業会計適用に向け、令和2年度より着手する。
上下水道料金について、今後人口の減少、老朽化に伴う施設の更新・維持管理費の増加が想定されており、安定的な経営に向け、今後概ね5年毎に料金改定を検討する。
滞納整理についても、債権管理のルールに基づき、粛々と行う必要がある。

### 4 施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 望月正人 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 令和元年度に上水道・簡易水道運営委員会で議論を重ね、営農用区分の水道料金について、令和2年7月に料金改定することができた。 上下水道料金について、今後の方向性のとおり、概ね5年毎に料金改定を検討する。<br>法適用については、令和5年度から下水道事業、簡易水道事業の公営企業会計適用に向け、令和2年度より着手している。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 7 | 衛生施設の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 白樺斎場（火葬場）の管理運営 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 高齢者の人口が増加し、斎場の利用頻度も増加する中、白樺斎場と別海斎場を葬斎組合により運営し、効率的な利用を促進する。 | 適切な施設管理・運営により効果的な利用の促進を図り、負担金の抑制に努める。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 白樺斎場増改築工事 | | 単年 | | 実績値 | － | 整備済 | 整備済 | 整備済 | 整備済 | 整備済 | |
| | ○ | 累計 | | 達成率 | | | － | － | － | － | |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 22,287 千円 | 31,525 千円 | 44,660 千円 | 46,760 千円 | 43,229 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 22,287 千円 | 31,525 千円 | 44,660 千円 | 46,760 千円 | 43,229 千円 |
| 対前年度比 | | % | 141.45 % | 141.67 % | 104.70 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5711 | 中標津町外2町葬斎組合負担金 | 46,760 | 90% | ○ | | | | | | | | | 環境衛生係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 46,760 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 7 | 衛生施設の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 白樺斎場（火葬場）の管理運営 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 白樺斎場建設後アンケート調査をした結果、殆どの利用者が満足している結果となった。<br>斎場管理人の対応も親切丁寧と評価を受けており、引き続き現状の運営管理を推進する。 |

2 課題

近年、残骨灰の対応が全国的に問題化しており、本斎場も例外ではなく適切な対応が求められる。

3 今後の方向性

今後も広域的な運用、利用者の気持ちに配慮した施設運営を継続し、効果的な利用の促進を図り負担金の抑制に努める。

4 施策の進め方の評価　**※部長職による評価欄**

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 今後の方向性のとおり推進していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 | 担当課長氏名 | 田中　道行 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大　項　目 | 7 | 衛生施設の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 中標津第2墓地の整備 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 墓石を管理する人の高齢化等により墓終いをする人が増えている。<br>また墓石の新規許可件数も減少傾向にあるため永代供養できる合葬墓を建設する。。 | 墓石を管理できなくなった人に代わり、町で合葬墓を建設することにより、お骨を永代管理する。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 第2墓地造成 | 区画数 | 単年 | 510 | 実績値 | 360 | 360 | 360 | 360 | 360 | 360 | |
| | | ○ 累計 | | 達成率 | | | 70.6% | 70.6% | 70.6% | 70.6% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 5721 | 中標津第2墓地整備工事（合葬墓の建設） | 0 | 77.5% | | | | ○ | | | | | | 環境衛生係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 0 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 5 | 安全・安心で快適なまちづくり |
| | 大 項 目 | 7 | 衛生施設の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 中標津第2墓地の整備 |

| 担当部・課 | 町民生活部生活課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 平成28年3月に町民アンケートを実施し合葬墓の建設を検討 |

### 2 課題

負担金設定金額、利用者の制限、生前予約、供養祭の有無等検討が必要である。

### 3 今後の方向性

議会及び関係機関（墓石会社、葬儀社、お寺等）と協議し、早急に合葬墓原案を作成する。原案内容により、設計・工事着工までのスケジュールを構築する。
第2墓地の整備拡張については現段階では行わない。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 高松　絵里子 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 今後の方向性のとおり推進していく。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**二次評価のとおり**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会学校教育課 | 担当課長氏名 | 吉田　憲史 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 幼児教育の充実 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 幼児期における教育は、家庭との連携を図りながら、生涯にわたる人間形成の基礎を培うために大切なものである。生きる力の基礎を育成するよう学校教育法第23条に規定する幼稚園教育の目標の達成に努める。 | 公立幼稚園である計根別幼稚園の運営により、地域の幼児教育の向上に努める。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 1,054 千円 | 1,092 千円 | 926 千円 | 740 千円 | 1,600 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 3,357 千円 | 3,750 千円 | 3,245 千円 | 2,930 千円 | 1,059 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 4,015 千円 | 7,954 千円 | 7,617 千円 | 7,760 千円 | 5,006 千円 | 千円 |
| 事業費 | 8,426 千円 | 12,796 千円 | 11,788 千円 | 11,430 千円 | 7,665 千円 | 10,879 千円 |
| 対前年度比 | | 151.86 ％ | 92.12 ％ | 96.96 ％ | | 141.93 ％ |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事　務　事　業　名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担　当　係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6111 | 計根別幼稚園運営管理 | 7,665 | 92.5% | | | | | | ○ | | | | 学務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　１　事業 | | 7,665 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 1 | 幼児教育の充実 |

| 担当部・課 | 教育委員会学校教育課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 計根別幼稚園への入園を希望する幼児を全て受け入れることができ、入園率は100%となった。 |

### 2　課題

校長経験者の会計年度任用職員を園長職に採用しているが、職員監督業務などの一部業務を遂行できない状況があり、より安定した運営体制を整えるためには、園長職への正規職員配置が必要がある。

### 3　今後の方向性

計根別地区唯一の幼稚園として、就学前の子どもたちの教育を確保し、義務教育及びその後の教育の基礎を培うためにも、幼稚園教育の充実を図り、安定した運営の継続が必要である。
また、満3歳児受入及び預かり保育時間延長に向けた体制を整え、計根別地域の実情やニーズに対応した運営を目指す。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A：このまま進めてよい」と評価する。<br><br>〇全私立幼稚園が幼稚園型認定こども園へ移行するとともに、満3歳児の受入を実施している。<br>〇計根別地域から満3歳児の受入と預かり保育の時間延長等の要望に対し、令和2年度から体制を整え実施することとした。（令和2年10月スタート予定） |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会学校教育課 | 担当課長氏名 | 吉田　憲史 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 社会で活きる確かな学力の育成 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 次世代を担う子どもたちが、社会を形成する上で必要な基礎・基本を身に付け成長していけるよう「生きる力」を育み、人としての幸福感を実感できる教育を推進する。 | 子どもたちの学ぶ意欲を高め、望ましい学習習慣の定着を通じた確かな学力の向上を図る。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標１ 学校の授業時間以外に普段（月～金）１日当たり30分以上勉強している児童の率 | % | ○ 単年 | 90.0 | 実績値 | 67.7 | 77.4 | 86.5 | 88.8 | 87.4 | 83.8 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 96.1% | 98.7% | 97.1% | 93.1% | 0.0% |
| 指標２ 学校の授業時間以外に普段（月～金）１日当たり１時間以上勉強している生徒の率 | % | ○ 単年 | 80.0 | 実績値 | 47.3 | 35.3 | 43.6 | 42.9 | 45.8 | 66.5 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 54.5% | 53.6% | 57.3% | 83.1% | 0.0% |
| 指標３ 児童・生徒が適切な環境の下で学習していると感じる町民の割合（町民アンケート） | % | ○ 単年 | 75.0 | 実績値 | － | 60.8 | 68.5 | 60.0 | 61.1 | － | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 91.3% | 80.0% | 81.5% | | 0.0% |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 441 千円 | 950 千円 | 1,414 千円 | 753 千円 | 687 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 446 千円 | 425 千円 | 404 千円 | 575 千円 | 705 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 138,929 千円 | 143,574 千円 | 152,784 千円 | 160,892 千円 | 167,157 千円 | 千円 |
| 事業費 | 139,816 千円 | 144,949 千円 | 154,602 千円 | 162,220 千円 | 168,549 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | 103.67 % | 106.66 % | 104.93 % | | % |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6121 | スクールバス運行経費 | 109,307 | 90.0% | ○ | | | | | | | | | 学校教育係 |
| 6121 | 教育振興車両運行経費 | 10,216 | 85.0% | ○ | | | | | | | | | 学校教育係 |
| 6121・6143 | 退職教員等外部人材活用事業 | 0 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 学校教育係 |
| 6121・6126 | 小中一貫教育推進事業 | 30 | 87.5% | ○ | | | | | | | | | 学校教育係 |
| 6122 | 特別支援教育支援員配置 | 23,238 | 82.5% | | | | ○ | | | | | | 学校教育係 |
| 6123・6222 | キャリア教育推進経費 | 58 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 学校教育係 |
| 6124 | 語学指導等外国青年招致事業 | 11,418 | 95.0% | ○ | | | | | | | | | 学校教育係 |
| 6121 | 学力向上推進 | 1,628 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 学校教育係 |
| 6121・6141 | 教育指導主事配置経費 | 12,654 | 95.0% | ○ | | | | | | | | | 学校教育係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　９　事業 | | 168,549 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 2 | 社会で活きる確かな学力の育成 |

| 担当部・課 | 教育委員会学校教育課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | スクールバス運行及び教育振興車両運行については、バスの確保により通学の確保と教育の振興が図られている。また、退職教員等外部人材活用事業では、習熟度別少人数指導やティームティーチングなど7名の講師指導により、児童生徒の学力意欲の向上が図られている。<br>小中一貫教育推進事業は、町内全小中学校への導入を目指し、教育力向上推進員会・教職員研修会を開催するなど、着実な歩みを進めている。<br>特別支援教育支援員配置は、安全安心でより充実した学校生活を送れるよう、中標津市街地5校に15名を配置し、一人年間200日の勤務により、学校生活上の介助と学習指導上の支援を行っている。<br>キャリア教育推進事業は、なかしべつ青少年体験活動サポートシステム（NYESS）と連携し、職業体験や職業講和の開催で生徒数延べ318人が参加している。 |

### 2　課題

スクールバスの運行は、委託会社のバス車両と運転手の不足から現状の路線数が限界の状況であり、新たな対応策の検討を行う必要がある。
家庭学習の定着化が図られていない影響もあり、全国学力テスト（平成31年4月実施）の結果では、小学校、中学校とも全国平均及び全道平均より低い正答率である。

### 3　今後の方向性

スクールバスの運行は、学校の統廃合に伴い、児童生徒の通学手段を確保する前提で進められたが、委託会社としての現状維持が困難になりつつある。現在利用している生徒児童の保護者の協力と理解を得られる新たな対応策の検討を進める。
教育振興車両運行経費については、学校要望全てにバス車両の確保が難しい状況にあるが、学校要望に応えられるよう町内外業者と学校事業スケジュールの事前調整を図るなどの対応を行っていく。
退職教員等外部人材活用事業については、道の派遣人数が削減された場合、学校の派遣要望によっては町費での配置が必要となる。
小中一貫教育推進事業については、全小中学校において一貫教育を推進するため、各種研修会を実施し、情報共有を図りながら確実に進めていく。
特別支援教育支援員配置については、近年、支援を必要とする児童生徒数の増など、支援員の増員ニーズが多くなっており、今後も人員確保に努める。
キャリア教育推進事業は、全道的にも類をみないボランティア団体（NYESS）による職業体験の受入事業所の確保と生徒の調整を行っており、長年の活動で学校からのニーズも高いことから、今後も引き続き事業を実施していく。
語学指導等外国青年招致事業については、外国語教育の充実と、地域レベルの国際交流の進展を図るため、今後も継続して招致する。また、小学校での外国語活動拡充に対応するため、2名体制を維持する。
学力向上推進については、標準学力調査（CRT）を平成30年度以降、全校統一した日で実施する。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A：このまま進めてよい」と評価する。<br><br>○特別支援教育支援員配置については、支援を必要とする児童数の増と支援の必要度合いの増に伴い、支援員の増員ニーズが高まっている。安全な学校運営に必要不可欠な事業となっている。（事業規模拡充）<br>○平成30年度から教育指導主事を配置した効果は、小中一貫教育を本格稼働させる準備と令和2年度からの各学校との調整推進に的確な指導を行っている。また、新型コロナウイルス感染症対策において、学校の実態把握と児童生徒の目線で考え協議するなど、教育現場と行政がかみ合った対応ができた。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会学校教育課 | 担当課長氏名 | 吉田　憲史 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 3 | 豊かな心と健やかな体の育成 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 健全な心身発達の低下に起因する問題行動や体力・運動能力の低下などが見られることから、人との関わりが結べる社会性の育成や、基本的な生活習慣の確立による健康な心身の育成を図る。 | 発達段階に応じ、規範意識や基本的な倫理観を身に付けさせるとともに、思いやりの心や感動する心など、豊かな心の醸成を図る。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | － | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 1,014 千円 | 1,011 千円 | 777 千円 | 795 千円 | 969 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 748 千円 | 749 千円 | 503 千円 | 430 千円 | 515 千円 | 千円 |
| 事業費 | 1,762 千円 | 1,760 千円 | 1,280 千円 | 1,225 千円 | 1,484 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | 99.89 % | 72.73 % | 95.70 % | | % |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6132 | スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業 | 759 | 90.0% | ○ | | | | | | | | | 学校教育係 |
| 6132 | スクールカウンセラー（SC）活用事業 | 218 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 学校教育係 |
| 6133 | 小・中学校体育活動補助 | 70 | 87.5% | ○ | | | | | | | | | 学校教育係 |
| 6134 | 中標津町食育推進事業 | 375 | 95.0% | ○ | | | | | | | | | 学校教育係 |
| 6136 | 地域ぐるみの学校安全体制整備（スクールガード）推進事業 | 62 | 85.0% | ○ | | | | | | | | | 学校教育係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　５　事業 | | 1,484 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 3 | 豊かな心と健やかな体の育成 |

| 担当部・課 | 教育委員会学校教育課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置により、児童生徒や保護者の悩みを受けとめ、学校におけるカウンセリング機能の向上や教育相談の充実が図られた。<br>小・中学校体育活動補助の支出により、児童生徒が体育活動を通して心身ともに健全に成長し、技能及び体力の向上が図られた。<br>中標津町食育推進事業については、地元食材への興味が深まり、収穫した野菜を使った給食では、残渣が非常に少なくなった。<br>地域ぐるみの学校安全体制整備（スクールガード）推進事業については、スクールガードリーダーによる学校への指導助言により、児童生徒の登下校時や学校管理下における事件・事故の防止が図られた。 |

### 2　課題

スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置については、道の予算額の減少により、活動時間が減少している。

### 3　今後の方向性

スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業、スクールカウンセラー（SC）活用事業、地域ぐるみの学校安全体制整備（スクールガード）推進事業については、道の補助、委託事業により実施しており、事業の成果が見られるため、今後も道の事業を活用しながら継続する。
小・中学校体育活動補助金については、各種大会への参加により、児童生徒の運動能力及び体力向上に役立っており、今後も補助を継続する。
中標津町食育推進事業については、地場産の野菜に興味を持ち、地産地消、食育の学習に多大な効果があることから、今後も全校で実施する。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A：このまま進めてよい」と評価する。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会学校教育課 | 担当課長氏名 | 吉田　憲史 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 4 | 信頼される学校づくりの推進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 開かれた学校づくりへの取組が求められていることから、地域の人材活用や連携協力により地域全体で学校を支援する体制を構築する。 | 学校、保護者、地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させ、一緒に協働しながら子どもたちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標１ | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標２ | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標３ | 単年 | | 実績値 | － | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 160 千円 | 61 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 976 千円 | 373 千円 | 226 千円 | 1,224 千円 | 254 千円 | 千円 |
| 事業費 | 1,136 千円 | 434 千円 | 226 千円 | 1,224 千円 | 254 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | 38.20 % | 52.07 % | 541.59 % | | % |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6141 | 教育活動奨励報償金（小・中） | 250 | 85.0% | ○ | | | | | ○ | | | | 学校教育係 |
| 6142 | 学校評議員設置 | 4 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 学校教育係 |
| 6121・6143 | 退職教員等外部人材活用事業 | 0 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 学校教育係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　３　事業 | | 254 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 4 | 信頼される学校づくりの推進 |

| 担当部・課 | 教育委員会学校教育課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 教育活動奨励報償金の支出により、研究実践校である東小、丸小、中中、広陵4校において課題から研究テーマを設定し、校内の教員間で指導・評価を行い課題の改善が図られ、教育力が向上した。<br>学校評議員設置については、地域や保護者の意見が学校運営に反映され、学校、地域、保護者が一体となった「地域とともにある学校づくり」が推進された。<br>退職教員等外部人材活用事業については、習熟度別少人数指導やティームティーチングなど7名の講師指導により、児童生徒の学力意欲の向上が図られている。 |

### 2 課題

教育活動奨励報償金の支出により、研究実践校での授業改善や教育力の向上が図られているので、この成果を学校間連携や小中連携事業へと発展させる取組が必要である。

### 3 今後の方向性

教育活動奨励報償金については、教職員の研修研究体制の充実が今後も必要であることから、継続して実施していきたい。今後は、研究実践校での研究成果を町内全ての学校の教育力となるよう、学校間連携事業などの取組を推進する。
学校評議員設置については、コミュニティ・スクールへの移行により制度の見直し、改善を進める。また、地域学校協働本部（生涯学習課で進めている事業）との連携により、学校支援の効果的かつ効率的に推進していく。
退職教員等外部人材活用事業については、道の派遣人数が削減された場合、学校の派遣要望によっては町費での配置が必要となる。

### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村 実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A：このまま進めてよい」と評価する。<br><br>○退職教員等外部人材活用事業は、学力向上対策の観点から、北海道の派遣人数の削減分を町費で配置すべきとの方向性をもっている。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 | 担当課長氏名 | 山宮　克彦 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | １ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化をはぐくむまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 4 | 信頼される学校づくりの推進 |
| その他関連計画等 | | 中標津町生涯学習推進計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 地域全体で学校教育を支援するため。 | 学校現場でこの事業が活用されることで、教員の負担軽減となり学校教育活動が向上すること。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 学校支援ボランティアの登録者数 | 人 | ○ 単年 | 35 | 実績値 | 22 | 29 | 15 | 15 | 15 | 20 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 42.9% | 42.9% | 42.9% | 57.1% | 0.0% |
| 指標2 学校支援ボランティアの利用回数 | 回／年 | ○ 単年 | 60 | 実績値 | 41 | 40 | 44 | 40 | 40 | 31 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 73.3% | 66.7% | 66.7% | 51.7% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 21 千円 | 20 千円 | 14 千円 | 13 千円 | 7 千円 | 18 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 11 千円 | 13 千円 | 7 千円 | 7 千円 | 9 千円 | 9 千円 |
| 事業費 | 32 千円 | 33 千円 | 21 千円 | 20 千円 | 16 千円 | 27 千円 |
| 対前年度比 | | 103.13 % | 63.64 % | 95.24 % | 80.00 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6143 | 学校支援地域本部事業 | 16 | 77.5% | | ○ | | | | | | | | 社会教育係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 16 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化をはぐくむまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 4 | 信頼される学校づくりの推進 |

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 令和2年4月から、これまで実施していた「学校支援地域本部事業」を「地域学校協働本部」へ移行し稼働させるため、各学校へのアンケート調査の実施やコーディネーターの人選検討、設立準備会の開催、校長会での説明、設置要綱の整備を行った。 |

### 2 課題

当該事業については、
①学校支援ボランティアの登録者数の増
②学校支援ボランティアの活用促進
が挙げられるが、地域学校協働本部への移行にあたっては、各教育関係者や地域団体との合意形成や学校からの多様なニーズに対応できるシステム作りが求められ、その構築の際には各所に対して丁寧な説明が必要となる。
また、各学校と団体をつなぐための地域学校推進員（地域コーディネーター）の設置が不可欠であるため、そこにかかる謝金や、学校支援ボランティアの増加に伴う保険料の財政的措置が必要となる。

### 3 今後の方向性

令和2年4月から本部設立を目指していたが、人材確保及び当該組織の認知度や理解度を深めるための準備不足により、令和3年度からの設立へとした。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。<br><br>〇学校と地域が連携し、地域とともに学校づくりを進めようとしている中、各学校において学校の応援団的存在のコミュニティスクール（CS）を組織し活動を推進している。<br>〇当該事業は各学校のCS活動の情報共有を図るハブ機能と学校ニーズへのボランティアの活用促進を目的としている。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会管理課 | 担当課長氏名 | 舟橋　利明 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 5 | 学校施設の整備・充実 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 児童生徒が安全で安心な学校生活を送ることができるよう、学校施設の整備・充実を図る。<br>また、教員住宅の在り方に関する基本方針の策定により、適正な施設管理を行う。 | 老朽化した施設の更新、改修により、児童生徒が楽しく安全に学校生活を送ることができる。<br>また、老朽化した教職員住宅の解体撤去は、公共施設の適正管理、保安が図られる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

１ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 141,228 千円 | 4,564 千円 | 24,204 千円 | 3,500 千円 | 540 千円 | 千円 |
| 地方債 | 286,200 千円 | 126,000 千円 | 19,300 千円 | 32,400 千円 | 88,800 千円 | 67,500 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 13,507 千円 | 16,148 千円 |
| 一般財源 | 77,159 千円 | 5,278 千円 | 9,887 千円 | 7,475 千円 | 10,170 千円 | 3,819 千円 |
| 事業費 | 504,587 千円 | 135,842 千円 | 53,391 千円 | 43,375 千円 | 113,017 千円 | 87,467 千円 |
| 対前年度比 | | 26.92 % | 39.30 % | 81.24 % | 260.56 % | |

３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6151 | 学校遊具整備事業 | 1,080 | 97.5% | | | | | | | | | ○ | 学校施設係 |
| 6151 | 広陵中学校長寿命化改修事業 | 16,367 | 90% | ○ | | | | | | | | | 学校施設係 |
| 6151 | 教職員住宅解体事業 | 31,808 | 97.5% | ○ | | | | | | | | | 学校施設係 |
| 6151 | 旧養老牛小学校解体事業 | 63,762 | 100% | | | | | | | | | ○ | 学校施設係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　4　事業 | | 113,017 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 5 | 学校施設の整備・充実 |

| 担当部・課 | 教育委員会管理課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br><br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 旧養老牛小学校解体事業については、養老牛小学校の解体により事業終了した。<br>平成27年度から小学校の遊具整備を順次進めており、令和元年度は、計根別幼稚園の既存大型4連ブランコ1基を撤去し、幼児に適した小型4連ブランコ1基を新設したことにより、園児が楽しく安全に幼稚園生活を送ることができた。この整備で町内学校・幼稚園の遊具整備は終了した。<br>教育環境改善のため、広陵中学校施設の全面改修に向けた基本設計、地形測量を行った。<br>中標津町教職員住宅の在り方に関する基本方針に基づき、老朽化した教職員住宅21棟を解体撤去した。 |

### 2 課題

昭和53年に開校した広陵中学校（築41年）の改修計画が進みだしたが、次は、昭和57年に開校した丸山小学校（築37年）でも、全体的に劣化が進み、老朽化が著しく、教育環境の質的向上を図る必要があるため、大規模改修を考えなければならない。ただし、児童数の推移から中標津小学校と丸山小学校の統合も視野に入れた検討が必要である。

### 3 今後の方向性

令和元年度から、広陵中学校において、国の長寿命化改良事業を活用した大規模改修に着手し、生徒が安全で安心な学校生活を送ることができるよう、学校施設を整備する。
中標津町教職員住宅の在り方に関する基本方針に基づき、老朽化した教職員住宅を計画的に解体撤去する。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br><br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会学校教育課 | 担当課長氏名 | 吉田　憲史 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 5 | 学校施設の整備・充実 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 教育用コンピューターの整備により、情報通信技術を活用した教育の充実を図る。また、校務用コンピューターの整備により、教職員の事務の効率化を図る。 | 教育用コンピューターにおいては、次世代を担う子どもたちに、高度情報化社会に対応できる力や、情報を主体的に取捨選択し、活用・発信する能力を身につけさせる。また、校務用コンピューターにおいては、教員の事務負担軽減のため、校務の効率化に加え、情報の共有化を図る。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 教育用コンピューター1台あたりの児童生徒数 | 人/台 | ○ | 単年 | 3.6 | 実績値 | 5.8 | 8.8 | 8.9 | 8.6 | 8.3 | 8.2 | |
| | | | 累計 | | 達成率 | | | 40.4% | 41.9% | 43.4% | 43.9% | 0.0% |
| 指標2 学校の超高速・高速インターネット接続率 | % | ○ | 単年 | 100.0 | 実績値 | 53.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | |
| | | | 累計 | | 達成率 | | | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 0.0% |
| 指標3 学校における教育用コンピューターの活用時数 | 時間 | ○ | 単年 | 小低学年10<br>小中学年15<br>小高学年25<br>中学生35 | 実績値 | ― | 小低5<br>小中10<br>小高20<br>中学30 | 小低5<br>小中10<br>小高20<br>中学30 | 小低5<br>小中10<br>小高20<br>中学30 | 小低5<br>小中10<br>小高20<br>中学30 | 小低5<br>小中10<br>小高20<br>中学30 | |
| | | | 累計 | | 達成率 | | | 小低50.0%<br>小中66.7%<br>小高80.0%<br>中学85.7% | 小低50.0%<br>小中66.7%<br>小高80.0%<br>中学85.7% | 小低50.0%<br>小中66.7%<br>小高80.0%<br>中学85.7% | 小低50.0%<br>小中66.7%<br>小高80.0%<br>中学85.7% | |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 31,925 千円 | 40,309 千円 | 57,502 千円 | 57,502 千円 | 59,386 千円 | 千円 |
| 事業費 | 31,925 千円 | 40,309 千円 | 57,502 千円 | 57,502 千円 | 59,386 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | 126.26 % | 142.65 % | 100.00 % | | % |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6153 | 教育用コンピューター整備事業（小・中） | 38,753 | 87.5% | | | | | | ○ | | | | 学務係 |
| 6153 | 校務用コンピューター整備事業（小・中） | 20,633 | 90.0% | ○ | | | | | | | | | 学務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　２　事業 | | 59,386 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 5 | 学校施設の整備・充実 |

| 担当部・課 | 教育委員会学校教育課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 教育用コンピューターについては、令和元年度に2中学校、計根別学園、平成27年度に5小学校の整備により、児童生徒の情報技術を使いこなす能力、情報を読み解き活用する能力である情報リテラシーが醸成された。 |

### 2 課題

教育用コンピューターについては、国が掲げるGIGAスクール構想実現に向けて、児童生徒全員にタブレット端末を導入し、それに耐えうる校内LAN環境を整備する必要がある。
また、これまで整備してきたコンピューター教室の端末の在り方を再考する必要がある。

### 3 今後の方向性

GIGAスクール構想に係る国庫補助等を活用し、児童生徒1人1台端末の実現に向けた整備を進める。
また、校務用コンピューターについても、計画的に更新したい。

### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村 実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A：このまま進めてよい」と評価する。<br><br>〇教育用パソコンについては、教職員全てが授業経過を把握可能となるよう同一ソフト導入を前提としている。プログラミング教育、発表資料の作成、各学習の記録などが可能な授業管理支援ソフト（sky）と故障等による授業停滞にならないよう保守も含まれたソフト内容となっている。<br>〇令和2年度には、GIGAスクール構想による児童生徒一人一台のタブレット端末とネットワーク環境のハード整備に着手する。（令和2年度整備完了予定） |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会・中標津農業高等学校 | 担当課長氏名 | 吉川　裕二 | 調書作成日 | 令和元年 7 月 12 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 5 | 学校施設の整備・充実 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 昭和44年建築の現体育館は築47年経過しており、老朽化による危険度と耐寒に窮している。安全な学校運営の確保を図る上からも早期全面改築が必要である。 | 老朽化した体育館の計画的な整備を図る。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 12,800 千円 | 100,000 千円 | 80,800 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 13,900 千円 | 101,500 千円 | 268,000 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 2,525 千円 | 350 千円 | 1,353 千円 |
| 事業費 | 千円 | 千円 | 千円 | 29,225 千円 | 201,850 千円 | 350,153 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | 690.68 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6153 | 中標津農業高等学校体育館改築事業 | 201,850 | 100% | ○ | | | | | | | | | 事務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 201,850 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 5 | 学校施設の整備・充実 |

| 担当部・課 | 教育委員会・中標津農業高等学校 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 老朽化した体育館の改築工事を行った。 |

### 2 課題

既存体育館を使用したまま、新たな体育館改築に着手が可能であるが、体育館改築に2ヶ年を要し、2ヶ年目に校舎と体育館を結ぶ渡り廊下の建設となる。このため、渡り廊下が完成するまでの間、新たな体育館使用に際し一旦外に出なければならない。

### 3 今後の方向性

道の地域づくり総合交付金制度に、町立高校の施設改修が補助対象となったことから、築49年を経過し老朽化が著しい体育館の改築に着手することができた。実施設計にあたっては、農業高校としての特色を活かすことをコンセプトに、スポーツ系および文化系の両面から検討を重ねた。

スポーツ系は、体育授業と部活動に必要な規模を最小限に抑えながら、近年全国大会に連続出場している農業高校の魅力の一つである農業クラブ活動や農高太鼓などの文化系が使用するステージの規模も重要視し、双方の要望が叶えられた設計となった。

完成後の活用について、体育授業、部活動、さらに農業クラブ活動、農高太鼓など、多くの活動で活用していきたい。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、事務長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会・学校給食センター | 担当課長氏名 | 吉田　利彦 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　13　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 6 | 学校給食の充実 |
| その他関連計画等 | | 中標津町食育推進計画 | |
| その他関連施策 | | 中標津町地産地消推進事業 | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 安全・安心な学校給食のため | 心身の発育期にある児童・生徒等にバランスの取れた給食を提供し、健康の推進を図る。<br>給食費の徴収については、受益者負担の原則と公平性の観点から対応策を検討し、徴収率の向上を図る。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 給食費の徴収率 | % 単年 | 96.00% | 実績値 | 91.40% | 94.57% | 94.59% | 94.80% | 95.53% | 94.86% | |
| | % 累計 | | 達成率 | | | 98.5% | 98.8% | 99.5% | 98.8% | 0.0% |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 131,845 千円 | 131,223 千円 | 127,089 千円 | 133,632 千円 | 123,063 千円 | 132,515 千円 |
| 一般財源 | 35,595 千円 | 30,350 千円 | 30,294 千円 | 30,270 千円 | 30,550 千円 | 30,902 千円 |
| 事業費 | 167,440 千円 | 161,573 千円 | 157,383 千円 | 163,902 千円 | 153,613 千円 | 163,417 千円 |
| 対前年度比 | | 96.50 % | 97.41 % | 104.14 % | 93.72 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6161 | 学校給食センター施設及び機器の更新 | 1,641 | 90% | ○ | | | | | | | | | 給食係 |
| 6162 | 学校給食の充実 | 151,872 | 90% | ○ | | | | | | | | | 給食係 |
| 6163 | 地場産物の活用（地産地消の推進） | 100 | 90% | ○ | | | | | | | | | 給食係 |
| 6164 | 学校給食センター管理運営（給食費の未納対策） | 0 | 90% | ○ | | | | | | | | | 給食係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 4 事業 | | 153,613 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 6 | 学校給食の充実 |

| 担当部・課 | 教育委員会・学校給食センター |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・令和元年度の施設修繕・機器更新については、大きな故障等はなかったが、ボイラー設備修理等を行い、継続的に進めている。<br>・学校給食の充実では、新型コロナウィルスの影響により2月27日から3月23日まで学校が臨時休業し、給食の供給も休止したが、年間を通しては、学校給食担当者会議により学校現場の声を聴き、適切な給食の供給を行うことができた。<br>・給食費の未納対策としては、平成27年度から生活保護費の代理納付や就学援助制度の周知、さらには児童手当からの充当を行うことにより、徴収率の向上に努めた。結果的には、昨年度より徴収率が減少したが、引き続き取り組んでいく。 |

### 2 課題

・施設の老朽化により、突発的な修繕等が多く、計画的な修繕は財政的に難しい状況である。施設建設後36年が経過しており、現在の衛生基準に適合しない箇所もあることから、今後、建て替えを含めた検討が必要である。
・給食費の滞納整理については、一部の保護者の滞納が慢性化しており、文書や戸別訪問を行っているが、更なる対応策が必要である。また、農業高校の給食供給については、平成30年12月から始めた町独自施策であるため、給食費の未納がないように取り組んできたが、結果的に滞納が発生した。令和2年度からはそのようなことがないように、未納対策を重視して進めていく。

### 3 今後の方向性

・衛星安全基準に適合する施設の改修または建て替えを検討する必要がある。本来、調理室と洗浄室は間仕切りで区分けしなければいけないが一体的なスペースになっており、作業時間を分けることで保健所の了承をとっている。また、令和2年度から調理員は会計年度任用職員となったが、建て替え時には、調理作業を直営か業務委託を検討する必要がある。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、給食センター長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会管理課 | 担当課長氏名 | 舟橋　利明 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 8 | 教育関係団体への補助 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 本町の教育活動の一層の充実・発展を図るため、教育関係団体が実施する事業に対して必要な助成を行う。 | 教育関係団体の自主的な活動を支援することにより、本町の教育の振興、教育力の向上が図られる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

１ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 613 千円 | 1,007 千円 | 713 千円 | 601 千円 | 1,121 千円 | 431 千円 |
| 事業費 | 613 千円 | 1,007 千円 | 713 千円 | 601 千円 | 1,121 千円 | 431 千円 |
| 対前年度比 | | 164.27 % | 70.80 % | 84.29 % | 186.52 % | |

３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6181 | 教育関係団体補助 | 441 | 87.5% | | | | | | ○ | | | | 総務係 |
| 6181 | 北海道中標津支援学校後援会補助 | 180 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 総務係 |
| 6181 | 町立学校周年等記念事業 | 500 | 95% | ○ | | | | | | | | | 総務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　3　事業 | | 1,121 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 8 | 教育関係団体への補助 |

| 担当部・課 | 教育委員会管理課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 中標津町教育研究会、中標津町小中学校校長会・教頭会が実施する各種研修や児童生徒の作品展、音楽発表会などの事業に係る経費の一部を助成することにより、教職員の専門性が高められた。<br>北海道中標津高等養護学校後援会に対して活動経費の一部を助成することにより、生徒の社会参加と自立を目指す教育活動の推進が図られた。<br>元年度は、中標津小学校100周年記念事業、中標津東小学校50周年記念事業、俵橋小学校閉校記念事業が行われ、経費の一部を助成することにより教育振興や地域コミュニティ振興が図られた。 |

### 2 課題

学校教育を取り巻く課題は、複雑かつ多様化の傾向にあり、少子化による児童生徒数・学校数の減少、教員数の減少も伴い、教育委員会と教育関係団体が連携して、諸課題の解決を図らなければならない。
少子化による学校数、教員数の減少に伴い、構成員からの会費収入が減少しているため、活動に支障が生じている団体がある。

### 3 今後の方向性

助成している教育関係団体は、本町の教育施策の具現化に大きく貢献しており、教育施策の推進に欠かせないことから、引き続き支援が必要である。
北海道中標津支援学校後援会に助成することにより、特別支援教育活動を擁護し、生徒の社会自立に寄与していることから、引き続き本町としての支援は必要である。
※北海道中標津高等養護学校は令和元年度から小中学部増設により北海道中標津支援学校に校名変更。

### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村 実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会管理課 | 担当課長氏名 | 舟橋　利明 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 9 | 経済的負担の軽減、奨学金制度の充実 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 義務教育の課程を修め、学術優秀にして、かつ、向学の意欲がある者で義務教育以上の教育を受けようとする生徒・学生に対し、その学資を貸与することで、次世代を担う人材を育成する。 | 奨学金の貸与により、教育機会の均等を保証し、向学意欲の高い生徒・学生に学びの機会を提供する。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

１ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 3,321 千円 | 1,756 千円 | 1,961 千円 | 4,440 千円 | 3,580 千円 | 3,188 千円 |
| 一般財源 | 1,139 千円 | 1,504 千円 | 3,439 千円 | 千円 | 10 千円 | 752 千円 |
| 事業費 | 4,460 千円 | 3,260 千円 | 5,400 千円 | 4,440 千円 | 3,590 千円 | 3,940 千円 |
| 対前年度比 | | 73.09 % | 165.64 % | 82.22 % | 80.86 % | |

３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6192 | 育英資金貸付金 | 3,590 | 95% | ○ | | | | | | | | | 総務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　1　事業 | | 3,590 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 9 | 経済的負担の軽減、奨学金制度の充実 |

| 担当部・課 | 教育委員会管理課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 奨学金の貸与により、教育機会の均等を保証し、向学意欲の高い生徒・学生に学びの機会を提供した。貸付内訳については、下記のとおり。<br><br>入学一時金　修学資金<br>高校　1名　100,000円　2名　240,000円<br>専修学校　2名　200,000円　2名　480,000円<br>大学　2名　400,000円　9名　2,160,000円　合計3,580,000円<br><br>※差額10,000円は費用弁償 |

### 2 課題

中標津町育英資金運営委員会の委員から修学資金の引き上げ、償還期間の延長などについて意見があるが、卒業後の償還を考慮すると、慎重な検討が必要である。

### 3 今後の方向性

育英資金の貸付者は、制度創設以来1,100人を超え、向学意欲の高い生徒・学生に学びの機会を提供しており、次世代を担う人材の育成に貢献していることから、引き続き今後も必要な施策である。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会学校教育課 | 担当課長氏名 | 吉田　憲史 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 9 | 経済的負担の軽減、奨学金制度の充実 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 学校教育法第19条において、「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。」とされており、経済的に困難を抱える世帯や若年世帯の子どもに対する教育の機会均等を保障する観点から、保護者負担の軽減、扶助を行う必要がある。 | 家庭の経済状況が子どもの将来を左右しないよう、保護者負担の軽減、扶助の実施により、教育の機会均等を図る。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | － | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 15,269 千円 | 18,135 千円 | 17,661 千円 | 17,945 千円 | 2,369 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 63,530 千円 | 68,262 千円 | 69,777 千円 | 65,160 千円 | 31,782 千円 | 千円 |
| 事業費 | 78,799 千円 | 86,397 千円 | 87,438 千円 | 83,105 千円 | 34,151 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | 109.64 % | 101.20 % | 95.04 % | | % |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6191 | 義務教育扶助費（小・中） | 30,770 | 90.0% | ○ | | | | | | | | | 学務係 |
| 6191 | 義務教育保護者負担軽減（小・中） | 3,381 | 87.5% | | | | | | | | | ○ | 学務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　２　事業 | | 34,151 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 9 | 経済的負担の軽減、奨学金制度の充実 |

| 担当部・課 | 教育委員会学校教育課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 国の制度に基づき、幼稚園就園奨励費補助、義務教育扶助（就学援助）を実施しており、経済的に困難を抱える世帯や若年世帯の子どもに対する教育の機会均等が図られた。<br>また、町の単独事業である副教材に係る保護者負担の軽減の実施により、経済的な負担の軽減が図られた。 |

### 2 課題

義務教育扶助（就学援助）は対象世帯の増加により、町の財政負担が増加する懸念がある。

### 3 今後の方向性

義務教育扶助費（就学援助）は、経済が悪化すると就学援助を受ける保護者が増える傾向にあり、町の財政負担も増えることになる。
義務教育保護者負担軽減費は、最優先での整備が求められているICT環境整備にかかる経費を振り向けるため、事業終了となる。

### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村 実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A：このまま進めてよい」と評価する。<br><br>〇義務教育扶助費（就学援助）は国の生活保護基準に基づき給与しているが、6年前の引き下げ見直しの際には文部科学省等から交付税措置等を行うので見直し前の基準にて対応するよう通達があった。平成30年10月にも基準の引き下げが行われたが、本町は従前の基準で対応している。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会・中標津農業高等学校 | 担当課長氏名 | 吉川　裕二 | 調書作成日 | 令和元年 7 月 12 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 10 | 町立中標津農業高校の充実 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

### １ 目的（何のために）

本町の基幹産業である農業に関わる教育を通じ、人材育成と高校教育の充実を図ること。
海外研修を行い、社会の国際化に対応できる知識を身につける。
将来、社会に出たときに活用できる資格を取得し、進路決定を有利にする。
地元において、農産物の加工・販売の知識と技術を学びながら、地域との交流を深め農業高校の活動をPRする。

### ２ 求める成果（どのような成果を期待するか）

高校または大学を卒業した後の進路として、自身が身につけた技術や知識を活かして地元の企業に就職し、町の活性化の一翼を担うこと。
生徒の高校生活がクラブ活動などにより充実したものとなる。
減少している中学卒業生の進学先として選択され、一定数の新入生を確保する。

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 卒業後の進路内定率（進学率・就職率） | % | ○ | 単年 | 97 | 実績値 | 91 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | |
| | | | 累計 | | 達成率 | | | 103.1% | 103.1% | 103.1% | 103.1% | 0.0% |
| 指標2 資格取得達成率（資格取得数／卒業生） | 件／人 | ○ | 単年 | 180/30 | 実績値 | 131/22 | 153/33 | 198/35 | 163/22 | 82/12 | 178/24 | |
| | | | 累計 | | 達成率 | | | −0.4 | 1.4 | 0.8 | 1.4 | |
| 指標3 中標津農業高校の生徒数 | 人 | ○ | 単年 | 100 | 実績値 | 74 | 87 | 77 | 70 | 71 | 100 | |
| | | | 累計 | | 達成率 | | | 77.0% | 70.0% | 71.0% | 100.0% | 0.0% |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 6,228 千円 | 5,797 千円 | 10,075 千円 | 12,921 千円 | 15,433 千円 | 20,708 千円 |
| 事業費 | 6,228 千円 | 5,797 千円 | 10,075 千円 | 12,921 千円 | 15,433 千円 | 20,708 千円 |
| 対前年度比 | | 93.08 % | 173.80 % | 128.25 % | | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 61101 | 就学環境支援対策事業（通学費補助） | 11,969 | 97.5% | | | | | | ○ | | | | 事務係 |
| 61101 | 就学環境支援対策事業（実習服購入費助成・資格検定料助成） | 988 | 97.5% | ○ | | | | | | | | | 事務係 |
| 61103 | 海外派遣研修事業 | 1,906 | 97.5% | ○ | | | | | | | | | 事務係 |
| 6332 | 農業高校クラブ遠征支援経費 | 570 | 95% | ○ | | | | | | | | | 事務係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 4 事業 | | 15,433 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 10 | 町立中標津農業高校の充実 |

| 担当部・課 | 教育委員会・中標津農業高等学校 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 平成29年度から就学環境支援対策として通学費の全額補助・実習服等の購入扶助が予算化され、令和元年度の新入生数が45名で総数が100名となり上昇傾向にある。<br>進路決定率は100%を維持している。<br>部活動等は各々小人数でありながら全道大会に出場するなど活躍している。中でも農業クラブ執行部は、令和2年度の全国大会の出場権を得ることができた。 |

### 2 課題

就学環境支援対策としては、平成29年度に引き続き平成30年度の新入生は平成27年度以前の水準を維持しているが、中学卒業生数の減少は今後も続くため、これに対応した生徒確保が課題である。
学校の老朽化した施設・設備の計画的な整備が必要である。

### 3 今後の方向性

平成29年度からの就学環境支援対策の実施と平成30年12月から提供を開始した学校給食により、各家庭の負担軽減と栄養のバランスが図られ、新入生の確保に大きく貢献している。学校給食の供給を継続し、安定した新入生の確保を図っていきたい。
近年、農業クラブにおいて全道・全国大会へ連続出場するなど、生徒自身の努力の積み重ねが実を結んできている。こうした活動と海外研修など、農業高校の特色ある教育を町内外の児童生徒にPRしていきたい。
今後は、農業高校としての特色を活かした更なる魅力ある学校づくりを進めるために、新たな事業展開を図っていきたい。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、事務長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会・中標津農業高等学校 | 担当課長氏名 | 吉川　裕二 | 調書作成日 | 令和元年 7 月 12 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 10 | 町立中標津農業高校の充実 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| | |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標4 実習生産物売払収入額 | % | ○ 単年 | 6,000 | 実績値 | 5,883 | 5,286 | 7,341 | 5,846 | 4,744 | 4,726 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 122.4% | 97.4% | 79.1% | 78.8% | 0.0% |
| | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 事業費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | % | % | % | | % |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事　務　事　業　名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A B C D E F G H I | 担　当　係 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 合計　事業 | | 0 | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 1 | 学校教育の充実 |
| | 主要施策 | 10 | 町立中標津農業高校の充実 |

| 担当部・課 | 教育委員会・中標津農業高等学校 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | |

2 課題

3 今後の方向性

4 施策の進め方の評価　　**※部長職による評価欄**

| 担当部長氏名 | |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

1 行政改革推進本部による二次評価

2 外部評価（自己評価に対する意見等）

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会学校教育課 | 担当課長氏名 | 吉田　憲史 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | 青少年の健全育成 |
| | 主要施策 | 1 | 青少年健全育成体制・環境の整備 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 少子高齢化や核家族化の進行、それに伴う家族や地域の教育力の低下、さらには、携帯電話やインターネット等、高度情報化の進展等により、青少年を取り巻く環境は大きく変化し、全国的に様々な問題が生じていることから、非行防止活動等を推進するとともに家庭、地域の教育力の向上を図る。 | 青少年健全育成推進団体への活動支援により、活動の活性化を図るとともに、非行や問題行動の予防を図り、青少年を地域で守り育てる環境をつくる。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標１ 青少年を見守る活動に参加している町民の割合（町民アンケート） | % | ○ 単年 | 20.0 | 実績値 | ー | 11.4 | 12.2 | 9.0 | 10.3 | 8 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 61.0% | 45.0% | 51.5% | 40.0% | 0.0% |
| 指標２ 全児童生徒数に占める長期欠席（不登校）の児童生徒の率（%） | % | ○ 単年 | 0.5 | 実績値 | 0.9 | 1.1 | 1.5 | 0.9 | 1.8 | 1.6 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 300.0% | 180.0% | 360.0% | 320.0% | 0.0% |
| 指標３ | | 単年 | | 実績値 | ー | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 345 千円 | 372 千円 | 358 千円 | 336 千円 | 362 千円 | 千円 |
| 事業費 | 345 千円 | 372 千円 | 358 千円 | 336 千円 | 362 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | 107.83 % | 96.24 % | 93.85 % | | % |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事　務　事　業　名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担　当　係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6211・6212 | 青少年健全育成推進事業 | 362 | 87.5% | ○ | | | | | | | | | 学校教育係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　１　事業 | | 362 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | 青少年の健全育成 |
| | 主要施策 | 1 | 青少年健全育成体制・環境の整備 |

| 担当部・課 | 教育委員会学校教育課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 中標津町小中高PTA校外指導連絡協議会、中標津町生徒指導連絡協議会、計根別地区青少年健全育成推進協議会の3団体が、町内の祭り時に校外巡視、生徒指導の広報・研修活動と青少年問題協議会の開催など、家庭や地域が一体となった青少年を見守る活動により、青少年の健全育成が図られるとともに、この活動に参加する町民が増加してきている。 |

### 2　課題

「地域の子どもたちを地域全体で育てる」という視点に立ち、コミュニティ・スクール（CS）及び地域学校協働活動と併せて、当該「青少年健全育成推進事業」を推進する必要がある。

### 3　今後の方向性

青少年健全育成推進については、学校や行政の取組だけでは限界があるため、家庭や地域が一体となって取り組む体制づくりが必要であり、今後はコミュニティ・スクール（CS）及び地域学校協働本部とタイアップした事業展開を推進する。

不登校対策については、各学校、関係機関が連携して取り組んでいるが、今後も小中一貫教育の推進など様々な施策の実施により、中1ギャップの解消など、不登校の要因を取り除く取組を推進する。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A：このまま進めてよい」と評価する。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会学校教育課 | 担当課長氏名 | 吉田　憲史 | 調書作成日 | 令和２年　７　月　14　日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | 青少年の健全育成 |
| | 主要施策 | 2 | 青少年の体験・交流活動の促進 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 子どもたちが将来自立した社会人となるための基盤をつくるためには、学校の努力だけではなく、子どもたちにかかわる家庭・地域が学校と連携して、同じ目標に向かう協力体制を築くことが不可欠であるため、関係機関と協力しながら、子どもたちの体験活動の機会の充実に努める。 | 様々な体験活動を通して、豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力などの生きる力の基盤を育む。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １　成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 職業体験・職業講話などの社会参加活動を行った学校の率 | % | ○ 単年 | 70.0 | 実績値 | 35.7 | 36.4 | 44.4 | 44.4 | 44.4 | 44.4 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 63.4% | 63.4% | 63.4% | 63.4% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | ー | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２　施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 102 千円 | 92 千円 | 101 千円 | 94 千円 | 85 千円 | 千円 |
| 事業費 | 102 千円 | 92 千円 | 101 千円 | 94 千円 | 85 千円 | 0 千円 |
| 対前年度比 | | 90.20 % | 109.78 % | 93.07 % | | % |

### ３　施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6221 | 少年の主張大会開催 | 27 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 学校教育係 |
| 6221 | 中学生議会 | 0 | 95.0% | | | | | | ○ | | | | 学校教育係 |
| 6123・6222 | キャリア教育推進経費 | 58 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 学校教育係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　３　事業 | | 85 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | 青少年の健全育成 |
| | 主要施策 | 2 | 青少年の体験・交流活動の促進 |

| 担当部・課 | 教育委員会学校教育課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 少年の主張大会は、多くの町民に中学生の思いを理解してもらうとともに、観客の前で自己表現力を高める機会となっている。<br>中学生議会は、議員となった中学生の日頃から感じている町の姿や地域の問題等について、理想に向かった意見や夢・希望を提案することで、町民の一員としての自覚と関心を持つ機会となっている。<br>キャリア教育推進事業は、なかしべつ青少年体験活動サポートシステム（NYESS）と連携し、職業体験や職業講和の開催で生徒数延べ318人が参加しており、職業についての基礎的な知識と技能、勤労を重んじる態度や個性に応じて将来の進路を選択する能力が育成された。 |

### 2　課題

少年の主張大会の開催において、一般町民の参加者が少ないことから、集客に向けた周知方法の検討が必要である。

### 3　今後の方向性

少年の主張大会、中学生議会については、子どもたちが日常生活における体験や将来に向けての希望などを広く訴えることにより、青少年の健全育成に対する一般町民への理解が深まるため、今後も継続して実施する。
キャリア教育推進事業については、将来を考え、働くことへの関心や意欲を高める職業教育の充実が求められていることから、今後もボランティア団体と協働しながら事業を推進する。
キャリア教育推進事業は、全道的にも類をみないボランティア団体（NYESS）による職業体験の受入事業所の確保と生徒の調整を行っており、長年の活動により学校からのニーズも高く、生徒の将来を考え働くことへの関心や意欲を高める職業教育の充実が求められていることから、今後も引き続き事業を実施していく。

### 4　施策の進め方の評価　　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A：このまま進めてよい」と評価する。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1　行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2　外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 | 担当課長氏名 | 山宮　克彦 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | １ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 2 | 青少年の健全育成 |
| | 主要施策 | 2 | 青少年の体験・交流活動の促進 |
| その他関連計画等 | | 中標津町生涯学習推進計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 青少年の体験活動・交流活動の促進。 | 体験活動や交流活動により、子どもたちのふるさと意識を高め、地域の中で健やかに育つこと。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 20 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 869 千円 | 869 千円 | 682 千円 | 823 千円 | 815 千円 | 815 千円 |
| 事業費 | 869 千円 | 889 千円 | 682 千円 | 823 千円 | 815 千円 | 815 千円 |
| 対前年度比 | | 102.30 % | 76.72 % | 120.67 % | 99.03 % | |

3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6221 | 青少年健全育成活動 | 115 | 82.5% | ○ | | | | | | | | | 社会教育係 |
| 6221 | 都市間児童生徒交流事業 | 700 | 82.5% | ○ | | | | | | | | | 社会教育係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 2 事業 | | 815 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 2 | 青少年の健全育成 |
| | 主要施策 | 2 | 青少年の体験・交流活動の促進 |

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 事業（木工芸教室、家族で歩こう北根室ランチウェイ、都市間児童生徒交流事業）の実施により、児童生徒に通常では得がたい経験を提供することができた。<br>また、青少年育成団体への補助金交付により、町内の文化系少年団活動活性化の一助となった。 |

### 2 課題

木工芸教室は、参加者減の傾向が見られるため、今後事業内容や周知方法の検討が必要。
家族で歩こう北根室ランチウェイは、他の事業の実施日と重なってしまったため参加人数が少なかった。同日開催か開催時期の見直しが必要。
都市間児童生徒交流事業は、派遣事業については相手自治体から「令和元年度まで」との申し出があり、受け入れ事業については使用施設等がなくなったことから存続困難と判断し、令和元年度で終了とした。
文化系少年団への補助金は、町の単独費であるため財政状況によっては予算確保が難しくなる。今後も助成を継続すべきであるが、補助金の見直しは必要。

### 3 今後の方向性

今後も引き続き事業を実施予定であるが、常に事業内容を精査し充実した内容になるよう検討していく。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 | 担当課長氏名 | 山宮　克彦 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | １ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 生涯学習の推進 |
| | 主要施策 | 1 | 生涯学習講座の充実 |
| その他関連計画等 | | 中標津町生涯学習推進計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 生涯学習のまちづくりを実現するためのひとつの手法として研修講座を実施する。 | 参加者が生涯にわたって学習成果を様々な場面で活かし、生きがいにあふれた元気なまちづくりの実践者になること。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 12,413 千円 | 10,770 千円 | 10,768 千円 | 10,854 千円 | 10,643 千円 | 11,856 千円 |
| 一般財源 | 211,147 千円 | 215,519 千円 | 218,772 千円 | 228,932 千円 | 231,879 千円 | 235,522 千円 |
| 事業費 | 223,560 千円 | 226,289 千円 | 229,540 千円 | 239,786 千円 | 242,522 千円 | 247,378 千円 |
| 対前年度比 | | 101.22 % | 101.44 % | 104.46 % | 101.14 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6311 | 生涯学習研修講座 | 0 | 77.5% | ○ | | | | | | | | | 社会教育係 |
| 6311 | 社会教育施設運営管理事業（指定管理） | 242,522 | 80% | ○ | | | | | | | | | 社会教育係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　2　事業 | | 242,522 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 生涯学習の推進 |
| | 主要施策 | 1 | 生涯学習講座の充実 |

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 教育委員会で実施した研修講座（1件）と、総合文化会館、図書館、交流センターで開催された指定管理者による各種講座の実施により、本町の生涯学習が推進された。 |

### 2 課題

人脈や協働により、限られた予算の中でいかに内容を充実するか手腕が問われる。
また、研修講座等で学んだ知識や技術といった学習成果を地域へどう還元することができるのか等、機会づくりや動機付けなどのフォローの検討が必要である。

### 3 今後の方向性

充実した講座開催に向けて、常により良い内容になるよう人選、内容について検討行っていく。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。<br><br>○子どもから大人まで、多くの町民が参加したくなる事業を追求していきたい。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 | 担当課長氏名 | 山宮　克彦 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | １ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 生涯学習の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 生涯学習情報の提供 |
| その他関連計画等 | | 中標津町生涯学習推進計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 「生涯学習だより」の発行 | 町民へ、主に文化・スポーツ施設情報の提供を行うことで、生涯学習への理解促進及び活動への参加者が増えること。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 らいふまっぷの町民満足度（町民アンケート） | % | ○ 単年 | 50 | 実績値 | | 34 | 41 | 42 | 42 | 33 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 82.0% | 84.0% | 84.0% | 65.4% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 3,190 千円 | 3,190 千円 | 3,190 千円 | 3,190 千円 | 3,240 千円 | 3,058 千円 |
| 事業費 | 3,190 千円 | 3,190 千円 | 3,190 千円 | 3,190 千円 | 3,240 千円 | 3,058 千円 |
| 対前年度比 | | 100.00 % | 100.00 % | 100.00 % | 101.57 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6321 | 「生涯学習だより」発刊事業 | 3,240 | 90% | ○ | | | | | | | | | 社会教育係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 3,240 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 生涯学習の推進 |
| | 主要施策 | 2 | 生涯学習情報の提供 |

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 主に町民を対象に、民間情報も含め、各施設等の情報を一元化した生涯学習情報「らいふまっぷ」を全戸配布及びインターネット上への掲載した。<br>また、地元サークルの協力を得て音訳を行うなど、生涯学習情報を広く提供した。 |

### 2 課題

各施設からのお知らせが内容の主なものになっているが、ページ数が限られているため、月別の記事量によっては掲載希望に応えられないことがある。

### 3 今後の方向性

継続して事業を実施する。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。<br><br>○町民の生涯学習活動の重要な情報源の一つになっている。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 | 担当課長氏名 | 山宮　克彦 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | １ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 生涯学習の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 生涯学習団体への支援 |
| その他関連計画等 | | 中標津町生涯学習推進計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 本町の文化スポーツ振興のため、社会教育関係団体への活動経費支援及び少年団、中学校の部活動や個人に対して遠征費の一部支援を行う。 | 財政的支援により本町の文化スポーツの普及振興されること。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 9,105 千円 | 9,584 千円 | 12,681 千円 | 8,124 千円 | 8,147 千円 | 5,810 千円 |
| 事業費 | 9,105 千円 | 9,584 千円 | 12,681 千円 | 8,124 千円 | 8,147 千円 | 5,810 千円 |
| 対前年度比 | | 105.26 % | 132.31 % | 64.06 % | 100.28 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6331 | 文化スポーツ振興事業等補助金 | 900 | 75% | | | ○ | | | | | | | 社会教育係 |
| 6332 | 児童生徒遠征費補助金 | 7,247 | 80% | ○ | | | | | | | | | 社会教育係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 2 事業 | | 8,147 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 生涯学習の推進 |
| | 主要施策 | 3 | 生涯学習団体への支援 |

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | （一財）中標津町文化スポーツ振興財団への補助を行ったことで、財団本部（少年団本部含む）の事務が適切に行われた。また、NPOなかしべつスポーツアカデミーへの補助により様々な事業が実施された。<br>児童生徒遠征費補助は、地区大会を通じて全道大会や全国大会への出場が決定した場合の経費の一部を支援するもので、これらを実施することにより、本町の文化スポーツの振興が図られ、町の知名度アップにつながった。 |

### 2 課題

社会教育関係団体への補助及び児童生徒遠征費補助のどちらについても、その補助額については時代と、町の財政状況に即した額の検討が常に必要である。
今後も助成を継続すべきであるが補助金の見直しは必要。

### 3 今後の方向性

継続して事業を実施する。
ただし、次年度以降の予算編成については検討が必要である。

### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村 実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 | 担当課長氏名 | 山宮　克彦 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | １ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 生涯学習の推進 |
| | 主要施策 | 4 | 生涯学習関連施設の充実 |
| その他関連計画等 | | 中標津町生涯学習推進計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 主に町民が生涯学習活動を実践する上で必要な施設の維持管理を行う。 | 町の生涯学習の振興。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 緑のふるさと研修舎・生涯学習研究所利用者数 | 人／年 | ○ 単年 | 6,000 | 実績値 | 5,824 | 4,774 | 4,994 | 2,933 | 4,098 | 3,623 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 83.2% | 48.9% | 68.3% | 60.4% | 0.0% |
| 指標2 図書貸出数 | 冊／年 | ○ 単年 | 165,000 | 実績値 | 144,707 | 140,487 | 143,601 | 137,135 | 141,596 | 130,601 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 87.0% | 83.1% | 85.8% | 79.2% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 12,992 千円 | 11,393 千円 | 11,280 千円 | 11,412 千円 | 11,105 千円 | 12,364 千円 |
| 一般財源 | 225,379 千円 | 217,232 千円 | 220,494 千円 | 230,699 千円 | 233,154 千円 | 235,715 千円 |
| 事業費 | 238,371 千円 | 228,625 千円 | 231,774 千円 | 242,111 千円 | 244,259 千円 | 248,079 千円 |
| 対前年度比 | | 95.91 % | 101.38 % | 104.46 % | 100.89 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6341 | 生涯学習研究所運営管理 | 768 | 75% | | | | | | | | | ○ | 社会教育係 |
| 6342 | 緑のふるさと研修舎運営管理 | 757 | 75% | ○ | | | | | | | | | 社会教育係 |
| 6342 | 社会教育施設等環境整備事業 | 212 | 82.5% | | | | | | | | | ○ | 社会教育係 |
| 6343 | 社会教育施設運営管理事業（指定管理） | 242,522 | 80% | ○ | | | | | | | | | 社会教育係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 4 事業 | | 244,259 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 生涯学習の推進 |
| | 主要施策 | 4 | 生涯学習関連施設の充実 |

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 生涯学習課では、生涯学習研究所及び緑のふるさと研修舎の運営管理を行い、生涯学習の実践の場を提供し、様々な団体に活用いただいた。<br>※生涯学習研究所（若竹の里）は、学校法人岩谷学園への無償譲渡により9月末をもって廃止となった。<br>また、社会教育等環境整備事業では1名を雇用し、社会教育関連施設や事業実施に係る草刈等を行うことで環境が整備された。<br>総合文化会館、図書館、交流センターについては平成19年度から指定管理者制度を導入している。 |

### 2 課題

老朽化の進んだ施設や備品の修繕及び利用促進のための検討が必要。
特に社会教育等環境整備事業では、近年、募集に対して申し込みがない状況である。募集前に雇用形態等の見直しをおこなったが費用面での問題があったためこれまでどおりの募集を行ったところやはり申し込みがなかった。業務内容自体の見直しが必要である。

### 3 今後の方向性

今後も継続して所管施設の運営管理及び社会教育関連施設や事業実施を行う。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 | 担当課長氏名 | 山宮　克彦 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | １ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 生涯学習の推進 |
| | 主要施策 | 5 | 郷土館の充実 |
| その他関連計画等 | | 中標津町生涯学習推進計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 郷土に関する資料や調査研究の成果を、展示や広報、学校や地域への学習支援等の方法で町民に提供し、町民の教育・文化・学術の振興と発展を図る。 | 町の自然や歴史、文化についての興味関心を高め、理解が深まること。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 郷土館施設及び事業利用者数 | 件／年 | ○ 単年 | 11,000 | 実績値 | 35,436 | 18,603 | 10,348 | 11,406 | 8,017 | 4,760 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 94.1% | 103.7% | 72.9% | 43.3% | 0.0% |
| 指標2 郷土館インターネト活用事業閲覧件数 | 件／年 | ○ 単年 | 60,000 | 実績値 | | 246,557 | 491,619 | 429,951 | 204,642 | 181,268 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 819.4% | 716.6% | 341.1% | 302.1% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 3 千円 | 5 千円 |
| 一般財源 | 3,222 千円 | 3,286 千円 | 3,358 千円 | 3,614 千円 | 3,110 千円 | 3,390 千円 |
| 事業費 | 3,222 千円 | 3,286 千円 | 3,358 千円 | 3,614 千円 | 3,113 千円 | 3,395 千円 |
| 対前年度比 | | 101.99 % | 102.19 % | 107.62 % | 86.14 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6351 | 中標津町郷土館運営管理 | 3,113 | 90% | ○ | | | | | | | | | 学芸係 |
| 6352 | 中標津町郷土学習研究会育成 | 0 | 87.5% | ○ | | | | | | | | | 学芸係 |
| 6353 | 中標津町郷土館ホームページ設置 | 0 | 92.5% | ○ | | | | | | | | | 学芸係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計　3　事業 | | 3,113 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 生涯学習の推進 |
| | 主要施策 | 5 | 郷土館の充実 |

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 【教育普及事業】観察会及び自然体験事業（7回）、講演会等・学習支援（15回）<br>【広報】らいふまっぷに郷土館・文化財関係の記事掲載（12回）、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄの活用（ほぼ毎日）<br>【特別展】1回実施　【調査研究】歴史・自然関係の調査、郷土写真のデジタル化ほか<br>【その他】セイヨウオオマルハナバチの駆除（随時）、中標津町保存樹木看板設置（2枚設置）、中標津町郷土館友の会の事務及び活動支援、郷土資料収蔵庫の移転作業ほか<br>以上により、郷土に関する資料や調査研究の成果を各種事業の実施により町民へ提供することができた。<br>なお、事業利用者数の減少は、事業の見直しの他、新型コロナウイルス感染拡大対応や緊急事態の対応等により特別展の開催数を減らしたことによる。 |

### 2 課題

【施設】
郷土館＝耐用年数を過ぎ、老朽化及び狭隘化が進んでいる。学芸員が常駐できない状態であるため新しい施設の建設等の検討が早急に必要。
緑ヶ丘分館＝施設自体の老朽化や屋根の構造から発生するすが漏りにより、建物内部や軒天の一部が腐食している。近い将来補修が必要。
郷土資料収蔵庫A＝平成30年5月の地震以降の大規模な雨漏りにより複数の部屋が使用できなくなったことから、伝成館及び旧西竹小学校体育館に全資料の移転作業を行い廃止した。
郷土資料収蔵庫B＝老朽化による雨漏りが発生している。また、好ましくない収蔵環境であり、すでに収蔵能力は限界を迎えている。
【体制】
学芸員が2名発令されているが、実質的には1名しか動けない状態である。
管理人を募集しても業務内容と金額、年齢に制限によりほとんど申し込みがない状態である。

### 3 今後の方向性

常設展の展示替えや特別展の実施、らいふまっぷやSNSを活用した情報発信、開館日や開館時間の柔軟な変更など、様々な工夫を重ね、入館者数を伸ばすとともに、講演会や学習支援等教育普及事業を展開している。今後も引き続き様々な取組を行い、寄贈者から託された郷土資料を未来へ橋渡しを行う。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 | 担当課長氏名 | 山宮　克彦 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | １ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 3 | 生涯学習の推進 |
| | 主要施策 | 6 | 家庭教育支援の充実 |
| その他関連計画等 | | 中標津町生涯学習推進計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 乳幼児期の子どもを持つ親の学習機会を充実することにより、家庭での教育力を高め、子どもの健全育成を図る。 | 各園で実施している家庭教育学級へ助成を行うことで、活動充実が見込まれ、さらに家庭の教育力の向上により、乳幼児期の子どもたちの健全育成が進むこと。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 170 千円 | 170 千円 | 170 千円 | 170 千円 | 150 千円 | 150 千円 |
| 事業費 | 170 千円 | 170 千円 | 170 千円 | 170 千円 | 150 千円 | 150 千円 |
| 対前年度比 | | 100.00 % | 100.00 % | 100.00 % | 88.24 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6361 | 幼稚園家庭教育学級活動支援 | 150 | 80% | ○ | | | | | | | | | 社会教育係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 150 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 3 | 生涯学習の推進 |
| | 主要施策 | 6 | 家庭教育支援の充実 |

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 町内各幼稚園の保護者で構成されている「家庭教育学級」に対し、活動経費の一部助成を行った。<br>それにより、各園の家庭教育学級では創意工夫をこらし、研修会や軽スポーツなどの内容で年5回程度活動が行われ、保護者同士及び親子の交流などが行われた。 |

### 2 課題

財源の確保及び各園で実施している家庭教育学級の内容充実の促進。

### 3 今後の方向性

今後も助成を継続すべきであるが、 補助金の見直しは必要。
各園の事業内容充実支援のため、講師の情報提供などの実施も必要と考える。

### 4 施策の進め方の評価 ※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村 実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。<br><br>○毎年入れ替わる各幼稚園の保護者のための家庭教育学級活動は、事業内容の創意工夫により交流や学習が行われ、会員相互の親睦が図られ、子育ての力量と家庭での教育力が高められている。当該補助金の支援により、安定した活動の運営維持につながっている。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会管理課 | 担当課長氏名 | 舟橋　利明 | 調書作成日 | 令和２年 7 月 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | スポーツの振興 |
| | 主要施策 | 1 | スポーツ施設の整備充実・有効活用 |
| その他関連計画等 | | | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| 1 目的（何のために） | 2 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 公の施設の管理に民間を活用することにより、多様化する町民ニーズに効果的・効率的に対応し、住民サービスの向上と経費の削減を図るため、森林公園及び正美公園のパークゴルフ場を平成18年度から指定管理者制度により管理運営を行っている。 | 自主事業の実施による利用者サービスの向上と利用者増の取組。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### 1 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標2 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### 2 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 一般財源 | 9,441 千円 | 9,497 千円 | 9,441 千円 | 13,360 千円 | 13,407 千円 | 13,608 千円 |
| 事業費 | 9,441 千円 | 9,497 千円 | 9,441 千円 | 13,360 千円 | 13,407 千円 | 13,608 千円 |
| 対前年度比 | | 100.59 % | 99.41 % | 141.51 % | 100.35 % | |

### 3 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6412 | パークゴルフ場指定管理者委託業務 | 13,407 | 87.5% | ○ | | | | | | | | | 学校施設係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 13,407 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | スポーツの振興 |
| | 主要施策 | 1 | スポーツ施設の整備充実・有効活用 |

| 担当部・課 | 教育委員会管理課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 平成18年度から指定管理者による委託を実施し、4年毎に管理者選定を実施している。<br>令和元年度の利用者数は、森林公園17,765人、正美公園2,172人、合計19,937人となり、近年の利用者は横ばいである。<br>指定管理者による効率的・効果的なコース管理が実施され、町民の健康増進に寄与した。 |

### 2 課題

管理運営には、使用料で賄いきれない費用が掛かっているため、利用者数の推移を図りながら、施設の規模等を検討していく必要がある。

### 3 今後の方向性

一定の利用者があり、施設の運営管理は必要なことから、今後も指定管理者による管理を継続することが必要である。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 | 担当課長氏名 | 山宮　克彦 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | １ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | スポーツの振興 |
| | 主要施策 | 2 | スポーツ団体の運営支援 |
| その他関連計画等 | | 中標津町生涯学習推進計画 | |
| | | 中標津町スポーツ振興計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| スポーツ団体の運営支援。 | いつでもどこでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツの実現及びスポーツ合宿の誘致。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 スポーツ団体登録者数（財団加盟） | 人 | ○ 単年 | 1,930 | 実績値 | 1,878 | 1,831 | 1,784 | 1,621 | 1,565 | 1,552 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 92.4% | 84.0% | 81.1% | 80.4% | 0.0% |
| 指標2 スポーツ少年団登録者数 | 人 | ○ 単年 | 740 | 実績値 | 606 | 733 | 753 | 818 | 802 | 811 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 101.8% | 110.5% | 108.4% | 109.6% | 0.0% |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 100 千円 | 1,200 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 19,292 千円 |
| 一般財源 | 1,775 千円 | 1,475 千円 | 3,877 千円 | 3,088 千円 | 1,177 千円 | 181,313 千円 |
| 事業費 | 1,775 千円 | 1,475 千円 | 3,877 千円 | 3,088 千円 | 1,277 千円 | 201,805 千円 |
| 対前年度比 | | 83.10 % | 262.85 % | 79.65 % | 41.35 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6421 | 中標津町文化スポーツ振興事業補助金 | 900 | 75% | | | ○ | | | | | | | 社会教育係 |
| 6422 | スポーツ合宿支援事業 | 377 | 87.5% | ○ | | | | | | | | | 社会教育係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 2 事業 | | 1,277 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | スポーツの振興 |
| | 主要施策 | 2 | スポーツ団体の運営支援 |

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 |
|---|---|

## Ⅲ 一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 加盟団体の育成を図っている一般財団法人中標津町文化スポーツ振興財団本部の健全かつ安定した運営のため、補助金による支援を行った。<br>教育委員会の担当係においては、スポーツ合宿及び大会誘致促進及び調査研究（スポーツ大会開催に係る経済効果の算出）を行った。<br>なお、平成30年度においては日本体育大学のラグビー部合宿が、2019ラグビーワールドカップが日本で開催された関係で中止となっている。 |

### 2 課題

一般財団法人中標津町文化スポーツ振興財団本部への補助にあたっては財源確保が難しくなってきているため、財団と共に今後の在り方を考えていく必要がある。
合宿や大会誘致については、地道に町のPRと誘致活動を継続して行わなければならないため、ある程度の投資的経常経費と人脈を持つ協力者を増やしていくことも必要である。

### 3 今後の方向性

スポーツ合宿の誘致について、ラグビー、陸上（駅伝やマラソンなどの長距離）、冬季スポーツなど、様々な種目の合宿が切れ目なく本町に来ていただけるように、社会人、大学等に対して誘致活動を継続的に展開する。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。<br><br>○合宿誘致については、社会人、大学問わず町のPRを兼ねた活動を継続し、互いの関係を築き上げることが重要である。スポーツの他に文化系合宿も視野に入れた活動を進める。また、連携協定を結んでいる大学との新たな取組も検討したい。 |

## Ⅳ 二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 | 担当課長氏名 | 山宮　克彦 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | １ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | スポーツの振興 |
| | 主要施策 | 3 | スポーツ指導者の養成・確保 |
| その他関連計画等 | | 中標津町生涯学習推進計画 | |
| | | 中標津町スポーツ振興計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| スポーツ指導者の養成と確保による町のスポーツ振興。 | スポーツ指導者登録者数の増加。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

１ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 スポーツ指導者登録者数 | 人 | ○ 単年 | 140 | 実績値 | 121 | 139 | 151 | 158 | 155 | 150 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 107.9% | 112.9% | 110.7% | 107.1% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 10,259 千円 | 14,010 千円 | 17,004 千円 | 16,706 千円 | 15,800 千円 | 18,662 千円 |
| 一般財源 | 138,681 千円 | 160,221 千円 | 173,856 千円 | 175,738 千円 | 179,943 千円 | 180,609 千円 |
| 事業費 | 148,940 千円 | 174,231 千円 | 190,860 千円 | 192,444 千円 | 195,743 千円 | 199,271 千円 |
| 対前年度比 | | 116.98 % | 109.54 % | 100.83 % | 101.71 % | |

３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6432 | 体育施設運営管理事業（指定管理） | 195,743 | 80% | ○ | | | | | | | | | 社会教育係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 195,743 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | スポーツの振興 |
| | 主要施策 | 3 | スポーツ指導者の養成・確保 |

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 平成19年度から指定管理者制度を導入しており、平成30年度からは第4次指定管理期間となり（一財）中標津町文化スポーツ振興財団へスポーツ施設の管理運営業務を委託している。<br>これにより、町民へのサービス向上及び経費の削減が行われた。 |

### 2 課題

スポーツ指導者の養成と確保。
スポーツ活動を行う町民の裾野を広げるため、誰もが気軽にスポーツに接することのできる環境整備や質の高いスポーツと接する機会づくりが必要である。

### 3 今後の方向性

令和3年度までの第4次指定管理期間も継続して支援を行う。
なお、第5次の指定管理期間を迎える前に、受託期間の延長や指定管理団体の選定方法について検討を行い、より効率的で安定した運営管理ができるように検討を行う。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 | 担当課長氏名 | 山宮　克彦 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | １ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 4 | スポーツの振興 |
| | 主要施策 | 4 | スポーツ活動の普及振興 |
| その他関連計画等 | | 中標津町生涯学習推進計画 | |
| | | 中標津町スポーツ振興計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 「見る」、「支える」、「する」スポーツの振興。 | 各種スポーツ行事、スポーツ大会、スポーツ教室等の内容及び運営体制の充実を図ることで参加者増を目指す。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 定期的にスポーツをする町民の割合（町民アンケート） | % | 単年 | 50 | 実績値 | | 32 | 35 | 32 | 32 | 37 | |
| | | ○ 累計 | | 達成率 | | | 69.2% | 63.4% | 64.0% | 74.2% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 10,259 千円 | 14,010 千円 | 17,004 千円 | 16,706 千円 | 15,800 千円 | 18,662 千円 |
| 一般財源 | 138,681 千円 | 160,221 千円 | 173,856 千円 | 175,738 千円 | 179,943 千円 | 180,609 千円 |
| 事業費 | 148,940 千円 | 174,231 千円 | 190,860 千円 | 192,444 千円 | 195,743 千円 | 199,271 千円 |
| 対前年度比 | | 116.98 % | 109.54 % | 100.83 % | 101.71 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6432 | 体育施設運営管理事業（指定管理） | 195,743 | 80% | ○ | | | | | | | | | 社会教育係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 195,743 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 4 | スポーツの振興 |
| | 主要施策 | 4 | スポーツ活動の普及振興 |

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 指定管理者制度を導入し、管理運営業務の委託を実施したことにより、町民へのサービス向上及び経費の削減が行われた。<br>令和元年2月後半から3月はコロナ禍により利用者が激減しているが、各種事業の取組や創意工夫によってそれ以外の月では総合体育館の利用者が増加している。 |

### 2 課題

スポーツや健康づくりに関する情報や啓発活動に係る関係部局との連携強化。
専門的指導を行えるスタッフの育成。
施設や設備が安定して長く使えるよう、メンテナンスの実施や修繕費用を極力抑えるような方策を立てることが必要である。

### 3 今後の方向性

令和3年度までの第4次指定管理期間も継続して支援を行う。
なお、第5次の指定管理期間を迎える前に、受託期間の延長や指定管理団体の選定方法について検討を行い、より効率的で安定した運営管理ができるように検討を行う。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 | 担当課長氏名 | 山宮　克彦 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | １ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 5 | 文化・芸術の振興 |
| | 主要施策 | 1 | 文化・芸術団体、指導者の育成 |
| その他関連計画等 | | 中標津町生涯学習推進計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 文化・芸術団体への学習機会を拡充し、次世代の担い手を発掘し育成する。 | 文化の継承者や次世代の担い手を発掘し、指導者としての育成・確保すること。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 文化・芸術団体の登録者数 | 人 | ○ 単年 | 2,700 | 実績値 | 2,678 | 2,242 | 2,119 | 2,272 | 2,107 | 2,026 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 78.5% | 84.1% | 78.0% | 75.0% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 12,413 千円 | 10,770 千円 | 10,768 千円 | 10,854 千円 | 10,643 千円 | 11,856 千円 |
| 一般財源 | 211,147 千円 | 215,489 千円 | 218,712 千円 | 228,882 千円 | 231,879 千円 | 234,472 千円 |
| 事業費 | 223,560 千円 | 226,259 千円 | 229,480 千円 | 239,736 千円 | 242,522 千円 | 246,328 千円 |
| 対前年度比 | | 101.21 % | 101.42 % | 104.47 % | 101.16 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6512 | 社会教育施設運営管理（指定管理） | 242,522 | 80% | ○ | | | | | | | | | 社会教育係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 242,522 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 5 | 文化・芸術の振興 |
| | 主要施策 | 1 | 文化・芸術団体、指導者の育成 |

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 〔実施事業概要〕<br>・舞台芸術鑑賞（ミュージカル、コンサート、映画、演劇、NHK公開番組など）<br>・文化普及振興（地元アマチュア団体やサークル活動の発表、ロビーコンサート、作品展など）<br>・学習、研修（講演会、各世代向けの通年学習事業など）<br>・創造、参加（各種サークルの相互交流の促進を図る事業など）<br>・その他（広域・交流事業、出版事業など）<br>優れた芸術文化作品鑑賞機会の充実により地域の文化活動に刺激を与え、年代を問わず豊かな感性をはぐくむとともに地元団体・サークルの支援を行うことで参加促進及び育成を図った。また、町民の文化活動や生涯学習活動の振興に資することができた。 |

### 2 課題

新規加盟団体及び団体登録者数増加を目指すため、魅力的な機会の提供と社会情勢の変化へ対応するための研究。

### 3 今後の方向性

令和3年度までの第4次指定管理期間も継続して支援を行う。
なお、第5次の指定管理期間を迎える前に、受託期間の延長や指定管理団体の選定方法について検討を行い、より効率的で安定した運営管理ができるように検討を行う。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 | 担当課長氏名 | 山宮　克彦 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | １ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| 施策体系 | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 5 | 文化・芸術の振興 |
| | 主要施策 | 2 | 文化・芸術の鑑賞機会と発表機会の充実 |
| その他関連計画等 | | 中標津町生涯学習推進計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 内外の優れた音楽や演劇、美術展などの鑑賞機会を設ける。 | 優れた文化・芸術の鑑賞機会の提供により豊かな感性が育くまれ、新たな創作意欲を刺激することで、町の文化・芸術活動が活性化されること。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

１ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標１ 文化・芸術公演での鑑賞者数 | 人／年 | ○ 単年 | 14,000 | 実績値 | 13,195 | 8,575 | 7,672 | 8,472 | 8,899 | 7,617 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 54.8% | 60.5% | 63.6% | 54.4% | 0.0% |
| 指標２ 文化・芸術の鑑賞や発表機会が充実していると感じる町民の割合（町民アンケート） | % | ○ 単年 | 70 | 実績値 | | | 59 | 62 | 62 | 50 | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | 84.3% | 88.6% | 88.6% | 71.4% | 0.0% |
| 指標３ | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 12,413 千円 | 10,770 千円 | 10,768 千円 | 10,854 千円 | 10,643 千円 | 11,856 千円 |
| 一般財源 | 211,147 千円 | 215,489 千円 | 218,712 千円 | 228,882 千円 | 231,879 千円 | 234,472 千円 |
| 事業費 | 223,560 千円 | 226,259 千円 | 229,480 千円 | 239,736 千円 | 242,522 千円 | 246,328 千円 |
| 対前年度比 | | 101.21 % | 101.42 % | 104.47 % | 101.16 % | |

３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6512 | 社会教育施設運営管理（指定管理） | 242,522 | 80% | ○ | | | | | | | | | 社会教育係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 242,522 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 5 | 文化・芸術の振興 |
| | 主要施策 | 2 | 文化・芸術の鑑賞機会と発表機会の充実 |

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| A<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | 〔実施事業概要〕<br>・舞台芸術鑑賞（ミュージカル、コンサート、映画、演劇、NHK公開番組など）<br>・文化普及振興（地元アマチュア団体やサークル活動の発表、ロビーコンサート、作品展など）<br>・学習、研修（講演会、各世代向けの通年学習事業など）<br>・創造、参加（各種サークルの相互交流の促進を図る事業など）<br>・その他（広域・交流事業、出版事業など）<br>優れた芸術文化作品鑑賞機会の充実により地域の文化活動に刺激を与え、年代を問わず豊かな感性をはぐくむとともに地元団体・サークルの支援を行うことで参加促進及び育成を図った。また、町民の文化活動や生涯学習活動の振興に資することができた。 |

### 2 課題

生涯学習の成果を社会に還元するため、各種団体と学校及び他施設との連携強化。
より多くの町民に文化・芸術を親しんでもらえるよう、様々な工夫が必要である。

### 3 今後の方向性

令和3年度までの第4次指定管理期間も継続して支援を行う。
なお、第5次の指定管理期間を迎える前に、受託期間の延長や指定管理団体の選定方法について検討を行い、より効率的で安定した運営管理ができるように検討を行う。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A:このまま進めてよい」と評価する。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**

# 令和２年度 中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 | 担当課長氏名 | 山宮　克彦 | 調書作成日 | 令和２年 | ７ | 月 | １ | 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

## Ⅰ　施策の概要

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大　項　目 | 5 | 文化・芸術の振興 |
| | 主要施策 | 3 | 文化財の保護と活用 |
| その他関連計画等 | | 中標津町生涯学習推進計画 | |
| その他関連施策 | | | |
| 担　当　課 | | | |

| １ 目的（何のために） | ２ 求める成果（どのような成果を期待するか） |
|---|---|
| 文化財保護法の目的である「文化財を保存し、かつ、その活用を図り、もつて国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献すること」に基づき、町内の様々な文化財について保存と活用を行い、次世代への継承する。 | 特に近年においては文化財の活用が地域振興や観光振興、ひいては地方創生にも資するとの認識が高まってきている。この事業の実施により町民の郷土愛を深め、文化財保護意識の高揚が図られること。 |

## Ⅱ　施策の実施結果

### １ 成果指標達成状況

| 指標名 | 指標単位（単年・累計） | | 目標値（R2） | 年度 | H21 実績 | H27 中間実績 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 指標1 町内の文化財数（国の天然記念物得を除く） | 件 | 単年 | 75 | 実績値 | 72 | 73 | 73 | 73 | 73 | 76 | |
| | | ○ 累計 | | 達成率 | | | 97.3% | 97.3% | 97.3% | 101.3% | 0.0% |
| 指標2 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |
| 指標3 | | 単年 | | 実績値 | | | | | | | |
| | | 累計 | | 達成率 | | | | | | | |

### ２ 施策に係る事業費

| | 平成２７年度 | 平成２８年度 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 | 令和２年度（当初予算） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 国・道 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| 地方債 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 | 千円 |
| その他 | 千円 | 千円 | 千円 | 494 千円 | 1,176 千円 | 1,933 千円 |
| 一般財源 | 191 千円 | 74 千円 | 681 千円 | 82 千円 | 102 千円 | 134 千円 |
| 事業費 | 191 千円 | 74 千円 | 681 千円 | 576 千円 | 1,278 千円 | 2,067 千円 |
| 対前年度比 | | 38.74 % | 920.27 % | 84.58 % | 221.88 % | |

### ３ 施策に係る事務事業一覧

| 事務事業コード | 事務事業名 | 事業費（千円） | 事務事業評価値 | 今後の方向性 A | B | C | D | E | F | G | H | I | 担当係 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 6531 | 文化財の保護と活用 | 1,278 | 85% | ○ | | | | | | | | | 学芸係 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 1 事業 | | 1,278 | | | | | | | | | | | |

令和 2 年度　中標津町総合発展計画施策評価調書（令和元年度事業実施分）

| 施策体系 | | | |
|---|---|---|---|
| | 基本項目（章） | 6 | 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり |
| | 大 項 目 | 5 | 文化・芸術の振興 |
| | 主要施策 | 3 | 文化財の保護と活用 |

| 担当部・課 | 教育委員会生涯学習課 |
|---|---|

## Ⅲ　一次評価

### 1 達成状況

| 施策の進行 | 何を実施し、どのような成果があったか |
|---|---|
| B<br>A 目標に向かって順調に進んでいる<br>B 目標に向かって概ね順調に進んでいる<br>C 目標に向かってあまり進んでいない<br>D 目標に向かって進んでいない | ・埋蔵文化財＝現況調査、所在確認調査、標津川9遺跡発掘調査、整備（神社チャシ草刈）<br>・天然記念物＝タンチョウ一斉調査従事等、オジロワシ営巣個体の継続調査<br>・町指定文化財＝郷土館に展示<br>・登録有形文化財（建造物）＝適正管理及び防火防災訓練の指導助言<br>・中標津町文化財保護審議会の開催<br>・町内小学校における文化財関係授業の実施＝景観学習（4回）<br>・事業(緑ケ丘分館オータムフェスタ：1回、「今も残る昭和初期の開拓景観を考えるシンポジウム：1回）<br>以上の事務と事業を実施することで、郷土や文化財へ触れる機会を増やし、理解と保護意識の啓蒙を図った。<br>また、令和2年度から実施予定の「文化財保存活用地域計画」について、関係各所への説明や協力依頼などの調整及び補助金申請を行った。 |

### 2 課題

町内に残る登録有形文化財（建造物）の老朽化や、現在未指定である文化財候補の消失防止、各種文化財を次世代へどう継承するかが課題となっている。

### 3 今後の方向性

文化財保護法に基づく事務を継続して行うとともに、平成30年度の文化財保護法の改正により、文化財の保存・活用を総合的・計画的に推進するための枠組みを法的に位置づけた「文化財保存活用地域計画」が盛り込まれたことから、本町ではこの計画に令和2年度から取り組むことで文化財の保存と活用を進めるとともにまちづくりへつなげるため、3年間をかけて文化庁の補助を受けながら進めていく。

### 4 施策の進め方の評価　※部長職による評価欄

| 担当部長氏名 | 木村　実 |
|---|---|

| 施策の進め方 | 当該評価の理由や施策の進め方についての意見等 |
|---|---|
| A<br>A このまま進めてよい<br>B 若干の見直し・修正が必要<br>C 大幅な見直し・修正が必要 | 施策の進め方は、課長評価の今後の方向性のとおり「A：このまま進めてよい」と評価する。<br><br>〇文部科学省文化庁の補助事業を活用し「文化財保存活用地域計画」策定に向け、R2から着手できるよう準備を進めてきた。<br>〇R2早々に「中標津町文化財保存活用地域計画策協議会」を設置し、協議会の開催と調査部会を編成、さらにフォーラムの開催計画など、スケジュールに沿った業務が進められている。 |

## Ⅳ　二次評価および外部評価

### 1 行政改革推進本部による二次評価

**部長・課長評価のとおり**

### 2 外部評価（自己評価に対する意見等）

**外部評価対象外**